

平成 22 年度

佐賀大学授業評価・改善の実施に関する報告書

平成 23 年 10 月

大学教育委員会
FD 専門委員会

はじめに

佐賀大学「学生による授業評価」の実施は平成22年度で1年目を迎えます。平成18年度後期からは大学院の授業科目も含め、全ての授業科目で授業評価アンケートを実施することとなりました。その結果、本年度は学部における実施率は85.4%となり、研究科でも73.2%に達するまでになりました。この実施率は授業評価アンケートを行うことが当然であるとする教員がほぼ9割近くに達したことを示しています。この数値はアンケート実施開始時から比べると大きく増加しており、FD活動に対する教員の意識が高まっていることを表しています。

本学は平成18年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを大学教育委員会に報告するようになってきました。また、各教員には個別授業点検・評価報告書の提出が義務づけられました。このように授業評価・改善に関するシステムはほぼ整いましたが、必ずしも活かされているとは言いきれません。今後の課題は、このシステムを実質的に活用することです。

平成20年4月からは学部教育においてFDの義務化がはじまり、大学教育は大きな局面を迎えています。また、法人評価や認証評価では、授業評価アンケートがどのように教育に活用されているかが問われました。従来のようにアンケートさえ行っていれば良いと言うことではなく、如何にその結果を活用しているのかが今後の大学の運命を左右するといっても過言ではないでしょう。各部局および教員が各報告書を多方面から解析することにより、FD活動に生かされることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

国立大学法人 佐賀大学 大学教育委員会委員長

瀬口 昌洋

目次

はじめに	…………… 1
目次	…………… 2
I. 経過	…………… 3
II. 実施状況	…………… 4
III. 授業評価アンケートの結果と分析	…………… 7
III- (1) 学部別の結果と解析	…………… 7
III- (2) 文化教育学部・教育学研究科の結果と解析	……………16
III- (3) 経済学部・経済学研究科の結果と解析	……………65
III- (4) 理工学部・工学系研究科の結果と解析	……………82
III- (5) 農学部・農学研究科の結果と解析	……………99
III- (6) 教養教育運営機構の結果と解析	……………130
おわりに	……………141
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	……………142
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	……………143
資料3 学生による授業評価アンケート様式	……………145
資料4 共通様式以外のアンケート様式	……………148
資料5 教員、授業科目別アンケート集計様式(レーダーチャート)	……………151
資料6 項目の基礎集計表	……………152

I. 経過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より本格導入に至っている。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会(平成 15 年 11 月 26 日開催)で「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目(演習, 実験, 少人数ゼミを除く)を対象に共通アンケートによる 100%の実施を目標に活動を続けてきた。しかしながら、実施率は低迷を続け抜本的な改革が必要と考えられ、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目(大学院も含む)を対象に授業評価を実施することが定められた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」(平成 18 年 10 月 1 日施行)(資料 1)が新たに制定された。この「佐賀大学学生による授業評価実施要領」(以下、授業評価実施要領とする)は実施基準を各学部等が設定できる点が特筆される。すなわち、少人数クラスや複数担任の科目では共通アンケート様式にはそぐわないため、独自に用意したアンケートを用いることを可能としている。そのため佐賀大学の全ての授業科目において基本的に共通アンケートもしくは独自アンケートによって学生の意見を聴く機会が設けられていると言えよう。また、アンケート結果の教員へのフィードバックについても全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し、自らの授業改善に活かせるような工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」(平成 18 年 12 月 22 日施行)(資料 2)が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 22 年度後学期からはそれまでの共通アンケート用紙に変わり、LiveCampus を利用した共通アンケート形式が導入され、ウェブ上でアンケートが実施された。一方、この授業評価アンケートと並行に学生対象アンケートも実施され、佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたって広く学生の声を取り入れようとする試みも行われた。さらには教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施され、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を整備しつつある。

本報告では平成 22 年度に実施した授業評価アンケートの結果および授業評価

結果を用いた授業改善実施要領（以下，授業改善実施要領とする）に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる．なお，医学部およびeラーニングで受講するネット授業については，授業形態の差異に配慮し独自の様式を用いた．

II. 実施状況

平成 22 年度に佐賀大学で行われた授業評価は、前学期は共通のアンケート用紙を、後学期はウェブ上の共通アンケートシステムを用いて行っており、共通様式を用いない授業評価の実施も認めている。そこで、授業評価アンケートの結果を述べる前にアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

まず、授業評価アンケートの種類について述べる。本年度に実施した授業評価アンケートは以下の 4 つに大別される。

- 1) 授業評価アンケート（共通様式）（資料 3）
- 2) 個別授業評価アンケート
- 3) 医学部授業評価アンケート（資料 4）

このうち本報告書では 1 と 3 のアンケート結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業評価アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい解析が行われているので本報告では共通様式の授業評価アンケートと同じ内容のみ述べる。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なっているため別項とし、概要をまとめ解析を行った。

次に、本年度の授業評価の実施率について述べる。表 1 に部局毎の実施率をまとめた。共通アンケート用紙を用いていない授業評価アンケート（つまり、独自形式アンケート）の実施率も示している。独自形式アンケートは受講者が極端に少ない場合や複数の教員が担当している場合など、マークシート方式の共通アンケートにはそぐわない場合に実施する授業評価と位置づけられている。科目としては少人数での実験、教育実習、ゼミなどが該当すると考えられる。実施数の多い部局は経済学部、理工学部、教養教育運営機構と経済学研究科、工学系研究科であった。学部での実施率は医学部の 96.4% が最も大きく、科目数では 134 科目に達する。また、大学院でも医学系研究科の実施率が高く修士課程において 100% に達している。医学部は科目の授業形態毎にアンケート項目の設定を変えており、本庄地区で実施されている共通アンケートよりも細やかな配慮がみてとれる。なお、共通アンケートを使用している部局では全学期で理工学部の 87.2% が最高で、大学院は農学研究科が 75.2% と高い実施率を示している。なお、共通アンケートシステムの導入によりアンケートの実施に教員の関与が無くなったため、例年報告している「個別授業評価に係わる情報が一切無い授業科目名」について、今年度は掲載しないこととした。

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

文化教育学部

文化教育学部では、学部 FD 委員会にて学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準を協議し、満足度及び興味・関心の 2 項目を合計した値を用いることとしている。なお、対象となる科目は受講生が 10 名以上の科目であり、学部、大学院別に抽出することとしている。

経済学部、経済学研究科

経済学部、経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」について特に選定を行っていない。

理工学部

理工学部では、学科の判断により授業評価アンケートの全項目もしくは複数項目、あるいは満足度の評価を用い授業の分析や学生から高い評価を得ている授業科目の選出をおこなっている学科がある。一方、独自アンケートを実施している学科（機能物質化学科）や別の基準で選考している学科（都市工学科）もある。

工学系研究科博士前期課程

工学系研究科博士前期課程では、いくつかの専攻（物理科学専攻、電気電子工学専攻、知能情報システム学専攻）では、学部と同様の方法で選考を行っている。学部では授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善をおこなっている専攻もある。

工学系研究科博士後期課程

工学系研究科博士後期課程の運営は、平成 22 年度の改組により、博士後期課程の分野やコースが学部学科や博士前期課程専攻と同じ組織になり、博士前期課程と連動して評価方法を進めている。

各学科・専攻の取り組みは下記のとおりである。

理工学部

数理科学科

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

物理科学科

共通アンケートを利用した科目について学科全体で集計を行い、アンケートの全項目において平均点と標準偏差を計算し、各項目で平均点の高い順に3科目ずつと標準偏差、最高スコアと最低スコアの差を表にして全教員に配布する予定である。

またベスト3にリストされた科目の担当教員は他の教員の求めがあれば、授業参観の受入、資料の提供などを通じて授業改善に資する情報を提供することが取り決められている。

知能情報システム学科

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告した。

機能物質化学科

例年通り、卒業予定者アンケートを実施した。この中で、在学中印象に残った授業科目の上位3科目を調査した。結果を、教員毎に纏め、上位2名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。このうち上位の教員を「学生の評価の高い教員」として、次年度の教員表彰候補者として推薦している。

機械システム工学科

・「佐賀大学理工学部機械システム工学科教育顕彰に関する申し合わせ」（平成20年12月3日改正）を設定している

・前年度に実施された学生による授業評価アンケートの授業内容および授業方法に関する設問において最も高い評価を受けた科目と当該教員を選出する

・選出された科目を、学科会議メンバーが参観をし、アプローチシートに優れている点を記載する。

・顕彰された教員に対し、副賞として教育用図書等購入費が贈呈される。

・顕彰された教員は、学科ホームページに選出過程とともに氏名、顔写真が掲載される。

電気電子工学科

授業評価アンケートのB 授業内容および授業方法、C 教員の対応、D 満足度および受講者数、

合格率を総合的に判断して行う。

都市工学科

学科で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合意が得られていないことによるものである。

工学系研究科博士前期課程

循環物質化学専攻

機能物質化学専攻と関連する循環物質工学専攻の授業も履修可能であるため、授業あたりの受講者数が少なく、また学生は関連分野の科目を中心に履修するため、アンケート調査では学生の評価が得られないと考え、学部と同様の調査はおこなっていない。

物理科学専攻

基本的にはアンケートを利用した科目について学科全体で集計を行い、アンケートの全項目において平均点と標準偏差を計算し、各項目で平均点の高い順に3科目ずつと標準偏差、最高スコアと最低スコアの差を表にして全教員に配布する予定である。

機械システム工学専攻

特に行っていない。

電気電子工学専攻

授業評価アンケートのB授業内容および授業方法、C教員の対応、D満足度を総合的に判断して行う。

知能情報システム専攻

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告した。

数理科学専攻

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

都市工学専攻

専攻で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の可否について学科で合意が得られていないことによる。

先端融合工学専攻

関連する学科に連動して評価を行っている。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

文化教育学部および教育学研究科

本年度(平成 22 年度)においても文化教育学部および教育学研究科において、組織別授業評価を実施した。本年度は昨年度までと異なり、データを講義と演習・その他(実験、実習)に区別しなかった。その理由は過去3年間の分析により、講義と演習の間に顕著な違いが見つからなかったからである。

授業改善の取り組みにおいて優れた点は、昨年度以上にFD委員会として組織的にアンケートの実施に取り組んだことである。メールでの配信は言うに及ばず、教授会においてアンケートの実施に協力してもらうよう、数度要請した。その結果、学部において、アンケートの実施率が昨年よりも高くなった。

改善すべき点は、今年度後期より施行されたWebによるアンケート実施についてである。確かに、アンケート実施の科目数は昨年度と大差はないが、1科目当たり、どれだけの数の学生がアンケートに記入したかは未知数である。この数字は昨年度よりかなり減少していることが予想されるが、来年度はその実態解明に努め、それが明らかになった時点で学部としてなんらかの改善策を講じる必要がある。

経済学部、経済学研究科

経済学部、経済学研究科では学部FD委員会の主導により全教員を対象とするFD会議を開催し授業改善の取り組みを行っている。平成22年度においては4月14日、6月2日、11月10日、12月1日の4回にわたり経済学部の科目を対象としたFD会議を開催し、また〔2011年〕2月

16日は大学院経済学研究科の科目を対象としたFD会議を開催した。その内容については「経済学部FD活動報告書」に譲るが、今年度においてはティーチング・ポートフォリオ、ラーニング・ポートフォリオ、学士力といった新しい概念に特に重点を置いて議論が行われた。これらの概念（制度）が実際に導入されるに先立って、教員の間で論点が共有されたことはFD会議の重要な成果であり、今年度の優れた取り組みとすることができる。その一方で、具体的なティーチング・スキル等については、十分に議論することができなかつた。これは改善を要する点といえることができる。

理工学部

優れた点：

授業評価アンケートの集計とその利用に積極的な取り組みを実施している。これらの活動に学科内の教育関連委員会が活発に機能している様子が全学科で伺える。さらに、アンケート等の分析から、授業改善に着手している（知能情報システム学科、機能物質化学科、機械システム工学科、電気電子工学科等）。活発な教員個々の取り組みと、それら活動結果の共有化も軌道に乗っている（知能情報システム学科、都市工学科）。

JABEE 関連学科においては、社会の要請を教育プログラムに反映させるため、卒業生や企業など学外関係者対象の独自アンケートを実施している。

改善すべき点：

授業改善の取り組みは概ね良好であるが、小人数教育、複数教員担当科目など、共通アンケートを利用するのが適切でない科目の意見聴取がまだ完全でない。意見聴取の方法を含めて検討が必要である。

工学系研究科

優れた点：

工学系研究科でも授業評価アンケートの実施と点検、改善への取り組みがほとんどの専攻で行われている。昨年度、特別コース用に英文の共通アンケート様式も整備され、特別コース科目でのアンケートの実施状況が改善されつつある。

理工学部と同様に、全ての授業において、授業評価アンケートの分析を行っている専攻（物理科学専攻）や、アンケートの分析からカリキュラムを改訂している専攻もある（知能情報システム学専攻、都市工学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻等）。

改善すべき点：

大学院課程では受講生の少ない科目が多く、共通アンケート形式に依らない大学院独自の意

見聴取方法と内容を検討する必要がある。

各学科、専攻の取り組みは以下のとおりである。

理工学部

数理科学科

線形代数および微積分などに関わる基礎学力の向上が見られるのが優れた点であり、更なる数学の諸分野（代数学・解析学・幾何学・応用数学）に関わる学力の増進を図るのが改善を要する点である。

物理科学科

授業評価アンケートの集計とその利用に全学科で独自の取り組みを実施している。具体的には、学科内での共通アンケート全科目を集計し、各教員に配布した

知能情報システム学科

以下のような改善をおこなった。

- ・「卒業研究」評価の客観性を高めるために、卒業研究評価方法を定め、主査 1 名および副査 2 名で評価することにした。この卒業研究評価方法は学生にも公開されている。
- ・平成 21 年度におこなった企業アンケートの結果に基づき、1 年～3 年次にもプレゼンテーション能力が身に付けられるよう、いくつかの科目で学生にプレゼンテーションを義務づけた。
- ・学科 BBS を新設し、学生からの要望や学生情報、講義情報を共有し、オンライン会議も可能になるようにした。
- ・開講前点検・閉講後点検・FD 報告を継続的に行なっており、上記学科 BBS を通じて、これらの情報をいつでも教員が参照できるようにした。
- ・教員間でシラバスの記入項目に差がないよう学科共通のシラバステンプレートを定めた。
- ・卒業式当日、卒業生に対して学習内容に関するアンケートを実施した。

改善を要する点：本年度定めた卒業研究評価方法やシラバステンプレートなどについては、教員によって若干その解釈に差が生じてしまったことがあげられる。

機能物質化学科

学科教員全員が所属する分野別教員会議と、それらを取りまとめる教育プログラム委員会、そして教育活動の点検を行う教育 FD 委員会が機能的に活動している。教育システム上の問題点が学科全体で議論され、改善されるシステムが軌道に乗っている。

実験科目や卒業研究の授業評価には共通形式のアンケートを用いることは適当でない。そこで平成19年度から実験・実習用の独自形式のアンケートを作成し、実施している。また、JABEEプログラムである機能材料化学コースの修了生に対しては、プログラム全体についてアンケートを実施している。この中で、学科の教育改善システムであるPDCAサイクルを紹介し、これについての意見も聴取している。

機械システム工学科

優れている点：改善勧告の基準を明確にし、組織的な改善がなされていること

・FD委員と協議し、当該セメスターの専門教育科目に対する学生による授業評価アンケートにおいて次の2項目において平均が1点台と評価された教員を選ぶ。

- ・声の大きさ・明瞭さは適切だった(1, 2, 3, 4, 5の5段階評価)
- ・話す速さは適切だった(1, 2, 3, 4, 5の5段階評価)
- ・学科長は勧告記録を保管する。
- ・勧告記録は、JABEE実地審査における開示資料とする。

改善を要する点：満足度については、当然のことであるが、実験や実習および卒業研究の評価が総じて高くなっている。すなわち、学生自らが積極的に参加できるような形態でありかつ、学生個々に対して先生またはTAが直接指導できるような形態の科目が、学生の知識修得にとって大切であるということを示している。そこで、学生自らが参画し問題を自ら解決するようなカリキュラムを構成することが重要と考える。

電気電子工学科

電気電子工学科では平成19年度より教員間のピア授業参観を行い、授業参観レポートで教員の目からみた授業改善点の洗い出しを行っている。平成21年度は前期、後期に専門科目および情報処理科目のすべてにつきピア参観を行い、その結果のまとめの報告書を教員に配布し、授業改善の参考としてもらった。平成22年度は実施しなかった。また、学科内に教育改善委員会を設置し、留年問題、定員過剰の問題、学期毎の成績評価の確定、学習内容指導など教育改善に関する議論を行ってきた。さらに、4つの各科目グループ(数学、情報、回路、電磁気学グループ)内でも議論した。

都市工学科

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

る。

改善を要する点として、“予習、復習の実施状況が良くない”、“要点が押さえられていない”、“授業内容への興味/関心が低い”と言った事柄が共通した改善を要する点である。これに対して、“予習のために講義資料をホームページで公開する”、“毎回の授業に、当日の講義内容の理解を進めるためのレポートあるいは演習問題を実施する”、“講義の始めに授業の要点や狙いを述べる”等の改善が行われた。また、一部の授業においては e-Learning の導入も試みた。

一方、平成 18 年度より都市工学科のカリキュラムをこれまでの土木工学主体の教育体系から、建築・都市デザイン系のコースを新たに導入し、学生による授業評価をカリキュラムの改善にどのように生かしていくのか、今後教務・FD委員会を中心に検証していく予定である。

工学系研究科博士前期課程

循環物質化学専攻

平成 20 年度からカリキュラムに専門基礎科目群が導入された。これらの授業に対する授業評価アンケート分析から改善すべき点が指摘された。これらの事項に関し、機能物質化学専攻の分野別教員会議にて、専門の近い教員グループによる授業の改善を続けている。

物理科学専攻

授業評価アンケートの集計とその利用に全学科で独自の取り組みを実施している。具体的には、学科内での共通アンケート全科目を集計し、各教員に配布した。

機械システム工学専攻

優れている点：機械工学の基礎を担う科目を必修とし、より高度な専門科目への導入教育を明確にしていること。

改善を要する点：導入教育に対する学生の評価がさほど高くない。

電気電子工学専攻

学生の自己学習能力、デザイン能力、研究推進能力の向上のため、学部と同様に学科内に教育改善委員会を設置し、教育改善に関する議論を行ってきた。

知能情報システム専攻

カリキュラムを再構成し、必修科目を設定して基礎的な学力を強化するようにした。改善を要する点としては、初年度であったため手探りに実施した内容の改善があげられる。

数理科学専攻

必修3科目の特論特（代数学・解析学・幾何学）の設定により、修士1年生の基礎学力に増進が見られるのが優れた点であるが、その分セミナー指導を受けるために準備する時間を多く取れないのが改善を要する点である。

都市工学専攻

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

改善を要する点として、“分かり易さの工夫が足りない”，“ノート記載量が説明のフォローが出来ない”，“採用した教材選びに対する不満”と言った意見が学生から寄せられている。理解度が低いことが共通した改善を要する点である。英語教材の採用やゼミ形式によるディスカッションの導入が背景にあると考えられる。これに対して，“ノート取得に配慮した要点説明”，“英文テキストの音読導入”，“実務トピックスの紹介”等の改善が行われた。合格率の若干の向上や満足度の向上が見られた科目もある。

先端融合工学専攻

平成22年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。学生は、入試において異なった専門をもつ教員から様々な質問を投げかけられ、講義において様々な分野の講義を取得することができる。また、専攻会議においても、横幹の特徴を生かすべく議論を積み重ねている。以上が優れている点である。

一方、様々な出身母体から学生が集まってきているため、個々の学生の修学履歴に応じた指導および評価が大切であるが、なかなか実現には至っていないのが現実である。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

関連する各学科に連動して、逐次評価している。

(3) 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

文化教育学部および教育学研究科

なによりも、今以上に授業評価アンケートの実施率と回収率をあげることである。この目標の達成はWebによるアンケート集計が行われるにともなってますます困難になることが予想されるが、FD専門委員会とも連携をとって、学部一丸となって努力しなければならない。

昨年同様、非常勤講師の授業と通年の授業でアンケートの実施率が低くなっている。この点の改善が引き続き必要である。また、アンケートの結果を個人に渡すだけでよいのか、さらに別の有効活用がないのか、などを検討することが今後の課題である。

教育学研究科では例年のことであるが、小人数教育における学生の授業評価の方法が問題でとされる。アンケートをとらなくても、学生の意向は理解しているという見地から、アンケート実施に疑問を抱く教員が存在する。この点での有効な対策も検討しなければならない。

経済学部・経済学研究科

授業評価アンケートの結果を踏まえ、特に改善すべき点としては、現在低い水準にとどまっている自学自習（予習復習）の状況について、その向上を促すための方途を検討することが挙げられる。

理工学部

授業評価アンケートの実施が徹底され、全ての学科でアンケート結果を独自に分析し、授業改善や評価の高い授業科目の情報を利用する試みがおこなわれている。アンケート結果からカリキュラム改訂や学科レベルでの教育方法の改善に取り組んでいる状況である。今後はこれらの改善の点検・評価に取り組んでいく必要がある。

工学系研究科

特別研究や特別コース科目などの小人数教育における学生の授業評価の方法を議論し、アンケート実施を徹底する。平成22年度に実施されたカリキュラム改訂や教育課程の再編に関する教育効果の検証が必要である。

各学科・専攻の取り組みは下記のとおりである。

理工学部

数理科学科

卒業研究に繋がる学力の増進を図る。

物理科学科

レメディアル教育や補習授業の必要性が指摘されているが、その対策の1つとしてe-Learningを利用する方法がある。本年度はいくつかの科目について実戦された。また関係する講習会への参加者も増加した。次年度はさらに実践する教員が増えることを期待する。

知能情報システム学科

卒業研究評価方法やシラバステンプレートなどについて、教員によって解釈に差が生じないように解説文を整備し、次年度は全教員が同じ解釈の下で、授業や評価を実施できるようにする。また、卒業生に対するアンケートも実施し、授業やカリキュラム構成に反映させたい。

機能物質化学科

授業評価アンケートの分析方法について再度検討する。アンケートの分析結果による授業改善に学科全体で取り組みたい。

機械システム工学科

改組に伴い教員および科目内容の変更があったが、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図っていく。同時に導入教育の内容の検討を継続する。

電気電子工学科

- ・ 教育改善委員会を定期的で開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
- ・ 学生に対して、電気電子工学科開講科目全体に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。科目分野別の委員会において、学習教育目標、シラバス、試験内容、評価方法の整合性のチェックを行う。
- ・ 教員間のピア授業参観を行い、授業改善点の洗い出しを行う。

都市工学科

引続き“学生の予習、復習不足の解消”に向けた授業改善に取り組む。加えて、“建築士等の資格へ対応する講義内容の変更・強化”等を通じて、“学習の動機付け”を与えるような工夫を行う。

工学系研究科博士前期課程

機能物質化学専攻

授業評価アンケートの分析方法について再度検討する。アンケートの分析結果による授業改善に専攻全体で取り組みたい。

物理科学専攻

学部と比較して、専攻では独自アンケートを利用する科目の割合が多かった。今後はこれら

の独自の取り組みに関する相互交流を深め、有効な方法を模索していきたい。

機械システム工学専攻

改組に伴い、教員および科目内容が変わるので、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図る。同時に導入教育の内容をさらに精選する。

電気電子工学専攻

教育改善委員会を定期的に開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
学生に対して、電気電子工学専攻開講科目全体に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。

知能情報システム専攻

講義内容の改善を図る。

数理科学専攻

修士論文作成に関わる学力と表現力を身につけさせる。

都市工学専攻

英語苦手意識の解消を目指して英語によるコミュニケーション能力の改善を図る。

先端融合工学専攻

平成22年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。次年度は、初めての博士前期課程の修了生を送り出すこととなる。そこで、論文の最終審査においても、横幹的な特徴を生かすような運営を実現する。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

学生が所定の年限で修了できるよう教育・研究指導することが基本であり、各指導教員は研究指導実績報告書の指導計画に基づいて改善を加えながら着実に遂行している。

農学部・農学研究科

授業評価・改善の前提となる最も大きな課題は、大学院生のアンケート入力率をあげることである。最初にも述べたように、応用生物コース以外の4コースについては、後期から授業

評価の調査方法が変わった影響もあると考えられるが、後期の入力数が10未満とたいへん少ないため、分析には限界がある。

以上をふまえたうえで、アンケートの分析結果をみると、全体として農学研究科の院生は授業内容および教員の教育に対する取り組み等については、高い満足度を示しているという実態が明らかになり、教員側のより良い講義を作り上げる努力が実を結びつつあることが感じられた。

一方で、今後の課題も残されている。学習目標や成績評価基準の理解、授業内容の理解については、それぞれ前後期とも一貫して評価が低いコースがあり、院生の指導教員は、今後も継続して授業内でのガイダンスを実施するなどの努力が必要である。また、大学院のシラバス入力が学部と比べて徹底されていないコースもあることが推察されるため、改善の努力が必要である。

組織的な取り組みとしては、学部と同様、大学院においてもカリキュラム改正の動きがある。生命機能科学コースでは、カリキュラム改正に伴い、コース校正教員12名がオムニバス形式で最新の機器分析法の原理・操作法について解説し、学生が実際に装置にふれる機会を設けるなど、実学的な興味と知識を得るための新たな必須科目が開講予定である。

表1 部局別の授業評価アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	平成22年度前期			平成22年度後期		
	実施数	対象数	実施率	実施数	対象数	実施率
文化教育学部	337	457	73.7	427	486	87.9
経済学部	110	148	74.3	151	174	86.8
医学部						
理工学部	205	239	85.8	207	233	88.8
農学部	97	125	77.6	114	119	95.8
教養教育運営機構	261	447	58.4	361	385	94.0
全体	1010	1416	71.3	1260	1397	90.2
教育学研究科	68	100	68.0	91	156	58.3
経済学研究科	5	19	26.3	20	29	69.0
医学系研究科						
工学系研究科	123	156	78.8	110	134	82.1
農学研究科	59	86	68.6	48	97	49.5
全体	255	361	70.6	269	416	64.7

通年の講義については後期に含めている。

医学部の授業評価アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	平成22年度前期			平成22年度後期		
	実施数	対象数	実施率	実施数	対象数	実施率
医学部				147	149	98.7
医学系研究科	34	36	94.4	72	73	98.6

Ⅲ 授業評価アンケートの結果と分析

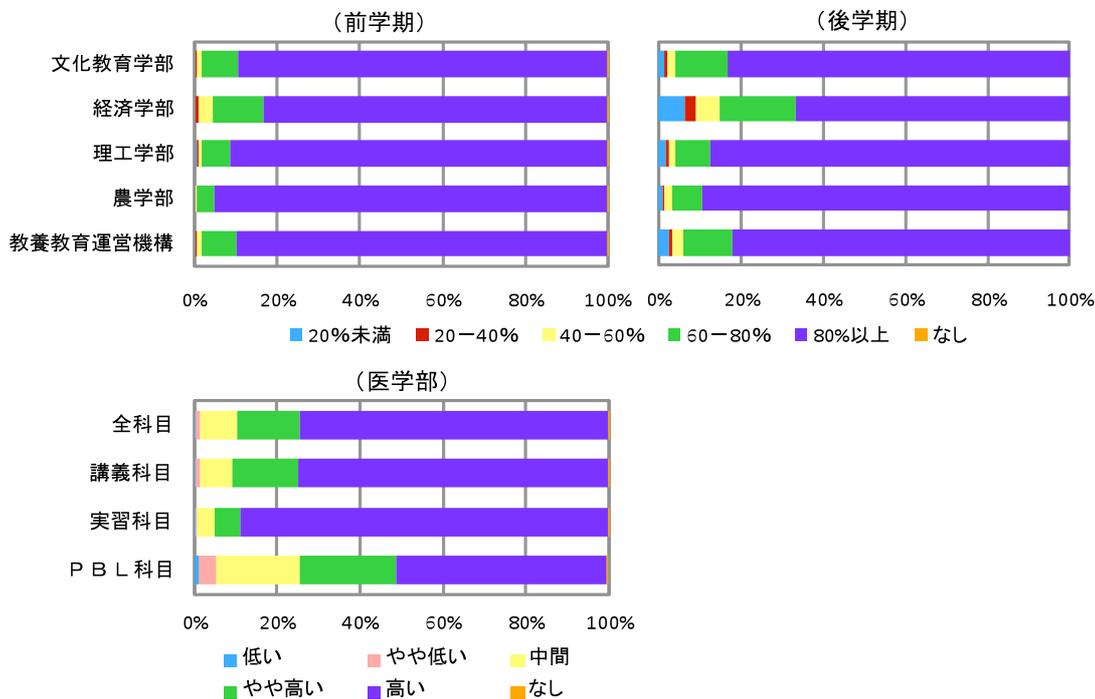
平成 22 年度に佐賀大学で実施した授業評価アンケートは 4 種類ある。独自形式アンケートに関しては統計処理を行うのに適していないため、ここでは共通アンケート様式による授業評価アンケート、医学部授業評価アンケートおよびネット授業アンケートについてのみ取り扱うものとする。研究科別分析については、研究科で回答した学生数に隔たりが大きく、その回答傾向も偏っていることがこれまでの調査から見られたため、今回は実施しなかった。今回は新たに学部毎に授業評価アンケートを点検したのであわせて報告する。

また、分析するアンケート項目は授業評価アンケートのもののみとして、医学部については共通アンケート様式に準ずる項目が設定されている場合についてのみ、学部別の分析において言及することとする。なお、医学部は前学期、後学期とする学期制ではなく、フェーズに分けた期間を用いているため年間結果を用いた。ただし、科目毎にアンケート様式が若干異なるので講義科目、実習科目、PBL 科目とそれらを総合した全科目に分けて表示した。

Ⅲ-（１）学部別の結果と解析

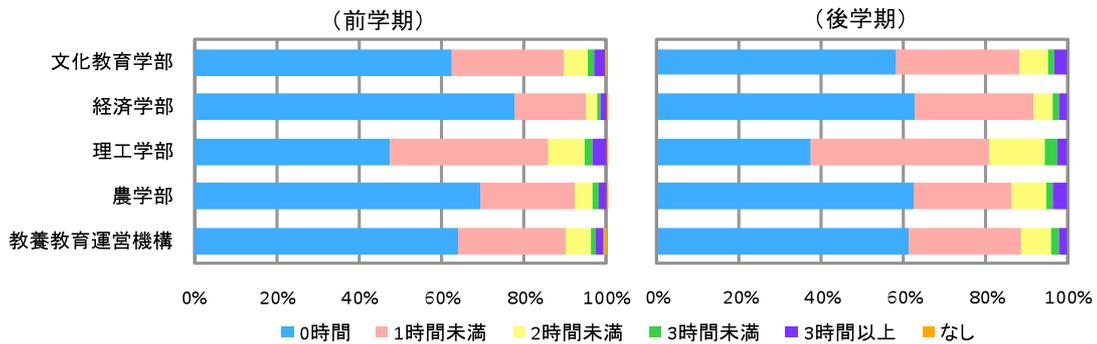
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



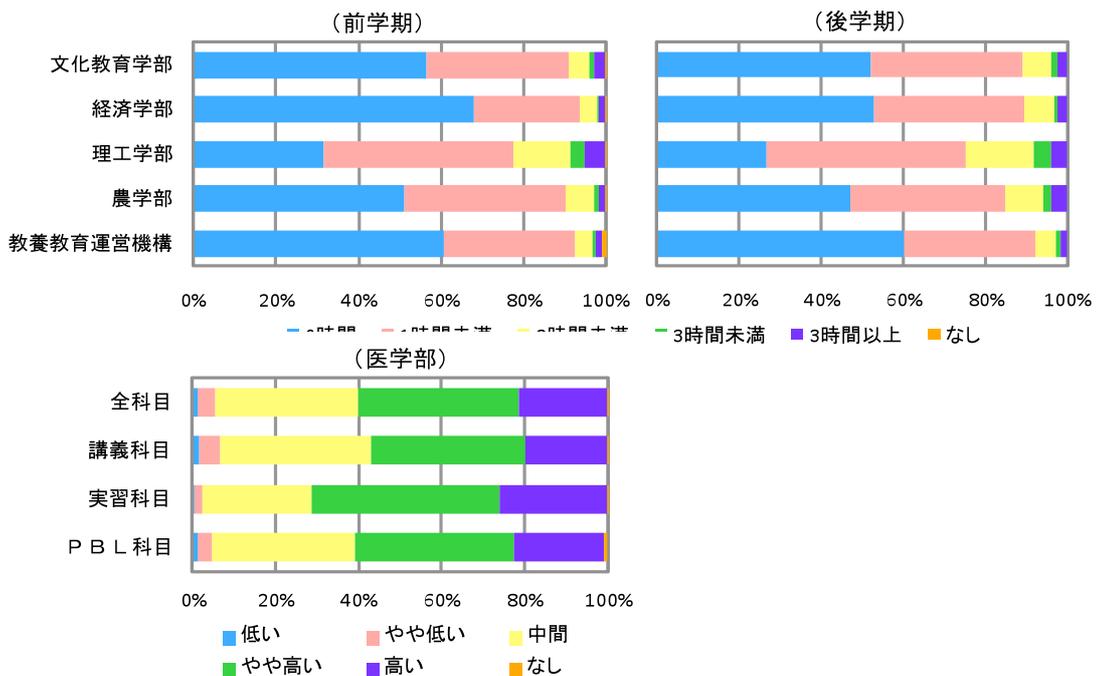
前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。いずれの学部とも良好な出席状況であると言える。経済学部で後学期に出席率が「20%未満」の学生がやや目立っている。医学部では PBL 科目の出席状況にやや低い傾向が見られる。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



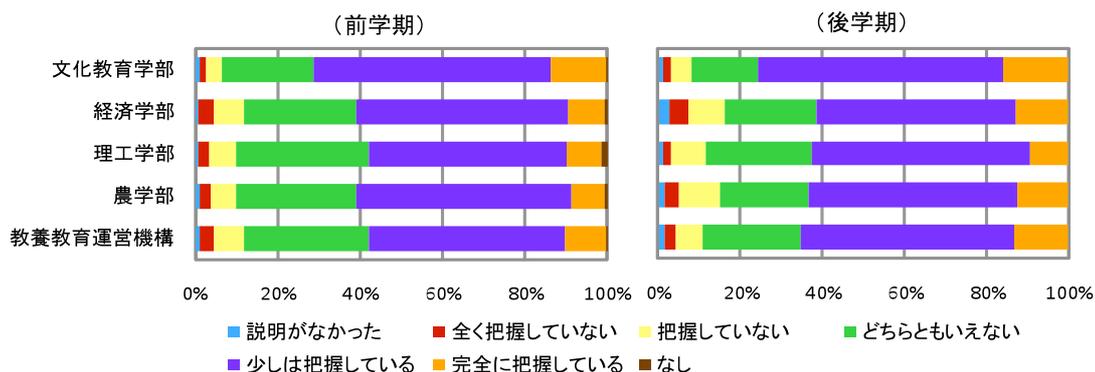
前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。依然として予習時間が「0時間」と回答する学生が目立っている。時間数は十分でないが、理工学部は50-60%の学生が「1時間未満」以上の予習を行っている。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



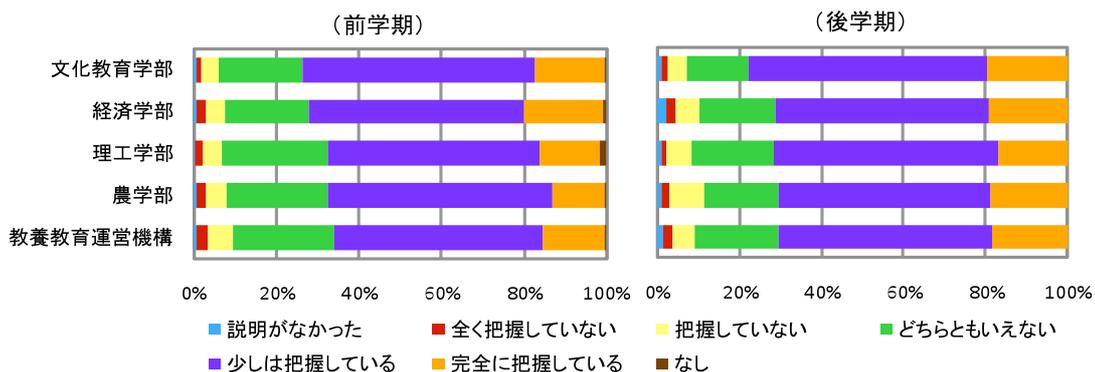
ここでも前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。復習に取り組んでいる学生は、予習に比べると全学部、機構ともやや多く見られる。理工学部と農学部では、「1時間未満」以上の回答が、50-75%である。医学部は約60%が「高い」及び「やや高い」の解答をしており、復習の指導が徹底していると思われる。

A-4 この授業の学習目標を把握している



ここでも前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。授業の学習目標を「完全に把握している」、「少しは把握している」と回答している学生は 60%程度であり、文化教育学部でやや高い傾向が見られる。

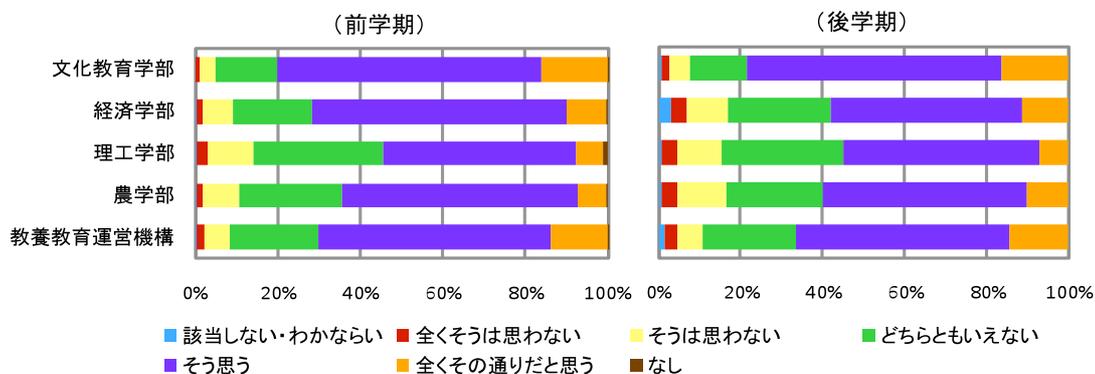
A-5 この授業の成績評価基準を把握している

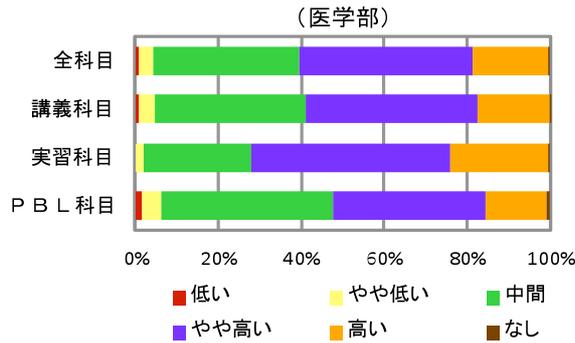


標を「把握していない」「全く把握していない」学生は 10%未満とと少なかった。オンラインシラバスや授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断される。

B. 授業内容及び授業方法

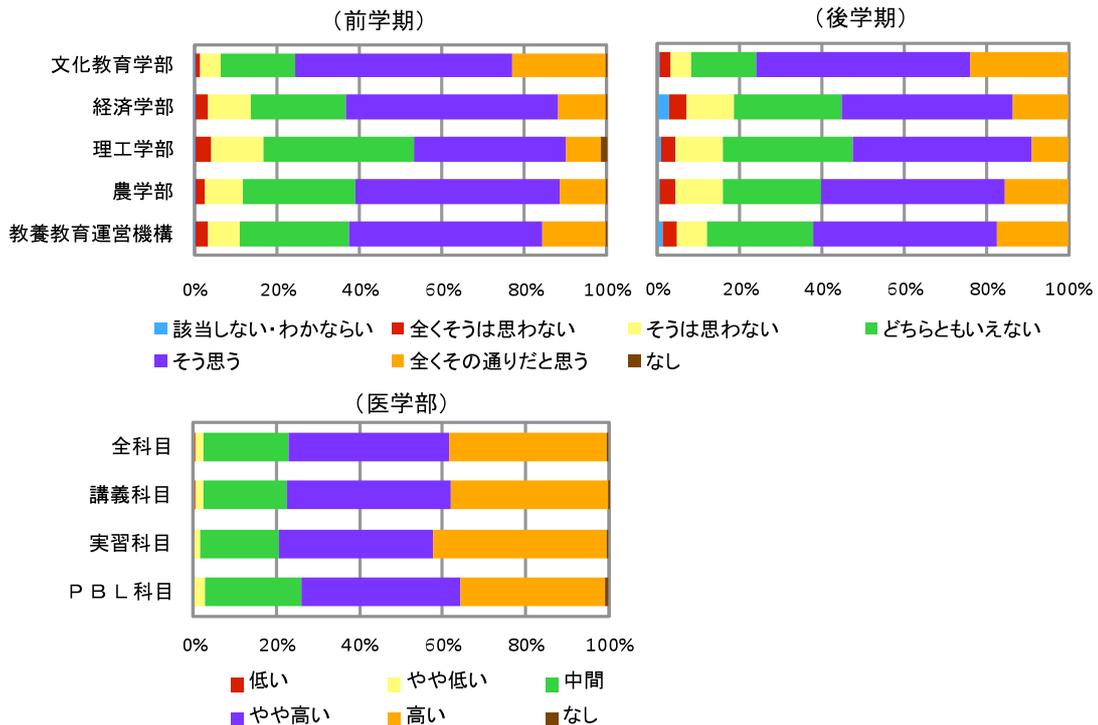
B-1 この授業の内容は理解できる





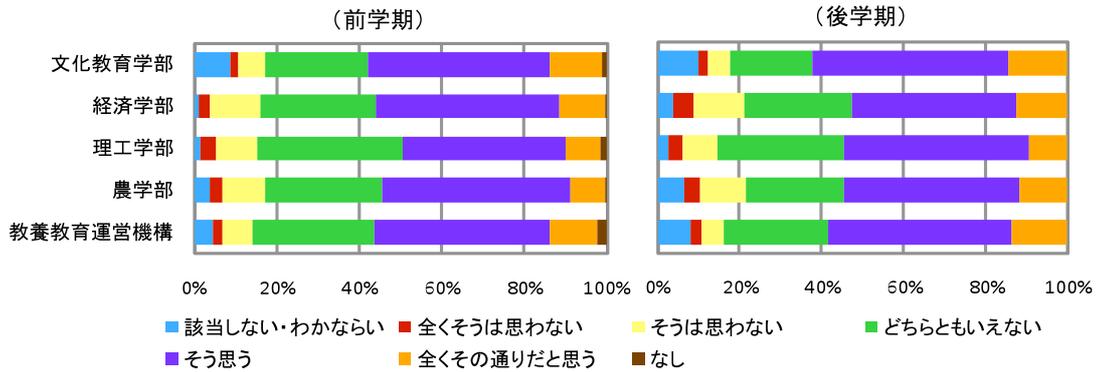
文化教育学部で 80%近くの学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している。その他の学部、機構でも約 60-70%が肯定的な回答をしており、授業の内容は概ね学生に適切であると判断される。一方、理工学部ではこれが 50%近くまで下がっている。分野による特性と考えられるが、カリキュラム単位で授業の点検を必要とする項目であろう。また、「前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。医学部は約 60%が「高い」及び「やや高い」の解答をしており、内容への興味を持たせる指導が行われていると判断される。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



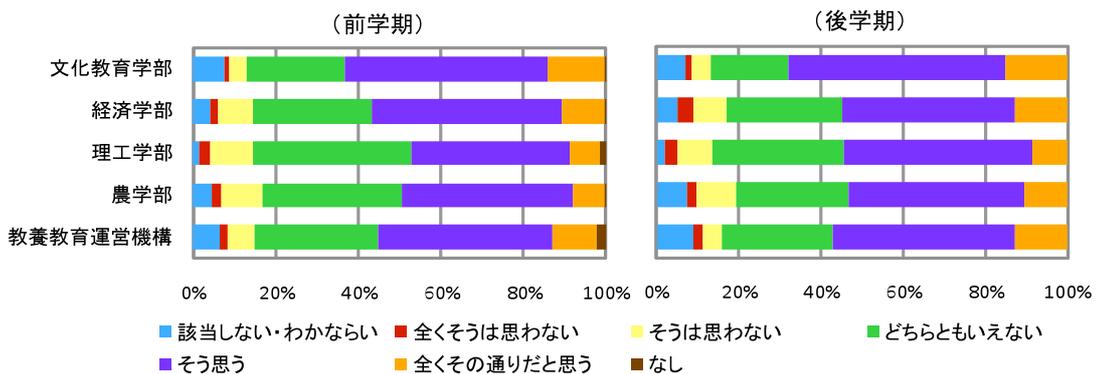
文化教育学部で 80%近くの学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している。理工学部を除くその他の学部、機構でも約 60%が肯定的な回答をしており、多くの授業で学生の興味を増す授業がおこなわれていると判断される。一方、理工学部ではこれが 50%近くまで下がっている。分野による特性と考えられるが、改善を期待したい。また、「前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



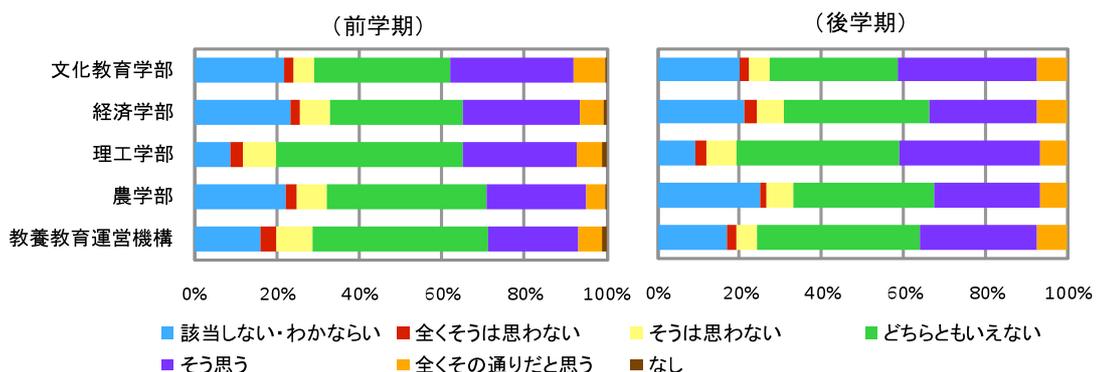
「前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。黒板、ホワイトボード、スライド等視聴覚教材の使用に関しては、概ね好評であると判断される。いずれの学部、機構においても「そうは思わない」、「全く相は思わない」という否定的な回答が 10%前後ある。分野や授業内容による差異は当然考えられるが、改善を期待したい。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



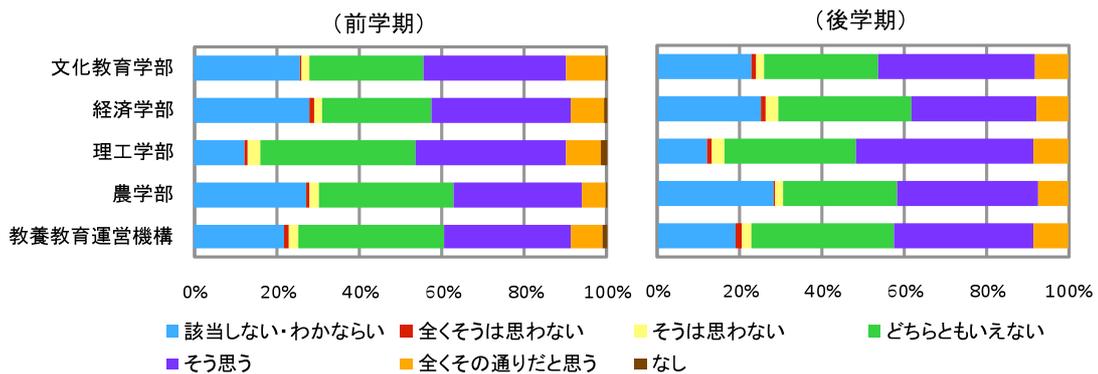
前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。テキスト等の教材を用いない健康・スポーツ科目を除き、半数以上の学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、適切な教材が用いられていると判断される。前項の質問と同様に、いずれの学部、機構においても「そうは思わない」、「全く相は思わない」という否定的な回答が 10%前後ある。これについても改善を期待したい。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



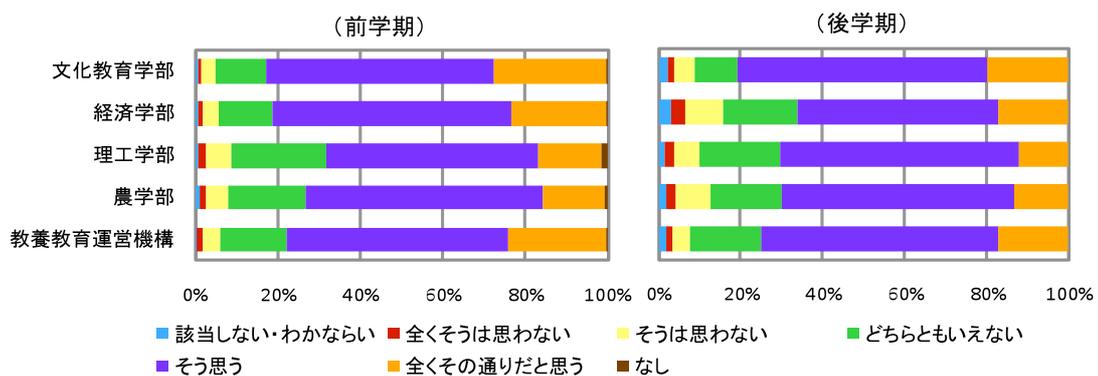
シラバスの学習への効果について「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が30-40%いることからシラバスが効果的に機能しているとも判断できるが、しかし、最も多い回答は「どちらともいえない」であり、全体の40-50%を占めている。「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の10%の回答とあわせて、検討が必要になると思われる。やや前学期と後学期で回答の傾向に差が見られるが、学部間の傾向は同じである。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



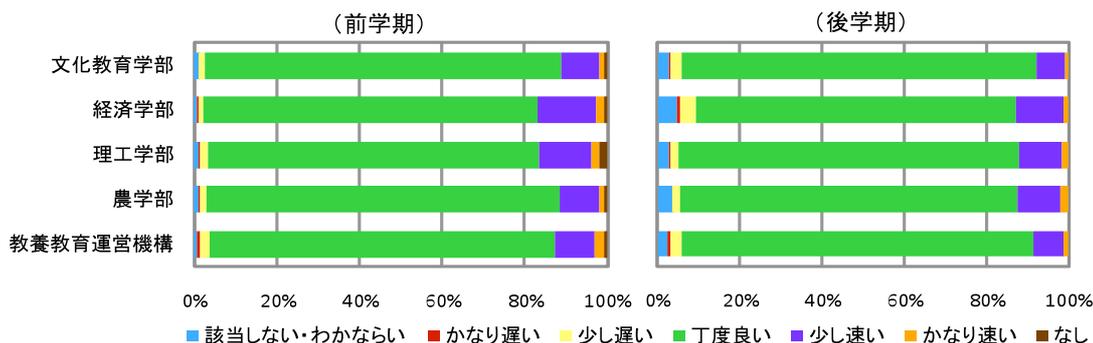
授業計画に関する質問では、前の質問と比較して、否定的な回答が少ない。「該当しない・わからない」の回答が20%強と目立っているが、授業の内容が把握できていないか、シラバスから判断できないのか調査が必要であろう。理工学部でこの傾向がやや低い。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



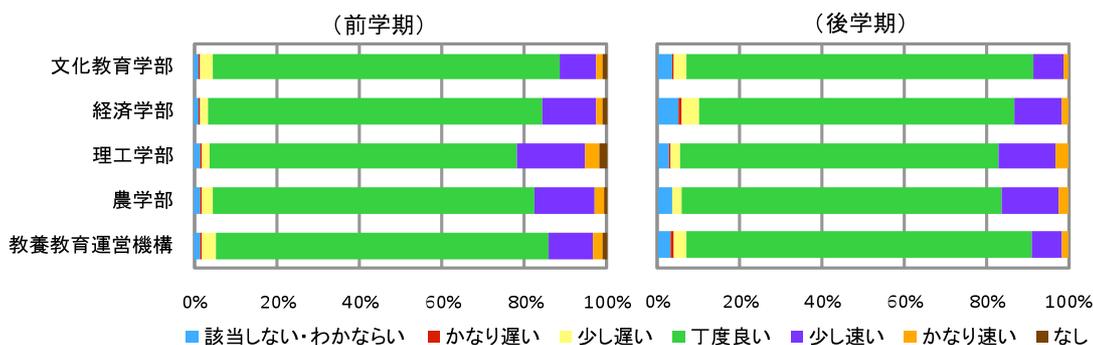
「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が70-80%であり、良好な評価と言える。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

B-8 話す速さは適切だった



ほとんどの授業で話す速さは適切であったと判断される。前学期に比べ、後学期の回答に「該当しない・わからない」の回答が増加している。後学期のアンケートは LiveCampus を用い web 上で実施したことが関係しているかもしれない。

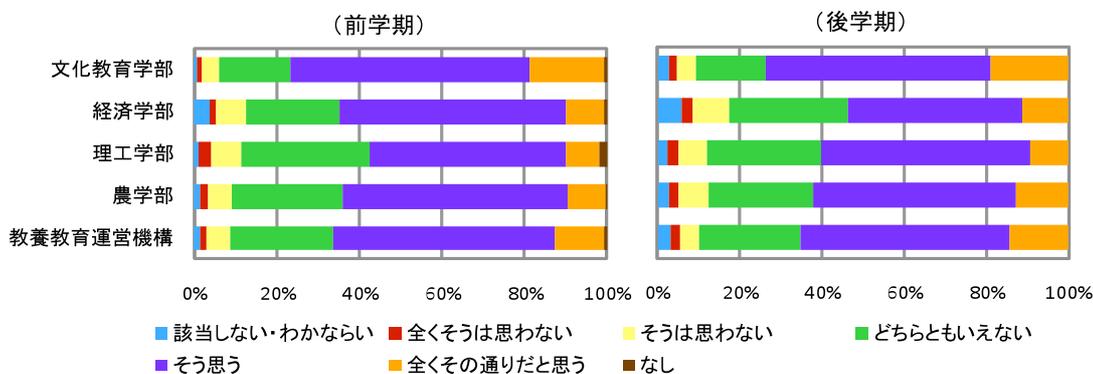
B-9 授業の進む速さは適切だった



ほとんどの授業で適切な速度で授業が進められていると判断される。前学期に比べ、後学期の回答に「該当しない・わからない」の回答が増加している。後学期のアンケートは LiveCampus を用い web 上で実施したことが関係しているかもしれない。

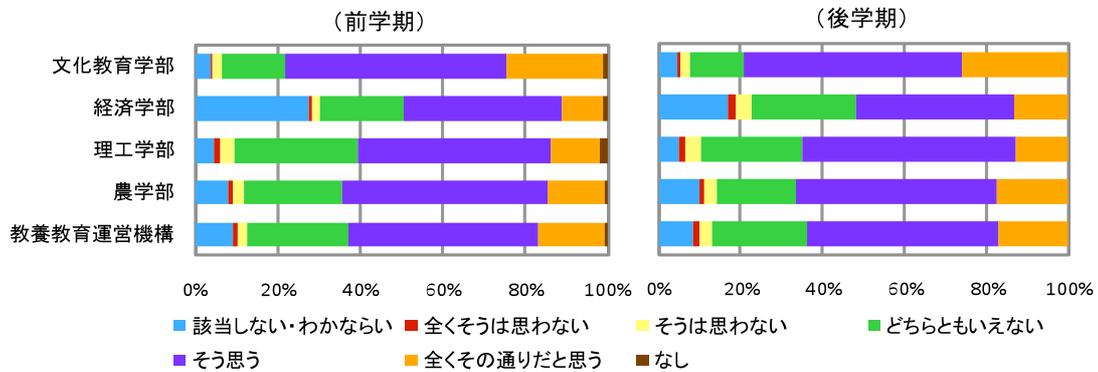
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が60-70%であり、教員の授業への取り組みが評価されている。文化教育学部の評価がやや高い傾向にある。「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の回答が約10%ある。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

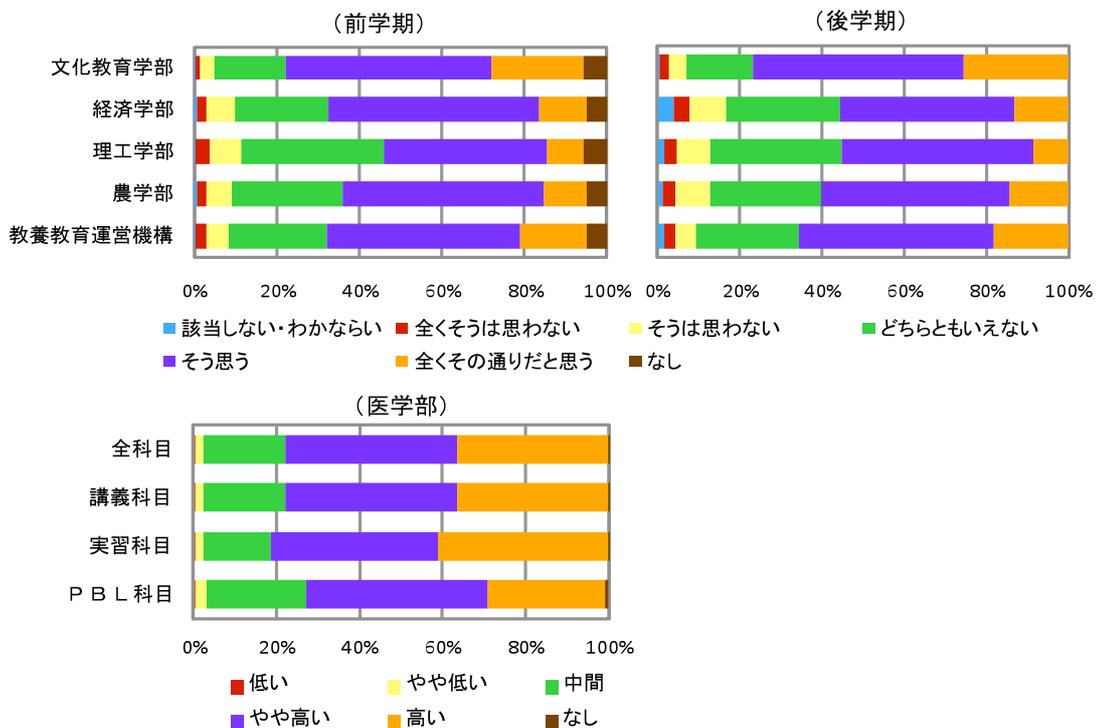
G-2 学生の質問に適切に対応している



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答をみると、文化教育学部が最も高く、約80%の学生が肯定的に評価している。一方、経済学部は「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が約50%であり、「該当しない・わからない」の回答が20-30%近い。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生は、文化教育学部で約 70%と最も高い。理工学部を除く、他の学部、機構でも、60%前後であり、概ね満足いく授業がなされていると判断される。一方、理工学部でこの割合がやや低い。後学期の経済学部で「該当しない・わからない」と回答している学生が見られる。学部、機構においていくらか差はあるが、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の回答が 10%前後ある。ウェブアンケートシステムにも自由記述欄を設けるなどして、否定的な回答の理由を調査する必要があるだろう。医学部は約 80%が「高い」及び「やや高い」の解答をしており、授業の満足度が高いと判断される。

佐賀大学文化教育学部

佐賀大学大学院教育学研究科

平成 22 年度前学期「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 23 年 3 月

佐賀大学文化教育学部

FD 委員会

概要

学生による授業評価は全教員の授業改善と部局ごとのカリキュラム改善のために計画されたものである。したがって、全学部にわたってのアンケート実施が求められるところである。この制度は平成 18 年度後学期から始まり、原則として全ての授業科目について実施の義務化を図ることとなり、実験・実習等にも対応した全教科共通の新アンケート用紙が配布されることとなった。以下ではそのような主旨のもと、平成 22 年度前期の学生を対象に行われた「学生による授業アンケート」結果を基に、文化教育学部 4 課程および大学院教育学研究科の 2 専攻における組織分析を行いたい。

平成 22 年度前学期の文化教育学部および大学院教育学部研究科におけるアンケート実施科目数と実施率はそれぞれ以下のものであった。

平成 22 年度前学期 個別授業アンケートの実施率

	アンケート実施科目数	アンケート未実施科目数	アンケート実施率(%)
文化教育学部			
学校教育課程	168	13	92.8
国際文化課程	99	16	86.0
人間環境課程	65	19	77.3
美術・工芸課程	18	14	56.2
計	350	62	84.9
	アンケート実施科目数	アンケート未実施科目数	アンケート実施率(%)
大学院教育学研究科			
学校教育専攻	11	4	73.3
教科教育専攻	57	14	80.2
計	68	18	79.0

アンケート未実施科目のうち、他学部用事の教員免許状取得科目は除く。未開講の科目も除く。

文化教育学部の昨年度前期の実施率が 80.0%であった。今年度前期の実施率は 84.9 となっており、約 5%の伸を示した。この点は評価できると言える。しかし、目標は全教科でのアンケート実

施であるので、今後一層の努力が必要である。一方、大学院では、昨年度のアンケート実施率 71% を今年度は 8% 程度上回っている。この伸び率も評価できるが、学部同様今後さらに大学院においても一層の努力が必要である。

文化教育学部組織別授業評価分析

はじめに

昨年度までは、各課程・各専攻の講義と演習両面からの計をとっていたが、過去 3 年間（合計 6 回位）の分析から、講義と演習の結果にそれほど差異がみられないことから、この観点からの分析は廃止した。

以下の分析の基になるデータは、学期ごとに最後に添付している。なお、前期と後期のグラフは学部・大学院ともに前期の分析の後にまとめて添付している。

I. 学校教育課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1) 出席率

約 90% 以上の学生が出席率 80% 以上であると答えた。出席率が 60% 以下の学生数が全体の約 2% に満たないことを考えると、学校教育課程における出席率の高さは、大いに評価できる。

A2) 予習をどの程度しているか

予習時間については約 64% の学生が 0 時間としており、半数以上の学生が授業の予習をしていないことがわかる。予習 1 時間未満までの学生を含めると、約 90% 以上にになり、このことは多くの授業科目で予習が学生に課せられていないことを窺わせる。

A3) 復習をどの程度しているか

復習については 57% の学生が 0 時間、33% の学生が 1 時間未満であり、合わせると 90% の学生がほぼ復習をしていないことがわかる。A2) の項目と合わせると、学校教育課程では、学生による予習、復習はほとんど行われていないことがわかる。

A4) 学習目標を把握しているか

70% 以上の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた点で、多くの学生

が授業の学習目標を理解していることがわかるが、「どちらともいえない」と答えた学生も 23% おり、この項目の達成にはさらに努力が必要である。シラバスの中やオリエンテーションの際に、学習目標を明確に学生に伝える必要があると思われる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約 16%、「少しは把握している」と答えた学生が 57%いた。両者を合わせても 73%の学生が把握していると解答した。一方で、「全く把握していない」、「把握していない」と答えた学生の数は 4.1%であった。この数字はすべての課程の中で最も低い数値であり、学校教育課程がこの項目達成に努力をしていることがわかる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約 80%おり、昨年前期の 77%に比べると若干増えた。このことから学生が当該の授業の内容を理解していることが窺える。

B2)内容への興味が増したか

この科目では、約 76%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えており、昨年度前期の 70%に比べると、数値はかなり上昇した。学校教育課程では B1)の「内容の理解度」と B2)の「それに対する興味」が同じように高い数値を示していることから、この点での改善がみられる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、44%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は 13%であった。この数値は昨年とほぼ変わらない。二つを合わせても 6割に満たないが、このことからただちに黒板等が有効に使われていないと結論づけることはできない。なぜなら、「該当しない・わからない」と答えた学生数が全体の 7%しかいなく、黒板等を用いないで授業をしているケースが多くあると考えられるからである。

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 51%、15%であり、昨年度より若干上昇した。「該当しない・わからない」が約 8%にのぼっていることから、特定の教材を用いないで授業を行っているケースが少なからずあるということを示唆している。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」「全くその通りだと思う」を合わせても、全体の4割しかいなかった。このことから、学校教育課程においても他の課程同様、依然シラバスの有効活用がなされていないことがわかる。現在シラバスは簡単にネットで検索できることを考えると、学生に対してシラバスの閲覧を徹底することが望まれる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

授業内容はシラバスに沿っているかという設問に対しても「該当しない・わからない」が27%にのぼっている。この数値は昨年と同じであり、学生がシラバスを事前に関覧していないことがわかる。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、83%の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えた。逆に「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の数が3%に満たず、この項目の結果は満足の中である。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては90%が「丁度いい」と答えている。「かなり早い」と「かなり遅い」を足しても1%未満であることから、教員の話すスピードが適切であることが窺える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、88%の学生が「丁度いい」と答えた。この数字も他の課程に比べて高く、学校教育課程がこの点に関して努力していることがわかる。B8)とB9)がこの課程において共に高いことは、両者に相関関係があることのしるしである。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ19%、59%であり、昨年前期の14%、53%よりも数値の上で上がっている。この課程での改善の跡がみられる。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ53%、23%であり、合計が7割を超え、高く評価できる。他方で、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の合計の3%に満たないことから、この課程の教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 23%, 51%であり、合計すると 7 割以上の学生が授業に満足していることがわかる。一方で、「どちらともいえない」、「そうは思わない」が 19%近くいることから、改善の余地はあるようである。

II. 国際文化課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約 90%以上の学生が出席率 80%以上であると答えた。出席率が 60%以下の学生数が全体の約 2%に満たないことを考えると、国際文化課程における出席率の高さは、大いに評価できる。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約 50%の学生が 0 時間としており、この数字は昨年度とほとんど変わらない。半数の学生が授業の予習をしていないことがわかる。ただしこの数値は他の課程と比較した場合、最も少ない数値であることから、国際文化課程の学生が他の課程の学生に比べ、予習を多くやっていることは確かである。

A3) 復習をどの程度しているか

復習についても 50%の学生が 0 時間であるが、A2)同様、この数値は 4 課程の中で最も低い。ただし、1 時間未満の学生が 41%おり、両方を合わせると 90%以上の学生がほとんど復習をしていないことがわかる。A2)の項目と合わせると、国際文化課程では、学生による予習、復習はほとんど行われていないことがわかる。

A4)学習目標を把握しているか

70%以上の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた点で、多くの学生が授業の学習目標を理解していることがわかる。しかし、「どちらともいえない」と答えた学生も 21%おり、この項目の達成にはさらに努力が必要である。シラバスの中やオリエンテーションの際に、学習目標を明確に学生に伝える必要があると思われる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約 16%、「少しは把握している」と答えた学生が 57%いた。この数値は他の課程における数値とほぼ変わらない。一方で、「全

く把握していない」、「把握していない」と答えた学生が約6%おり、この課程のこの項目における改善が必要である。

B) 授業内容および授業方法

B1) 授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約82%であり、学生が当該の授業の内容をよく理解していることが窺える。

B2) 内容への興味が増したか

この項目では、約76%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えており、昨年度前期とほぼ同じ数字であり、高い評価を得ている。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、49%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は14%であった。この数値は昨年とほぼ変わらない。二つを合わせても6割に満たないこと、さらに「該当しない、わからない」が2%であることを考慮に入れると、この課程での黒板等の活用が十分なされていないことがわかる。この点の改善が求められる。

B4) 教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ51%、15%であり、この点は学校教育課程と全く同じである。また、昨年度の60%に比べると改善はされた。

B5) シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」「全くその通りだと思う」を合わせても、全体の4割に満たない。このことから、国際文化課程においても他の課程同様、依然シラバスの有効活用がなされていないことがわかる。現在シラバスは簡単にネットで検索できることを考えると、学生に対してシラバスの閲覧を徹底することが望まれる。

B6) 授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても「そうは思わない」、「全くそうは思はない」が10%近くあり、学生がシラバスを事前に閲覧していないことがわかる。最初の授業でシラバスを紹介するなどの対策が必要であろう。

B7) 声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、86%の学生が「そう思う」「全くそ

の通りだと思う」と答えた。逆に「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の数が2.6%であり、この項目での成果は上がっている。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては90%が「丁度いい」と答えている。「かなり早い」と「かなり遅い」を足しても1%未満であることから、教員の話すスピードが適切であることが窺える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、80%の学生が「丁度いい」と答えた。この数字は他の課程に比べて最も低く、国際文化課程の教員による改善が望まれる。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ20%、59%であり、昨年前期の数字よりも若干落ちている。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ56%、25%であり、合計が8割を超え、高く評価できる。他方で、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の合計の1%にとどまり、この課程の教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ23%、52%であり、合計すると7割以上の学生が授業に満足していることがわかる。これは学校教育課程とほぼ同等の高い数値である。一方で、「どちらともいえない」、「そうは思わない」が19%近くいることから、改善の余地はあるようである。

III. 人間環境課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約86%の学生が出席率80%以上であると答えた。出席率が60%以下の学生数が全体の約2%に満たないことを考え合わせると、この課程の出席率は高いと言える。

A2) 予習をどの程度しているか

予習時間については約 71%の学生が 0 時間としており、大部分の学生が授業の予習をしていないことがわかる。予習 1 時間未満までの学生を含めると、約 91%以上にになる。予習を必要としない授業が多いのか、あるいは、学生が単に予習をしないのかの、これだけでは判断はつかない。

A3) 復習をどの程度しているか

復習については 61%の学生が 0 時間、33%の学生が 1 時間未満であり、合わせると 90%の学生が復習をしていないことがわかる。 A2)の項目と合わせると、人間環境課程では、学生による予習、復習はほとんど行われていないことがわかる。この傾向は昨年と同様である。

A4) 学習目標を把握しているか

63%の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた。この数字は 4 課程中最低である。「全く把握していない」、「把握していない」の合計が 8%を超え、この点も 4 課程中最低である。この課程のこの点での改善が要求される。

A5) 成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約 16%、「少しは把握している」と答えた学生が 52%いた。両者を合わせると 67%の成績評価基準を把握していると解答した。この数字は 4 課程中最下位である。一方で、「全く把握していない」、「把握していない」と答えた学生の数は 8%で、4 課程中最下位である。人間環境課程におけるこの点の改善が求められる。

B) 授業内容および授業方法

B1) 授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約 70%であり、昨年度とほぼ同じである。このことから学生が当該の授業の内容を理解していることが窺える。

B2) 内容への興味が増したか

この項目では、約 70%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えている。しかし、「全くそうは思わない」、「そうは思わない」12%で他の課程中最低である。さらに学生に対し興味の持てる授業を工夫する必要があるだろう。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、34%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は 10%であった。二つを合わせても 5 割に満たないが、このことからただちに黒板等が有効に使われていないと結論づけることはできない。なぜなら、「該当しない・わからない」と

答えた学生数が全体の 8%しかいなく、黒板等を用いないで授業をしているケースが多くあると考えられるからである。

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 40%、10%であり、昨年度より若干低くなった。「該当しない・わからない」が約 8%にのぼっていることから、特定の教材を用いないで授業を行っているケースが少なからずあるということを示唆している。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、全体の 33%しかいなかった。このことから、この課程においても他の課程同様、依然シラバスの有効活用がなされていないことがわかる。現在シラバスは簡単にネットで検索できることを考えると、学生に対してシラバスの閲覧を徹底することが望まれる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても「該当しない・わからない」が 24%にのぼっている。この数値は昨年と同じであり、学生がシラバスを事前に閲覧していないことがわかる。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、71%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた。この数字自体は悪くないが、4 課程中最低であることから、更なる努力が必要である。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては 83%が「丁度いい」と答えている。「かなり早い」と「かなり遅い」を足しても 2%未満であることから、教員の話すスピードが適切であることが窺える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、79%の学生が「丁度いい」と答えた。この数字は満足のゆく数字である。「かなり速い」、「少し早い」が 11%あることから、教員の話すスピードをもう少し遅くすればさらに良い結果がでるであろう。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 13%、50%であった。また、「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の合計が 11%あり、4 課程中最低である。

授業へのさらなる工夫が必要であろう。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 50%、20%であり、合計が 7割を超え、評価できる。しかし一方で、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の合計は 6%であり、この数字は他の課程の 2 倍に当たる。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 17%、44%であり、合計すると 6 割である。一方で、「全くそうは思わない」、「そうは思わない」が 10%を超すことから、この課程のさらなる努力が望まれる。

IV. 美術・工芸課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約 81%の学生が出席率 80%以上であると答えた。出席率が 60%以下の学生数が全体の約 3%に満たないことを考え合わせると、この課程の出席率は高いと言える。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約 75%の学生が 0 時間としており、大部分の学生が授業の予習をしていないことがわかる。予習 1 時間未満までの学生を含めると、約 88%以上にになる。この点は他の課程と同じであるが、美術・工芸課程に特徴的なことは、3 時間以上予習している学生が 8%おり、この数字は他の課程と比較した場合群を抜いて高い。このことは、この課程で予習時間を要する授業が多いことを示唆する。

A3) 復習をどの程度しているか

復習については 70%の学生が 0 時間、17%の学生が 1 時間未満であり、合わせると 87%の学生が復習をしていないことがわかる。しかし、A2)の場合同様、3 時間以上復習をしている学生が 10%おり、他の課程と比較した場合、5 倍程度の率の高さである。一部の授業で、たくさんの時間の復習が必要であることがわかる。

A4)学習目標を把握しているか

64%の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた。この数字は4課程中下から2番目の数字である。しかし、「全く把握していない」、「把握していない」の合計が5%台であり、この点は評価できる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約16%、「少しは把握している」と答えた学生が55%いた。両者を合わせると66%であり、他の課程とほぼ変わらない。一方で、「全く把握していない」、「把握していない」と答えた学生数は6%で、4課程の中では高いほうである。美術・工芸課程におけるこの点の改善が求められる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約90%で、4課程中最も高く、大いに評価できる。学生が当該の授業の内容を十分理解していることが窺える。

B2)内容への興味が増したか

この項目では、約90%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えている。この点も4課程中最も良い成績であり、評価できる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、50%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は10%であった。他方、「該当しない・わからない」と答えた学生数が全体の19%もあり、この課程では、黒板やホワイトボードを使わない授業も多きことが察せられる。

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ40%、9%であり、この点は他の課程と変わらない。「該当しない・わからない」が約31%にのぼっていることから、特定の教材を用いないで授業を行っているケースが少なからずあるということがわかる。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、全体の26%と、4課程中最も低かった。このことから、この課程にお

いても他の課程同様、依然シラバスの有効活用がなされていないことがわかる。「該当しない、わからない」が全体の4割を占めていることから、これは立証される。この点の改善が強く求められる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

B)6から当然予測されるように、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生は全体の3割程度であった。美術・工芸課程としては学生がシラバスを事前に閲覧するようさらに努力する必要がある。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、84%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた。この点は評価できる。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては83%が「丁度いい」と答えている。「かなり速い」、「少し早い」が12%、「かなり遅い」、「少し遅い」が1%であることから、教員の話は速い傾向にあると言える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、83%の学生が「丁度いい」と答えた。この数字は満足のおよく数字である。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ18%、65%で、4課程中最も高かった。その点で高く評価できる。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ56%、33%であり、合計が約9割であり、この点も大いに評価できる。

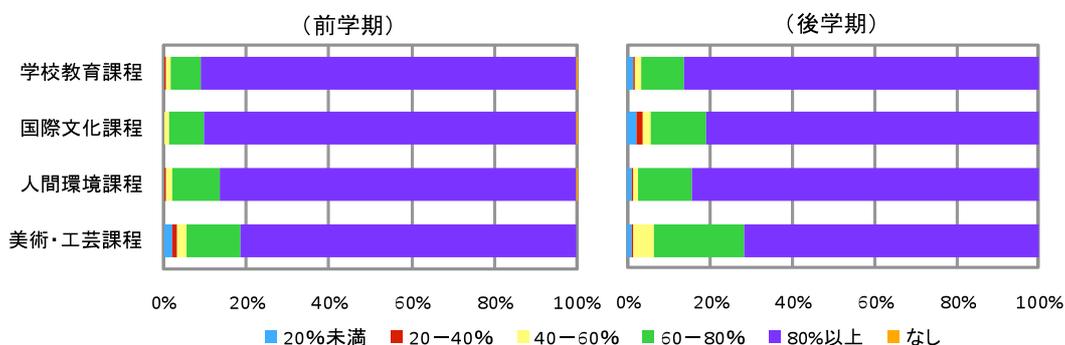
D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

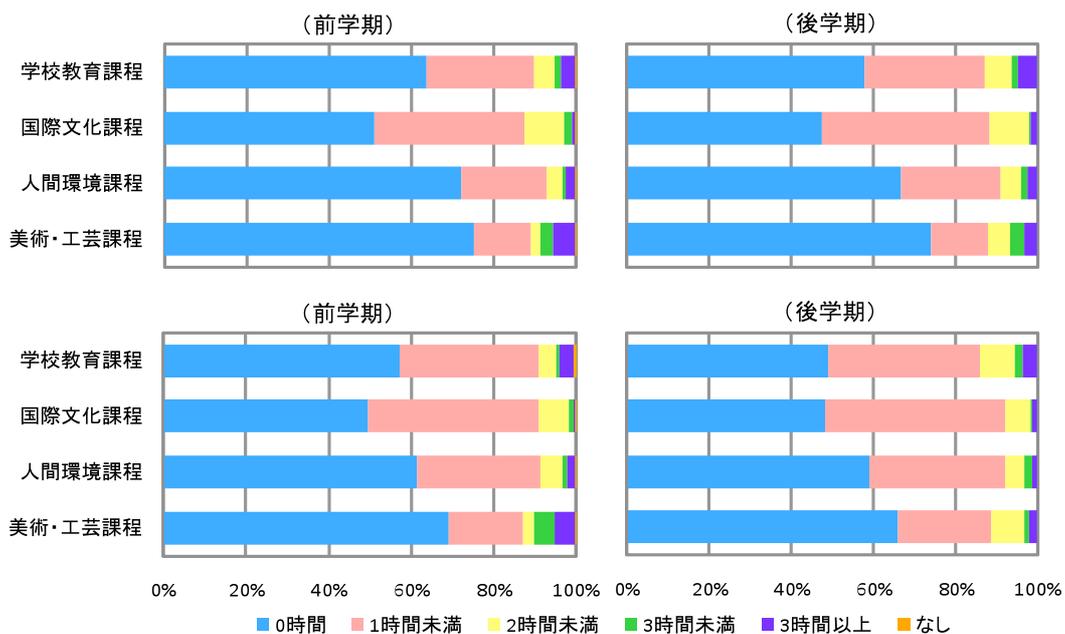
この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ32%、50%であり、合計すると8割に達する。この数字は4課程中群を抜いて高く、美術・工芸課程の授業が学生に受け入れられていることを物語る。

A. あなた自身について

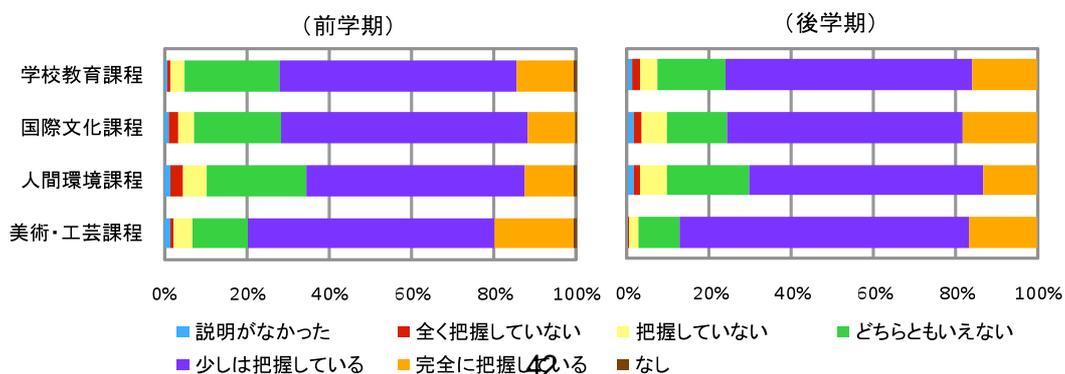
A-1 出席率はどのくらいですか



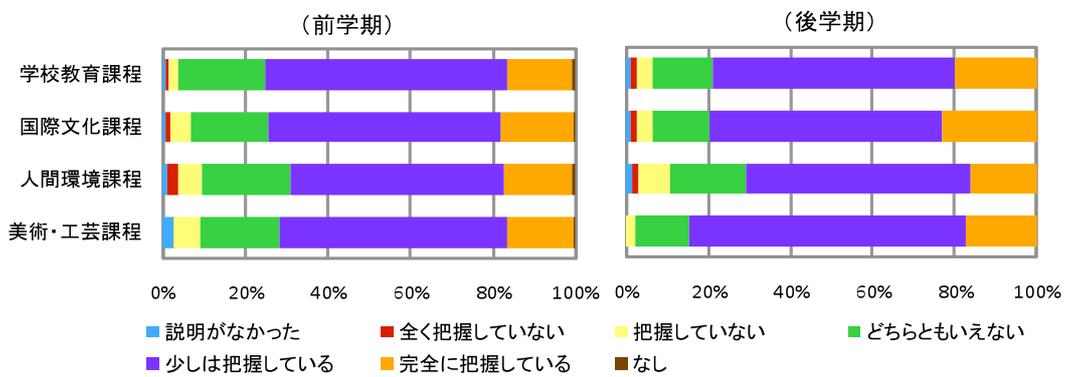
A-2 予習を毎週どの程度していますか



A-4 この授業の学習目標を把握している

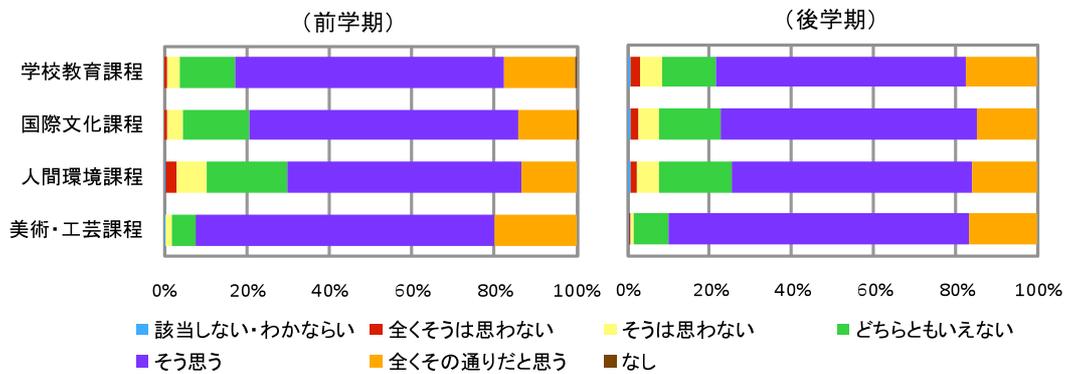


A-5 この授業の成績評価基準を把握している

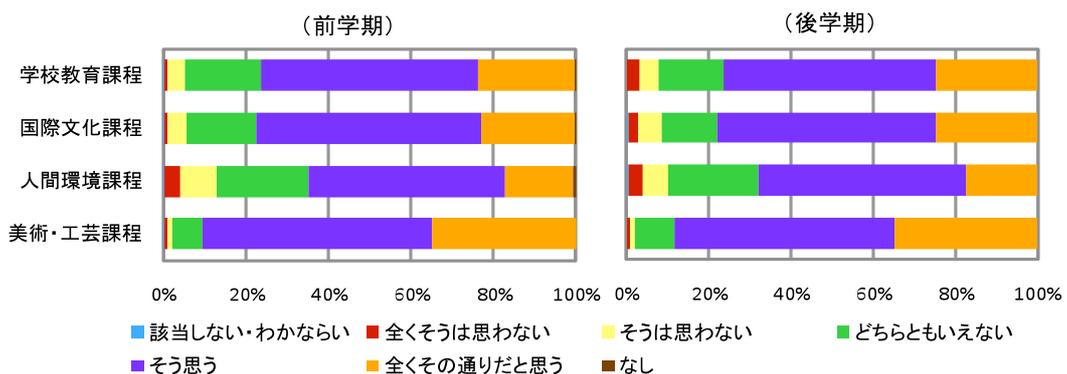


B. 授業内容及び授業方法

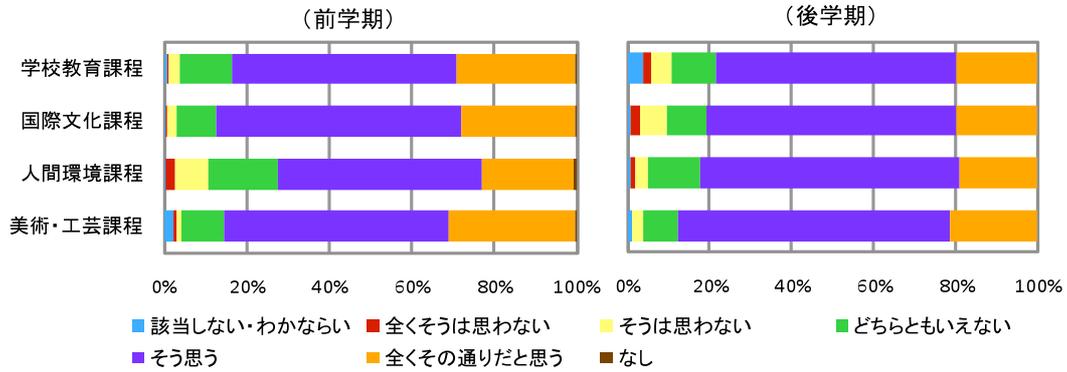
B-1 この授業の内容は理解できる



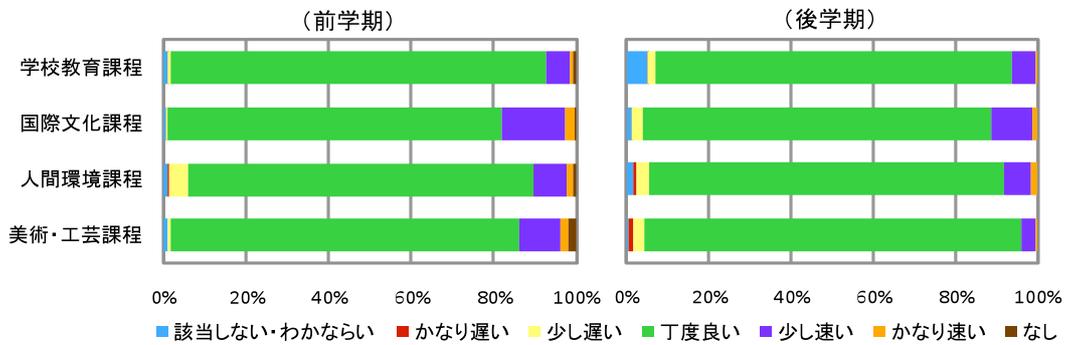
B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



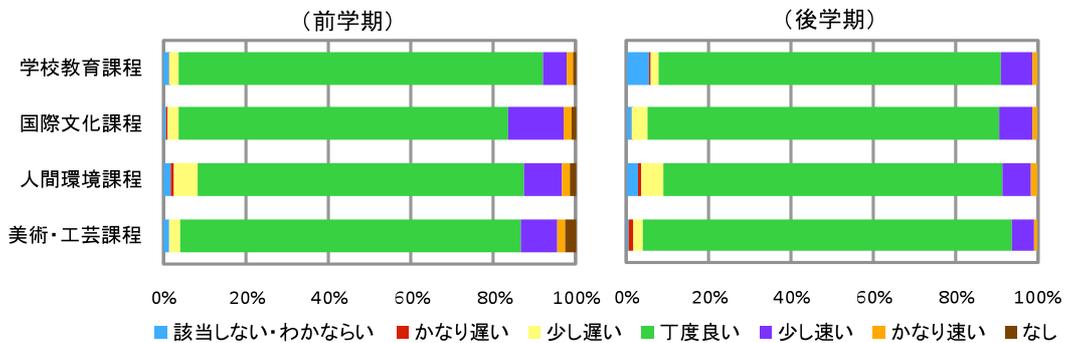
B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



B-8 話す速さは適切だった

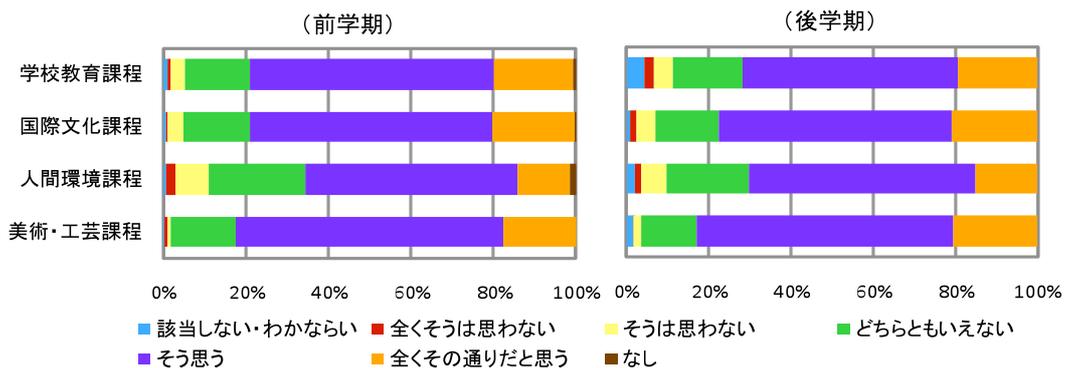


B-9 授業の進む速さは適切だった

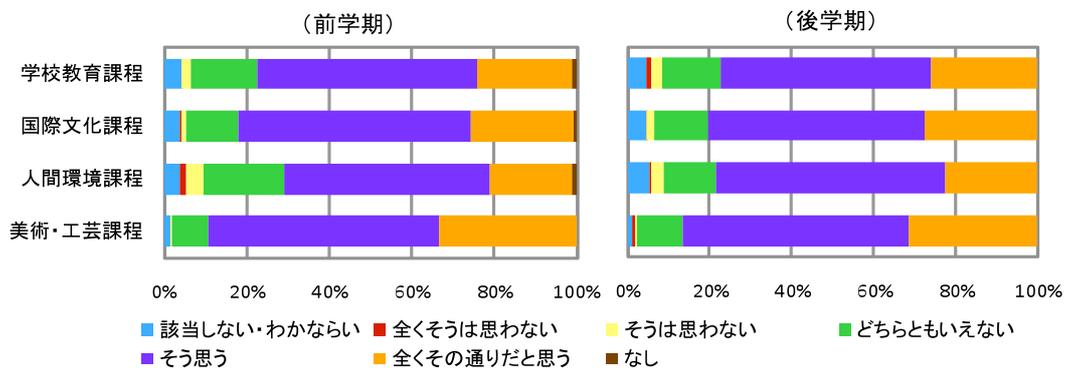


C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

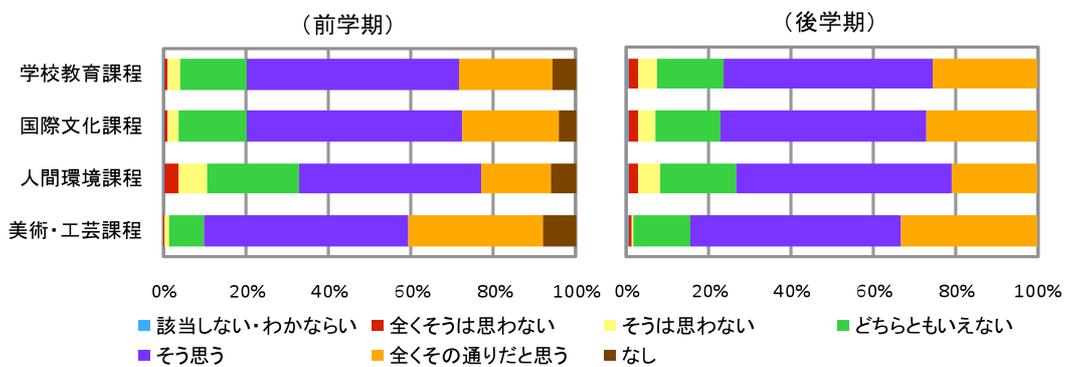


C-2 学生の質問に適切に対応している



D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



大学院教育学研究科組織別授業評価分析

アンケート結果の分析

I 学校教育専攻

A) 学生自身について

A1)出席率

「80%以上」と答えた学生が全体の89%あった。この数値は昨年度よりも2%低くなったが、それでも評価はできる数字である。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約30%の学生が0時間であり、1時間未満は36%である。このことから、この専攻では約7割の学生が予習に時間をかけていないことがわかる。一方で2時間以上予習をする学生も20%いることから、予習をたくさん要求する授業もあることがわかる。

A3) 復習をどの程度しているか

復習についてはも28%の学生が0時間、1時間未満までの学生が56%であり、両者を合わせて74%にのぼる。この専攻では復習が要求されていないのか、あるいは、学生が復習をしないのか、にわかに判断できないが、いずれにしても復習があまり重要視されていないのは確かである。

A4)学習目標を把握しているか

「完全に把握している」と答えた学生が全体の18%であり、「少しは把握している」と答えた学生は77%いた。両者を合わせると95%を越える学生が教科の学習目標を把握していることになり、この点は高く評価できる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約22%、「少しは把握している」と答えた学生が68%いた。両者を合わせると9割近くに上り、学校教育専攻において学生が成績評価基準をよく理解していることがわかる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

授業の内容は理解できるかという設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が99%を占め、この専攻のほぼ全員が当該の授業の内容を理解している様子がわかる。この点で学校教

育専攻は高く評価できる。

B2)内容への興味が増したか

この科目を受講してみて、「内容への興味が増したか」という設問に対して、約98%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えており、高い数値を示している。この数値の高さは例年変わらない。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

「黒板等の使い方が効果的である」については、54%が「そう思う」と答えており、26%が「全くその通りだと思う」と答えた。これらの数字をあわせると80%になる。この専攻において黒板等の使用が効果的であることがわかる。

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」「全くその通りだと思う」がそれぞれ55%、33%であり、合計は85%に達した。この専攻では教員が学生のレベルに合わせた教材を用い、わかりやすい授業を心がけていることがわかる。

B5)シラバスは役立っている

「該当しない・わからない」が16%であるのに対し、シラバスが学習する上で役立っているかという設問に対して、「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えた学生が全体の6割いた。これは学部の授業には見られない高い数値で、大学院の授業ではシラバスが有効に活用されていることがわかる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても、「そう思う」「全くその通りだと思う」が66%にのぼっている。この数値は学部・大学院を含め、最も高い数値である。この専攻での母体数が少ないので一概には言えないが、B5)の分析結果と考え合わせると、学生がシラバスを参考にし、授業がシラバスに沿ってに行われていることを示している。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

声の大きさ等は適切だったかという設問に対しては、「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えた学生の合計が100%であった。これ以上ない数値である。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては98%近くが「丁度良い」と答えている。この値も学部・大学院を含め、最も高い数値である。大いに評価できる。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては96%の学生が「丁度良い」と答えている。B)8と合わせると、教員の授業の進め方は適切であることが窺える。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」が99%にのぼり、学生から高い評価を得ていることがわかる。

C2)学生の質問に適切に対応している

学生の質問に適切に対応しているかどうかについては、「そう思う」「全くその通りだと思う」がそれぞれ52%、45%であり、この数値も期待以上に高いものとなっている。ほとんど全ての授業で教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」が全体の99%であった。このことから、当専攻では学生の満足度が非常に大きいことがわかり、高く評価できる。

II. 教科教育専攻

A) 学生自身について

A1)出席率

「80%以上」と答えた学生が全体の87%あった。出席率が60%以上の学生と合わせるとは98%であるので、教科教育専攻も学校教育専攻と同様、学生の出席率が非常に高いことを示しており、高く評価できる。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約23%の学生が0時間であり、1時間未満は35%である。このことから、この専攻では約5割の学生が予習に時間をかけていないことがわかる。一方で2時間以上予習をする学生が23%いることから、教科によっては予習をたくさん要求する授業もあることがわかる。

A3) 復習をどの程度しているか

復習についてはも26%の学生が0時間、1時間未満までの学生が46%であり、両者を合わせて

72%にのぼる。一方で2時間以上復習をする学生も22%いることから、教科によっては復習をたくさん要求するものがあると思われるが、全体としては学生は復習に時間を割いていないというのが現状であろう。

A4)学習目標を把握しているか

「完全に把握している」と答えた学生が全体の39%であり、「少しは把握している」と答えた学生は52%いた。両者を合わせると91%以上の学生が教科の学習目標を把握していることになり、この点は高く評価できる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約32%、「少しは把握している」と答えた学生が45%いた。両者を合わせると78%を越え、教科教育専攻においても学校教育専攻同様、学生が成績評価基準をよく理解していることがわかる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生が79%おり、この専攻のほとんどの学生が当該の授業の内容を理解している様子がわかる。この点での学校教育専攻の努力は大いに評価できる。

B2)内容への興味が増したか

「内容への興味が増したか」という設問に対して、約95%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えている。「どちらともいえない」と答えた学生も4%に留まり、この課程における授業内容に学生が興味を持っていることが窺われる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

「黒板等の使い方が効果的である」については、43%が「そう思う」と答えており、27%が「全くその通りだと思う」と答えた。これらの数字をあわせると70%になるが、まだ3割の学生が黒板等の活用が不十分であると答えているのも事実である。この点は学校教育専攻と同様、改善の余地があると思われる。

B4)教材はわかりやすかった

「テキスト、配付資料等は適切であったか」との設問に対しては、「そう思う」「全くその通りだと思う」がそれぞれ48%、30%であり、合計すると78%になる。この数字は学校教育専攻の88%と比べると10%ほど低く、この専攻での改善が望まれる。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、全体7割に満たなかった。この数値は学校教育専攻よりも10%程度高いものの、さらに改善の余地があると思える。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生が66%いた。一方で、「どちらともいえない」が16%、「該当しない、わからない」が18%いることから、3割程度の学生はシラバスの存在をしらないか、知っていても見たことがないか、のどちらかであると思われる。学生にシラバスの活用を促す必要があろう。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生が92%いた。これも学校教育専攻同様、教科教育専攻においてもこの項目での努力を怠っていないことの現れである。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては91%が「丁度いい」と答えていることから、一定の評価はできる。一方で、「少し速い」、「かなり速い」と答えた学生が6%いることから、いくつかの授業では少しスピードを落として話をする必要がある。

B9)授業の進む速さは適切だった

B8)同様、授業の進行の速さについても90%が「どちらともいえない」と答えている。B8)により「教員の話すスピードが速い」ことがわかり、B9)から「授業の速度も速い」ことが明らかである。この専攻においても、今より話す速度をもう少し抑えて、授業の進む速さを少し遅らせるといった工夫が必要であろう。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」が33%と56%であり、この点に関しては9割以上の学生から高い評価を得ている。この専攻の教員の授業に対する工夫の成果が見て取れる。

C2)学生の質問に適切に対応している

「学生の質問に適切に対応しているかどうか」については、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が全体の94%で、この数字は例年とほぼ変わらないが、いずれにしても大いに評価できる数

値である。ほとんど全ての授業で教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

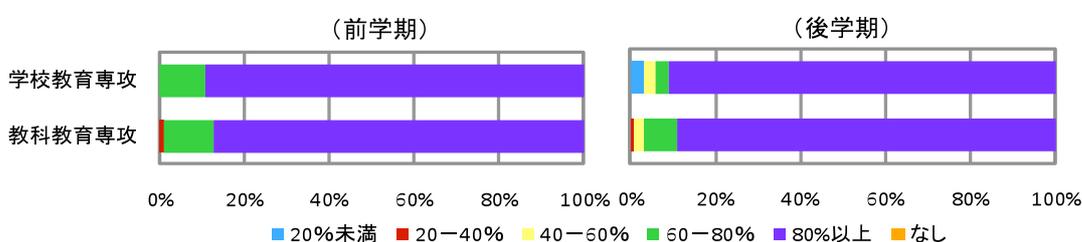
D) 満足度

D1) 授業を受講して満足が得られた

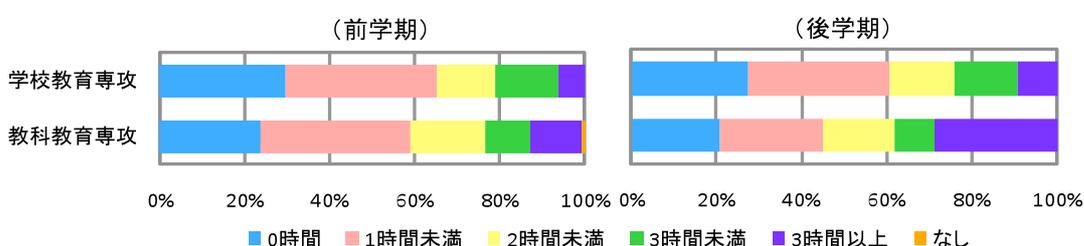
「この授業を受講して満足が得られたか」という設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」が全体の 92%であった。この数値も高い数値であり、当専攻では学生の満足度が非常に大きいことを物語っている。

A. あなた自身について

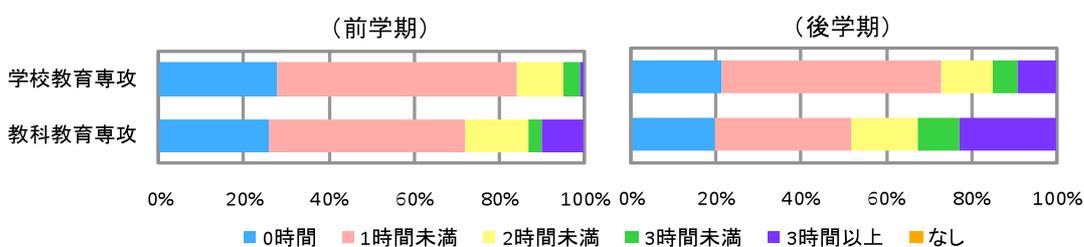
A-1 出席率はどのくらいですか



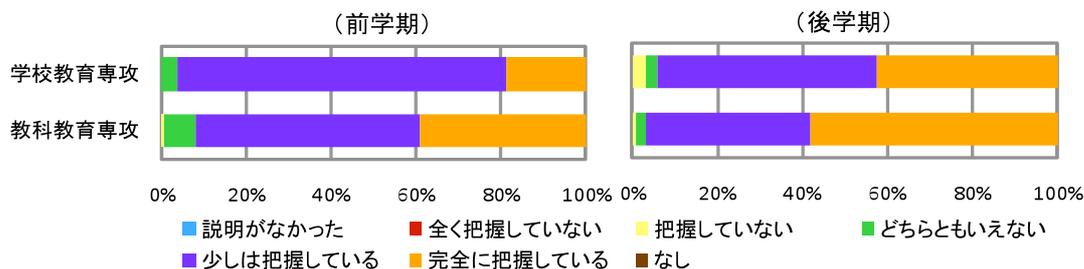
A-2 予習を毎週どの程度していますか



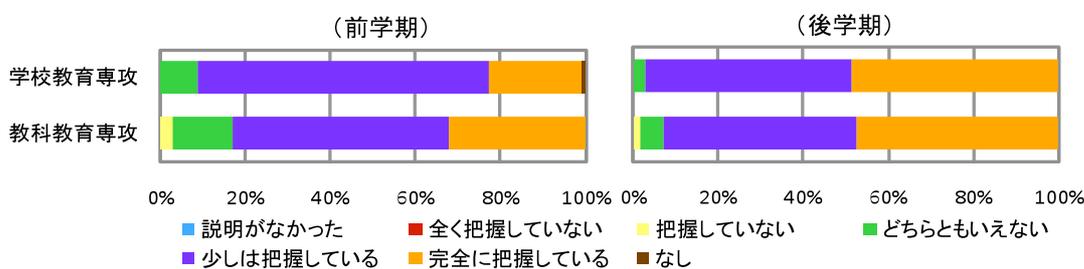
A-3 復習を毎週どの程度していますか



A-4 この授業の学習目標を把握している

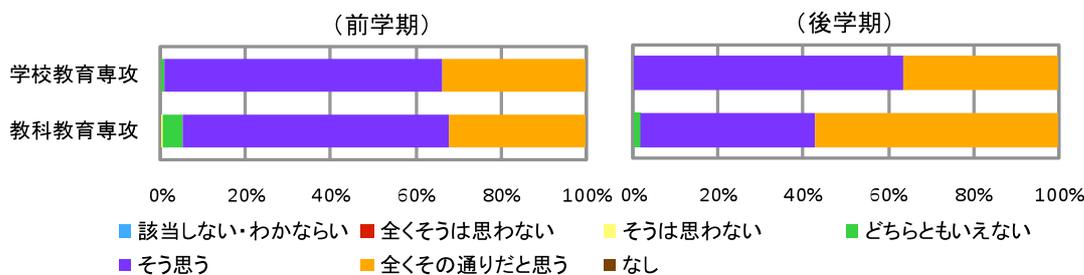


A-5 この授業の成績評価基準を把握している

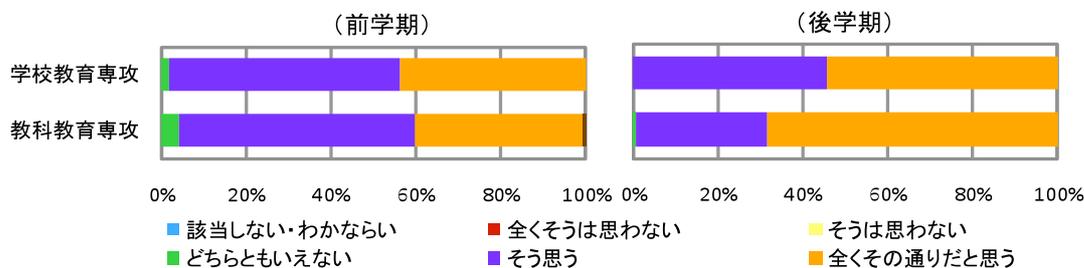


B. 授業内容及び授業方法

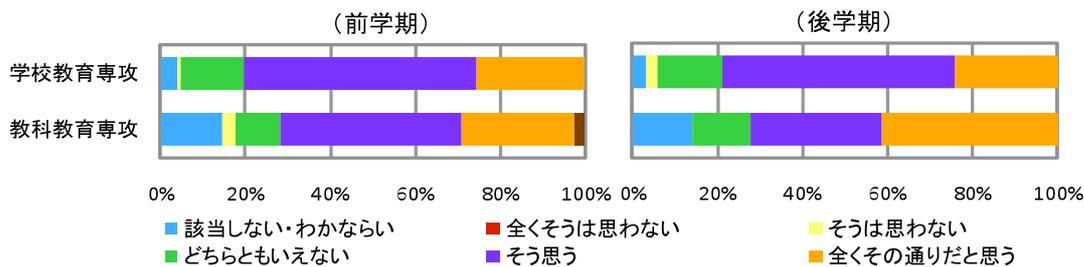
B-1 この授業の内容は理解できる



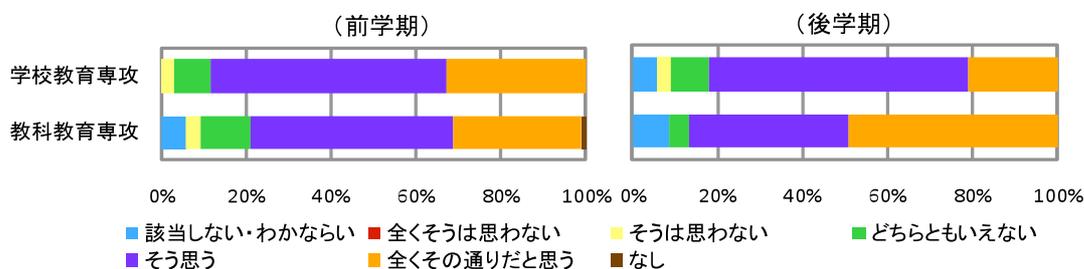
B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



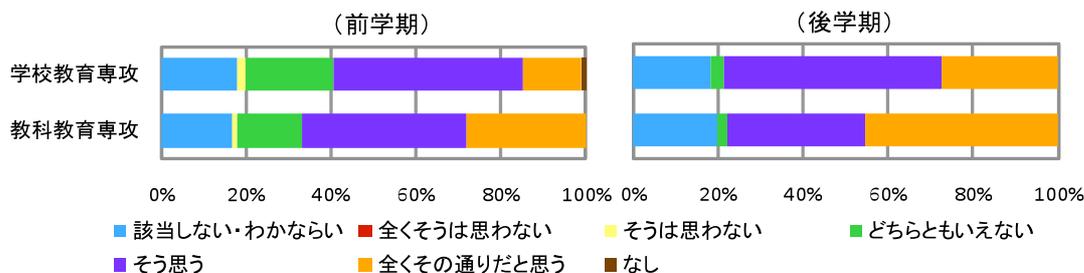
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



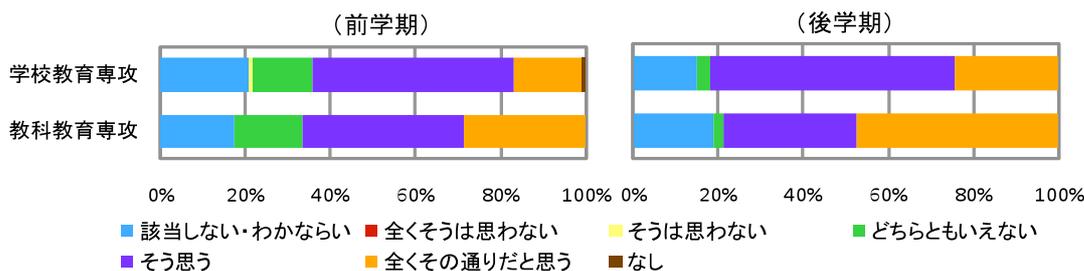
B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった

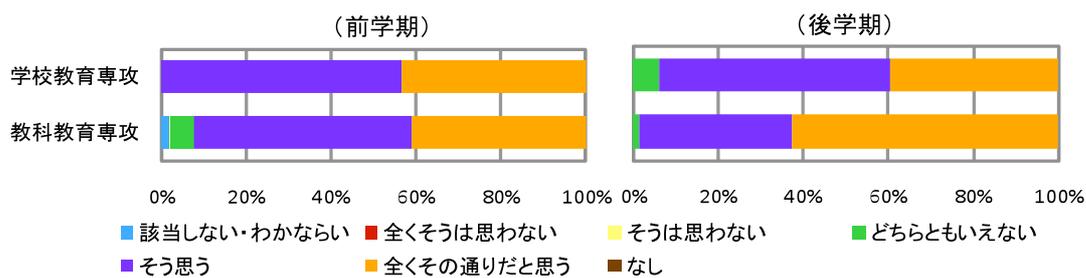


B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

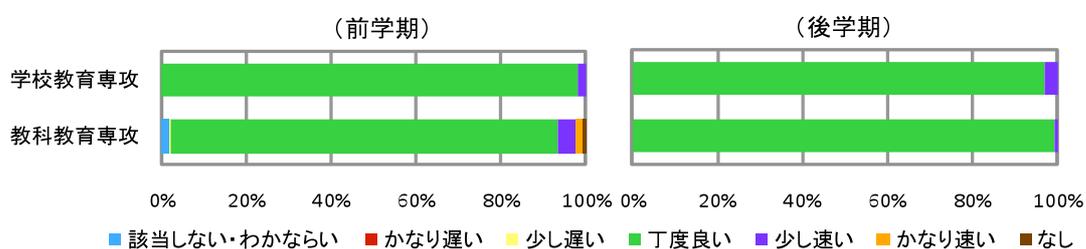


B-6 授業内容はシラバスに沿っている

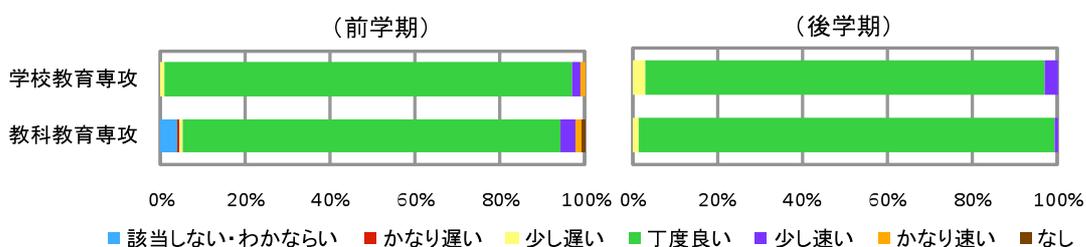




B-8 話す速さは適切だった

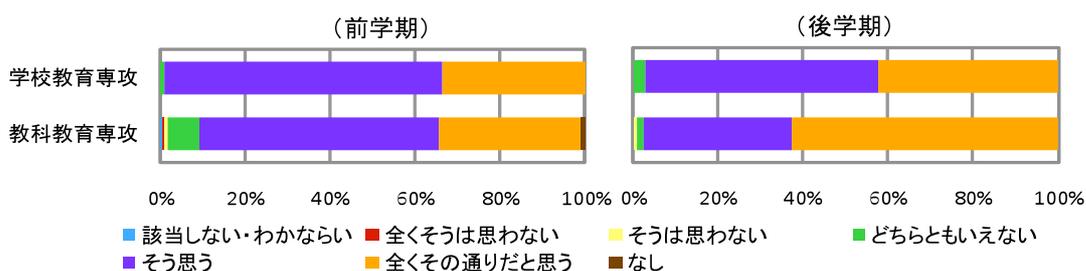


B-9 授業の進む速さは適切だった

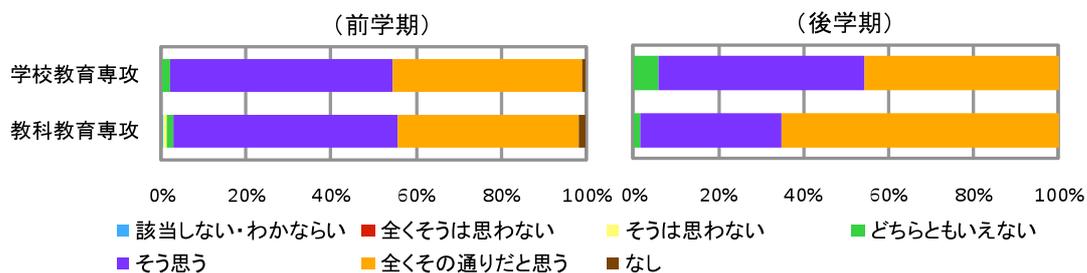


C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

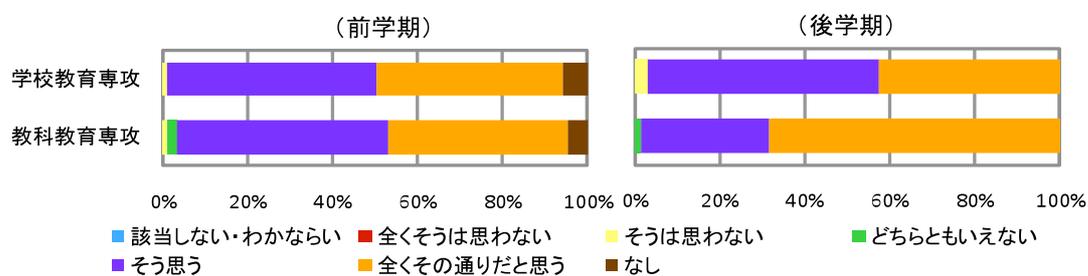


C-2 学生の質問に適切に対応している



D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



佐賀大学文化教育学部

佐賀大学大学院教育学研究科

平成 22 年度後学期「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 23 年 3 月

佐賀大学文化教育学部

FD 委員会

概要

学生による授業評価は全教員の授業改善と部局ごとのカリキュラム改善のために計画されたものである。したがって、全学部にわたってのアンケート実施が求められるところである。この制度は平成 18 年度後学期から始まり、今学期(22 年度後期)より Web による入力が行われた。これは、紙資源の節約と、データのとりまとめ易さが主な要因である。以下では、平成 22 年度後期の学生を対象に行われた「学生による授業アンケート」結果を基に、文化教育学部 4 課程および大学院教育学研究科の 2 専攻における組織分析を行った。

平成 22 年度後学期の文化教育学部および大学院教育学部研究科におけるアンケート実施科目数と実施率はそれぞれ以下のものであった。

平成 22 年度後学期 個別授業アンケートの実施率

	アンケート実施科目数	アンケート未実施科目数	アンケート実施率(%)
文化教育学部			
学校教育課程	174	28	86.1
国際文化課程	112	9	92.5
人間環境課程	81	7	92.0
美術・工芸課程	27	11	71.0
計	394	55	87.7

	アンケート実施科目数	アンケート未実施科目数	アンケート実施率(%)
大学院教育学研究科			
学校教育専攻	14	1	93.3
教科教育専攻	76	17	81.7
計	90	18	83.3

学部のすべての課程において昨年度よりも 10%近く数値が落ち込んでいる。この原因は、授業アンケートの提出が遅れた教員のデータが含まれていないこと、また、非常勤講師のデータが含まれていないこと、などを上げることができる。例年なら、後学期のアンケート分析は次年度の最初の 2 ヶ月間程度の間で行われ、データも完全なものがそろっているが、本年度は中期計画達成の最終年ということもあって、3 月末までに分析を行わなければならない、データが完全なものとは

なっていない。ただし、そのような状況のなかで、大学院のアンケート実施率が確実に上がっていることは評価できると言える。

I. 学校教育課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約86%以上の学生が出席率80%以上であると答えた。出席率が60%以下の学生数が全体の約3%に満たないことを考えると、学校教育課程における出席率の高さは、大いに評価できる。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約64%の学生が0時間としており、半数以上の学生が授業の予習をしていないことがわかる。予習1時間未満までの学生を含めると、約90%以上になり、このことは多くの授業科目で予習が学生に課せられていないことを窺わせる。

A3) 復習をどの程度しているか

復習については58%の学生が0時間、29%の学生が1時間未満であり、合わせると約90%の学生がほぼ復習をしていないことがわかる。A2)の項目と合わせると、学校教育課程では、学生による予習、復習はほとんど行われていないことがわかる。この点は前学期と変わらない。

A4)学習目標を把握しているか

76%以上の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた。前期よりも6%上昇し、改善の兆しが窺われる。多くの学生が授業の学習目標を理解していることがわかるが、

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約20%、「少しは把握している」と答えた学生が59%いた。両者を合わせて約8割の学生が把握していると解答した。この点も前期より改善された。一方で、「全く把握していない」、「把握していない」と答えた学生数は5%であった。この数字は4課程中2番目に低い数値であり、学校教育課程がこの項目の実現に努力をしていることがわかる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約 80%おり、前期と変わらない高い水準を示している。このことから学生が当該の授業の内容を理解していることが窺える。

B2)内容への興味が増したか

この科目では、約 76%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えており、この点も前期と全く同じである。学校教育課程では B1)の「内容の理解度」と B2)の「それに対する興味」が同じように高い数値を示していることから、学校教育課程のこの点での努力の跡が見受けられる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、46%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は 15%であった。合計すると約 60%であるが、前期同様、このことからただちに黒板等が有効に使われていないと結論づけることはできない。黒板等を用いないで授業をしているケースが多くあると考えられるからである。

B4)教材はわかりやすかった

「テキスト、配付資料等は適切であったか」との設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 53%、15%であった。一方で、「該当しない・わからない」が前期よりも増えて、約 13%にのぼった。この点は教材がわかりにくかったのか、あるいは特定の教材を用いないで授業を行っているケースが多いのか、判断できない。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」「全くその通りだと思う」を合わせても、42%しかいなかった。このことから、学校教育課程においても他の課程同様、依然シラバスの有効活用がなされていないことがわかる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しては「該当しない・わからない」が 20%であり、前期よりも 7%下がった。この点は評価できるが、更なるシラバスの活用は必要である。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、77%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答え、前期より多少減った。逆に「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の数値が前期の 3%から 7%に増えた。原因はいまのところ不明である。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては 90%が「丁度いい」と答えている。「かなり早い」と「かなり遅い」を足しても 1%未満であることから、教員の話すスピードが適切であることが窺える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、87%の学生が「丁度いい」と答えた。この数字は前期と同じであり、学校教育課程がこの点に関しの努力を怠っていないことを示している。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 19%、52%であり、前期とほぼ同じであるが、さらにこの点での改善の跡が求められる。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 51%、26%であり、合計が7割を超え、評価に値する。一方で、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の合計の 9%になっており、前期の 3%-よりも増加したことが今後心配である。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 26%、51%であり、合計すると7割以上の学生が授業に満足していることがわかる。この点も前期とほぼ同じである。一方で、「どちらともいえない」、「そうは思わない」と答えた学生が 20%いることから、改善の余地はあるようである。

II. 国際文化課程

アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約 90%以上の学生が出席率 80%以上であると答えた。出席率が 60%以下の学生数は 5%であり、これは前期に比べると多少増えた。後学期になって学生の緊張が多少薄れたかもしれない。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については47%の学生が0時間と答え、41%の学生が1時間未満と答えている。全体の88%が予習をしていないことになる。この数字をただで直ちに学生の学習時間の減少を証明できないが、今後注意すべき数字であることは確かである。

A3) 復習をどの程度しているか

復習についても47%の学生が0時間であるが、A2)同様、この数値は4課程の中で最も低い。ただし、1時間未満の学生が40%もあり、両方を合わせると9割弱の学生がほとんど復習をしていないことがわかる。A2)の項目と合わせると、国際文化課程では、学生による予習、復習はほとんど行われていないことがわかる。

A4)学習目標を把握しているか

75%以上の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた点で、多くの学生が授業の学習目標を理解していることがわかる。この数値は前期よりも5%伸びた。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約20%、「少しは把握している」と答えた学生が59%いた。この数値は他の課程における数値とほぼ変わらないが、前期に比べると多少改善されている。一方で、「全く把握していない」、「把握していない」と答えた学生が約6%おり、この課程のこの項目における改善が必要である。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約78%であり、前期よりも幾分数値は落ちたものの、以前高い水準を保っている。学生が当該の授業の内容をよく理解していることが窺える。

B2)内容への興味が増したか

この項目では、約75%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えており、前期とほぼ同じ数字であることがわかる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、46%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は15%であった。この数値も前期とほぼ変わらない。ここでも二つを合わせても6割に満たないことから、この課程での黒板等の活用が十分なされていないことがわかる。改善が求められる。

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 55%、16%であり、全体で 71%となる。前期よりも多少数字は伸びたが、さらなる改善が必要であろう。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、42%であった。「該当しない・わからない」と「どちらともいえない」と答えた学生が 49%いることから、恐らく学生はシラバスを見ていないことが想像される。この課程でのシラバスの有効活用が強く望まれる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても「該当しない・わからない」と「どちらともいえない」と答えた学生が 49%であり、学生がシラバスを事前に見ていないことが窺われる。具体的な対策をとる必要がある。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、80%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた。この点は評価できるが、逆に「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の数が前期の 2.6 から 8%に増加し、今後の検討課題である。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては 84%が「丁度いい」と答えている。「かなり早い」と「かなり遅い」を足しても 2%未満であることから、両極端の授業はほとんどなく、教員の話すスピードが適切であることが窺える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、85%の学生が「丁度いい」と答えた。前期の 80%から比べると 5%増加しており、改善の跡がみられる。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 20%、56%であり、前期とほぼかわらない。8割を目指せば、さらに良い授業ができると思われる。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 51%、28%であり、合計がほぼ 8 割に達しており、高く評価できる。「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の合計の 2%にとどまり、この課程の教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 27%、50%であり、合計すると 8 割近くの学生が授業に満足していることがわかる。これは学校教育課程とほぼ同等の高い数値である。

III. 人間環境課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約 84%の学生が出席率 80%以上であると答えた。出席率が 60%以下の学生数が全体の約 2.1%であり、以前低く抑えられている。この課程の出席率は高いと言える。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約 66%の学生が 0 時間としており、大部分の学生が授業の予習をしていないことがわかる。予習 1 時間未満までの学生を含めると、約 90%になる。これらの数字は前期とほぼ変わらない。

A3) 復習をどの程度しているか

復習については 59%の学生が 0 時間、33%の学生が 1 時間未満であり、合わせると 90%以上の学生が復習をしていないことがわかる。A2)の項目と合わせると、人間環境課程では、学生による予習、復習はほとんど行われていないことがわかる。

A4)学習目標を把握しているか

約 70%の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた。この数字は 4 課程中最も低い。「全く把握していない」、「把握していない」の合計が 8%を超え、この点も 4 課程中最低である。この傾向は前期も同じであった。この課程のこの点での改善が要求される。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約 16%、「少しは把握している」と答えた学生が 52%いた。両者を合わせると 67%の成績評価基準を把握していると解答した。

この数字は4課程中最下位である。一方で、「全く把握していない」、「把握していない」と答えた学生の数は8%で、4課程中最下位である。人間環境課程におけるこの点の改善が求められる。

B) 授業内容および授業方法

B1) 授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約70%であり、前期とほぼ同じである。8割に達すべく、更なる努力が必要と思われる。

B2) 内容への興味が増したか

この項目では、約67%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えている。この数値は4課程中最も低い。したがって、今後さらに学生に対し興味を持てる授業を工夫する必要があると思われる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、44%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は11%であった。二つを合わせても6割に満たないが、このことからただちに黒板等が有効に使われていないと結論づけることはできない。なぜなら、「該当しない・わからない」と答えた学生数が全体の11%おり、黒板等を用いないで授業をしているケースが多くあると考えられるからである。

B4) 教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ48%、13%であり、両方足しても6割程度であるので、この点での改善は必要であろう。

B5) シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、全体の40%であり、前期の33%に比べると改善の跡がみられる。しかし、依然シラバスの有効活用がなされていないことには変わりなく、学生への指導を徹底する必要がある。

B6) 授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても「該当しない・わからない」が55%にのぼっている。この数値は前期の24%に比べ大幅に増加しており、学生が依然としてシラバスを事前に関連していないことがわかる。

B7) 声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、82%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた。この数字は前期に比べると10%の伸びであり、評価できる。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては86%が「丁度いい」と答えている。「かなり早い」と「かなり遅い」を足しても2%であることから、教員の話すスピードが適切であることが窺える。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、82%の学生が「丁度いい」と答えた。この数字自体は満足のゆく数字である。「かなり速い」と「かなり遅い」を合わせて3%弱であることから、教員の話すスピードは適切であると考えられる。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ15%、55%であり、前期とほぼ変わらない。また、「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の合計が8%あり、前期よりも少し改善された。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ55%、23%であり、前期よりも改善された。しかし一方で、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の合計は8%であり、改善の余地はある。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ20%、52%であり、合計すると7割になった。前期よりも10以上伸びた。この点は大いに評価できる。

IV. 美術・工芸課程 アンケート結果の分析

A) 学生自身について

A1)出席率

約71%の学生が出席率80%以上であると答えた。この数値は4課程中最も低い。他方、出席率が60%以下の学生数は全体の約7%で、4課程中最も高い。

A2) 予習をどの程度しているか

予習時間については約 74%の学生が 0 時間としており、大部分の学生が授業の予習をしていないことがわかる。予習 1 時間未満までの学生を含めると、約 87%以上にになる。この点は他の課程と同じであるが、美術・工芸課程に特徴的なことは、2 時間以上予習している学生が 7%おり、この数字は他の課程と比較した場合群を抜いて高い。このことは、この課程で予習を要する授業が少なからずあることを示唆している。

A3) 復習をどの程度しているか

復習については 66%の学生が 0 時間、22%の学生が 1 時間未満であり、合わせると 88%の学生が復習をしていないことがわかる。しかし、A2)の場合同様、2 時間以上復習をしている学生が 11%以上おり、依然高い数値を残している。

A4) 学習目標を把握しているか

87%の学生が「少しは把握している」、「完全に把握している」と答えた。この数字は 4 課程中最も高い数字である。前期は 2 番目であったから、前期よりもかなり改善されたことがわかる。

A5) 成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約 17%、「少しは把握している」と答えた学生が 67%いた。両者を合わせると 83%となり、前期の 66%に比べるとかなり改善の跡がみられる。

B) 授業内容および授業方法

B1) 授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が約 90%で、前期同様、4 課程中最も高く、大いに評価できる。学生が当該の授業の内容を十分理解していることが窺える。

B2) 内容への興味が増したか

この項目では、88%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えている。この点も 4 課程中最も良い成績であり、大いに評価できる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

黒板等の使い方については、51%が「そう思う」と答えており、「全くその通りだと思う」と答えた学生は 15%であった。この数字は他の課程と同じである。他方、「該当しない・わからない」と答えた学生数が全体の 13%もおり、この課程では、黒板やホワイトボードを使わない授業

も多きことが察せられる

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 56%、14%であり、前期と比較すると 10%以上伸びた。この点は評価に値する。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、全体の 35%と、4 課程中最も低かった。このことから、この課程においても他の課程同様、依然シラバスの有効活用がなされていないことがわかる。「該当しない、わからない」が全体の 29%を占めていることから、これは立証される。この点の改善が強く求められる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

B)6 から当然予測されるように、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生は全体の 4 割程度であった。美術・工芸課程としては学生がシラバスを事前に閲覧するようさらに努力する必要があるだろう。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という質問に対しては、87%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた。この数字は前期とほぼ同じであり、評価できる。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては 83%が「丁度いい」と答えている。「かなり速い」、「少し早い」が 12%、「かなり遅い」、「少し遅い」が 1%であることから、教員の話は速い傾向にあると言える

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては、91%の学生が「丁度いい」と答えた。前期よりも 7%近く伸び、この課程の努力の跡が窺える。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 20%、62%で、4 課程中最も高かった。この点は高く評価できる。

C2)学生の質問に適切に対応している

この項目では、「そう思う」、「全くその通りだと思う」がそれぞれ 55%、31%であり、前期と変わらず高い数値を残している。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」がそれぞれ 33%、51%であり、合計すると 8 割に達する。この点も前期と変わらない。この数字は 4 課程中最も高く、美術・工芸課程の授業が学生に受け入れられていることを物語る。

大学院教育学研究科組織別授業評価分析

アンケート結果の分析

I 学校教育専攻

A) 学生自身について

A1)出席率

「80%以上」と答えた学生が全体の90%あった。この数値は前期と変わっていない。

A2)予習をどの程度しているか

予習時間については約27%の学生が0時間であり、1時間未満は33%である。このことから、この専攻では約7割の学生が予習に時間をかけていないことがわかる。一方で2時間以上予習をする学生も24%いることから、予習をしなければならない授業もあることがわかる。

A3) 復習をどの程度しているか

復習についてはも21%の学生が0時間、1時間未満までの学生が52%であり、両者を合わせて73%にのぼる。2時間以上復習をしている学生が24%であることを考えると、全体としては復習しないが、いくつかの教科では復習を要することがわかる。

A4)学習目標を把握しているか

「完全に把握している」と答えた学生が全体の42%であり、前期と比較するとこの数字は大幅に増加した。「少しは把握している」と答えた学生51%を足すと、93%を越える学生が教科の学習目標を把握していることになり、この点は高く評価できる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約47%であり、前期の2倍になった。一方で、「少しは把握している」と答えた学生が48%になり、20%減った。両者を合わせると9割近くに上り、学校教育専攻において学生が成績評価基準をよく理解していることがわかる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

授業の内容は理解できるかという設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が100%であり、申し分がない。

B2)内容への興味が増したか

この科目を受講してみて、「内容への興味が増したか」という設問に対して、100%であり、B1)同様、申し分のない数値である。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

「黒板等の使い方が効果的である」については、54%が「そう思う」と答えており、24%が「全くその通りだと思う」と答えた。これらの数字をあわせると80%になる。この数値は前期と変わらず高く、この専攻において黒板等の使用が効果的であることがわかる。

B4)教材はわかりやすかった

テキスト、配付資料等は適切であったかとの設問に対しては、「そう思う」「全くその通りだと思う」がそれぞれ60%、21%であり、合計は81%であった。前期よりも多少数値が落ちたものの、この専攻では教員が学生のレベルに合わせた教材を用い、わかりやすい授業を心がけていることがわかる。

B5)シラバスは役立っている

「該当しない・わからない」が18%であるのに対し、シラバスが学習する上で役立っているかという設問に対して、「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えた学生が全体の8割弱いた。これは学部の授業には見られない高い数値で、大学院の授業ではシラバスが有効に活用されていることがわかる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても、「そう思う」「全くその通りだと思う」が77%にのぼっている。前期よりも10%伸び、学部・大学院を含め、最も高い数値である。学生がシラバスを参考にし、授業がシラバスに沿ってに行われていることを示している。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

声の大きさ等は適切だったかという設問に対しては、「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えた学生の合計が98%であった。この点は大いに評価できる。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては96%近くが「丁度良い」と答えている。この値も教科教育専攻と並んで、最も高い数値である。

B9)授業の進む速さは適切だった

授業の進行の速さについては934%の学生が「丁度良い」と答えている。B)8と合わせると、教員の授業の進め方は適切であることが窺える。

C) 教員の対応

C1) 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」が97%にのぼり、学生から高い評価を得ていることがわかる。

C2) 学生の質問に適切に対応している

学生の質問に適切に対応しているかどうかについては、「そう思う」「全くその通りだと思う」がそれぞれ49%、42%であり、前期よりも少し落ちたが、依然高い数値を保っている。ほとんど全ての授業で教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

D) 満足度

D1) 授業を受講して満足が得られた

この授業を受講して満足が得られたかという設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」が全体の97%であった。このことから、当専攻では学生の満足度が非常に大きいことがわかり、高く評価できる。

II. 教科教育専攻

A) 学生自身について

A1) 出席率

「80%以上」と答えた学生が全体の88%あった。出席率が60%以上の学生と合わせるとは97%であるので、教科教育専攻も学校教育専攻と同様、学生の出席率が非常に高いことを示しており、高く評価できる。

A2) 予習をどの程度しているか

予習時間については約20%の学生が0時間であり、1時間未満は24%である。この数字は学部・大学院を通じて最も低い。また、2時間以上予習をする学生が38%いることから、多くの学生が予習をしていることがわかる。

A3) 復習をどの程度しているか

復習についてはも20%の学生が0時間、1時間未満までの学生が32%であり、両者を合わせると52%になる。この数字は前期よりも20%近く低い。このことから、この専攻の特徴として、後期に復習の時間を多くとることがわかる。

A4)学習目標を把握しているか

「完全に把握している」と答えた学生が全体の 58%であり、「少しは把握している」と答えた学生は 39%いた。両者を合わせると 97%以上の学生が教科の学習目標を把握していることになり、この点は高く評価できる。

A5)成績評価基準を把握しているか

成績評価基準については、「完全に把握している」と答えた学生は約 47%、「少しは把握している」と答えた学生が 45%いた。両者を合わせると 9 割を越え、教科教育専攻においても学校教育専攻同様、学生が成績評価基準をよく理解していることがわかる。

B) 授業内容および授業方法

B1)授業の内容は理解できる

「授業の内容は理解できるか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生が 98%おり、この専攻のほとんどの学生が当該の授業の内容を理解している様子がわかる。この点での学校教育専攻の努力は大いに評価できる。

B2)内容への興味が増したか

「内容への興味が増したか」という設問に対して、約 99%の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えている。申し分のない結果であり、この課程における授業内容に学生が興味を持っていることが窺われる。

B3) 黒板・ホワイトボード・スライド等の使い方が効果的である

「黒板等の使い方が効果的である」とについては、37%が「そう思う」と答えており、41%が「全くその通りだと思う」と答えた。これらの数字をあわせると 70%になるが、まだ 3 割の学生が黒板等の活用が不十分であると答えているのも事実である。この点は学校教育専攻と同様、改善の余地があると思われる。

B4)教材はわかりやすかった

「テキスト、配付資料等は適切であったか」との設問に対しては、「そう思う」「全くその通りだと思う」がそれぞれ 48%、30%であり、合計すると 78%になる。この数字は学校教育専攻の 88%と比べると 10%ほど低く、この専攻での改善が望まれる。

B5)シラバスは役立っている

「シラバスが学習する上で役立っているか」という設問に対して、「そう思う」、「全くその通りだと思う」を合わせても、全体 7 割に満たなかった。この数値は学校教育専攻よりも 10%程度高

いものの、さらに改善の余地があると思わせる。

B6)授業内容はシラバスに沿っている

「授業内容はシラバスに沿っているか」という設問に対しても、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生が78%いた。この数字は学校教育専攻と同様、非常に高いもので、よく学生がシラバスを参照している様子が窺われる。

B7)声の大きさ・明確さは適切だった

「声の大きさ等は適切だったか」という設問に対しては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」と答えた学生が98%いた。これも学校教育専攻同様、教科教育専攻においてもこの項目での努力を怠っていないことの現れである。

B8)話す速さは適切だった

話す速さについては99%が「丁度いい」と答えており、下のB9)同様、申し分がない。教員が学生の理解に配慮しながら、話を進めていることがわかる。

B9)授業の進む速さは適切だった

B8)同様、授業の進行の速さについても98%が「丁度いい」と答えている。この数字は申し分のない数字である。

C) 教員の対応

C1)授業をわかりやすくする工夫が感じられる

授業をわかりやすくする工夫については「全くその通りだと思う」、「そう思う」が35%と63%であり、この点に関しては98%の学生から高い評価を得ている。この専攻の教員の授業に対する工夫の成果が見て取れる。

C2)学生の質問に適切に対応している

「学生の質問に適切に対応しているかどうか」とについては、「そう思う」、「全くその通りだと思う」が全体の98%で、この数字は例年とほぼ変わらないが、いずれにしても大いに評価できる数値である。ほとんど全ての授業で教員が熱意をもって授業にあたっている様子が窺える。

D) 満足度

D1)授業を受講して満足が得られた

「この授業を受講して満足が得られたか」という設問に対しては、「全くその通りだと思う」、「そう思う」が全体の98%であった。この数値も高い数値であり、当専攻では学生の満足度が非常に大きいことを物語っている。

文化教育学部まとめ

文化教育学部は例年どの項目においても他の学部に劣らないか、あるいはそれよりも高い数値を示しており、アンケート結果を見る限り佐賀大学の模範的存在であると言える。ことに高く評価できる点は、i)出席率がいいこと、ii)黒板やスライドなどを有効活用していること、iii)授業をわかりやすくする工夫がなされていること、などを上げることができる。しかし、改善すべき点がないわけではない。年々学生の予習と復習に充てられる時間がすくなくなり、学習時間の絶対数の減少が懸念される。さらに、i)シラバスの活用が不十分であること、ii)み具合が早いこと、なども改善すべき点であろう。

大学院まとめ

学校教育専攻と教科教育専攻ではともに全ての項目に関して昨年度と同じ傾向を示した。予習・復習にかかる時間が1時間未満の学生が約4割いる一方で、2時間以上予習・復習をしている学生も多くいる。この点は学部の学生と大きく異なる点である。ほとんどの学生が授業に満足しており、内容への興味が増したと答えている。また、シラバスの有効活用に関して、大学院では多くの学生がシラバスを活用していることがわかる。教材その他の資料が学生に理解しやすかったなどの結果も出ている。文化教育学部の研究科はアンケートを見る限り問題はなく、今後も同様の努力が各教員によってなされることを希望する。

学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

文化教育学部

文化教育学部では、学部 FD 委員会にて学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準を協議し、満足度及び興味・関心の2項目を合計した値を用いることとしている。なお、対象となる科目は受講生が10名以上の科目であり、学部、大学院別に抽出することとしている。

資料6

授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

文化教育学部および教育学研究科

本年度(平成22年度)においても文化教育学部および教育学研究科において、組織別授業評価を実施した。本年度は昨年度までと異なり、データを講義と演習・その他(実験、実習)に区別しなかった。その理由は過去3年間の分析により、講義と演習の間に顕著な違いが見つからなかったからである。

授業改善の取り組みにおいて優れた点は、昨年度以上にFD委員会として組織的にアンケートの実施に取り組んだことである。メールでの配信は言うに及ばず、教授会においてアンケートの実施に協力してもらうよう、数度要請した。その結果、学部において、アンケートの実施率が昨年よりも高くなった。

改善すべき点は、今年度後期より施行されたWebによるアンケート実施についてである。確かに、アンケート実施の科目数は昨年度と大差はないが、1科目当たり、どれだけの数の学生がアンケートに記入したかは未知数である。この数字は昨年度よりかなり減少していることが予想されるが、来年度はその実態解明に努め、それが明らかになった時点で学部としてなんらかの改善策を講じる必要がある。

資料 7

次年度の授業改善目標

なによりも、今以上に授業評価アンケートの実施率と回収率をあげることである。この目標の達成はWebによるアンケート集計が行われるにともなってますます困難になることが予想されるが、FD 専門委員会とも連携をとって、学部一丸となって努力しなければならない。

昨年同様、非常勤講師の授業と通年の授業でアンケートの実施率が低くなっている。この点の改善が引き続き必要である。また、アンケートの結果を個人に渡すだけでよいのか、さらに別の有効活用がないのか、などを検討することが今後の課題である。

教育学研究科では例年のことであるが、小人数教育における学生の授業評価の方法が問題だとされる。アンケートをとらなくても、学生の意向は理解しているという見地から、アンケート実施に疑問を抱く教員が存在する。この点での有効な対策も検討しなければならない。

文化教育学部 独自アンケート実施科目

1. 森先生の全教科

政治学	朝鮮現代政治史	朝鮮政治文化論	朝鮮語 1 + 3
朝鮮語 I	朝鮮語 III	朝鮮の社会と文化	朝鮮語 7 + 8
政治学特論 I	政治学特論 II	政治学特別演習	留学生特別講義
国際政治学演習 I	国際政治学演習 II	卒論指導	

佐賀大学経済学部

佐賀大学大学院経済学研究科

平成 22 年度前学期「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 23 年 3 月

佐賀大学経済学部

* 組織別授業点検・評価報告書の記載項目

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

経済学部、経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」について特に選定を行っていない。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

経済学部、経済学研究科では学部 FD 委員会の主導により全教員を対象とする FD 会議を開催し授業改善の取り組みを行っている。平成 22 年度においては 4 月 14 日、6 月 2 日、11 月 10 日、12 月 1 日の 4 回にわたり経済学部の科目を対象とした FD 会議を開催し、また〔2011 年〕2 月 16 日は大学院経済学研究科の科目を対象とした FD 会議を開催した。その内容については「経済学部 FD 活動報告書」に譲るが、今年度においてはティーチング・ポートフォリオ、ラーニング・ポートフォリオ、学士力といった新しい概念に特に重点を置いて議論が行われた。これらの概念（制度）が実際に導入されるに先立って、教員の間で論点が共有されたことは FD 会議の重要な成果であり、今年度の優れた取り組みとすることができる。その一方で、具体的なティーチング・スキル等については、十分に議論することができなかった。これは改善を要する点とすることができよう。

(3) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

授業評価アンケートの結果を踏まえ、特に改善すべき点としては、現在低い水準にとどまっている自学自習（予習復習）の状況について、その向上を促すための方途を検討することが挙げられる。

(4) 学部・研究科等の独自形式アンケートの実施科目

(学部前期)

国際経済社会入門

総合政策入門

企業経営入門

法務管理入門

理論経済学 I

経済学史 II

国際経済論 II

国際経済論 III

ビジネス基礎英語

ビジネスコミュニケーション英語

金融論 I
現代企業経営論
民事訴訟法
保険法
労働法 I
特殊講義（刑事訴訟法 I）
特殊講義（消費者法 I）
日本史要説
商業科教育法 I
職業指導
特殊講義（Academic Speaking A）
特殊講義（Academic Speaking B）
特殊講義（Academic Writing I）
特殊講義（Academic Writing II）
特殊講義（TOEIC Score Up）
特殊講義（TOFEL Strategy）
特殊講義（The Role of Japan in the Pacific Rim Economic Zone）
演習（3 年）
演習（4 年）

（学部後期）

ビジネス基礎英語
ビジネスコミュニケーション英語
理論経済学 II
特殊講義（野村證券提供）
金融論 II
国際金融論
特殊講義（中国経済社会事情）
法学概論 II
不法行為法
労働法 II
特殊講義（刑事訴訟法 II）
特殊講義（消費者法 II）
特殊講義（市民と法）
演習（2 年）
演習（3 年）
演習（4 年）

(研究科前後期)

演習 I

演習 II

国際金融論研究

比較経済思想研究

フィールドワーク

総合セミナー

情報基礎

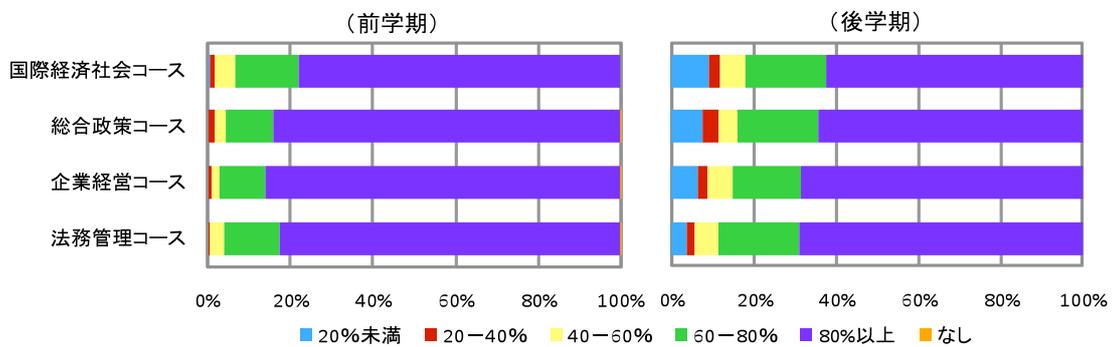
実用外国語

平成 22 年度 経済学部授業評価報告書

経済学部では授業を国際経済社会コース、総合政策コース、企業経営コース、法務管理コースに分けて(教員の所属コース基準)、アンケートを集計した。以下ではアンケートの項目ごとに傾向等の分析を行うことにする。

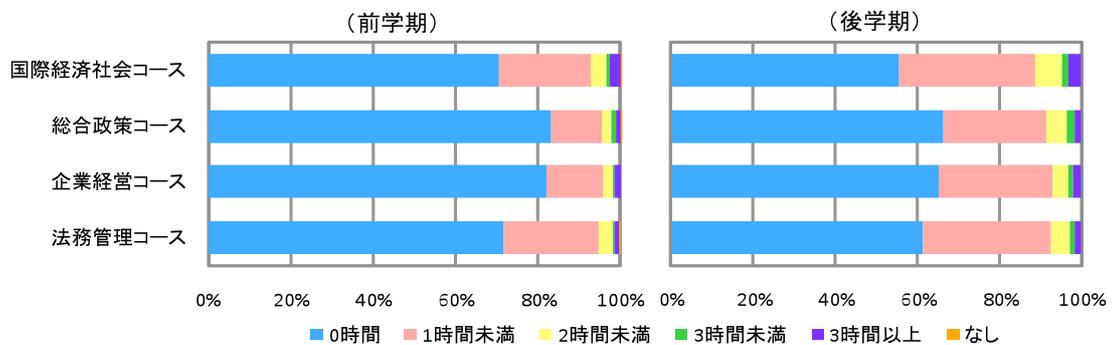
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



前学期と後学期を比べると、いずれのコースも前学期の出席率が高く、後学期は低い。これはアンケートの取り方が前期・後期で変わったことによる可能性が高い。前学期ではおおむねどのコースも80%以上の値を示しているが、前学期のアンケートが学期末に授業出席者に対して行われたことを考えると、学期末の授業に出席していた学生についてはおおむね80%以上の出席率を維持していたことが推測される。対して全登録学生を対象としてウェブ上で行われた後学期のアンケートでは、出席率が60-70%にとどまっており、前学期の結果と比較してみると、出席自体を放棄してしまった学生が少なからぬ割合で存在したことが推測される。

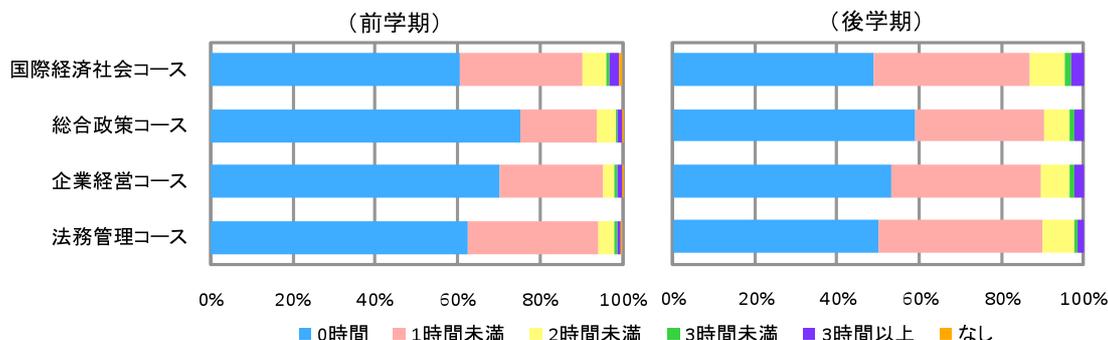
A-2 予習を毎週どの程度していますか



いずれのコースでも予習0時間の学生が最も多い点は、憂慮すべき傾向といえる。なかでも総合

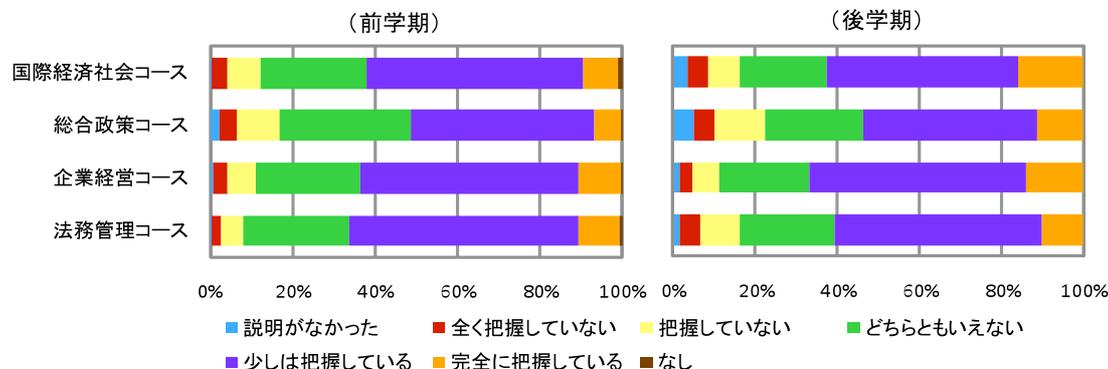
政策コースと企業経営コースは、前学期・後学期ともに予習時間が少ない傾向がある。ただし前学期と後学期を比べると、後学期がむしろ予習時間が長い。その原因について現時点では不明だが、興味深い結果といえる。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



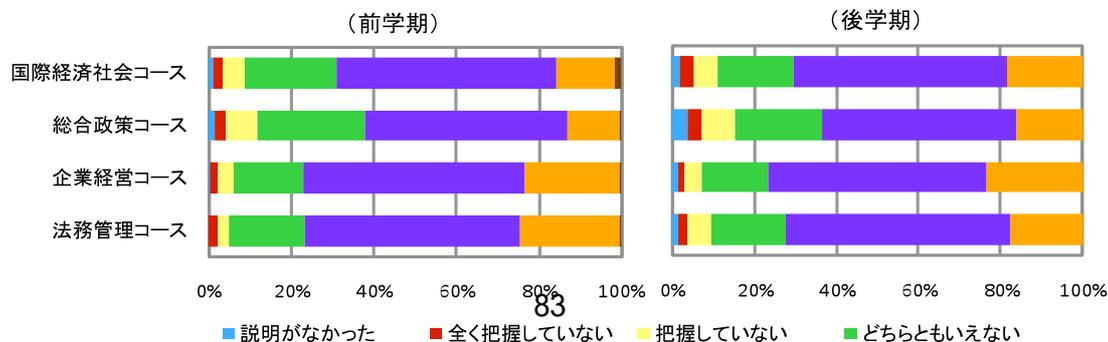
復習時間は予習時間に比べて若干なりとも長いように見受けられるが、その原因は明らかではない。既習内容の定着度を測る「小テスト」を実施している等の理由が推測される。コースごとに見れば、A-2と同じく、総合政策コース・企業経営コースの学習時間が他の二コースに比べて短い傾向がある。後学期のほうが学習時間が長いのもA-2と同様である。

A-4 この授業の学習目標を把握している



「完全に把握している」「少しは把握している」をあわせるといずれのコースでも60%程度の学生が学習目標を把握しているようである。「把握していない」「全く把握していない」をチェックした学生は少数であった。ただし後学期になると「説明がなかった」という項目の値が少数ながら見られ、教員の側の姿勢についても再検討する必要がある。

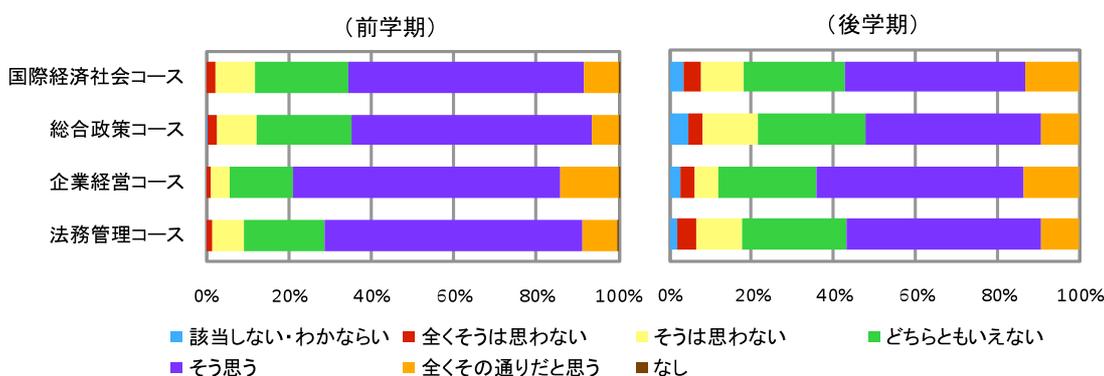
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



60～80%の学生が「完全に把握している」「少しは把握している」にチェックしており、かなりの程度把握しているとみてよいだろう。ただし国際経済社会コースと総合政策コースは、他のコースと比べて「把握していない」「どちらともいえない」の比率が高い点は、注意が必要である。

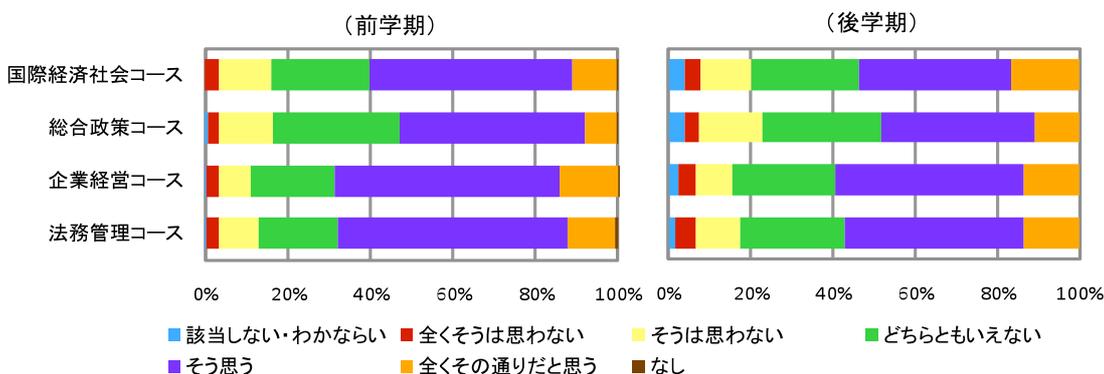
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



「そう思う」「全くその通りだと思う」をあわせると、前学期では70～80%が、後学期では60%前後の学生が授業内容を概ね理解していることが分かる。前学期に比べると後学期において「そう思う」「全くその通りだと思う」の比率が低いことは注意されるが、前述のように前学期と後学期ではアンケートの取り方が異なるので、背景の推測は難しい。

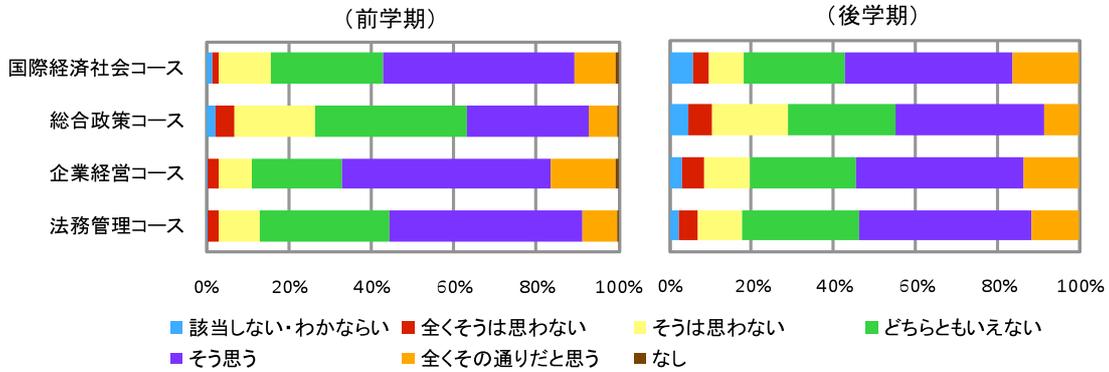
B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



前学期・後学期を通じて60%程度の学生が、授業を通じて内容への関心を喚起されたようである（「そう思う」「全くその通りだと思う」）。またB-1項と比較すると、理解度の高いコースほど関心を持つ度合いも高いといえるが、ただし国際経済社会コースと総合政

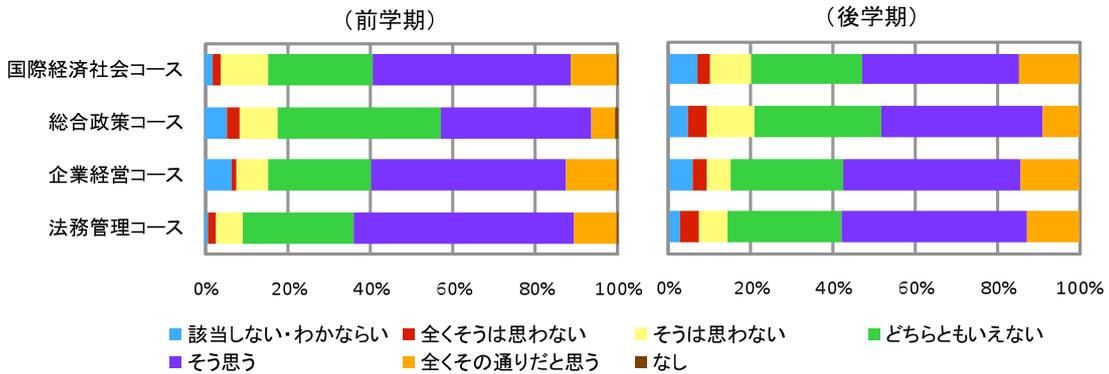
策コースでは B-1 項に比べて B-2 項の値が低いことが目立つ。理解はできて、関心を持つには至らないということで、学生の内的な学習動機を高める工夫が必要といえる。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



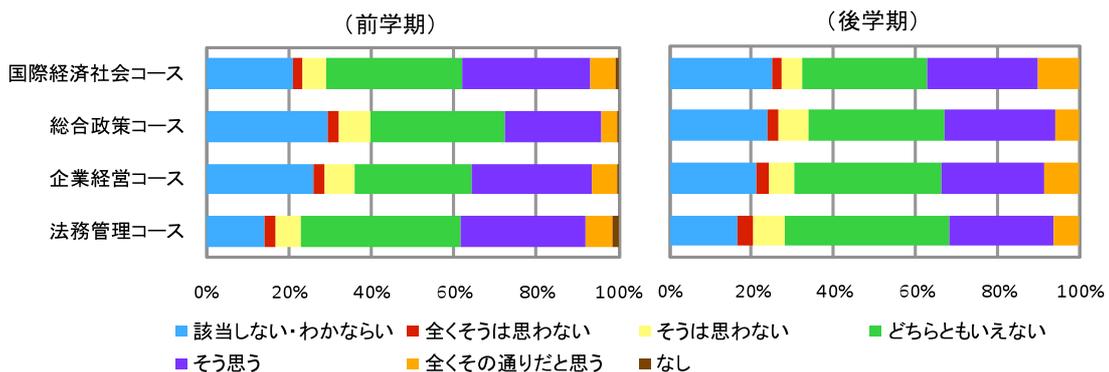
この項目ではコース間のばらつきが大きく、総合政策コースにおいて「効果的だ」と考える度合いが特に低いことが注意される。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



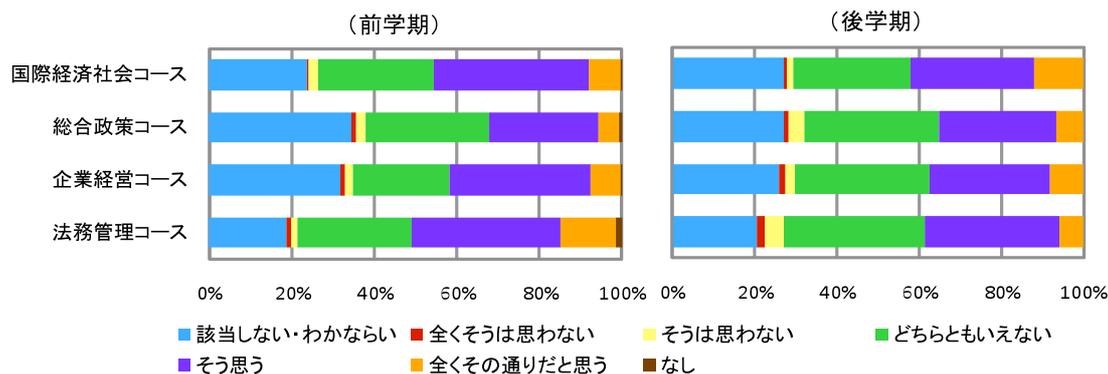
この項目も B-4 と同じく総合政策コースの値が余他のコースに比べて低い。教員の努力が求められるのは当然としても、授業の特性（受講人数など）の問題をあわせて検討する必要があるかもしれない。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



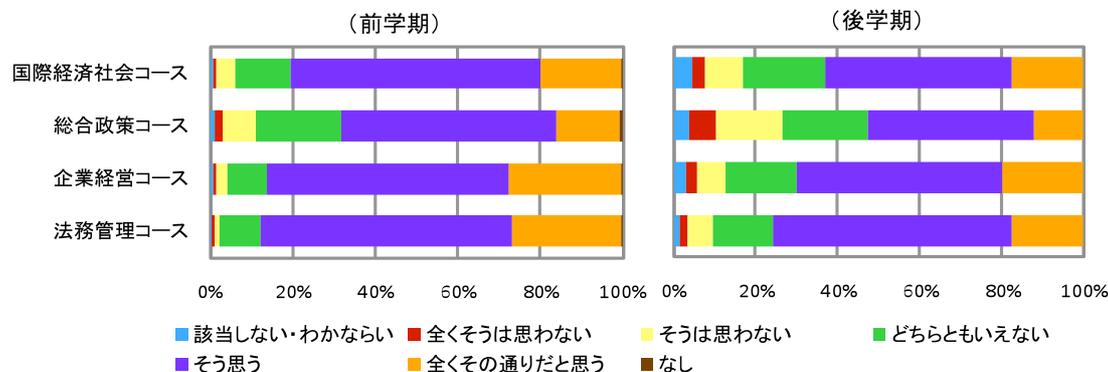
この項目では「該当しない・分からない」が占める割合が著しく高くなっている。一方で「そう思う」「全くその通りだと思う」は前後学期を通じていずれのコースとも4割を超えない。シラバスが学習上、必ずしも有効に活用されていない状況が窺われる。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



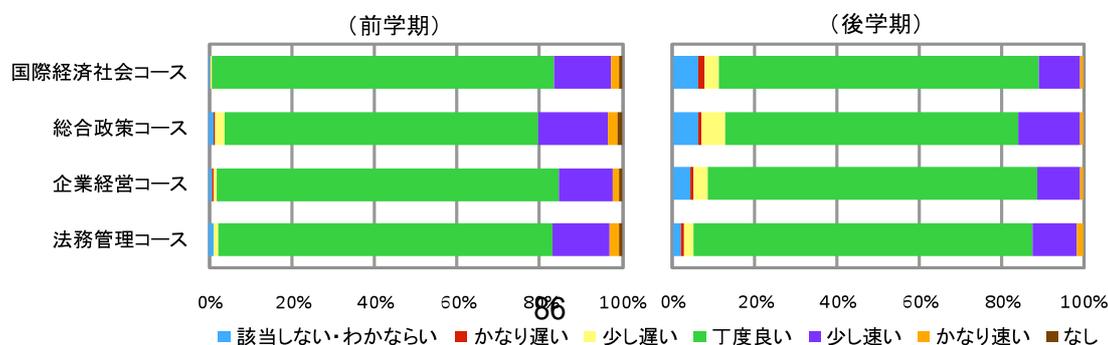
この項目でも「該当しない・わからない」が大きな値を示している。B-5 項から分かるように、シラバス自体が有効に活用されていないことを考えれば、当然の結果であろう。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



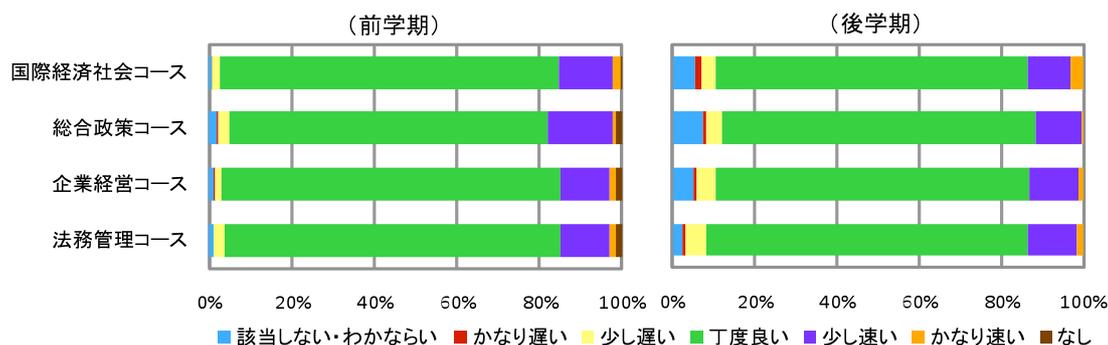
企業経営コース・法務管理コースでは前学期で90%近く、後学期でも80%近くが「適切だ」と考えていることが分かる。一方で総合政策コースは4コースのなかで際立って低い値を示している。その理由について検証する必要があることは、B-4 項目と同様である。

B-8 話す速さは適切だった



この項目についてはいずれも「ちょうどよい」が多数を占めており、おおむね満足すべき結果が現れたといえよう。後学期で「わからない」が増えているのは、アンケートの取り方から、授業に出席していない学生も回答したためと考えられる。

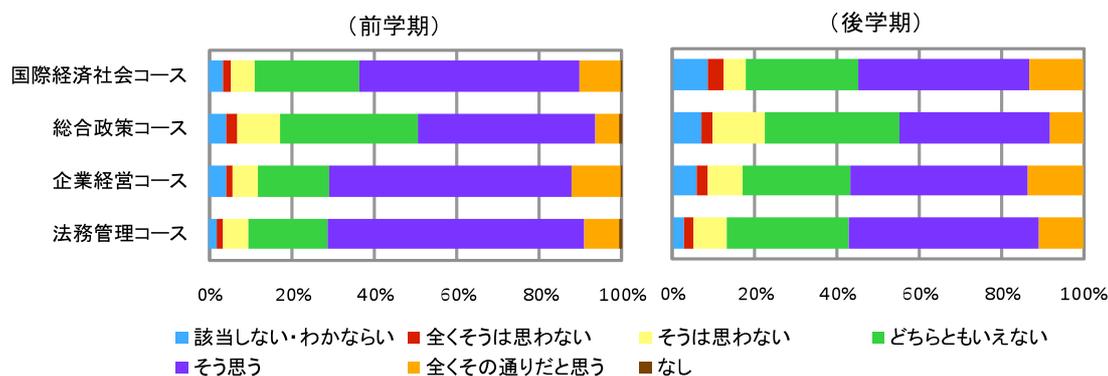
B-9 授業の進む速さは適切だった



この項目については B-8 と比べて「少し速い」の占める割合が高くなっている。カリキュラム上の進行計画は重要だが、授業の内容を学生が理解しているか、十分に確かめながら臨機の対応を求められる場合もあるといえる。

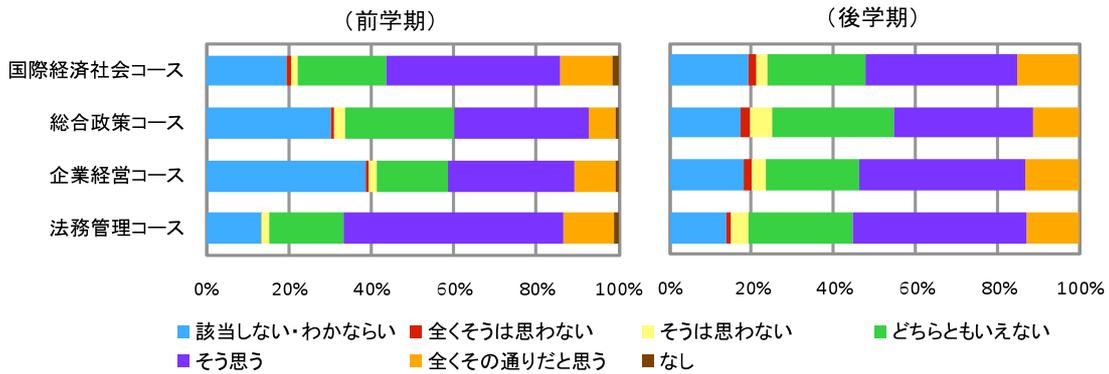
G. 教員の対応

G-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



企業経営コースと法務管理コースでは、前学期で70%程度、後学期で60%前後の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」をチェックしている。一方で総合政策コースの値は特に低くなっている。B-2 項からも分かるように、総合政策コースでは学生の授業内容への関心が他のコースに比べて低い傾向にあり、その分、授業をわかりやすくする丁寧なフォローが求められているといえる。

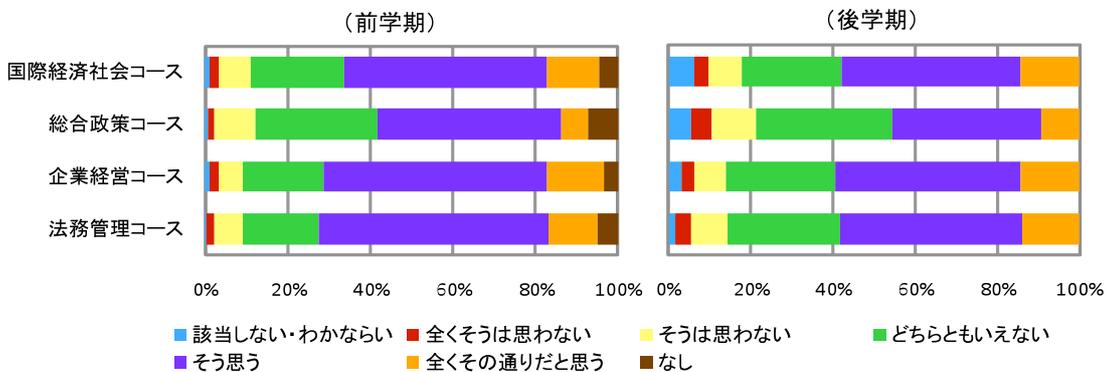
C-2 学生の質問に適切に対応している



この項目では、特に前学期において「該当しない・わからない」の占める割合が高くなっている。授業の進行において必ずしも学生との対話を取り入れられていないように思われる。これは受講人数などとの関係もあり、一概に否定的に捉えることはできない。だが法務管理コースなどでは相対的に多くの学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」をチェックしており、このように肯定的な結果があらわれた理由について検証するのの一つの方法であろう。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



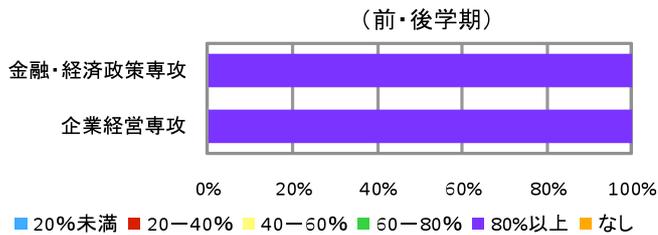
前学期においては 60～70%、後学期においても 50～60%の学生が「そう思う」「全くそのとおりだと思う」をチェックしており、いちおうの水準には達している。ただし総合政策コースの満足度は相対的に低くなっており、検証の必要があろう。

平成 22 年度 経済学研究科授業評価報告書

経済学研究科は金融・経済政策専攻と企業経営専攻に分かれる。この報告書では、それぞれの専攻について、授業評価アンケートの項目に沿って分析を行う。なお科目数が少ないため、前・後期は分けずに分析する。

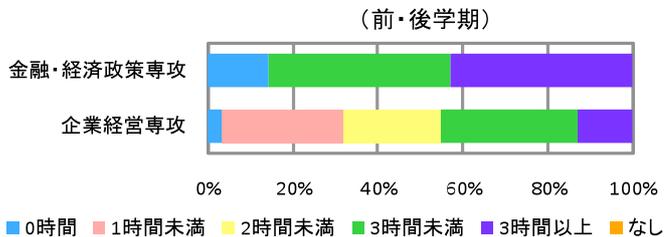
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



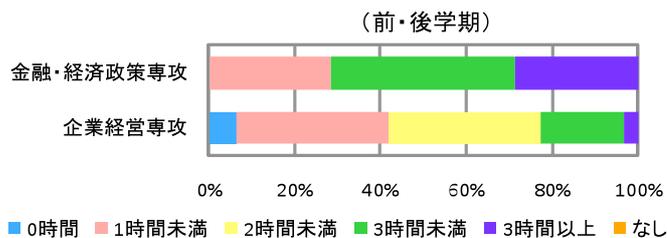
この項目ではいずれの専攻も 80%以上の出席率を達成しており、特に問題は認められない。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



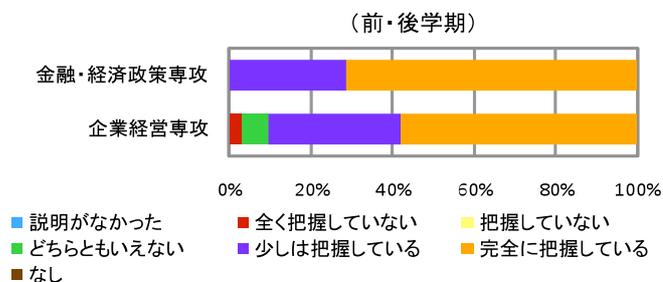
この項目では両専攻の相違が明確に現れている。4割以上が「3時間以上」の予習を行っている金融・経済政策専攻に対し、企業経営専攻の予習時間は短く、3割以上が「0時間」「1時間未満」にとどまっている。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



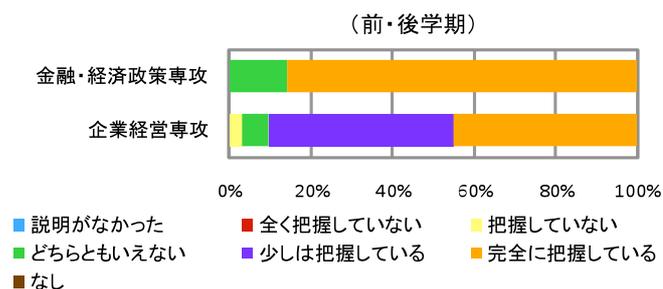
この項目でも金融経済政策専攻に比べ企業経営専攻の復習時間は短い。回答者母数や科目の性格等について吟味する必要はあるものの、企業経営専攻の科目では予習・復習時間を確保するための努力が必要と思われる。

A-4 この授業の学習目標を把握している



金融経済政策専攻の科目では約 7 割が、企業経営専攻の科目でも約 6 割が「完全に把握している」と回答しており、大きな問題は認められない。ただし少数ながら、企業経営専攻の科目で「全く把握していない」との回答が見られる点は留意する必要がある。

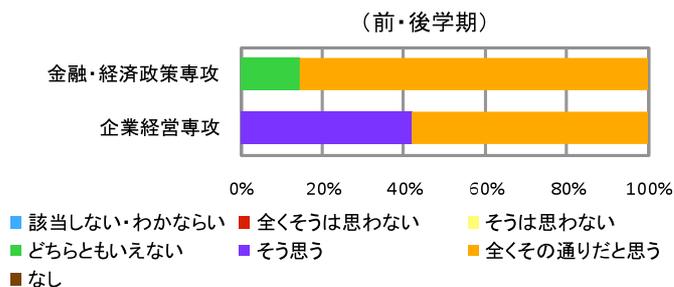
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



金融経済政策専攻では 8 割以上が成績評価基準を把握しているのに対し、企業経営専攻ではその比率は 4 割程度にとどまり、逆に「少しは把握している」の比率が著しく高い。企業経営専攻では、成績評価基準の周知に努める必要があるだろう。

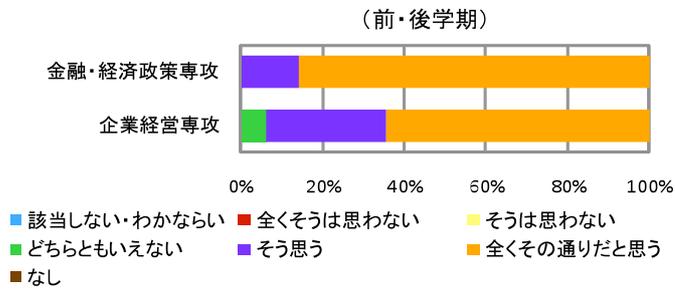
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



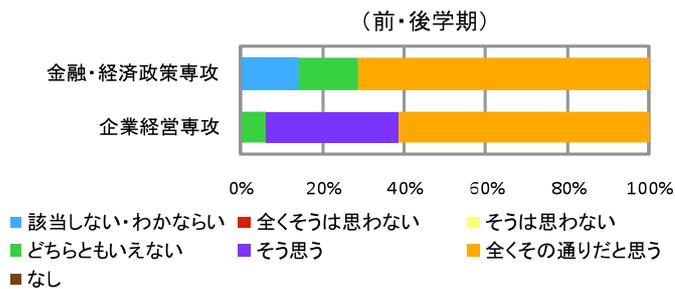
いずれの専攻でも「全くその通りだと思う」「そう思う」の比率が高く、授業内容の理解度については大きな問題がないといえる。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



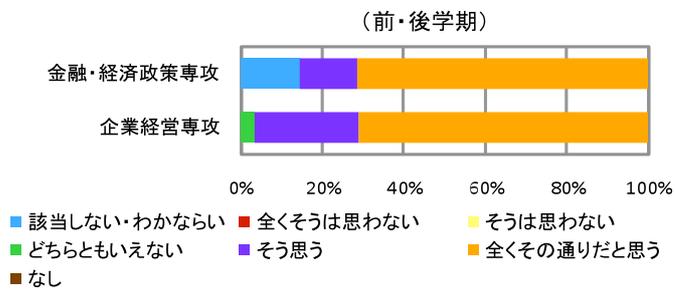
いずれの専攻でも「全くその通りだと思う」「そう思う」の比率が高く、内容への関心喚起についても、大きな問題はないといえる。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



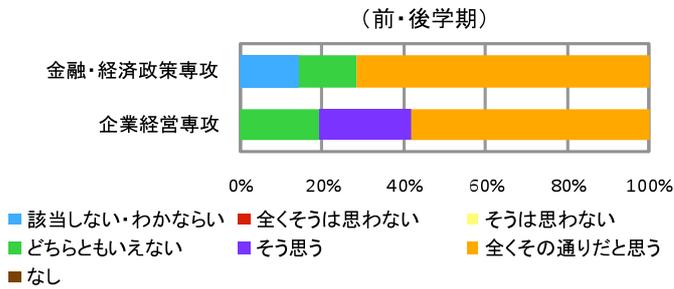
いずれの専攻でも、大きな問題はないといえる。金融・経済政策専攻において「該当しない・わからない」や「どちらともいえない」の数値が高くなっているのは、少人数の演習形式で行っている授業が多いためであろう。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



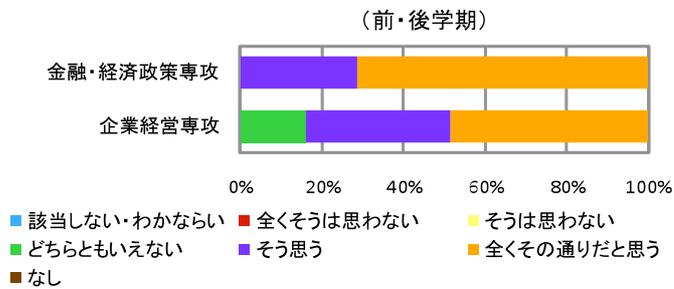
この点についても大きな問題はないと判断される。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



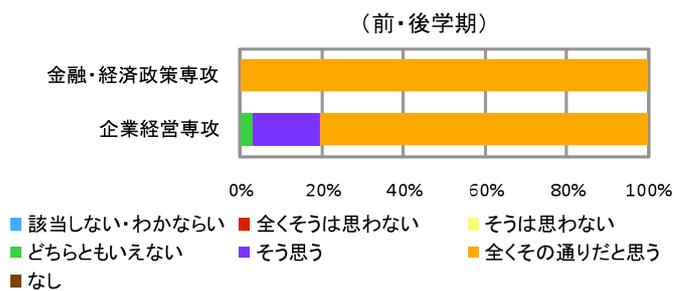
いずれの専攻でも「全くその通りだと思う」「そう思う」の比率が高くなっており、シラバスは学習において一定以上の役割を果たしていると思われる。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



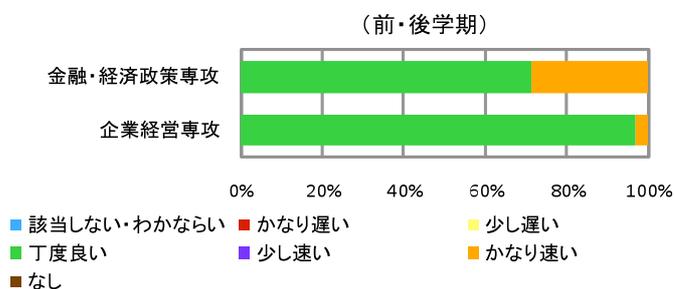
いずれの専攻でも「全くその通りだと思う」「そう思う」の比率が高くなっており、「おおむねシラバスに沿った形で授業が行われていると推測される。」

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



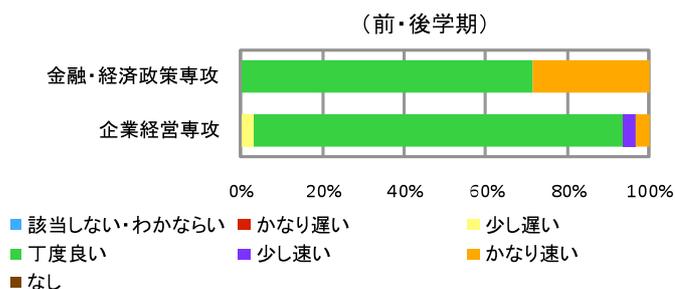
この点についても問題は認められないようである。

B-8 話す速さは適切だった



企業経営専攻においては「ちょうど良い」が90%以上を占めており、問題ないと思われるが、金融経済政策専攻では「かなり速い」が20%以上となっており、教員側の配慮が必要だと思われる。

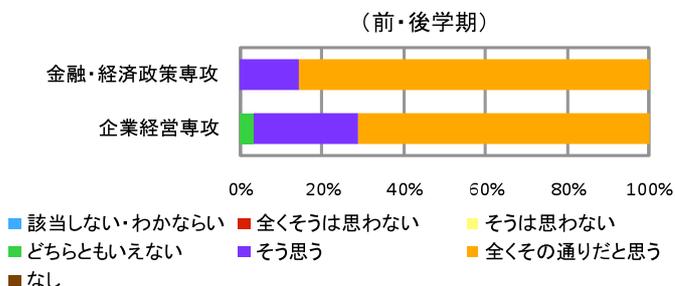
B-9 授業の進む速さは適切だった



この点でも金融経済政策専攻では「かなり速い」が3割程度に達している。学生の理解度にあわせた進行を心がける必要があるといえる。企業経営専攻では概ね満足できる水準に達していると判断できる。

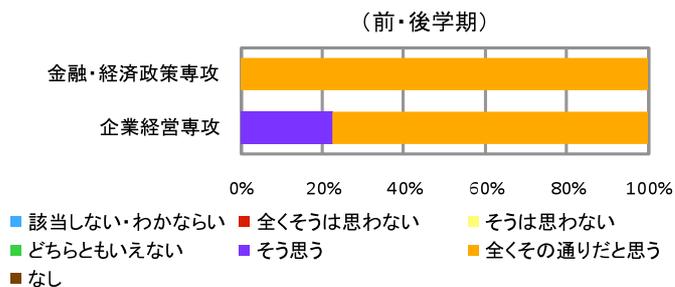
G. 教員の対応

G-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



この点についてはいずれの専攻でも高い評価が与えられており、問題は認められない。

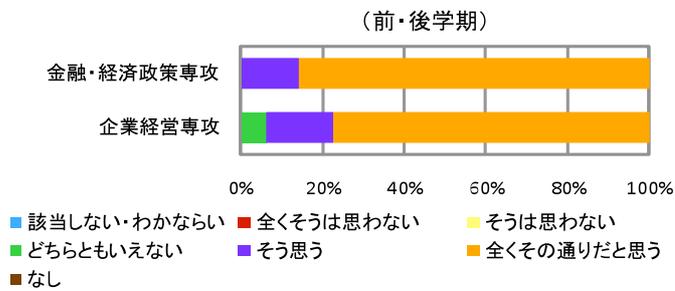
G-2 学生の質問に適切に対応してくれている



この点についても高い評価が与えられている。とくに金融・経済政策専攻では100%が「全くその通りだと思う」と回答されており、高く評価できる。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



全体としていずれの専攻でも満足度は高いといえる。

平成22年度 組織別授業評価報告書

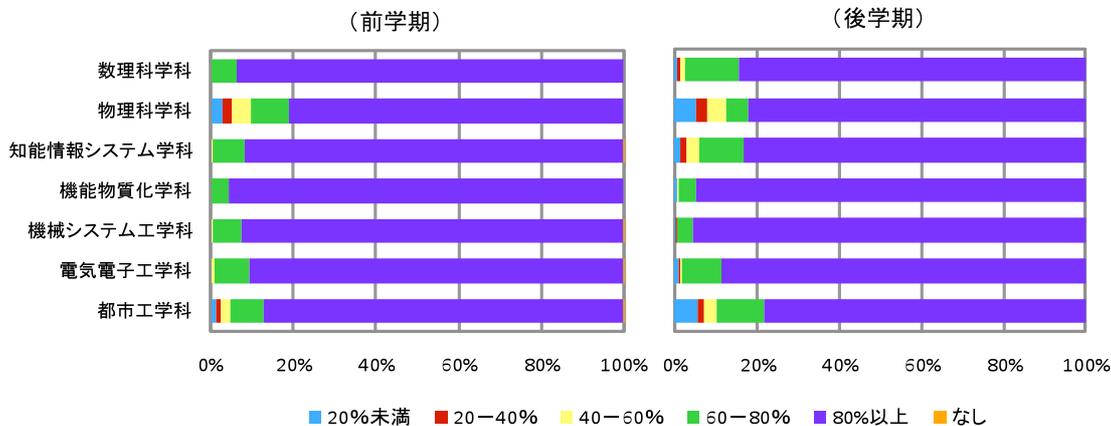
平成23年4月

佐賀大学理工学部・工学系研究科FD委員会

1. 平成22年度 理工学部 授業評価アンケート分析

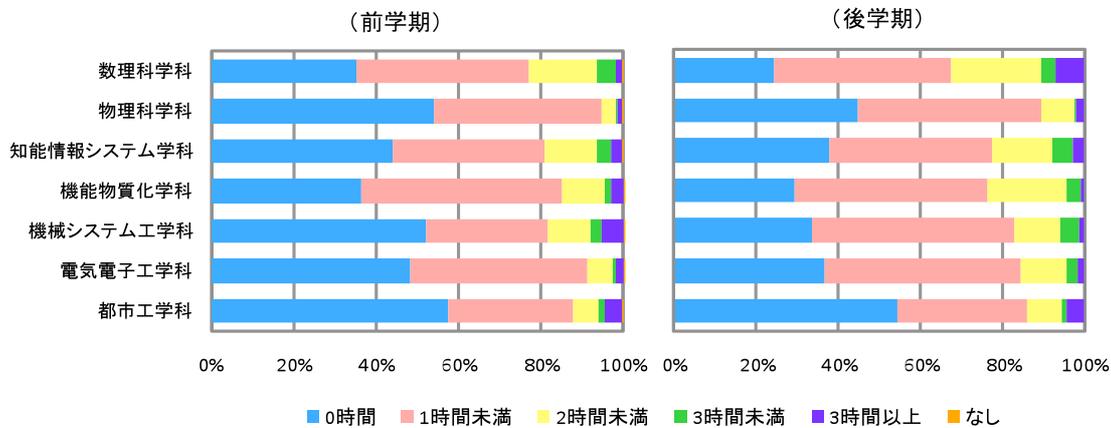
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



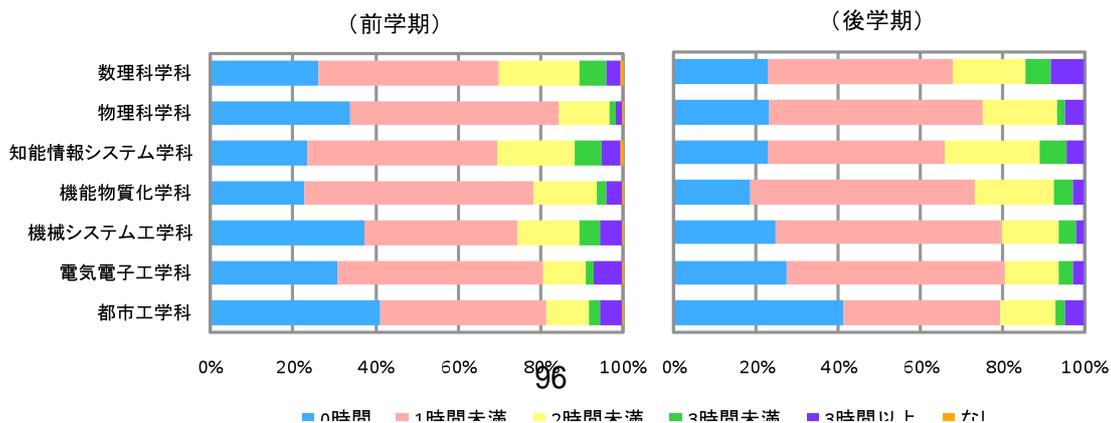
前期、後期とも、出席の状況は良好である。いずれも「80%以上」出席をした学生が最も多く、各学科とも80%以上が「80%以上」を選んだ。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



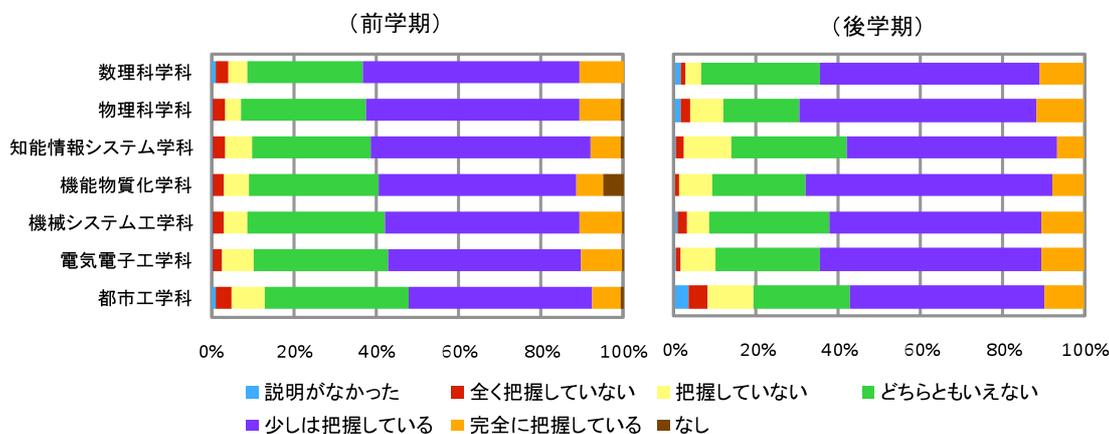
「1時間未満」から「2時間未満」が50%から65%と予習に対する指導が徹底していることがわかる。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



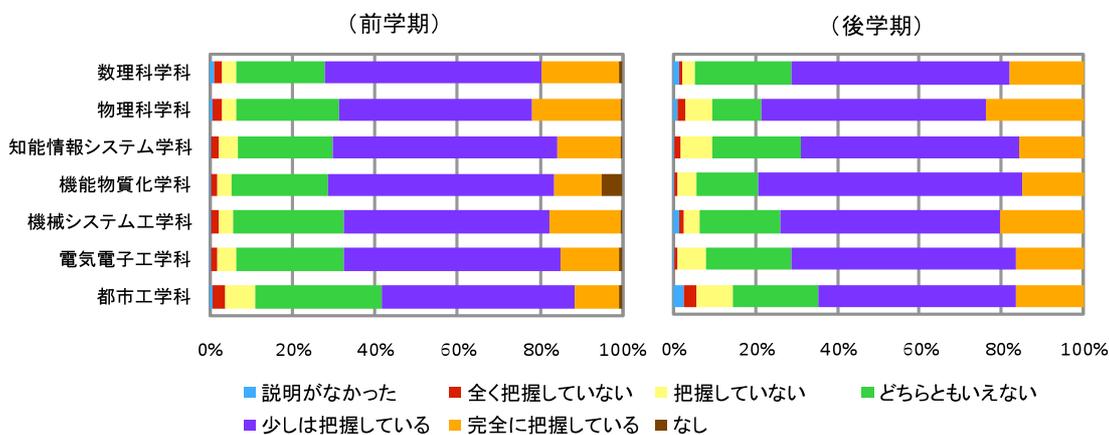
予習に比べ、復習には時間をかけて取り組んでいる様子が伺える。まだ十分とは言えないが、60%から80%の学生が「1時間未満」以上の時間復習に取り組んでいる。

A-4 この授業の学習目標を把握している



60%前後の学生が授業の学習目標を「完全に把握している」及び「少しは把握している」と答えている。一方、授業の学習目標を「把握している」「全く把握していない」学生は10%程度と少なかった。オンラインシラバスや授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断される。

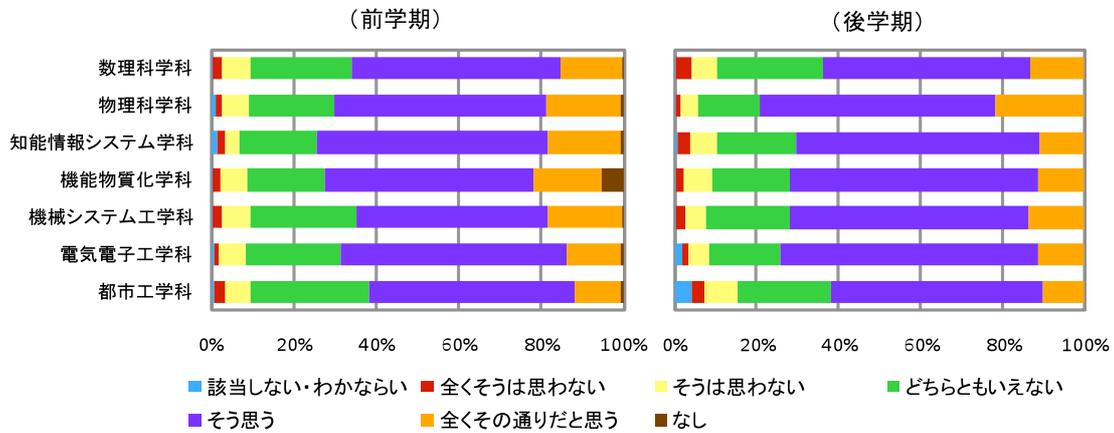
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



70%前後の学生が、成績評価基準を「完全に把握している」及び「少しは把握している」と解答しており、各分野の授業の成績評価基準は概ね把握されていると判断される。

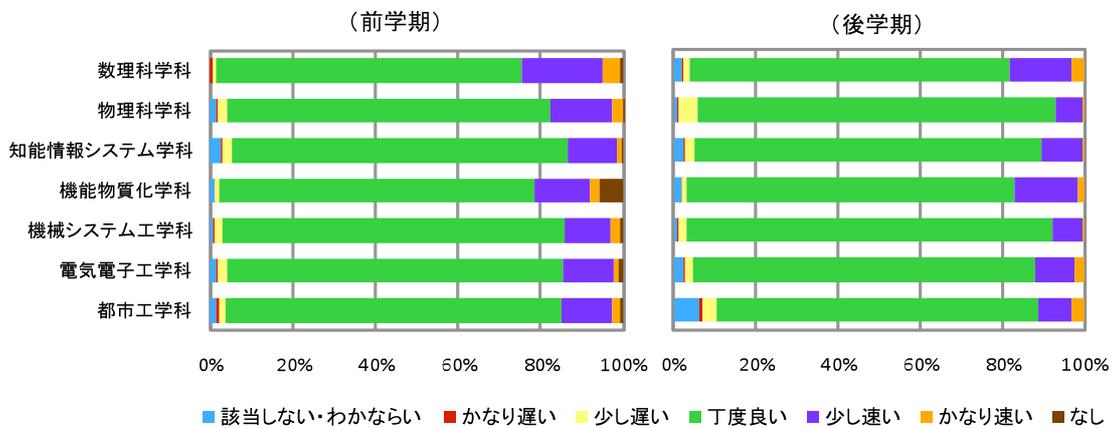
授業計画に関する質問では、B-5の質問と比べ否定的な回答が少ない。「該当しない・わからない」の回答は授業形態に依存すると考えられる。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



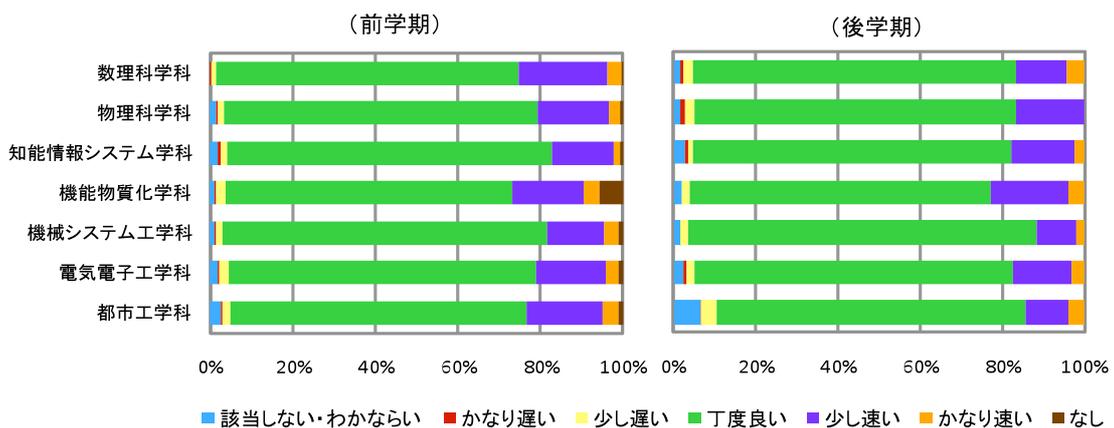
「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が60-80%であり、良好な評価と言える。

B-8 話す速さは適切だった



ほとんどの授業で話す速さは適切と判断される。

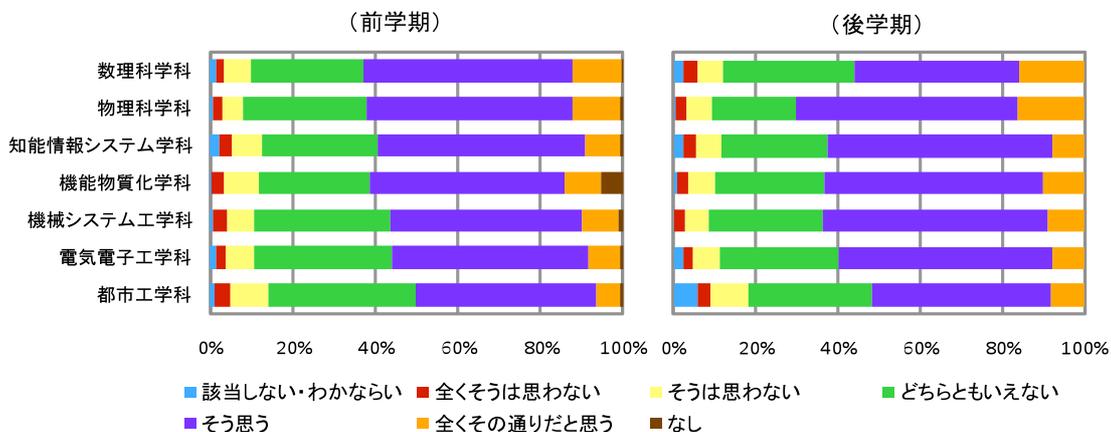
B-9 授業の進む速さは適切だった



ほとんどの授業で授業の進む速さは適切と判断される。

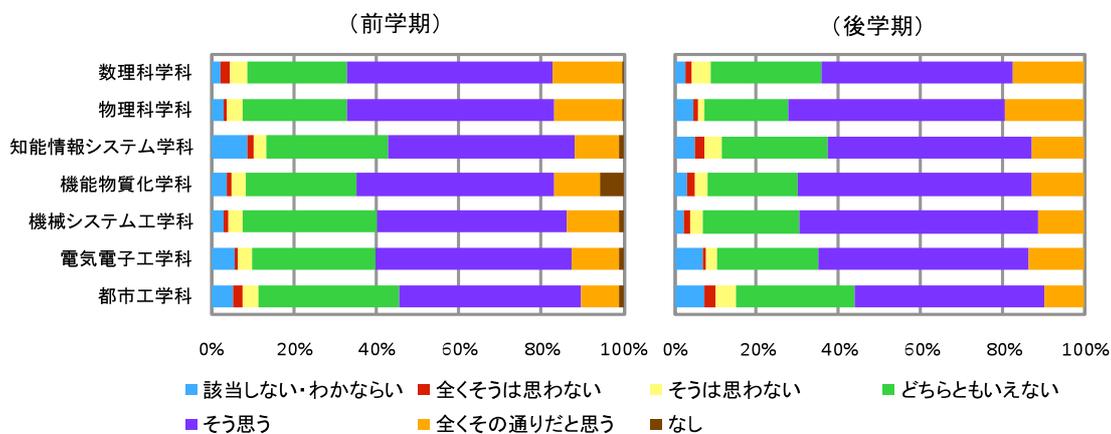
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が 50-60%であり、教員の授業への取り組みが評価されている。

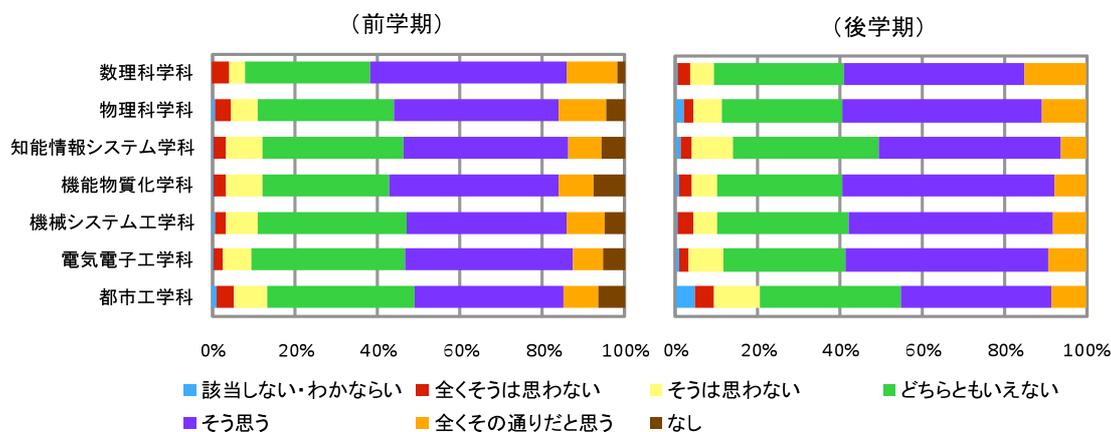
C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が 60%前後であり、学生への対応は適切と判断される。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が、50-60%であり、概ね満足度のいく授業がなされていると判断される。回答「なし」の学生は、満足度の定義があいまいなため回答しなかったのかも知れない。

2 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

理工学部

理工学部では、学科の判断により授業評価アンケートの全項目もしくは複数項目、あるいは満足度の評価を用い授業の分析や学生から高い評価を得ている授業科目の選出をおこなっている学科がある。一方、独自アンケートを実施している学科（機能物質化学科）や別の基準で選考している学科（都市工学科）もある。

工学系研究科博士前期課程

工学系研究科博士前期課程では、いくつかの専攻（物理科学専攻、電気電子工学専攻、知能情報システム学専攻）では、学部と同様の方法で選考を行っている。学部では授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善をおこなっている専攻もある。

工学系研究科博士後期課程

工学系研究科博士後期課程の運営は、平成22年度の改組により、博士後期課程の分野やコースが学部学科や博士前期課程専攻と同じ組織になり、博士前期課程と連動して評価方法を進めている。

各学科・専攻の取り組みは下記のとおりである。

理工学部

数理科学科

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

物理科学科

共通アンケートを利用した科目について学科全体で集計を行い、アンケートの全項目において平均点と標準偏差を計算し、各項目で平均点の高い順に3科目ずつと標準偏差、最高スコアと最低スコアの差を表にして全教員に配布する予定である。

またベスト3にリストされた科目の担当教員は他の教員の求めがあれば、授業参観の受入、資料の提供などを通じて授業改善に資する情報を提供することが取り決められている。

知能情報システム学科

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告した。

機能物質化学科

例年通り、卒業予定者アンケートを実施した。この中で、在学中印象に残った授業科目の上位3科目を調査した。結果を、教員毎に纏め、上位2名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。このうち上位の教員を「学生の評価の高い教員」として、次年度の教員表彰候補者として推薦している。

機械システム工学科

・「佐賀大学理工学部機械システム工学科教育顕彰に関する申し合わせ」（平成20年12月3日改正）を設定している

・前年度に実施された学生による授業評価アンケートの授業内容および授業方法に関する設問において最も高い評価を受けた科目と当該教員を選出する

・選出された科目を、学科会議メンバーが参観をし、アプローチシートに優れている点を記載する。

・顕彰された教員に対し、副賞として教育用図書等購入費が贈呈される。

・顕彰された教員は、学科ホームページに選出過程とともに氏名、顔写真が掲載される。

電気電子工学科

授業評価アンケートのB授業内容および授業方法、C教員の対応、D満足度および受講者数、合格率を総合的に判断して行う。

都市工学科

学科で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合意が得られていないことによるものである。

工学系研究科博士前期課程

循環物質化学専攻

機能物質化学専攻と関連する循環物質工学専攻の授業も履修可能であるため、授業あたりの受講者数が少なく、また学生は関連分野の科目を中心に履修するため、アンケート調査では学生の評価が得られないと考え、学部と同様の調査はおこなっていない。

物理科学専攻

基本的にはアンケートを利用した科目について学科全体で集計を行い、アンケートの全項目において平均点と標準偏差を計算し、各項目で平均点の高い順に3科目ずつ標準偏差、最高スコアと最低スコアの差を表にして全教員に配布する予定である。

機械システム工学専攻

特に行っていない。

電気電子工学専攻

授業評価アンケートのB授業内容および授業方法、C教員の対応、D満足度を総合的に判断して行う。

知能情報システム専攻

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告した。

数理科学専攻

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

都市工学専攻

専攻で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合意が得られていないことによる。

先端融合工学専攻

関連する学科に連動して評価を行っている。

3 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

優れた点：

理工学部

授業評価アンケートの集計とその利用に積極的な取り組みを実施している。これらの活動に学科内の教育関連委員会が活発に機能している様子が全学科で伺える。さらに、アンケート等の分析から、授業改善に着手している（知能情報システム学科、機能物質化学科、機械システム工学学科、電気電子工学学科等）。活発な教員個々の取り組みと、それら活動結果の共有化も軌道に乗っている（知能情報システム学科、都市工学学科）。

JABEE 関連学科においては、社会の要請を教育プログラムに反映させるため、卒業生や企業など学外関係者対象の独自アンケートを実施している。

工学系研究科

工学系研究科でも授業評価アンケートの実施と点検、改善への取り組みがほとんどの専攻で行われている。昨年度、特別コース用に英文の共通アンケート様式も整備され、特別コース科目でのアンケートの実施状況が改善されつつある。

理工学部と同様に、全ての授業において、授業評価アンケートの分析を行っている専攻（物理科学専攻）や、アンケートの分析からカリキュラムを改訂している専攻もある（知能情報システム学専攻、都市工学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻等）。

改善すべき点：

理工学部

授業改善の取り組みは概ね良好であるが、小人数教育、複数教員担当科目など、共通アンケートを利用するのが適切でない科目の意見聴取がまだ完全でない。意見聴取の方法を含めて検討が必要である。

工学系研究科

大学院課程では受講生の少ない科目が多く、共通アンケート形式に依らない大学院独自の意見聴取方法と内容を検討する必要がある。

各学科、専攻の取り組みは以下のとおりである。

理工学部

数理科学科

線形代数および微積分などに関わる基礎学力の向上が見られるのが優れた点であり、更なる数学の諸分野（代数学・解析学・幾何学・応用数学）に関わる学力の増進を図るのが改善を要する点である。

物理科学科

授業評価アンケートの集計とその利用に全学科で独自の取り組みを実施している。具体的には、学科内での共通アンケート全科目を集計し、各教員に配布した

知能情報システム学科

以下のような改善をおこなった。

- ・「卒業研究」評価の客観性を高めるために、卒業研究評価方法を定め、主査 1 名および副査 2 名で評価することにした。この卒業研究評価方法は学生にも公開されている。
- ・平成 21 年度におこなった企業アンケートの結果に基づき、1 年～3 年次にもプレゼンテーション能力が身に付けられるよう、いくつかの科目で学生にプレゼンテーションを義務づけた。
- ・学科 BBS を新設し、学生からの要望や学生情報、講義情報を共有し、オンライン会議も可能になるようにした。
- ・開講前点検・閉講後点検・FD 報告を継続的に行なっており、上記学科 BBS を通じて、これらの情報をいつでも教員が参照できるようにした。
- ・教員間でシラバスの記入項目に差がないよう学科共通のシラバステンプレートを定めた。
- ・卒業式当日、卒業生に対して学習内容に関するアンケートを実施した。

改善を要する点：本年度定めた卒業研究評価方法やシラバステンプレートなどについては、教員によって若干その解釈に差が生じてしまったことがあげられる。

機能物質化学科

学科教員全員が所属する分野別教員会議と、それらを取りまとめる教育プログラム委員会、そして教育活動の点検を行う教育 FD 委員会が機能的に活動している。教育システム上の問題点が学科全体で議論され、改善されるシステムが軌道に乗っている。

実験科目や卒業研究の授業評価には共通形式のアンケートを用いることは適当でない。そこで平成 19 年度から実験・実習用の独自形式のアンケートを作成し、実施している。また、JABBE プログラムである機能材料化学コースの修了生に対しては、プログラム全体についてアンケートを実施している。この中で、学科の教育改善システムである PDCA サイクルを紹介し、これについての意見も聴取している。

機械システム工学科

優れている点：改善勧告の基準を明確にし、組織的な改善がなされていること

- ・FD 委員と協議し、当該セメスターの専門教育科目に対する学生による授業評価アンケート

において次の2項目において平均が1点台と評価された教員を選ぶ。

- ・声の大きさ・明瞭さは適切だった(1, 2, 3, 4, 5の5段階評価)
- ・話す速さは適切だった(1, 2, 3, 4, 5の5段階評価)
- ・学科長は勧告記録を保管する。
- ・勧告記録は、JABEE 実地審査における開示資料とする。

改善を要する点：満足度については、当然のことであるが、実験や実習および卒業研究の評価が総じて高くなっている。すなわち、学生自らが積極的に参加できるような形態でありかつ、学生個々に対して先生またはTAが直接指導できるような形態の科目が、学生の知識修得にとって大切であるということを示している。そこで、学生自らが参画し問題を自ら解決するようなカリキュラムを構成することが重要と考える。

電気電子工学科

電気電子工学科では平成19年度より教員間のピア授業参観を行い、授業参観レポートで教員の目からみた授業改善点の洗い出しを行っている。平成21年度は前期、後期に専門科目および情報処理科目のすべてにつきピア参観を行い、その結果のまとめの報告書を教員に配布し、授業改善の参考としてもらった。平成22年度は実施しなかった。また、学科内に教育改善委員会を設置し、留年問題、定員過剰の問題、学期毎の成績評価の確定、学習内容指導など教育改善に関する議論を行ってきた。さらに、4つの各科目グループ(数学、情報、回路、電磁気学グループ)内でも議論した。

都市工学科

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

改善を要する点として、“予習、復習の実施状況が良くない”、“要点が押さえられていない”、“授業内容への興味/関心が低い”と言った事柄が共通した改善を要する点である。これに対して、“予習のために講義資料をホームページで公開する”、“毎回の授業に、当日の講義内容の理解を進めるためのレポートあるいは演習問題を実施する”、“講義の始めに授業の要点や狙いを述べる”等の改善が行われた。また、一部の授業においてはe-Learningの導入も試みた。

一方、平成18年度より都市工学科のカリキュラムをこれまでの土木工学主体の教育体系から、建築・都市デザイン系のコースを新たに導入し、学生による授業評価をカリキュラムの改善にどのように生かしていくのか、今後教務・FD委員会を中心に検証していく予定である。

工学系研究科博士前期課程

循環物質化学専攻

平成20年度からカリキュラムに専門基礎科目群が導入された。これらの授業に対する授業評価アンケート分析から改善すべき点が指摘された。これらの事項に関し、機能物質化学専攻の分

野別教員会議にて、専門に近い教員グループによる授業の改善を続けている。

物理科学専攻

授業評価アンケートの集計とその利用に全学科で独自の取り組みを実施している。具体的には、学科内での共通アンケート全科目を集計し、各教員に配布した。

機械システム工学専攻

優れている点：機械工学の基礎を担う科目を必修とし、より高度な専門科目への導入教育を明確にしていること。

改善を要する点：導入教育に対する学生の評価がさほど高くない。

電気電子工学専攻

学生の自己学習能力、デザイン能力、研究推進能力の向上のため、学部と同様に学科内に教育改善委員会を設置し、教育改善に関する議論を行ってきた。

知能情報システム専攻

カリキュラムを再構成し、必修科目を設定して基礎的な学力を強化するようにした。改善を要する点としては、初年度であったため手探り的に実施した内容の改善があげられる。

数理科学専攻

必修3科目の特論特(代数学・解析学・幾何学)の設定により、修士1年生の基礎学力に増進が見られるのが優れた点であるが、その分セミナー指導を受けるために準備する時間を多く取れないのが改善を要する点である。

都市工学専攻

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。改善を要する点として、“分かり易さの工夫が足りない”，“ノート記載量が説明のフォローが出来ない”，“採用した教材選びに対する不満”と言った意見が学生から寄せられている。理解度が低いことが共通した改善を要する点である。英語教材の採用やゼミ形式によるディスカッションの導入が背景にあると考えられる。これに対して，“ノート取得に配慮した要点説明”，“英文テキストの音読導入”，“実務トピックの紹介”等の改善が行われた。合格率の若干の向上や満足度の向上が見られた科目もある。

先端融合工学専攻

平成22年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。学生は、入試において異なった専門をもつ教員から様々な質問を投げか

けられ、講義において様々な分野の講義を取得することができる。また、専攻会議においても、横幹的特徴を生かすべく議論を積み重ねている。以上が優れている点である。

一方、様々な出身母体から学生が集まってきているため、個々の学生の修学履歴に応じた指導および評価が大切であるが、なかなか実現には至っていないのが現実である。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

関連する各学科に連動して、逐次評価している。

4 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

理工学部

授業評価アンケートの実施が徹底され、全ての学科でアンケート結果を独自に分析し、授業改善や評価の高い授業科目の情報を利用する試みがおこなわれている。アンケート結果からカリキュラム改訂や学科レベルでの教育方法の改善に取り組んでいる状況である。今後はこれらの改善の点検・評価に取り組んでいく必要がある。

工学系研究科

特別研究や特別コース科目などの小人数教育における学生の授業評価の方法を議論し、アンケート実施を徹底する。平成22年度に実施されたカリキュラム改訂や教育課程の再編に関する教育効果の検証が必要である。

各学科・専攻の取り組みは下記のとおりである。

理工学部

数理科学科

卒業研究に繋がる学力の増進を図る。

物理科学科

レメディアル教育や補習授業の必要性が指摘されているが、その対策の1つとしてe-Learningを利用する方法がある。本年度はいくつかの科目について実践された。また関係する講習会への参加者も増加した。次年度はさらに実践する教員が増えることを期待する。

知能情報システム学科

卒業研究評価方法やシラバステンプレートなどについて、教員によって解釈に差が生じないように解説文を整備し、次年度は全教員が同じ解釈の下で、授業や評価を実施できるようにする。また、卒業生に対するアンケートも実施し、授業やカリキュラム構成に反映させたい。

機能物質化学科

授業評価アンケートの分析方法について再度検討する。アンケートの分析結果による授業改善に学科全体で取り組みたい。

機械システム工学科

改組に伴い教員および科目内容の変更があったが、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図っていく。同時に導入教育の内容の検討を継続する。

電気電子工学科

- ・ 教育改善委員会を定期的で開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
- ・ 学生に対して、電気電子工学科開講科目全体に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。科目分野別の委員会において、学習教育目標、シラバス、試験内容、評価方法の整合性のチェックを行う。
- ・ 教員間のピア授業参観を行い、授業改善点の洗い出しを行う。

都市工学科

引続き“学生の予習、復習不足の解消”に向けた授業改善に取り組む。加えて、“建築士等の資格へ対応する講義内容の変更・強化”等を通じて、“学習の動機付け”を与えるような工夫を行う。

工学系研究科博士前期課程

機能物質化学専攻

授業評価アンケートの分析方法について再度検討する。アンケートの分析結果による授業改善に専攻全体で取り組みたい。

物理科学専攻

学部と比較して、専攻では独自アンケートを利用する科目の割合が多かった。今後はこれらの独自の取り組みに関する相互交流を深め、有効な方法を模索していきたい。

機械システム工学専攻

改組に伴い、教員および科目内容が変わるので、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図る。同時に導入教育の内容をさらに精選する。

電気電子工学専攻

教育改善委員会を定期的で開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
学生に対して、電気電子工学専攻開講科目全体に関するアンケートを行い、教育改善および教育

評価に活用する。

知能情報システム専攻

講義内容の改善を図る。

数理科学専攻

修士論文作成に関わる学力と表現力を身につけさせる。

都市工学専攻

英語苦手意識の解消を目指して英語によるコミュニケーション能力の改善を図る。

先端融合工学専攻

平成22年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。次年度は、初めての博士前期課程の修了生を送り出すこととなる。そこで、論文の最終審査においても、横幹的な特徴を生かすような運営を実現する。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

学生が所定の年限で修了できるよう教育・研究指導することが基本であり、各指導教員は研究指導実績報告書の指導計画に基づいて改善を加えながら着実に遂行している。

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

平成22年度 組織別授業評価報告書

平成23年4月

佐賀大学農学部F D委員会
佐賀大学大学院農学研究科F D委員会

はじめに

大学を取り巻く環境は、年を追うごとに、厳しくなっている。平成16年度に国立大学が法人化された後は、大学が、その社会的責任を果すこと、特に、高等教育機関としての機能を強化・充実することが必要不可欠になった。それをうけて、佐賀大学農学部においても、カリキュラムの見直し、チューター制度の見直しなどをはじめ、教育改革のためのさまざまな取り組みをはじめている。

教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するための活動の一つとして、佐賀大学は、全ての授業科目について、全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」を実施してきた。今年度後期からは、アンケートを、学生が時間のあるときに端末から入力できるような制度も整えられた。農学部ならびに農学研究科においても、平成18年度から授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めてきた。

この冊子には、昨年度に準じて実施した平成21年度の授業評価アンケートの結果（学科・コース別）と、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を、応用生物科学科、生物環境科学科、生命機能科学科の各組織順に記してある。

アンケートでは、学生側の課題として、学習目標および成績評価基準の理解度、出席率、予習・復習の時間、授業内容の興味と理解度、満足度などについて調査し、分析している。教員側の課題としては、シラバスに準拠した授業の実施、黒板などの使用法、教材の分かりやすさ、話す速度、声の大きさ、授業の速度、授業を分かりやすくする工夫、質問への対応などについて調査し、分析している。

また、授業評価アンケートに基づく授業改善は、大学院農学研究科修士課程についても実施している。本年度の修士課程の学生においても、学部学生とほぼ同じ内容のアンケートを行い、教員がそれを反映した授業改善を行ってきたため、授業評価アンケート結果、結果の分析を行っている。

組織別の分析からは、一部は改善されたが、改善が不十分なまま残されたものもある。具体的なことについては、本報告に記されている結果、課題ならびに提言を参照願いたい。これらの点を改善するためには、個々の教員の工夫とともに、学科などを単位に、効果的な授業方法や学生の学力、学生をとりまく社会的状況などについて教員どうしでの情報交換の場を設けるなどの工夫も有効であろう。

また、アンケートの実施や結果の分析は教育改善のために必要であるが、教員の教育研究時間がますます減少するなかで、学部内でアンケートが形骸化しないための努力も必要である。昨年度は、とくにシラバス入力 of 徹底に力が入れられ、入力率が向上した。これらの努力を続けるとともに、アンケート内容や教員の自己評価内容、方法が学生と教員双方に実質的なものとなるために、教員自信が授業評価に関心をもち、活用してゆく積極的な姿勢が重要である。

農学部では現在、学科を単位にカリキュラムの改善がすすめられている。今後とも、個人・組織の両レベルで不断の教育改善努力を積み重ね、農学部の規模や特色を生かした、活力のある教育システムを構築し、実践してゆきたい。

平成23年4月

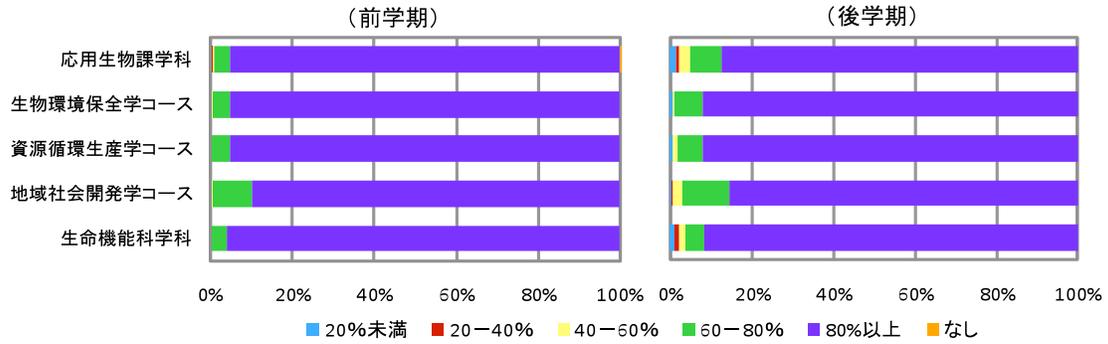
農学部教育委員会FD専門委員会

農学部組織別授業評価分析結果

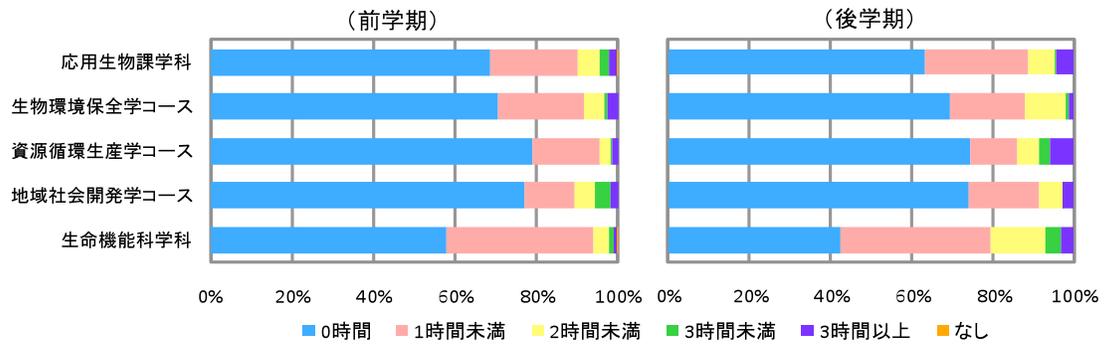
I アンケート結果

A. あなた自身について

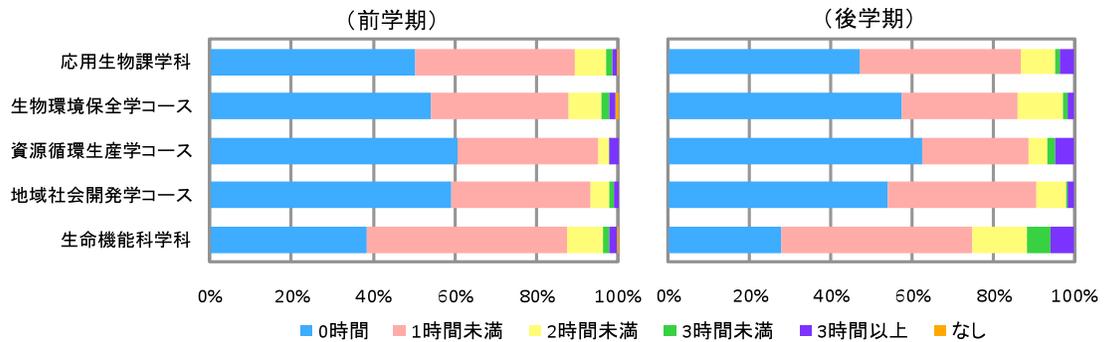
A-1 出席率はどのくらいですか



A-2 予習を毎週どの程度していますか

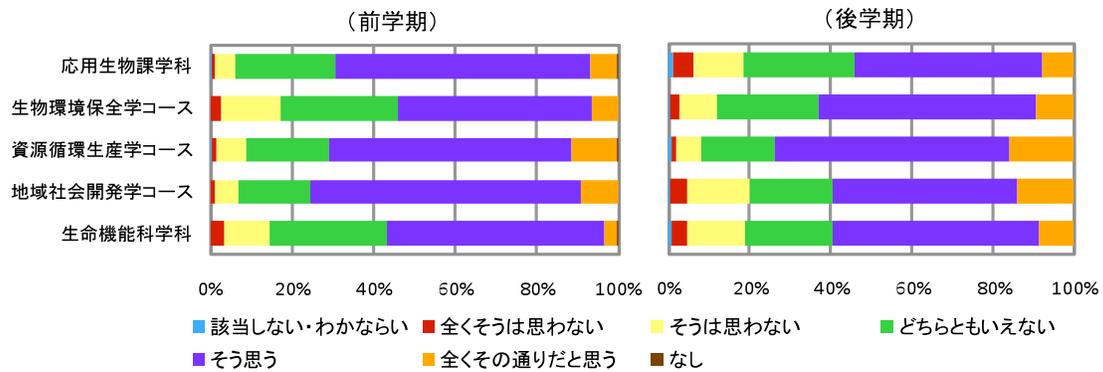


A-3 復習を毎週どの程度していますか

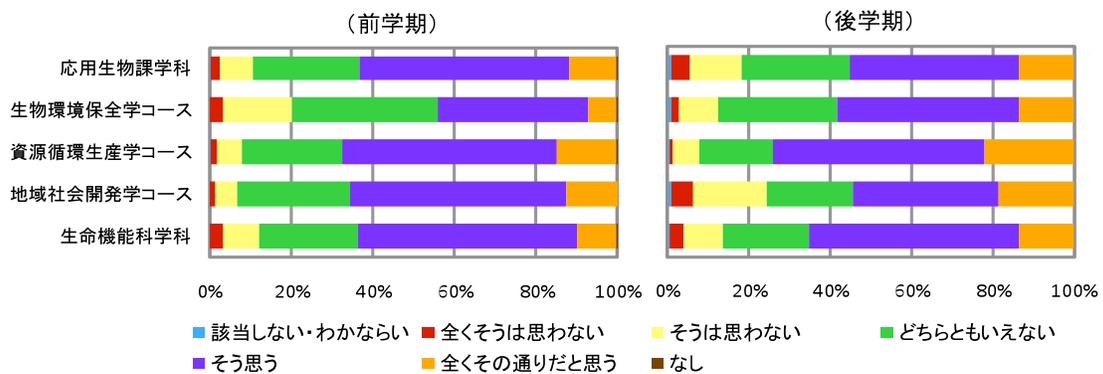


B. 授業内容及び授業方法

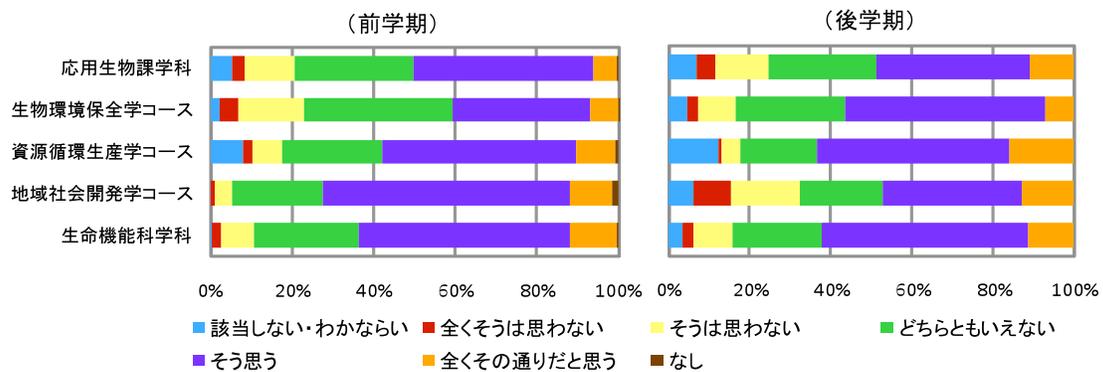
B-1 この授業の内容は理解できる



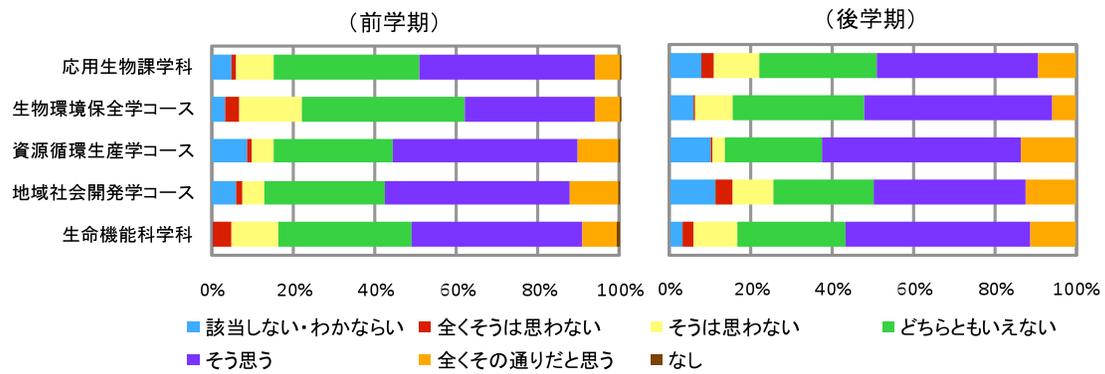
B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



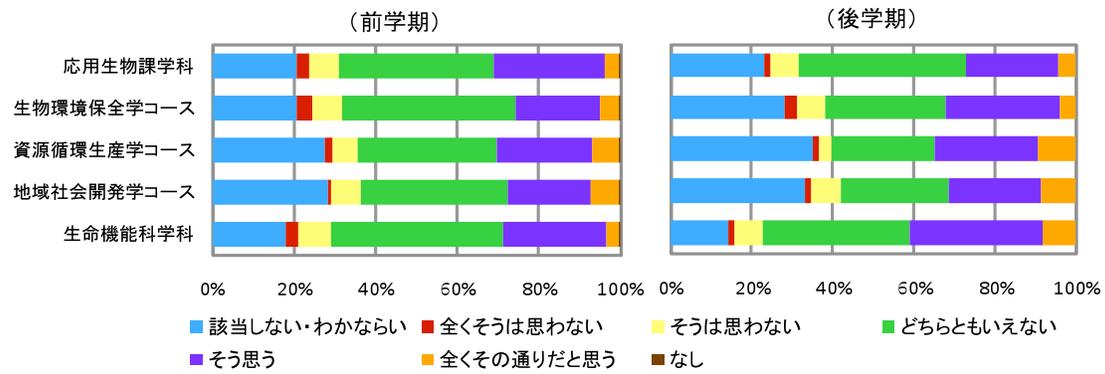
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



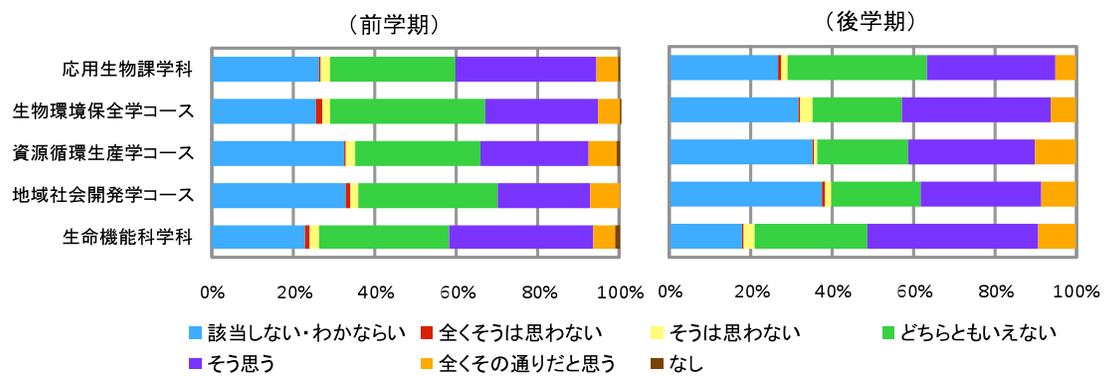
B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



B-6 授業内容はシラバスに沿っている



2、アンケートの分析

本項では、学科教員が担当する授業科目に対するアンケート結果について、質問項目ごとに分析した。分析は学科ごとに行い、分析項目のA-1からD-1は、先に挿入した横棒グラフのA-1からD-1の各項目に対応している。

I 応用生物科学科

本項は、応用生物科学科に所属する教員が担当する授業科目について、平成22年度に行われたアンケート結果に基づいて、質問項目ごとに分析したものである。総合的に分析するため、前期と後期のデータはプールして分析に供した。選ばれた回答項目の百分率については、「無回答」および「該当しない・わからない」を表す「0」と回答したものを全体に含めて表している。D-1（満足度）の2.3%を除いたすべての項目で「0」と回答したものは1%未満であり、全体の傾向にほとんど影響を及ぼしていないと考えられる。

A-1 出席率

出席率については、91.7%の学生が「1」の「80%以上」と回答している。出席状況は良好であると考えられる。

A-2 予習

予習の時間については、66.1%の学生は「1」の「0時間」と回答しており、全く予習をしていなかった。また23.3%の学生は「2」の「1時間未満」と回答しており、おそらく不十分と思われる時間しか予習をしていないという実態が明らかになった。次の講義に向けて、予習をして準備するという基本的な意欲はあまりないのではないかということが考えられる。

A-3 復習

復習の時間については、49.0%の学生は「1」の「0時間」と回答しており、全く復習をしていなかった。また40.0%の学生は「2」の「1時間未満」と回答しており、

明らかに少なすぎる時間しか復習をしていないという実態であった。復習の重要性に対する意識が非常に低いものと考えられる。前項の予習の不足と同様に、この問題に対する対策が必要であり、来年度から始まるラーニング・ポートフォリオによる修学支援の重要性は大いに高いと言えるであろう。

A-4 学習目標

学習目標については、47.5%の学生が「5」の「少しは把握している」と回答している。また9.3%の学生が「6」の「完全に把握している」と回答している。このように約半数の学生は学習目標をある程度把握して講義に臨んでいることが明らかとなった。27.5%の学生は「4」の「どちらともいえない」、12.7%の学生は「3」の「把握していない」あるいは「2」の「全く把握していない」と回答しており、約4割の学生が授業の学習目標を理解していないことも明らかとなった。授業では学習目標をさらに明確にしていくとともに、シラバスをもっと活用するように指導していく必要があると思われる。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、「5」の「少しは把握している」と回答した学生は50.2%であり、「6」の「完全に把握している」と回答した学生は16.7%であった。このように成績評価基準をある程度把握していた学生は約7割弱にとどまった。一方で、「4」の「どちらともいえない」と回答した学生は22.0%であり、「3」の「把握していない」あるいは「1」の「全く把握していない」と回答した学生は9.7%であり、「1」の「説明がなかった」と回答した学生も1.1%いた。授業等での成績評価基準を明確に伝える努力や、シラバスの活用が不十分であることが明らかとなった。

B-1 授業内容の理解

授業内容の理解については、「5」の「そう思う」と回答した学生は55.3%であり、「6」の「全くその通りだと思う」と回答した学生は7.2%であった。このように6割以上の学生が授業内容についてある程度理解していた。

B-2 内容への興味

内容への興味が増したかという質問に対して、「5」の「そう思う」と回答した学生は47.1%であり、「6」の「全くその通りだと思う」と回答した学生は12.5%であった。このように6割以上の学生が内容への興味が増したと回答した。

B-3、B-4 黒板やスライド等の使い方、教材のわかりやすさ

黒板やスライド等の使い方、教材のわかりやすさについては、「6」の「全くその通りだと思う」、あるいは「5」の「そう思う」と回答した学生は約半数であった。ただ、10%以上の学生が「3」の「そうは思わない」あるいは「2」の「全くそうは思わない」と回答し、また5%以上の学生が「1」の「該当しない・分からない」と回答しているため、更なる改善が必要であるかもしれない。

B-5 シラバスは学習に役立ったか

シラバスは学習に役立ったかという質問に対しては、「6」の「全くその通りだと思う」もしくは「5」の「そう思う」と回答した学生は29.0%であった。ほとんどの学生は自分の学習にシラバスが役に立っているとは感じていないことが明らかとなった。

B-6 授業内容はシラバスに沿っているか

授業内容はシラバスに沿っているかという質問に対して、「6」の「全くその通りだと思う」もしくは「5」の「そう思う」と回答した学生は38.5%であった。このように半数以上の学生が、授業はシラバスに沿っているとは感じていないことが明らかとなった。

B-7、B-8 声の大きさ、話す速さ

声の大きさ・明瞭さは適当であったかという質問に対しては、「3」の「そう思わない」、あるいは「2」の「全くそう思わない」と回答した学生は1割未満であり、また話す速さは適切だったかという質問に対して、「4」の「丁度良い」と回答した学生は8割以上であった。よって、ほとんど学生はこれらに関して、肯定的か、あるいは問題があるとは感じていないことが明らかになった。

B-9 授業進度

授業の進む速さが適切だったかという質問に対しては、「4」の「丁度良い」と回答した学生は77.1%であり、大多数が満足していることが分かった。

C-1 授業をわかりやすくする工夫

授業をわかりやすくする工夫が感じられるかという質問に対しては、「2」の「全くそうは思わない」あるいは「3」の「そう思わない」と回答した学生は9.2%であり、ほとんどの学生は肯定的、あるいは問題があるとは思っていないことが分かった。

C-2 質問に適切に対応するか

質問に適切に対応するかという質問に対しては、「2」の「全くそうは思わない」あるいは「3」の「そう思わない」と回答した学生は4.2%であり、ほとんどの学生は肯定的か、あるいは問題があるとは思っていないことが分かった。

D-1 満足度

授業から満足が得られたかという質問に対しては、「2」の「全くそうは思わない」あるいは「3」の「そう思わない」と回答した学生は11.0%であり、ほとんどの学生は満足か、あるいは不満足であるとは思っていないことが分かった。

以上より、応用生物科学科の学生において、学習への積極性は依然と不十分であることが明らかとなった。この点に関しては、今後、授業あるいはラーニング・ポートフォリオを通して、学習強化へ向けたさらなる指導が必要であると思われる。一方、教員による授業の取り組みに対しては、概ね満足を感じているという結果となった。ただ、学生の受講に際し、シラバスがあまり有効に活用されていない実態が明らかとなった。シラバスの内容を充実させるとともに、学生にシラバスを閲覧するように強く指導していく必要があると考えられる。

II 生物環境科学科

本項では、生物環境科学科に所属する教員が担当する授業科目についてのアンケート結果を、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学の3つの教育コース（以下保全コース、資源コース、地域コース）に分けたのち、各項目について分析している。

A-1出席率

出席率については、ほぼ3コースとも8割以上の出席をした学生(5)が8割以上を占めたことから、出席についてはほぼ問題はないものと思われる。ただし、アンケートの入力を授業内に促していることが多いため、授業に出席した学生が入力する傾向が高いという可能性もある。

A-2 予習

予習の時間については、前後期ともに、予習をまったくしない学生が、5割を超えている。予習の有無は授業の内容や形態によっても異なるが、学生の授業への積極的な参加を促すための工夫も行う必要がある。

A-3 復習

復習の時間については、予習時間よりは多いものの、1時間未満の復習も加えて少しでも復習をしている学生の割合は全体として昨年度の値を下回っており、前後期ともにいずれのコースでも6割未満である、ただし、後期の資源コースにおいては8割以上の学生が少しでも復讐をしていると回答している。この値については、単位取得率などとあわせて検討し、科目によっては授業の内容や難易度についても再考する必要があるだろう。

A-4 学習目標

学習目標については、昨年度は、「どちらともいえない」と回答した学生が最も多かったが。今年度は、前後期ともに「少しは把握している」が最も多く、特に後期では把握している学生の割合が高くなっている、このことは、昨年度の反省から、最初の授業等で学習目標を明確に提示しておくことや、シラバス入力 of 徹底などの努力が行われた結果であると考えられる。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、いずれのコースにおいても、多少なりとも把握している学生が、前期で6割以上、後期は7割以上となっている。この点においては、学習目標に沿って、最初の授業等における成績評価基準の明確化が徹底されたことを示していると考えられる。

B-1 授業内容の理解

授業内容の理解については、「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答した学生が全体としてはおおむね6割をこえており、肯定的な評価となっている。ただし、保全コースの前期、地域コースの後期では、「まったくそう思わない」という回答も2割程度みられるため、改善が必要である。

B-2 内容への興味

内容への興味が増したかという質問に対し、前後期ともおおむね過半数の学生が肯定的に回答しており、授業内容の理解有無が内容への興味関連していることがわかる。ただし、先に述べた授業内容の理解度に関連して、保全コースの前期、地域コースの後期では、「まったくそう思わない」という回答も2割以上あり、これらについては改善が必要である。

B-3、B-4 黒板等の使用法、教材のわかりやすさ

黒板等の使い方が効果的であるかとの質問に対し、肯定的な回答をしている学生がおおむね5割をこえるが、保全コースの前期は4割、地域コースの後期では5割を下回る結果となっている。このことは、授業の理解や興味に関する2つの質問とも同様の傾向があるため、あわせて検討が必要である。教材がわかりやすいかとの質問に対しては、肯定的な回答をしている学生の割合は昨年度の結果と大差なく、おおむね5割をこえている。ただし、保全コースの前期の肯定的な回答が少ないことから、改善の余地がある。

B-5、B-6 シラバス・授業内容関連

シラバスが学習する上で役に立っているかとの質問に対し、肯定的な回答をした学生(4~5)は、いずれのコースも同じ傾向で、3割程度ある。多くが、「どちらともいえない」または「該当しない・わからない」と回答しており、シラバスを頻繁に活用している学生は少ないと思われる。しかし、否定的な回答はいずれのコースも10%以下で、シラバスを参照した学生にとっては、シラバスは差役に立っているといえる。これは、昨年度とほぼ同じ傾向である。同様に、授業内容がシラバスに沿っているかとの質問に対し、肯定的な回答をした学生は、3割から4割程度であった。これらのことから、シラバスは、日常の学習のうえではあまり利用されていないことが考えられ、シラバスの活用度を上げるためには、教員サイドならびに教務システムの双方に何らかの工夫が必要であると思われる。

B-7、B-8、B-9 声の大きさ、話す速さ、授業進度

声の大きさ、明瞭さが適当であったかという質問に対しては、肯定的な回答をした学生(4~5)が、おおむね6割をこえている。しかし、地域コースの後期では、肯定的な回答は6割未満となっている。声の小さな教員はマイクを用いるなどの工夫が必要である。話す速さが適当であったかという質問に対しては、「ちょうど良い」と答えた学生が8割以上であり、授業の進む早さは適切であったかという質問に対しても、「ちょうど良い」と答えた学生がいずれのコースにおいても8割をこえた。これらの講義の技術に関する3項目については、ほぼ満足できるレベルであるといえる。

C-1、C-2 授業をわかりやすくする工夫、質問等への対応

授業を分かり易くする工夫が感じられるかという質問に対し、いずれのコースにおいても前期後期ともに、5割以上の学生が肯定的な回答(4~5)を寄せている。ただし、その割合は開講時期やコース間に差があり、とくに循環コースの後期が高い評価、保全コースの前後期、地域コースの後期はやや低い評価となっている。否定的な回答(1~2)は全コースとも2割未満と少ない。質問等への対応の適切さについては、全体として6割から8割の学生が肯定的な回答(4~5)を寄せている。昨年度はこの項目の評価が低かった保全コースが、今年度は他の2コースと同等の評価を受けていることは。授業改善の効果である。

D-1 満足度

満足度については、6割近い学生が肯定的な回答(4~5)を寄せている。ただし、保全コースの前期、地域コースの後期は6割未満となっている。さらに、地域コースの後期では否定的な回答が2割を超えている。これらをみると、ある程度の満足度は得ているが、否定的な回答が増えた地域コース(後期)については、原因の検討が必要である。

以上の様に、学生の授業評価からみた生物環境科学科の授業内容および教員の教育に対する取り組みは、全体としてみれば肯定的にとらえることができる。たとえば、昨年度とくらべて、授業の理解や授業の工夫、授業の満足度に関するコース間の差が小さくなっていることは、各コースにおける授業改善の努力を反映していると考えられる。また、成績評価基準や授業目標などの把握については、特に評価が高くなった。

しかしながら、同じコースの同じ時期に、授業の理解や興味、黒板や教材の利用、声の大きさ、満足度などに対する低い評価が重なっていることから、個々の授業について、これらの関連性についても検討する必要がある。

Ⅲ 生命機能科学科

A-1 出席率

出席率については、9割以上の学生が「80%以上」と回答しており、良好な出席状況にあると判断できる。

A-2、A-3 予習・復習

予習時間については、約半数の学生が「0時間」、約3分の1の学生が「1時間未満」であった。また、復習時間についても、約4割の学生が「0時間」、5割弱の学生が「1時間未満」と回答している。1時間の講義に対しては、それぞれ1時間の予習および復習の自習時間が求められているが、多くの授業科目で大部分の学生がこの条件を満たしていないことが示された。授業内容の理解を深め、科目ごとに設定された学習目標を達成するためには、学生自身による予習復習時間の確保は必須であるので、この状況を各教員が再度認識し、授業内容および方法をさらに工夫する必要がある。

A-4 学習目標

学習目標については、6割以上の学生が「少しは把握している」または「完全に把握している」と回答しており、多くの学生は学習目標をある程度把握しているとの結果が得られた。一方で、3割の学生は「どちらともいえない」、「把握していない」、「全く把握していない」のいずれかを選択している。学習目標のシラバスへの記載はもちろんのこと、初回の授業時においても再度学習目標を明確に提示することが必要であろう。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、7割近くの学生が「少しは把握している」または「完全に把握している」と回答している。一方で、約3割の学生は「どちらともいえない」、「把握していない」、「全く把握していない」のいずれかを選択している。学習目標と同様、シラバスおよび初回の授業等で成績評価基準を明示することが重要であると考えられる。

B-1 授業内容の理解

6割弱の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と回答しており、多くの学生からは授業内容に対する理解を得られていると考えられる。一方で、「そうは思わない」または「全くそうは思わない」と答えた学生が15%前後存在している。この理解することが出来なかったと答えた学生に対する対応は重要であり、さらに科目ごとに詳しく分析する必要がある。

B-2 内容への興味

内容への興味が増したかという質問に対しては、約6割の学生が「4そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答しており、学生の学習意欲を向上させることが出来たと解釈出来る。

B-3 黒板等の使用法

黒板等の使い方が効果的である、という設問には、6割以上の学生が「そう思う」もしくは「全くその通りだと思う」と回答している。さらに、否定的な回答「そう思わない」、「全くそう思わない」は1割程度なので、板書等の使用方法については総じて問題がないと判断できる。

B-4 教材のわかりやすさ

5割以上の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と回答している一方で、4割から5割の学生が「どちらともいえない」、「そうは思わない」、全くそうは思わない」と答えている。わかりやすさ、という観点のみで教材の妥当性を評価することは出来ないが、教材の選択については考慮すべき問題があることが示唆されており、より深く考察するためには、科目ごとの評価を検討する必要がある。

B-5、B-6 シラバス関連

シラバスは学習する上で役に立っている、授業内容はシラバスに沿っている、という設問に対し、「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」と肯定的に回答した学生は、およそ3分の1だった。さらに、他の設問に対する回答と比べて、「該

当しない・わからない」が約2割と顕著に多い割合を占めていた。これらの結果は、学生はあまりシラバスを活用していないか必要としていない、ということを示唆しているのかもしれない。シラバスがあまり利用されていない原因の一つには、生命機能科学科のカリキュラムでは、専門科目の卒業要件単位数のうち半数以上が必修科目で占められているため、受講科目を選択するためにシラバスを閲覧する必要があまりない、という理由が考えられる。

B-7、B-8、B-9 声の大きさ、話す速さ、授業進度

声の大きさは適当であったかという質問に対しては、7割以上の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答しているので、概ね問題はないと考えられる。また、話す速さおよび授業の進む速さについては、「丁度良い」と答えた学生が、8割以上と大多数を占めているが、1割前後の学生が授業の進む速さに対し「少し速い」、「かなり速い」と回答している点は留意すべきである。この点に関しても、授業科目ごとの評価結果を参照し検討する必要がある。

C-1、C-2 授業をわかりやすくする工夫、質問等への対応

これらの設問に対し、65%以上の学生が「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」と回答しており、生命機能科学科教員の授業への工夫、学生への対応には、概ね満足していると判断できる。

D-1 満足度

本設問、この授業を受講して満足が得られた、は、授業に対する総合的評価と考えられる。これに対して、6割前後の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答している。一方、「そうは思わない」および「全くそうは思わない」の否定的回答は1割弱であった。これらの結果から、生命機能科学科の教員が担当する授業は、多くの学生に満足感を与えていると総合的に判断出来る。

以上のように、生命機能科学科全体としては、授業の内容および教員の教育に対する取り組み等について学生は総合的に満足を感じており、教員は授業を通じて多くの学生に学習意欲を向上させている、との結果をアンケートから読み取ることが

出来る。一方で、予習、復習に代表される学生の自主的学習は明らかに不足しており、各教員が引き続き授業方法や内容を工夫し、この状況の改善を促す方策を講じる必要がある。また、授業科目ごとの評価結果を検討し、個別に対応する必要があると考えられる事項がいくつか見受けられた。また、前期に比べて後期のアンケート結果には、総じて肯定的な回答の割合が増加している傾向が見られた。

3、授業改善の取り組みにおける優れた点及び改善を要する点および次年度の授業改善目標

以前、組織別に分析を行ってきたが、学部全体としてみると、昨年度から優れて改善されたものとして、授業目標や成績評価の方法についての認知度が高くなったことがあげられる。昨年度に目標としていた、教員が授業内で説明する、シラバス入力が徹底されるなどが、改善された成果であると考えられる。

一方、引き続き改善の必要があるのは、シラバスに関することである。シラバスについては「わからない」と答えた学生がいずれの学科においても多いことから、オリエンテーションや授業内で、シラバス利用について学生に周知徹底する必要がある。

また、授業の評価については、一部の組織で、同じ時期に、授業の理解や興味、黒板や教材の利用、声の大きさ、話す速度、満足度に対する低評価が重なっていることから、個々の授業についてこれらの関連性を検討し、声の小さい教員はマイクを使用するなどの工夫が必要である。

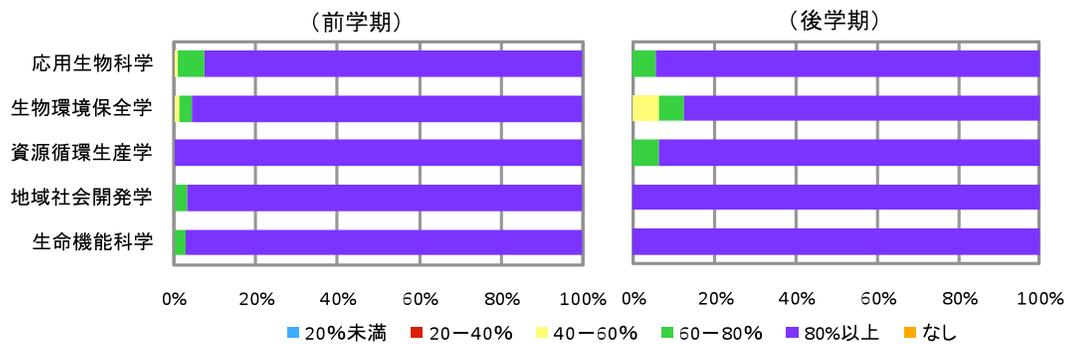
組織単位での授業改善のとりくみは、現在、カリキュラムの改正というかたちですすめられている。生物環境科学科は平成21年度に学部のカリキュラム見直しを行い、低学年のあいだに基礎的な知識の習得が可能となるよう工夫した。改正カリキュラムは平成22年度入学生から適用されはじめている。また、生命機能学科では平成22年度からカリキュラムの見直しが行われ、23年度から改正予定である。さらに、来年度からのラーニング・ポートフォリオが導入される予定である。これらが、今後の改善にどのようにむすびつくか期待したい。

農学研究科部修士課程授業評価分析結果

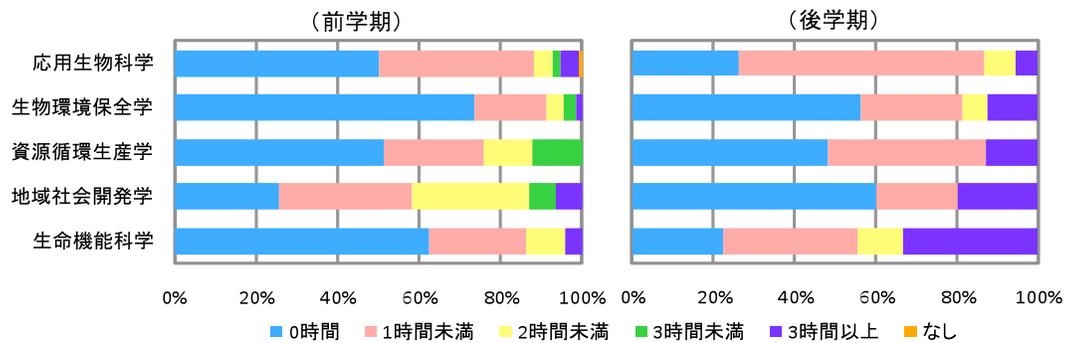
I アンケート結果

A. あなた自身について

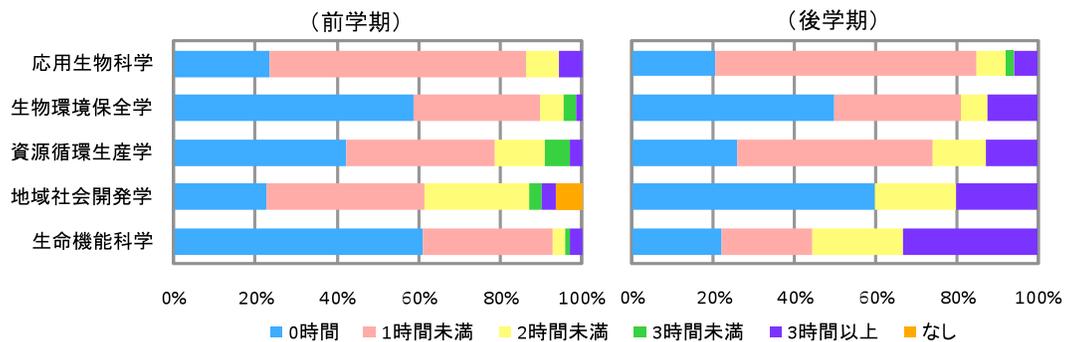
A-1 出席率はどのくらいですか



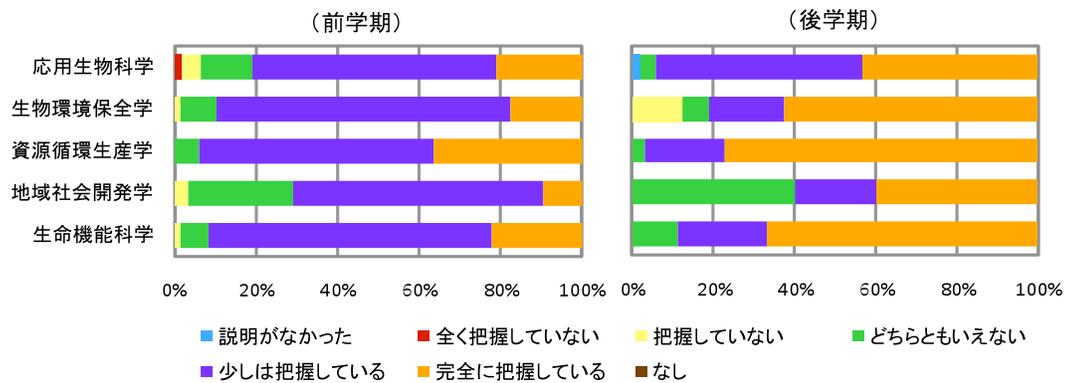
A-2 予習を毎週どの程度していますか



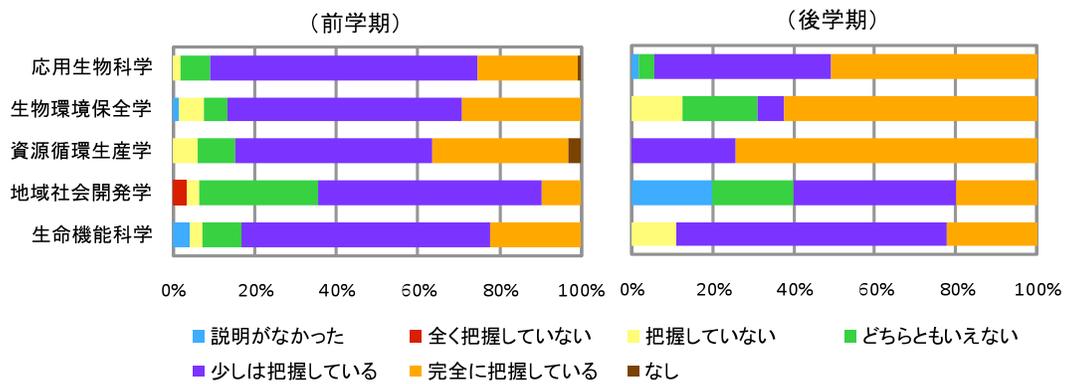
A-3 復習を毎週どの程度していますか



A-4 この授業の学習目標を把握している

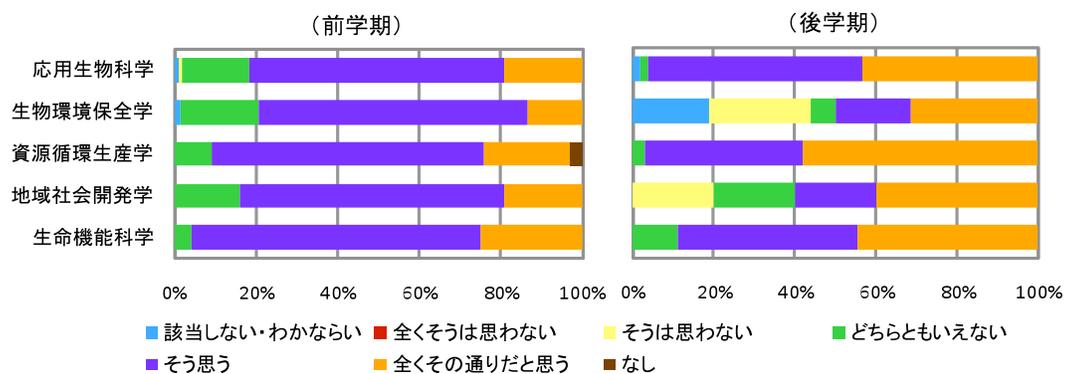


A-5 この授業の成績評価基準を把握している

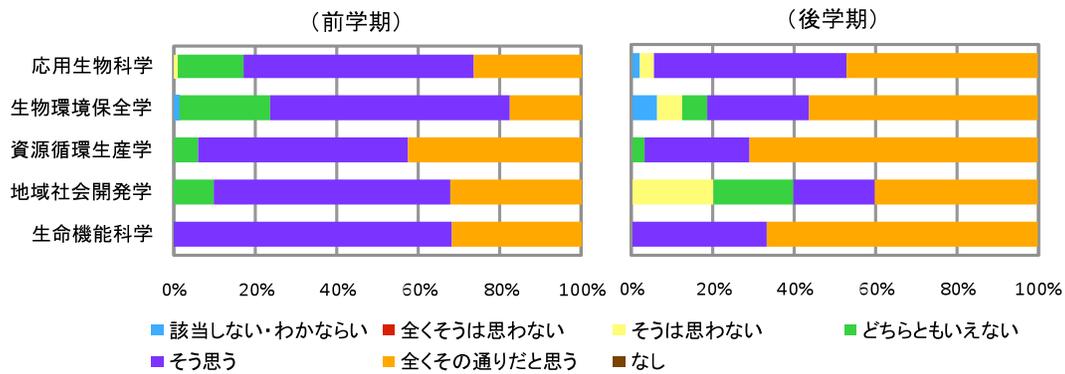


B. 授業内容及び授業方法

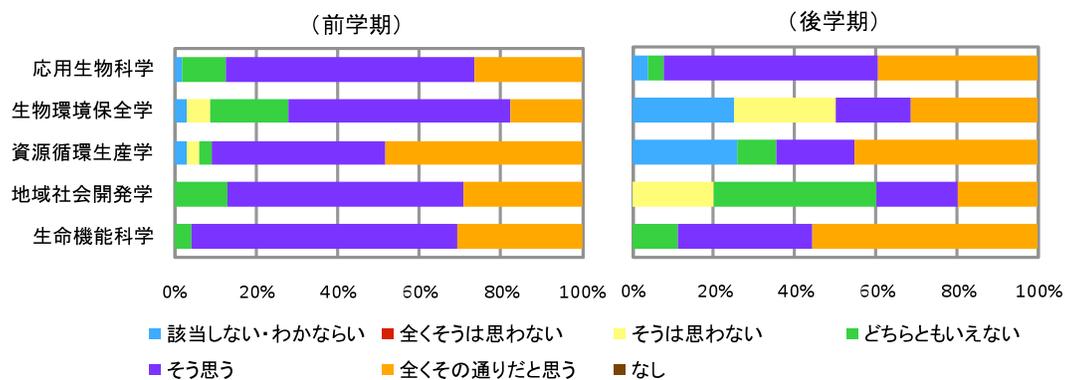
B-1 この授業の内容は理解できる



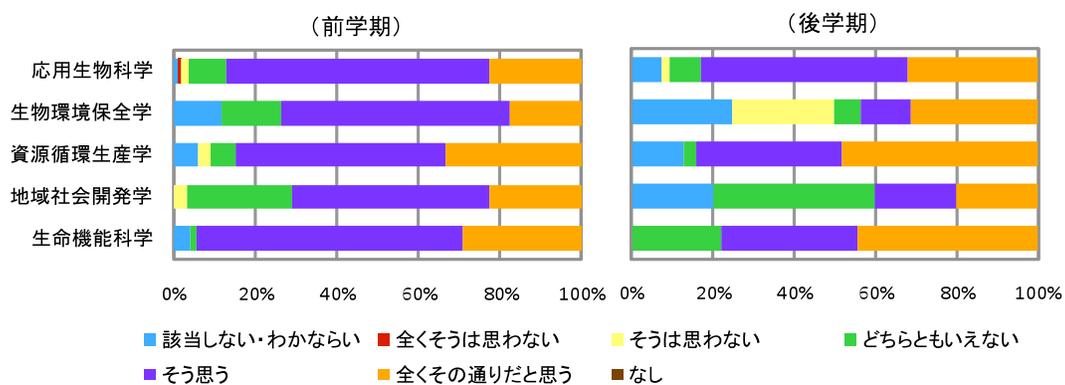
B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



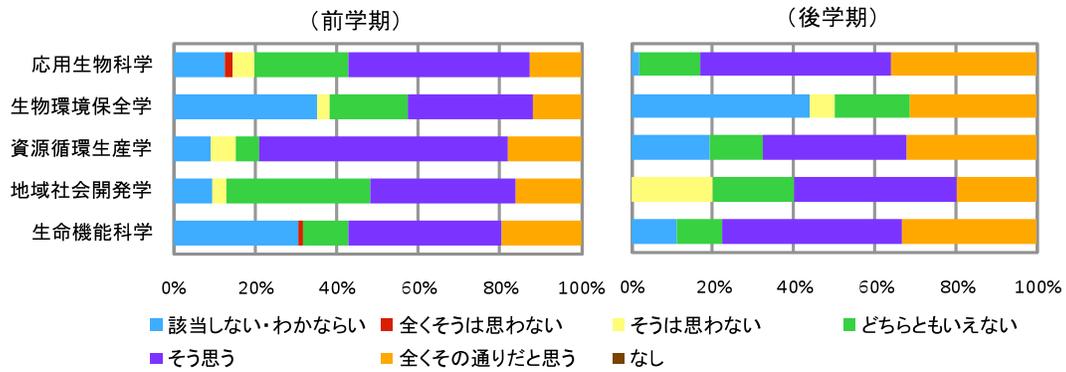
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



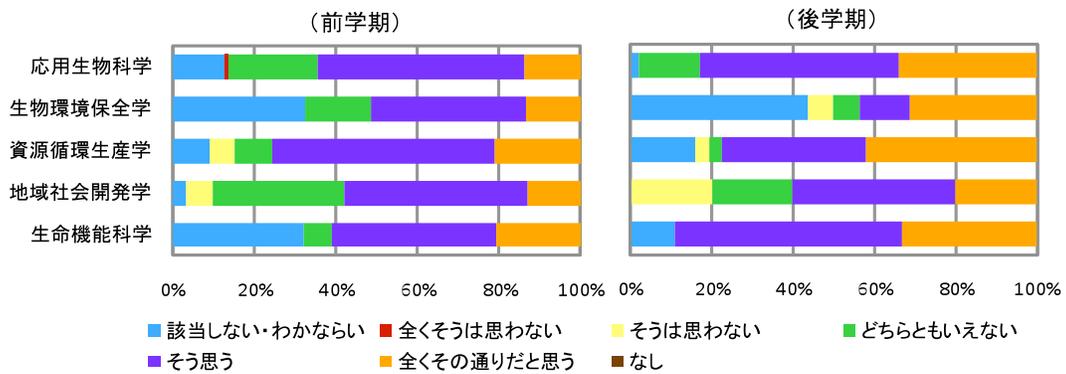
B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



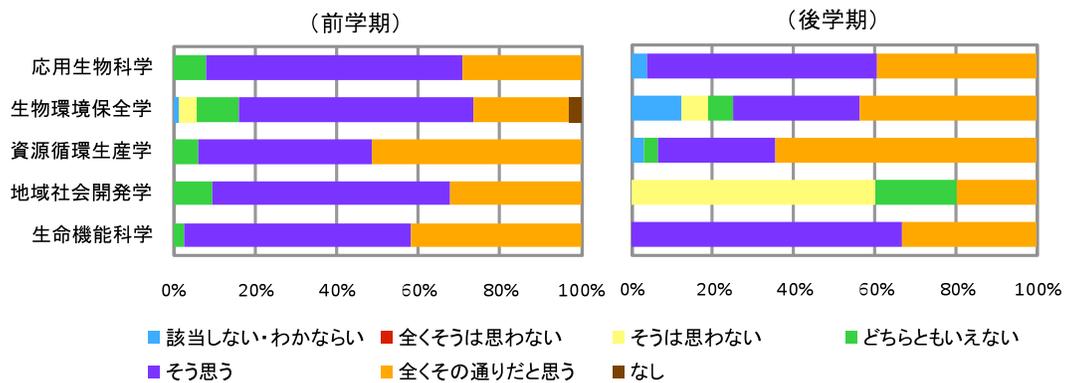
B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



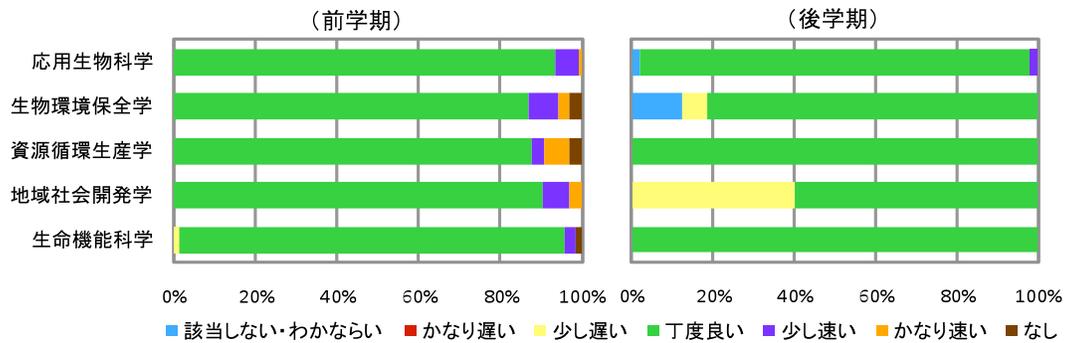
B-6 授業内容はシラバスに沿っている



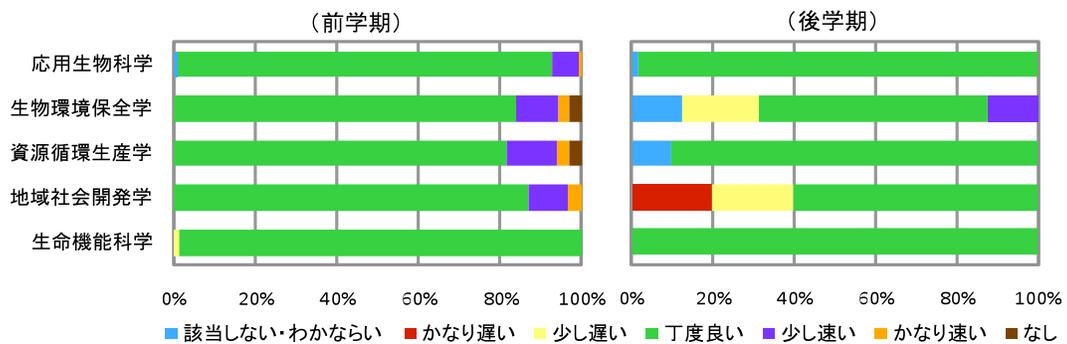
B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



B-8 話す速さは適切だった

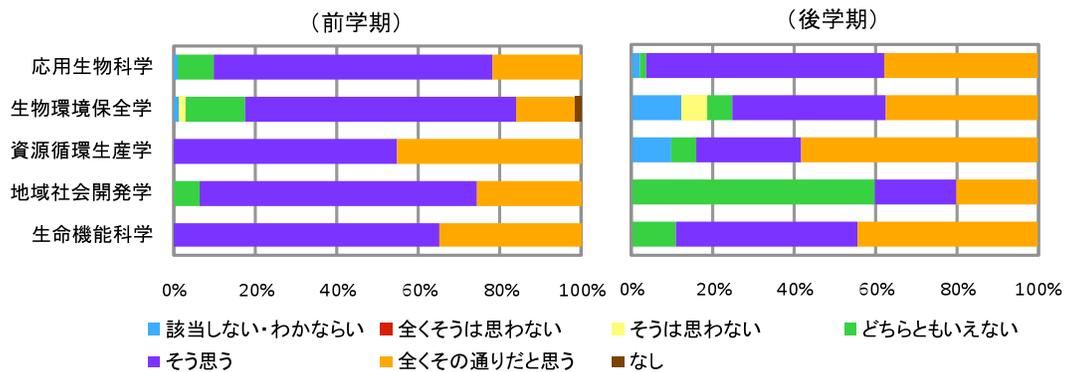


B-9 授業の進む速さは適切だった

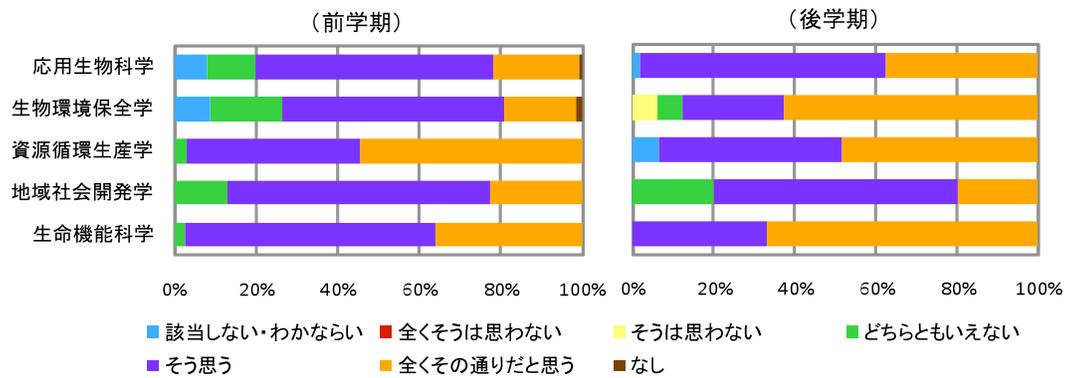


C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

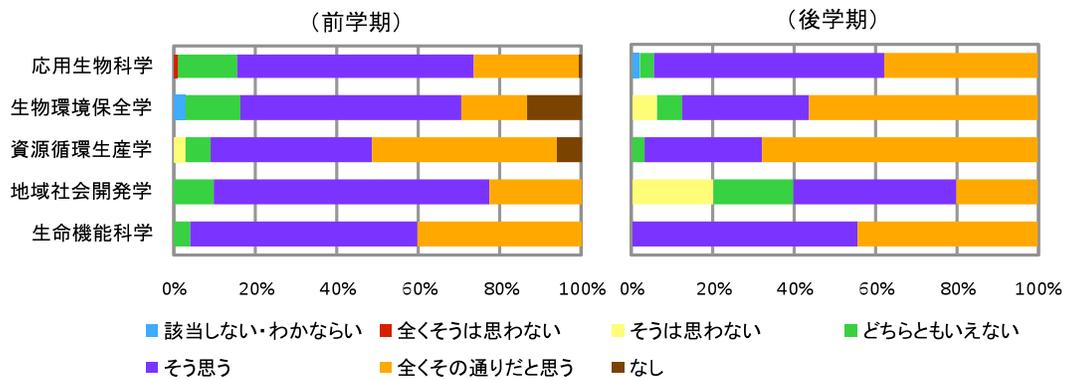


C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



2、アンケートの分析

本項では、農学研究科の応用生物科学、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学、生命機能科学の合計5コース（以下、応用生物、保全、資源、地域、生命機能）の教員が担当する授業科目についてのアンケート結果に基づいて報告する。アンケート結果は、コースに分けて解析しているが、これ以降は、各コースを比較するかたちで農学研究科全体の結果について報告する。なお、解析項目のA-1からD-1は、先に挿入したグラフのA-1からD-1の各項目に対応している。なお、応用生物コース以外の4コースについては、後期の入力数のほとんどが10未満である。

A-1 出席率

出席率については、全コース、前後期とも、9割以上の院生が「80%以上」と回答しており、極めて良好な出席状況にあることが判明した。ただし、保全コースの後期にわずかながら、出席率の低下がみられるため、原因について検討する必要がある。

A-2, A-3 予習・復習

予習の時間については、コースごとに差がある。生命機能コースでは、前期の予習時間が「0時間」, 「1時間未満」と回答した学生が85%, 「3時間以上」と回答した学生は4%であるのに対し、後期では、「0時間」, 「1時間未満」と回答した学生は55%に減少し、一方で「3時間以上」と回答した学生は33%に増加した。さらに、復習の時間に対する設問においても、予習時間に対する回答と同様の結果が得られている。これらの結果から、生命機能コースにおいては、前期では、学部と同様に講義に対して受動的な参加であったものが、後期では学生が大学院生の自覚を持ち、主体的に授業に参加した結果、予習・復習時間の増加につながったと考えられる。それに対して、地域コースは、前期、後期の傾向が逆になっている。また、保全コースについては、一貫して、予習・復習を「0時間」と答えた学生が5割をこえている。これらのコースでは、原因についての検討が必要である。

A-4 学習目標

学習目標については、おおむね9割以上の院生が「少しは把握している」または「完全に把握している」と回答しており、ほとんどの学生には講義の到達目標が周知されていると考えられるが、地域コースのみ、「どちらともいえない」が多くなっている。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、8割以上の学生が把握していると回答しており、前項の学習目標と併せて考えると、大半の院生が各講義の内容と達成目標に関して理解していると考えられる。ただし、地域コースのみは、「どちらともいえない」「説明がなかった」が前後期とも3割をこえており、成績評価基準の周知が課題である。

B-1 授業内容の理解

授業内容の理解については、前期ではコースに関係なく、8割以上の院生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答しており、大半の学生からは授業内容についての理解が得られていると考えられる。後期は、保全コース、地域コースで、その割合は減少しており、特に保全コースでは5割にとどまっている。

B-2 内容への興味

前後期とも、8割の学生（生命コースでは回答した全ての学生）が、「そう思う」または「全くその通りだと思う」を選択しており、全体として、講義によって学生の知的好奇心を十分に刺激していると考えられる。ただし、地域コースの後期のみでは、4割の学生が「そうは思わない」、「どちらともいえない」と回答している。

B-3, B-4 黒板等の使用法, 教材のわかりやすさ

これらの質問に対しては、応用生物コース、生命コースでは、前後期とも9割前後の院生が「全くその通りだと思う」または「そう思う」と回答しており、概ね問題はないと判断できる。他の3コースでは、後期になると評価が低くなる傾向があり、とくに地域コースの後期では、「全くその通りだと思う」または「そう思う」と答えた学生は4割である。

B-5, B-6 シラバス関連

シラバス関連の2つの質問に対しては、応用生物コース、生命機能コースでは、前期では約4割の学生が「該当しない・分からない」、「どちらともいえない」と回答した。一方、後期ではこの回答の割合が約2割に減少し、9割近くの学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と回答した。回答した学生の母数が後期ではかなり少ないとはいえ、講義に対しての学生の意欲が向上していると考えられる。循環コースは、前後期一貫して肯定的な回答が7割以上、社会コース、社会コースでは約6割である。保全コースでは、いずれも、特に後期では3割となっている。学部のシラバスについては、入力徹底されているが、保全コースにおいては、大学院のシラバスの入力についてはさらなる努力が必要である。

B-7, B-8, B-9 声の大きさ, 話す速さ, 授業進度

これらの設問に対しては、95%以上の学生が肯定的に回答しており、ほぼ満足できるレベルであるといえる。地域コースでは、とくに後期の授業で声の大きさに対する評価が低かった。

C-1, C-2 授業をわかりやすくする工夫, 質問等への対応

これらの項目については、応用生物コース、循環コース、生命機能コースでは9割前後の学生が「まったくその通りだと思う」または「そう思う」と回答しており、院生は教員の対応に満足していることが明らかになった。

D-1 満足度

満足度については、いずれのコースにおいても、前後期をとおして約9割の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と回答しており、大多数の学生は講義に対して満足感を得ていると考えられる。ただし、母数は小さいが、地域コースの後期のみ、6割が肯定的な回答であった、

3、授業改善の取り組みにおける優れた点及び改善を要する点および次年度の授業改善目標

授業評価・改善の前提となる最も大きな課題は、大学院生のアンケート入力率をあげることである。最初にも述べたように、応用生物コース以外の4コースについては、後期から授業評価の調査方法が変わった影響もあると考えられるが、後期の入力数が10未満とたいへん少ないため、分析には限界がある。

以上をふまえたうえで、アンケートの分析結果をみると、全体として農学研究科の院生は授業内容および教員の教育に対する取り組み等については、高い満足度を示しているという実態が明らかになり、教員側のより良い講義を作り上げる努力が実を結びつつあることが感じられた。

一方で、今後の課題も残されている。学習目標や成績評価基準の理解、授業内容の理解については、それぞれ前後期とも一貫して評価が低いコースがあり、院生の指導教員は、今後も継続して授業内でのガイダンスを実施するなどの努力が必要である。また、大学院のシラバス入力が学部に比べて徹底されていないコースもあることが推察されるため、改善の努力が必要である。

組織的な取り組みとしては、学部と同様、大学院においてもカリキュラム改正の動きがある。生命機能科学コースでは、カリキュラム改正に伴い、コース校正教員12名がオムニバス形式で最新の機器分析法の原理・操作法について解説し、学生が実際に装置にふれる機会を設けるなど、実学的な興味と知識を得るための新たな必須科目が開講予定である。

平成22年度 組織別授業評価報告書

平成23年4月

佐賀大学教養教育運営機構 F D 委員会

1. はじめに

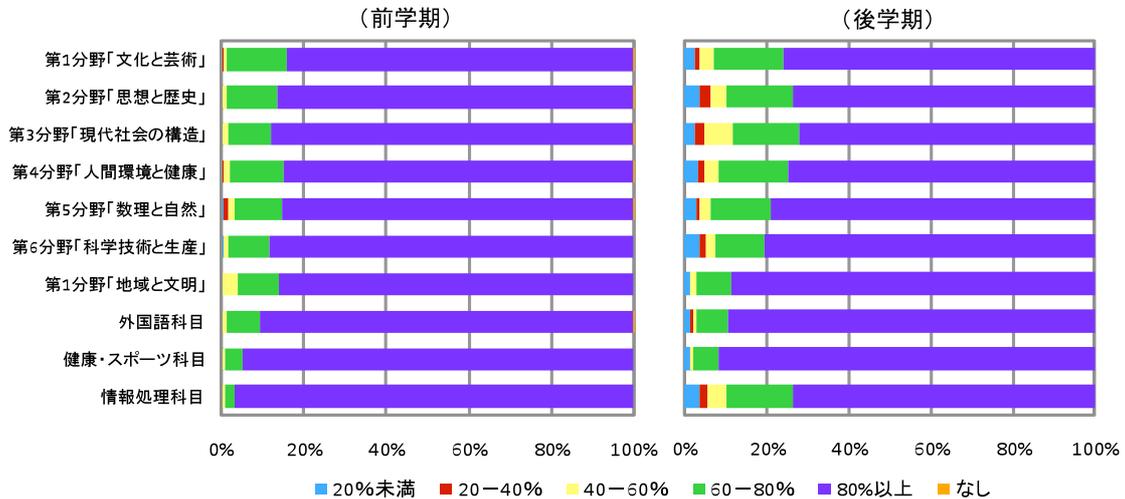
教養教育運営機構では、教養教育科目として、「大学入門科目」、「共通基礎教育科目」、「主題科目」を開講している。主題科目は、第1分野「文化と芸術」、第2分野「思想と歴史」、第3分野「現代社会の構造」、第4分野「人間環境と健康」、第5分野「数理と自然」、第6分野「科学技術と生産」、共通主題科目として「地域と文明」の各科目が開講されている。共通基礎教育科目は、「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「情報処理科目」が開講されている。

教養教育運営機構では、教員の授業改善とカリキュラム改善を目的として全ての授業科目において「学生による授業評価アンケート」を実施している。平成22年度前期は例年通り共通アンケート様式を用いたアンケートを実施した。後学期はLiveCampusによる共通アンケートシステムを利用した。いずれも良好な実施状況であり、ほとんどの科目で授業評価アンケートが実施され、その結果を用いた授業点検・評価が各教員により行われた。平成22年度は各分野毎に開講された科目を履修した学生によるアンケートの結果を分析した。分野による特徴は見て取れるものの、いずれの分野とも学生の授業への取り組みは良好であると判断された。教員への評価として、授業の準備（教材の使用、シラバス）、教員の対応は良好と思われる。学生の「学習目標」と「成績評価基準」の把握は良好であるが、授業内容の理解及び学生の興味喚起については分野の違いが現れていると判断される。この点については、学習目標や授業計画を含めたシラバスの定期的な見直しが必要と思われる。

2. 平成22年度 教養教育運営機構 授業評価アンケート分析

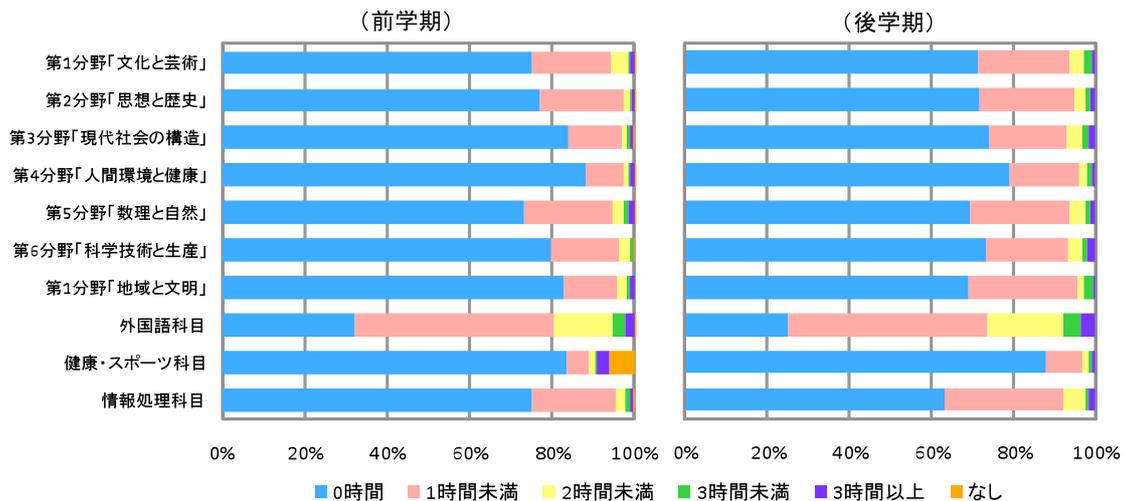
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



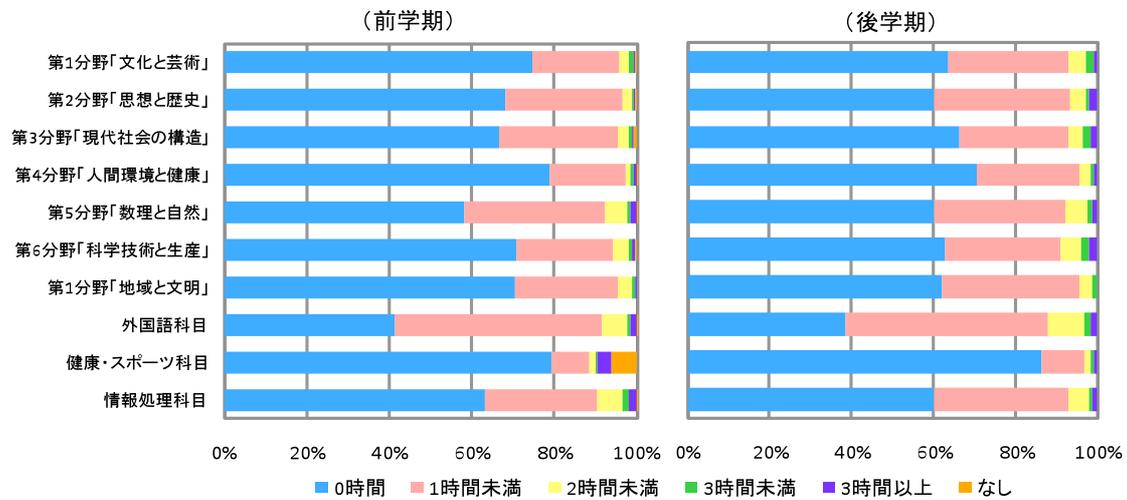
前期、後期とも、出席の状況は良好である。いずれも「80%以上」出席をした学生が最も多く、前期では84%以上が「80%以上」を選んだ。特に、共通主題科目（「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「情報処理科目」）では90%以上の学生が「80%以上」を選んだ。後期の分野別主題科目の各分野で「80%以上」出席の学生がやや少ない。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



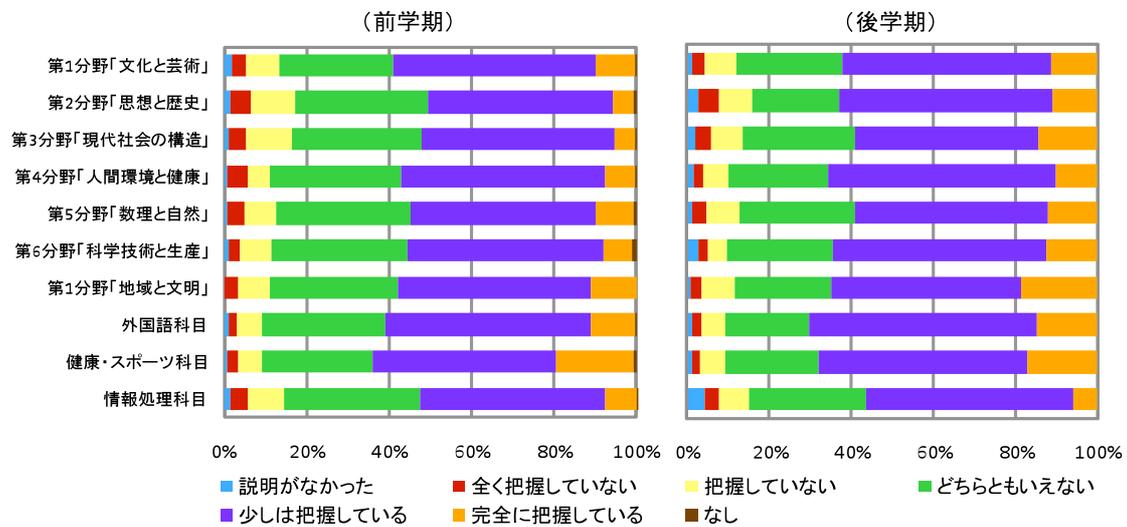
「外国語科目」の予習への取り組みが顕著である。「1時間未満」から「2時間未満」が65%前後と予習に対する指導が徹底していることがわかる。他の共通主題科目の自己学習指導の状況を検討する必要がある。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



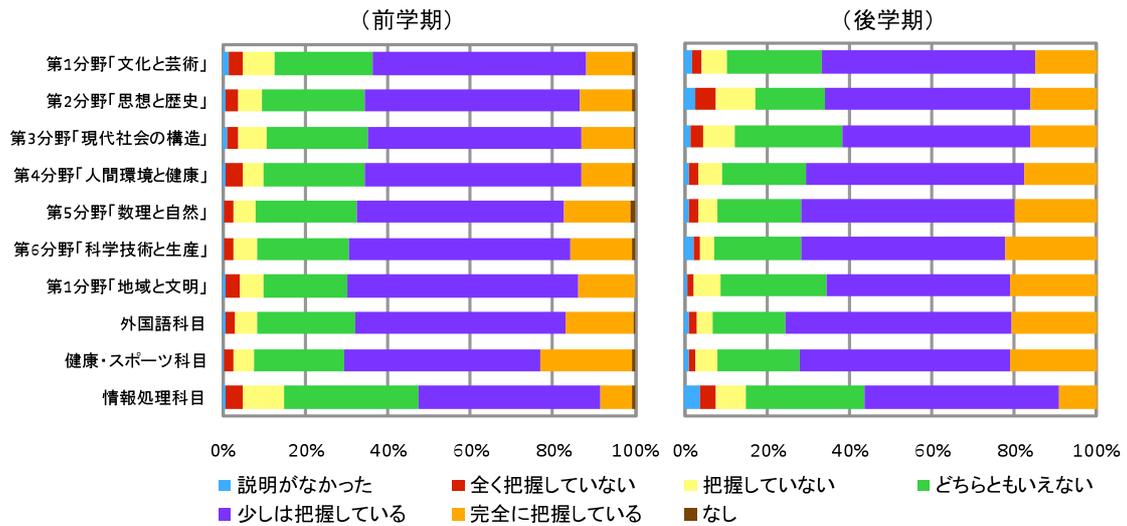
予習に比べ、復習には時間をかけて取り組んでいる様子が伺える。十分とは言えないが、約40%の学生が1時間未満の時間をかけて復習をおこなっている様子がうかがえる。

A-4 この授業の学習目標を把握している



60%の学生が授業の学習目標を「完全に把握している」及び「少しは把握している」と答えている。一方、授業の学習目標を「把握している」「全く把握していない」学生は10%程度と少なかった。オンラインシラバスや授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断される。

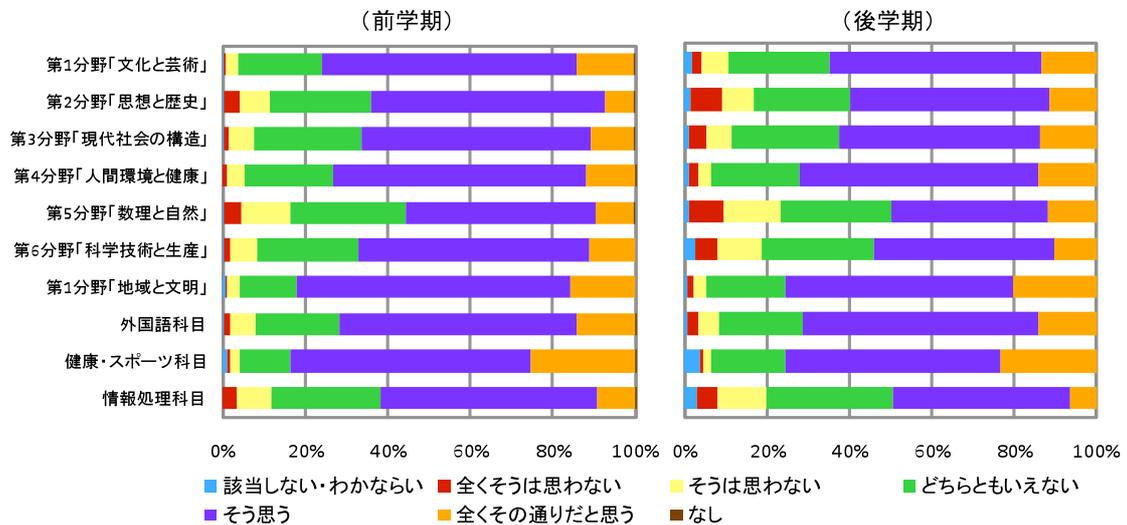
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



成績評価基準を「完全に把握している」と解答した学生が、「健康・スポーツ科目」でやや多く、「情報処理科目」で少ない。「少しは把握している」と答えた学生を含め、各分野の授業の成績評価基準は概ね把握されていると判断される。

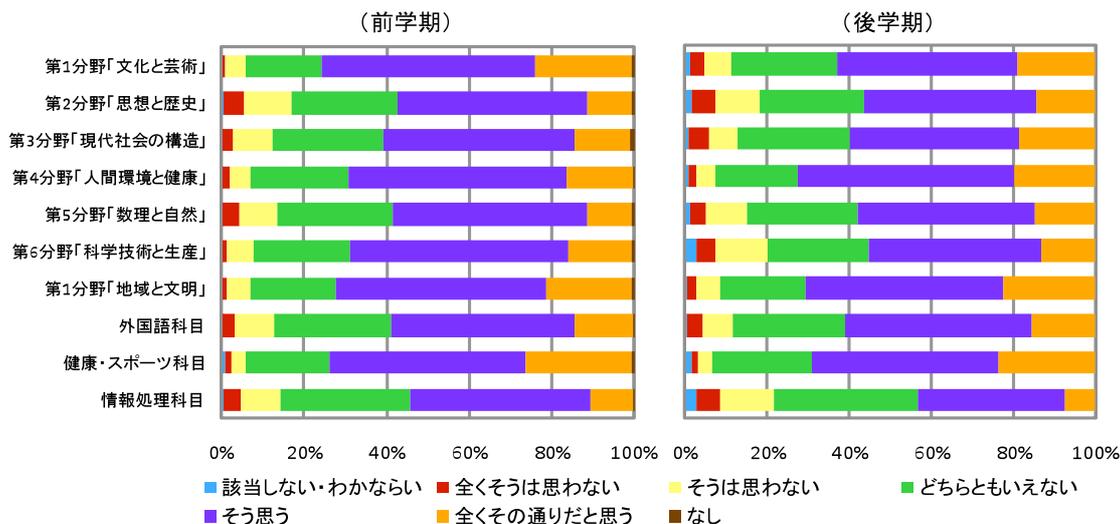
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



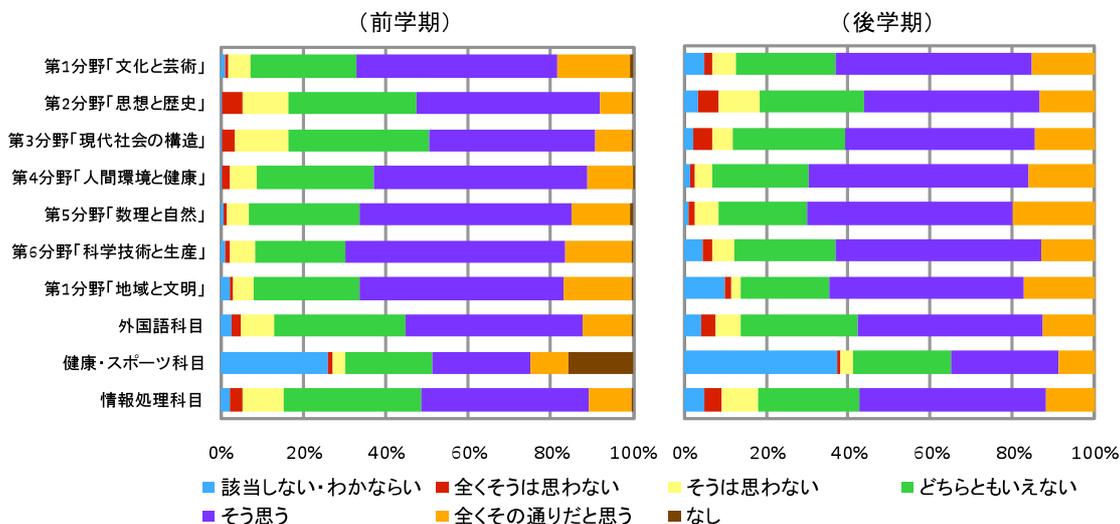
「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が60-70%であり、授業の内容は概ね学生に適切であると判断される。しかし、一部の分野「数理と自然」や「思想と歴史」では10%近くの学生が「全くそうは思わない」と回答している。これらの分野では学生の所属学部別に分析をおこなう必要がある。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



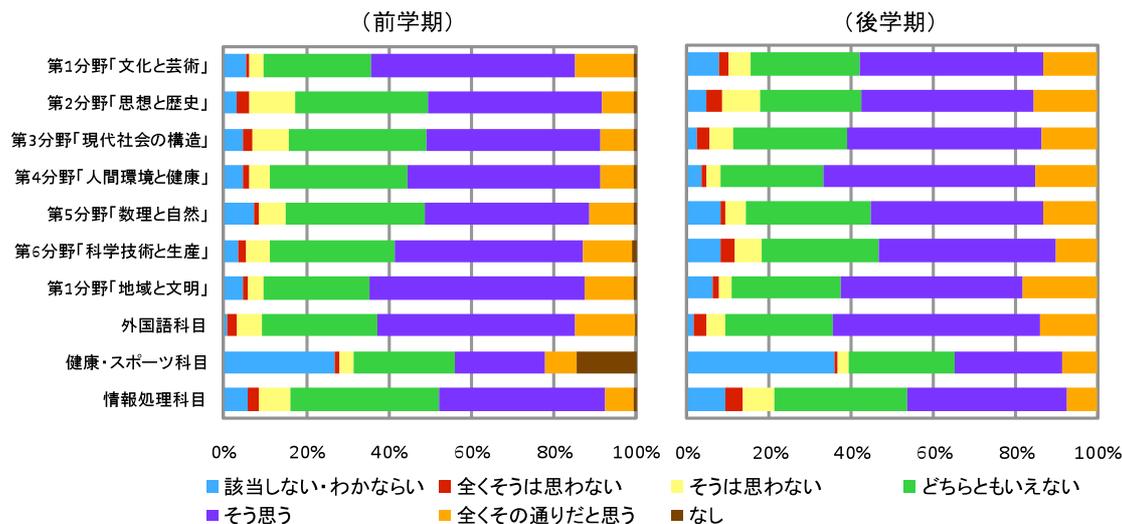
概ね 60%の学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答していることから、多くの授業で学生の興味を増す授業がおこなわれていると判断される。第5部会、外国語科目、情報処理科目などで興味を持たない回答をしている学生が見られる。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



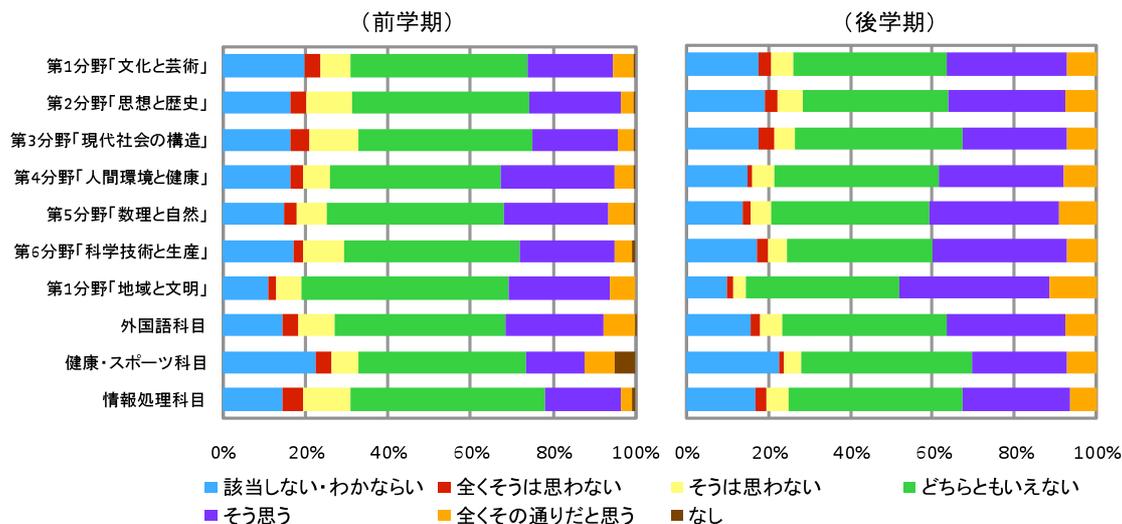
黒板、ホワイトボード、スライド等視聴覚教材の使用に関しては、概ね好評であると判断される。分野や授業内容による差異は当然考えられるが、多くの機材を使用していると思われる情報処理科目で「そうは思わない」等の回答が目立つ。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



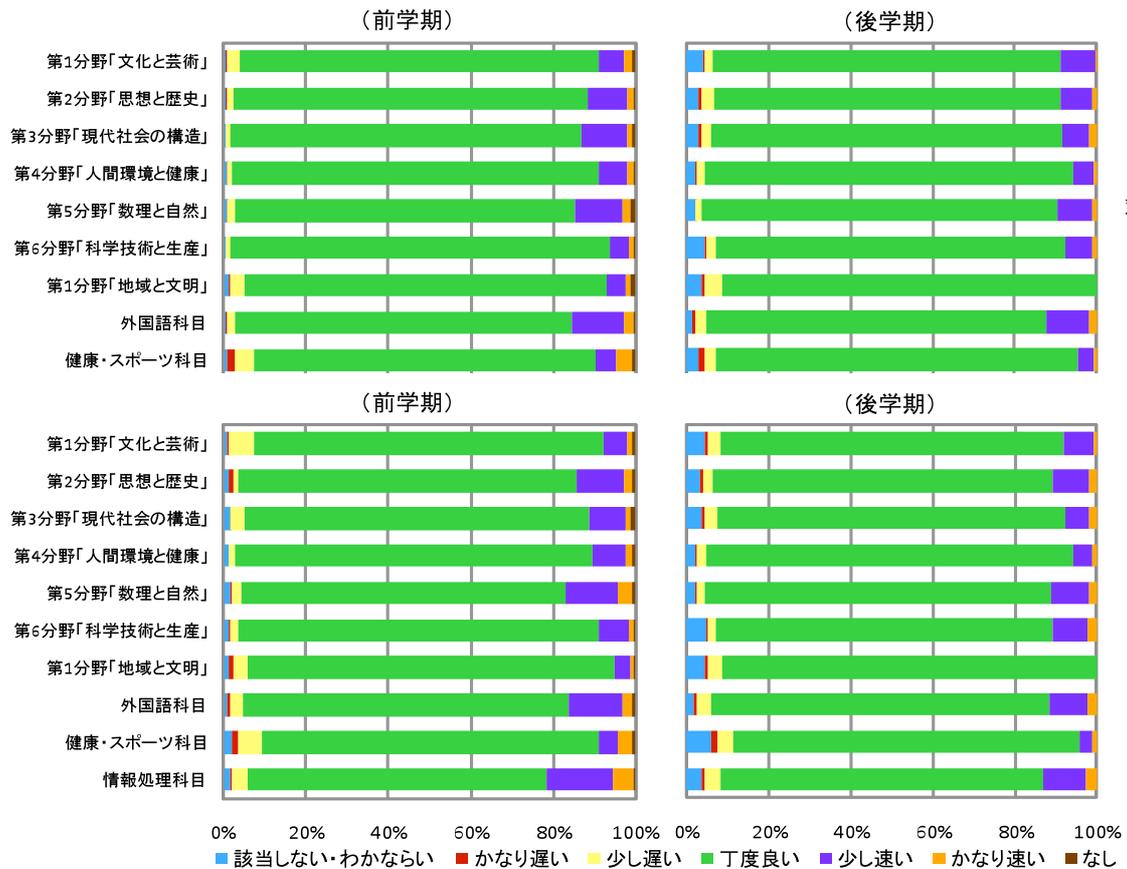
テキスト等の教材を用いない健康・スポーツ科目を除き、半数の学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、適切な教材が用いられていると判断される。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



シラバスの学習への効果について「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が 30-40%いることからシラバスが効果的に機能しているとも判断できるが、しかし、最も多い回答は「どちらともいえない」であり、全体の 40-50%を占めている。「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の 10%の回答とあわせて、否定的な回答の理由を調査する必要がある。

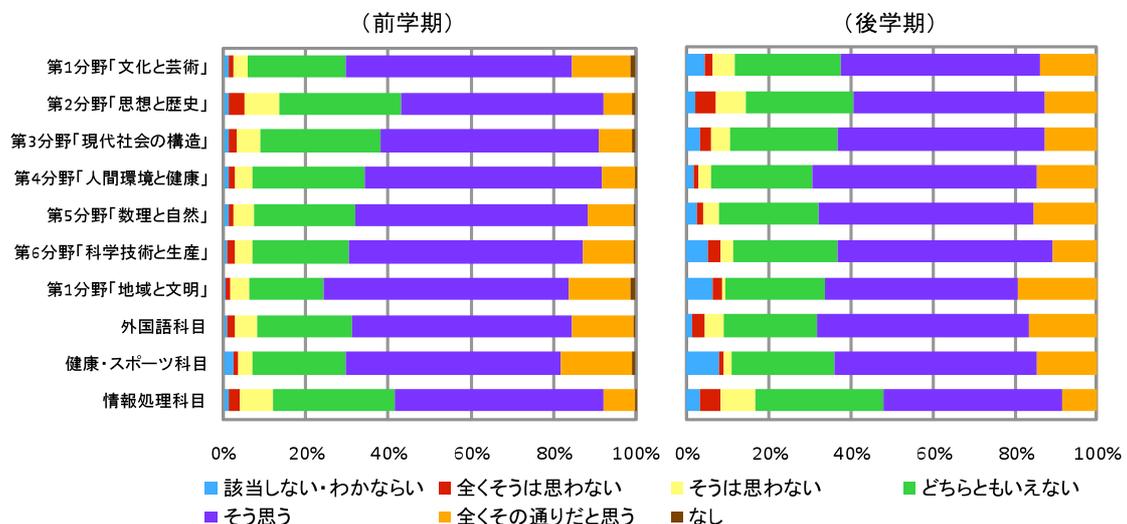
B-8 話す速さは適切だった



ほとんどの授業で適切な速度で授業が進められていると判断される。前学期に比べ、後学期の回答に「該当しない・わからない」の回答が増加している。後学期のアンケートはLiveCampusを用いweb上で実施したことが関係しているかもしれない。

G. 教員の対応

G-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



い」と回答している学生、及び前期で回答していない学生が見られる。回答「なし」の学生は、満足度の定義があいまいなため回答しなかったのかも知れない。

2. 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

教養教育運営機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていない。なお、表彰教員（第2号）の選出は卒業・修了予定者アンケートの結果を使用した。

3. 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

優れた点：

特になし

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして、シラバスの改訂、教養教育運営機構FD講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA実施報告書の作成、および授業点検・評価報告書のオンライン入力を行った。実施の過程で、非常勤講師担当科目のシラバス入力やアンケート点検・評価報告の入力に関し、学外からのアクセスの必要性が検討された。今後、ネットワーク管理の問題を含めて議論が必要であろう。

4. 次年度の授業改善目標

佐賀大学学士力を担保するため、授業ごとに学士力との対応関係を検討する。

おわりに

第2期中期計画期間の1年目である平成22年度は新たな活動期間の初年度ということでFD活動も混乱した。当初よりFDの具体的活動は、計画期間とは関係なく検討されるべきものであるとの位置づけではあったが、多くのFD活動が第1期ではアクションプランとして指示されていたため、その継続が不必要とも噂された。結果的に教育改善は終わったわけで無く、これからも継続すべきことであるため、その手段である種々の活動は継続しなければならなかったが、取りかかりの遅れはFD委員へ負荷をかける結果となった。

また、平成22年度後学期の授業評価アンケートはLiveCampusによるウェブで実施されることが昨年度決定されていた。22年度はほぼ1年間この対応に追われることになった。マークシートを用いた共通アンケートは、人的、機械的限界のため後戻りできなかった。システムは巨大且つ難解で、実施者の思い通りに進んでいかなかった。アンケート実施後の分析は結局次年度まで1年近くを要することになった。

平成20年度から義務化されたFD活動も見直しの時期と言われている。従来からの学生による授業評価も実施状況から見ると前年度と同じ高い水準が維持されており、教員のFD活動に対する意識もほぼ定着してきたと考えられる。しかしながら、佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し、授業改善に利用されているかと問われれば、答えは否定的にならざるを得ない。「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の提出であるが、年々低下する一方である。しかし、これらの活動状況だけで教員の授業への取り組みは計れないのは言うまでもない。おそらく学内のほとんど全ての教員は毎回の授業のために多くの時間を割いて準備し、全力で授業を行い、出席している学生の様子から学生の理解の程度を推しはかり、次週の授業の準備に取りかかっていると思われる。これは授業評価アンケートの満足度の良好な分布から見ても判断される。

一方、第二期計画期間には、教員による授業改善として、PDCAサイクルの実行が求められている。やらされるのではなく、平素の教員の授業への取り組みをどのようにPDCAサイクルの活動として記録するかがその課題となるであろう。

資料 1 授業評価結果を用いた授業改善実施要領

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要領（平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要領」という。）第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要領に定めるもののほか、この要領の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用するものとする。

(報告)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、所定の期間内に定められた方法により個別授業点検・評価報告書として提出する。

2 学部又は学科等（以下「教育組織」という。）は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

- (1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果
- (2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目
- (3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目
- (4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点
- (5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第2項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じるものとする。

- 2 前条第1項の個別授業点検・評価報告書及び同条第2項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。
- 3 前条第2項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

- 1 この要領は、平成18年12月22日から実施する。
- 2 この要領は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない。

附 則

この要領は、平成20年2月8日から実施する。

資料 2 佐賀大学学生による授業評価実施要領

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要領に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げるものではない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査方法)

第6条 大学教育委員会は、個別授業評価のための授業評価アンケートシステムを利用した調査方法等について定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げるものではない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学部が開設する授業科目
- (2) 教養教育運営機構が開設する授業科目
- (3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（教養教育運営機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でない

と判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評価アンケートシステムを用いない授業担当者は、大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げるものではない。

(雑則)

第9条 この要領に定めるものの他、授業評価の実施に関して必要な事項は、大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

1 この要領は、平成18年10月1日から実施する。

2 この要領は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則 (平成22年11月22日改正)

この要領は、平成22年11月22日から実施する。

資料 3 学生による授業評価アンケート様式

学生による授業評価アンケート

〈佐賀大学〉

このアンケートは、授業の改善に役立てる事を目的として実施するものです。回答は無記名で行い、その内容を成績評価に用いることは一切ありません。また、授業に当てはまらない質問は「該当しない」と回答し、どうしても回答しにくい質問については記入する必要はありません。皆様のご意見は、今後の授業に生かされますので、率直にお答え下さい。

授業科目コード	<input type="text"/>						
入学年度（西暦年を記入して下さい。）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
学部学科・課程・研究科・専攻等コード	<input type="text"/>	<input type="text"/>	選修・コース・系等コード	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
学部学科・課程・研究科・専攻等コード及び選修・コース・系等コードは、裏面を参照して下さい。							
記入例 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="0"/>							

〈記入上の注意〉

- この用紙は折り曲げたり、汚したりしないこと。
- 記入の方法及びマークの方法
 - HB程度のエンピツ、シャープペンシル等を使用すること。
 - 枠をはみ出さないように記入すること。
 - 記入しなおす場合は、誤った方をきれいに消すこと。

正しい例…… ① ② ③

悪い例…… ① ② ③, ① ② ③

この授業科目をあなたはどうか考えますか。以下の各項目それぞれについて、該当する番号を1つ選んでマークして下さい。

A. あなた自身について

A-1 出席率ほどのくらいですか。

		20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
A-1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
		0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上
A-2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
A-3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
		説明がなかった。	全く把握していない。	把握していない。	どちらともいえない。	少しは把握している。
A-4	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
A-5	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	

A-2 予習を毎週どの程度していますか。

A-3 復習を毎週どの程度していますか。

A-4 この授業の学習目標を把握している。

A-5 この授業の成績評価基準を把握している。

B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった。

	該当しない わからない。	全くそうは 思わない。	そうは思わ ない。	どちらとも いえない。	そう思う。	全くそのと おりだと思 う。
B-1	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-2	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-3	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-4	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-5	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-6	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-7	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
	該当しない わからない。	かなり速い。	少し速い。	丁度良い。	少し速い。	かなり速い。
B-8	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
B-9	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	

C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる。

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている。

	該当しない わからない。	全くそうは 思わない。	そうは思わ ない。	どちらとも いえない。	そう思う。	全くそのと おりだと思 う。
C-1	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
C-2	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた。

	該当しない わからない。	全くそうは 思わない。	そうは思わ ない。	どちらとも いえない。	そう思う。	全くそのと おりだと思 う。
D-1	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	

E. 指定項目①(この部分は教員の指示に従って記入して下さい。)

E-1

E-2

E-3

E-4

E-5

	該当しない わからない。	全くそうは 思わない。	そうは思わ ない。	どちらとも いえない。	そう思う。	全くそのと おりだと思 う。
E-1	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
E-2	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
E-3	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
E-4	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	
E-5	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	

F. 指定項目②(この部分は教員の指示に従って記入して下さい。)

F-1

F-2

F-3

F-4

F-5

	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
F-1	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
F-2	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
F-3	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
F-4	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤
F-5	<input type="radio"/> ①	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

学部・学科・ 課程コード	学部名称	学科等名称	学部・学科・ 課程コード	学部名称	学科等名称	学部・学科・ 課程コード	
		文化教育学部	学校教育課程	10	理工学部	機械システム工学科	57
国際文化課程			11	電気電子工学科		58	
人間環境課程			12	都市工学科		59	
経済学部		美術・工芸課程	13	農学部 (’05以前入学者)	生物生産学科	70	
		経済システム課程	35		応用生物科学科	71	
		経営・法律課程	36	農学部 (’06以降入学者)	応用生物科学科	72	
医学部		医学科	41		生物環境科学科	73	
		看護学科	42		生命機能科学科	74	
理工学部		数理科学科	数理科学科	53	その他学部生	上記に属さない学部生	80
			物理科学科	54	その他	科目等履修生等	91
		知能情報システム学科	55				
		機能物質化学科	56				

学部・学科・ 課程コード	学部・学科名称	選修・コース・系等名称	選修・コース・ 系等コード	学部・学科名称	選修・コース・系等名称	選修・コース・ 系等コード
	選修・コース・系等コード	文化教育学部 学校教育課程	教育学選修	1	経済学部	企業経営コース
教育心理学選修			2	経営・法律課程	法務管理コース	34
障害児教育選修			3	理工学部	物質化学コース	51
数学選修			4	機能物質化学科	機能材料化学コース	52
理科選修			5	理工学部 都市工学科 (’06以降入学者)	都市環境基盤コース	53
音楽選修			6		建築・都市デザインコース	54
教科教育選修			7	農学部 生物生産学科 (’05以前入学者)	生産科学系	71
文化教育学部 国際文化課程		日本・アジア文化選修	11		環境情報工学系	72
文化教育学部 人間環境課程		欧米文化選修	12	農学部 応用生産科学科 (’05以前入学者)	応用生物学系	73
		生活・環境・技術選修	21		生物化学系	74
文化教育学部 美術・工芸課程		健康福祉・スポーツ選修	22	農学部 生物環境科学科 (’06以降入学者)	生物環境保全学コース	75
		美術・工芸選修	23		資源循環生産学コース	76
経済学部 経済システム課程	国際経済社会コース	31	地域社会開発学コース		77	
	総合政策コース	32	その他学部生	上記に属さない学部生	99	

研究科・専攻等コード	研究科名称	専攻等名称	研究科・専攻 等コード	研究科名称	専攻等名称	研究科・専攻 等コード	
	研究科・専攻等コード	教育学研究科	学校教育専攻	15	工学系研究科(博 士前期課程)	機能物質化学専攻	60
教科教育専攻			16	物理科学専攻		61	
経済学研究科		金融・経済政策専攻	37	機械システム工学専攻		62	
		企業経営専攻	38	電気電子工学専攻		63	
医学系研究科 (修士課程)		医科学専攻	43	知能情報システム学専攻		64	
		看護学専攻	44	数理科学専攻		65	
医学系研究科 (博士課程)		機能形態系専攻	45	都市工学専攻		66	
		生体制御系専攻	46	循環物質工学専攻		67	
		生態系専攻	47	生体機能システム制御工 学専攻		68	
農学研究科		生物生産学専攻	75	工学系研究科(博 士後期課程)		エネルギー物質科学専攻	95
		応用生物科学専攻	76			システム生産科学専攻	96
連合農学研究科			77			生体機能システム制御工 学専攻	97

プレビュー
このアンケートは授業改善に役立てることとを目的としています。回答は、成績評価に影響することはありません。This survey is used to improve the classes. This survey is never connected with your name.

A-1	あなた自身について *	出席率がどのくらいですか。(What is the percentage of your class attendance?)				
		<input type="radio"/> 20%未満 (under 20%)	<input type="radio"/> 20~40%未満 (20~40%)	<input type="radio"/> 40~60%未満 (40~60%)	<input type="radio"/> 60~80%未満 (60~80%)	<input type="radio"/> 80%以上 (more than 80%)
A-2	あなた自身について *	予習や復習の程度を教えてください。(How much do you prepare each lesson?)				
		<input type="radio"/> 0時間 (0 hours)	<input type="radio"/> 1時間未満 (under 1 hours)	<input type="radio"/> 2時間未満 (under 2 hours)	<input type="radio"/> 3時間未満 (under 3 hours)	<input type="radio"/> 3時間以上 (More than 3 hours)
A-3	あなた自身について *	復習を毎週どの程度していますか。(How much do you review each lesson?)				
		<input type="radio"/> 0時間 (0 hours)	<input type="radio"/> 1時間未満 (under 1 hours)	<input type="radio"/> 2時間未満 (under 2 hours)	<input type="radio"/> 3時間未満 (under 3 hours)	<input type="radio"/> 3時間以上 (More than 3 hours)
A-4	あなた自身について *	この授業の学習目標を把握している。(Do you understand the aim of this class?)				
		<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)
A-5	あなた自身について *	この授業の成績評価基準を把握している。(Do you understand how you are graded in this class?)				
		<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)	<input type="radio"/> 説明がなかった。(no explanation)
B-1	授業内容及び授業方法 *	この授業の内容は理解できる。(Do you understand the class?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-2	授業内容及び授業方法 *	この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた。(Did this class inspire your interest in its contents?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-3	授業内容及び授業方法 *	黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である。(Did the teacher use effectively visual devices, such as blackboard, whiteboard, or slides?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-4	授業内容及び授業方法 *	教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった。(Are teaching materials(textbooks, handouts, etc.) suitable to your level?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-5	授業内容及び授業方法 *	シラバスは学習する上で役に立っている。(Is the syllabus useful to your learning in the class?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-6	授業内容及び授業方法 *	授業内容はシラバスに沿っている。(Has the class been conducted according to its syllabus?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-7	授業内容及び授業方法 *	声の大きさ・明瞭さは適切だった。(Is the teacher's voice big and clear enough?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
B-8	授業内容及び授業方法 *	話す速さは適切だった。(Does the teacher talk at a moderate speed?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> かなり遅い。(very slow)	<input type="radio"/> 少し遅い。(a little slow)	<input type="radio"/> 丁度良い。(moderate)	<input type="radio"/> 少し速い。(a little fast)
B-9	授業内容及び授業方法 *	授業の進む速さは適切だった。(Is the class conducted at a proper speed?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> かなり遅い。(very slow)	<input type="radio"/> 少し遅い。(a little slow)	<input type="radio"/> 丁度良い。(moderate)	<input type="radio"/> 少し速い。(a little fast)
C-1	教員の対応 *	授業をわかりやすくする工夫が感じられる。(Did the teacher try to conduct the class effectively so that students can understand it?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
C-2	教員の対応 *	学生の質問に適切に対応してくれている。(Did the teacher respond properly to students' questions?)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
D-1	満足度 *	この授業を受講して満足が得られた。(I am satisfied with the class.)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
E-1	指定項目① (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	E-1. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
E-2	指定項目② (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	E-2. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
E-3	指定項目③ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	E-3. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
E-4	指定項目④ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	E-4. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
E-5	指定項目⑤ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	E-5. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
F-1	指定項目⑥ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	F-1. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
F-2	指定項目⑦ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	F-2. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
F-3	指定項目⑧ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	F-3. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
F-4	指定項目⑨ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	F-4. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)
F-5	指定項目⑩ (この部分は教員の指示に従って記入してください。)	F-5. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)				
		<input type="radio"/> 該当しない、わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)

資料 4 共通様式以外のアンケート様式
 <平成 19 年度実施の医学部のアンケート>

学生による授業評価アンケート I (講義科目)

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入には HB の黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) ◁ ▷ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



※5桁の場合は左づめで記入すること
 8桁の場合は初めの0を省略

※ 学 籍 番 号							
◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷
◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷
◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷
◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷
◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷
◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷
◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷
◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷
◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷
◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高 い	中 間	やや 低 い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容の修得、理解度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高 い	中 間	やや 低 い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容に対して抱いた興味程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
4) 講義の編成や内容における一貫性、統合性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
5) 講義の工夫、講義資料等の活用・有効性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
6) この授業に対する配分時間の妥当性	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。
◁A▷ 学習要項(シラバス)と講義の内容が一致していない ◁B▷ 講義の内容がばらばらである ◁C▷ 講義内容に無意味な重複がある ◁D▷ 一方的な講義で追いついていけない ◁E▷ 講義資料が分かりにくい ◁F▷ スライド、OHPなどが分かりにくい ◁G▷ 講義内容が多すぎる ◁H▷ 授業時間が多すぎる ◁I▷ もっと授業時間を増やして欲しい ◁J▷ 現行より早い時期に開講して欲しい ◁K▷ 現行より遅い時期に開講して欲しい

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

学生による授業評価アンケートⅢ（PBL授業科目）

※5桁の場合は左づめで記入すること
8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) ◁▷の枠をはみ出さないようぬりつぶして下さい。

良い例 悪い例 ◁▷ ◁▷ ◁▷ ◁▷

※学 籍 番 号									
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高 い	中 間	やや 低 い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得，理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高 い	中 間	やや 低 い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における統一性，統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) シナリオに対する興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
◁A> 講義の内容がばらばらである	◁B> 講義内容に重複がある	◁C> 講義内容が少なすぎる
◁D> 講義分担教官が多すぎる	◁E> シラバスが統一されていない	◁F> シナリオが複雑すぎる
◁G> シナリオが単純すぎる	◁H> もっと授業時間を増やして欲しい	◁I> もっと実習時間を増やして欲しい
◁J> 現行より早い時期に開講して欲しい	◁K> もっと遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきことを書いて下さい。
.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。
.....

※このアンケートと成績は関係ありません。

学生による授業評価アンケートⅡ（実習科目）

※5桁の場合は左づめで記入すること
8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



※ 学 籍 番 号						
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

	高	やや高い	中	やや低い	低
1. この実習に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。					
1) 実習に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容の修得、理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

	高	やや高い	中	やや低い	低
2-1. この実習全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。					
1) この実習に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの実習の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 実習の編成や内容における一貫性、統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 実習の工夫、実習書や配布資料の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この実習に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
7) 実習環境の充実性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。
<input type="checkbox"/> A> 学習要項(シラバス)と実習の内容が一致していない <input type="checkbox"/> B> 実習内容が多すぎる <input type="checkbox"/> C> 実習時間が多すぎる <input type="checkbox"/> D> もっと実習時間を増やして欲しい <input type="checkbox"/> E> 現行より早い時期に開講して欲しい <input type="checkbox"/> F> もっと遅い時期に開講して欲しい <input type="checkbox"/> G> もっと指導教官を増やして欲しい <input type="checkbox"/> H> 実習書が分かりにくい <input type="checkbox"/> I> 機材が不足している <input type="checkbox"/> J> グループの人数が多すぎる

2-3. この実習について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。
.....

2-4. この実習について、よかったと思うことを書いて下さい。
.....

教員、授業科目別アンケート集計様式(レーダーチャート)

教員、授業科目別アンケート
レーダーチャート表

学生による授業評価アンケート

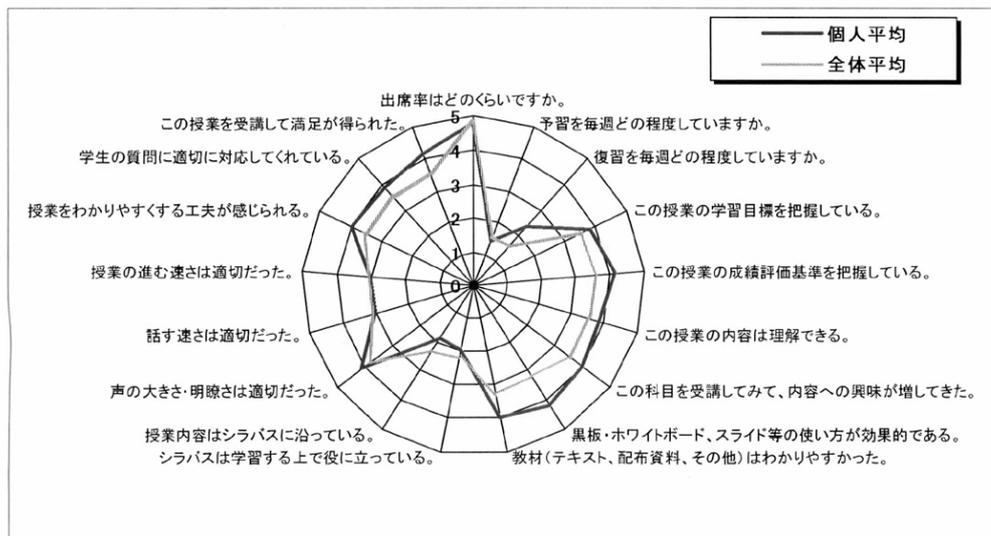
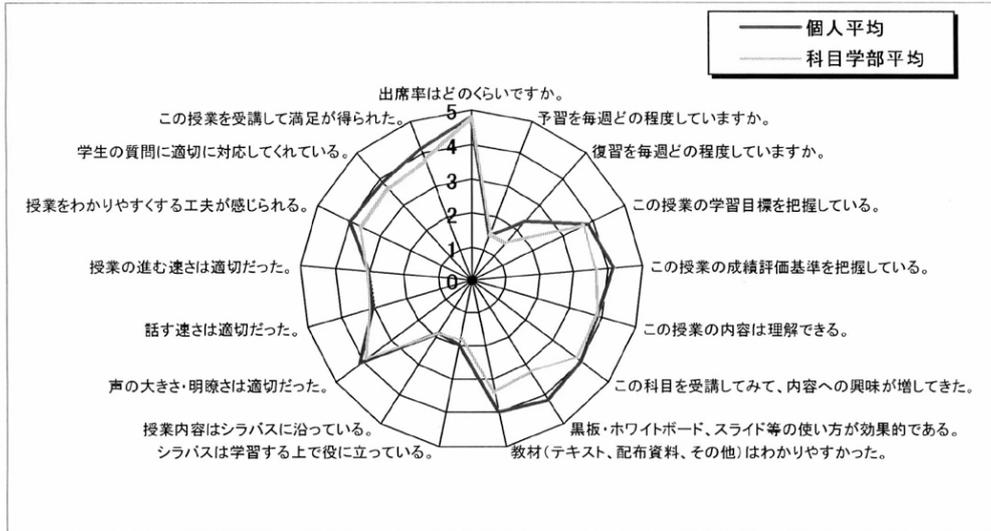
大学教育委員会委員長

教員氏名
授業科目
科目の属する学部

実施日 平成19年 月 日

曜日

校時 対象学生数 /



資料6 項目の基礎集計表
学部全体 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
文化教育学部	0.25%	0.29%	1.17%	8.89%	89.30%	0.09%
経済学部	0.27%	0.81%	3.12%	12.50%	83.16%	0.14%
理工学部	0.44%	0.34%	0.97%	6.95%	91.20%	0.09%
農学部	0.10%	0.06%	0.32%	4.45%	95.01%	0.06%
教養教育運営機構	0.18%	0.22%	1.20%	8.67%	89.68%	0.06%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	62.27%	27.36%	5.88%	1.42%	2.78%	0.29%
経済学部	77.80%	17.15%	2.71%	0.68%	1.49%	0.17%
理工学部	47.41%	38.29%	8.84%	2.00%	3.29%	0.17%
農学部	69.29%	22.98%	4.42%	1.37%	1.81%	0.13%
教養教育運営機構	64.16%	25.78%	6.09%	1.49%	1.60%	0.88%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	56.58%	34.20%	5.25%	1.21%	2.44%	0.32%
経済学部	67.84%	25.82%	4.07%	0.58%	1.39%	0.30%
理工学部	31.44%	46.03%	13.80%	3.43%	4.93%	0.38%
農学部	51.27%	39.03%	6.64%	1.24%	1.65%	0.16%
教養教育運営機構	60.56%	32.09%	4.18%	0.83%	1.36%	0.98%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	1.01%	1.59%	3.93%	22.20%	57.58%	13.17%	0.52%
経済学部	0.91%	3.63%	7.35%	27.04%	51.37%	9.12%	0.58%
理工学部	0.57%	2.82%	6.42%	32.17%	47.88%	8.70%	1.43%
農学部	1.11%	2.77%	5.91%	29.18%	52.26%	8.17%	0.60%
教養教育運営機構	1.04%	3.37%	7.27%	30.63%	47.40%	9.82%	0.47%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	0.72%	1.19%	3.95%	20.29%	56.64%	16.52%	0.69%
経済学部	0.54%	2.24%	4.68%	20.30%	52.36%	19.15%	0.75%
理工学部	0.36%	1.96%	4.49%	25.75%	51.38%	14.47%	1.59%
農学部	0.67%	2.07%	5.21%	24.57%	54.26%	12.65%	0.57%
教養教育運営機構	0.61%	2.71%	6.17%	24.53%	50.38%	14.94%	0.67%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	0.11%	0.99%	3.97%	14.81%	64.00%	15.96%	0.16%
経済学部	0.14%	1.66%	7.25%	19.35%	61.44%	9.93%	0.24%
理工学部	0.17%	2.92%	10.92%	31.69%	46.67%	6.40%	1.24%
農学部	0.19%	1.78%	8.65%	24.95%	57.15%	7.06%	0.22%
教養教育運営機構	0.28%	1.91%	6.04%	21.73%	56.37%	13.48%	0.18%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	0.16%	1.39%	4.96%	18.09%	52.40%	22.56%	0.43%
経済学部	0.27%	3.05%	10.23%	23.21%	51.30%	11.62%	0.30%
理工学部	0.18%	4.08%	12.31%	36.62%	36.86%	8.60%	1.36%
農学部	0.16%	2.57%	9.19%	27.08%	49.59%	11.09%	0.32%
教養教育運営機構	0.23%	2.91%	7.98%	26.23%	46.78%	15.47%	0.40%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	8.66%	1.86%	6.53%	24.93%	44.34%	12.70%	0.99%
経済学部	1.08%	2.74%	12.10%	28.23%	44.19%	11.11%	0.54%
理工学部	1.44%	3.77%	10.12%	35.18%	39.34%	8.77%	1.39%
農学部	3.88%	2.92%	10.43%	28.42%	45.49%	8.39%	0.48%
教養教育運営機構	4.60%	2.18%	7.53%	29.31%	42.60%	11.42%	2.37%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	7.65%	1.03%	4.31%	23.86%	48.95%	13.64%	0.56%
経済学部	3.96%	1.93%	8.57%	28.67%	46.22%	10.17%	0.47%
理工学部	1.23%	2.93%	10.27%	38.21%	38.57%	7.33%	1.46%
農学部	4.48%	2.42%	9.66%	34.08%	41.23%	7.82%	0.32%
教養教育運営機構	6.30%	1.95%	6.41%	30.12%	42.23%	10.77%	2.23%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	21.92%	2.31%	4.67%	33.03%	29.91%	7.79%	0.38%
経済学部	23.18%	2.58%	6.98%	32.43%	28.50%	5.66%	0.68%
理工学部	8.77%	3.24%	7.98%	45.21%	27.68%	5.79%	1.33%
農学部	22.09%	2.83%	7.15%	38.81%	24.25%	4.45%	0.41%
教養教育運営機構	16.18%	3.85%	8.83%	42.43%	22.00%	5.72%	1.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	25.41%	0.61%	1.68%	27.69%	34.81%	9.42%	0.38%
経済学部	28.06%	0.81%	2.03%	26.70%	33.58%	8.13%	0.68%
理工学部	12.11%	0.97%	2.86%	37.52%	36.44%	8.50%	1.59%
農学部	27.18%	0.86%	2.29%	32.39%	31.02%	5.75%	0.51%
教養教育運営機構	21.63%	1.13%	2.41%	35.43%	30.74%	7.49%	1.17%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	0.70%	0.74%	3.32%	12.54%	54.96%	27.25%	0.49%
経済学部	0.64%	1.19%	3.80%	13.05%	58.01%	22.84%	0.47%
理工学部	0.62%	1.99%	6.32%	23.00%	51.04%	15.46%	1.57%
農学部	0.99%	1.72%	5.12%	19.10%	57.44%	14.97%	0.67%
教養教育運営機構	0.39%	1.28%	4.32%	16.37%	53.58%	23.57%	0.50%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	0.81%	0.14%	1.41%	86.51%	9.00%	1.33%	0.79%
経済学部	0.68%	0.20%	1.15%	80.96%	14.16%	1.90%	0.95%
理工学部	1.15%	0.39%	1.81%	80.14%	12.65%	1.98%	1.88%
農学部	1.11%	0.25%	1.68%	85.41%	9.73%	1.14%	0.67%
教養教育運営機構	0.77%	0.51%	2.20%	83.79%	9.81%	2.14%	0.79%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	1.21%	0.22%	3.16%	83.87%	8.80%	1.57%	1.17%
経済学部	1.05%	0.27%	2.10%	80.82%	13.05%	1.49%	1.22%
理工学部	1.53%	0.41%	1.82%	74.47%	16.50%	3.28%	1.99%
農学部	1.53%	0.32%	2.73%	77.94%	14.34%	2.26%	0.89%
教養教育運営機構	1.38%	0.57%	3.32%	80.72%	10.63%	2.42%	0.96%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	0.81%	1.01%	4.15%	17.19%	57.86%	18.16%	0.81%
経済学部	3.52%	1.83%	6.98%	22.84%	54.76%	9.49%	0.58%
理工学部	1.02%	3.04%	7.36%	31.19%	47.31%	8.26%	1.82%
農学部	1.27%	1.88%	5.91%	26.73%	54.58%	9.15%	0.48%
教養教育運営機構	1.28%	1.82%	5.42%	25.16%	53.50%	12.13%	0.69%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	3.81%	0.52%	2.13%	15.48%	53.55%	23.50%	1.01%
経済学部	27.62%	0.64%	2.07%	20.30%	38.16%	10.20%	1.02%
理工学部	4.70%	1.33%	3.48%	30.11%	46.69%	11.75%	1.95%
農学部	8.14%	1.05%	2.67%	23.62%	50.10%	13.70%	0.73%
教養教育運営機構	9.03%	1.08%	2.50%	24.62%	46.03%	15.83%	0.92%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	0.25%	1.14%	3.61%	16.97%	50.13%	22.29%	5.61%
経済学部	0.71%	2.10%	7.22%	22.26%	51.34%	11.49%	4.88%
理工学部	0.39%	3.27%	7.66%	34.49%	39.70%	8.63%	5.85%
農学部	0.51%	2.51%	6.23%	26.83%	48.47%	10.52%	4.93%
教養教育運営機構	0.43%	2.54%	5.43%	23.57%	47.07%	16.00%	4.97%

学部全体 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
文化教育学部	1.53%	0.54%	1.90%	12.64%	83.39%	0.00%
経済学部	6.49%	2.50%	5.80%	18.54%	66.67%	0.00%
理工学部	1.72%	0.80%	1.48%	8.66%	87.34%	0.00%
農学部	0.91%	0.57%	1.92%	7.24%	89.36%	0.00%
教養教育運営機構	2.37%	1.10%	2.53%	11.98%	82.02%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	58.37%	29.92%	6.85%	1.48%	3.38%	0.00%
経済学部	62.80%	28.94%	4.80%	1.33%	2.14%	0.00%
理工学部	37.45%	43.34%	13.48%	3.16%	2.56%	0.00%
農学部	62.29%	24.15%	8.24%	1.63%	3.69%	0.00%
教養教育運営機構	61.17%	27.38%	7.47%	2.06%	1.92%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	52.33%	36.68%	7.12%	1.48%	2.39%	0.00%
経済学部	53.00%	36.52%	7.26%	1.09%	2.14%	0.00%
理工学部	26.61%	48.82%	16.64%	4.21%	3.72%	0.00%
農学部	47.10%	37.90%	9.10%	2.20%	3.69%	0.00%
教養教育運営機構	60.10%	32.11%	5.14%	1.23%	1.42%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	1.28%	1.65%	5.08%	16.24%	59.75%	16.00%	0.00%
経済学部	2.74%	4.47%	8.83%	22.65%	48.61%	12.70%	0.00%
理工学部	1.05%	1.98%	8.71%	25.65%	53.22%	9.39%	0.00%
農学部	1.72%	3.16%	10.06%	21.61%	51.13%	12.31%	0.00%
教養教育運営機構	1.63%	2.71%	6.56%	23.77%	52.19%	13.14%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	1.08%	1.50%	4.46%	15.06%	58.20%	19.69%	0.00%
経済学部	2.06%	2.58%	5.84%	18.18%	52.16%	19.19%	0.00%
理工学部	0.90%	1.42%	6.25%	19.75%	54.69%	17.00%	0.00%
農学部	1.15%	1.87%	8.53%	18.06%	51.46%	18.93%	0.00%
教養教育運営機構	1.33%	2.32%	5.49%	20.53%	51.86%	18.47%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	0.74%	1.90%	4.95%	14.15%	61.82%	16.44%	0.00%
経済学部	3.02%	3.95%	9.92%	24.95%	46.63%	11.53%	0.00%
理工学部	0.95%	3.57%	10.86%	29.64%	47.68%	7.29%	0.00%
農学部	0.72%	3.83%	12.12%	23.43%	49.69%	10.21%	0.00%
教養教育運営機構	1.56%	3.25%	5.93%	22.84%	52.07%	14.35%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	0.47%	2.66%	4.95%	16.05%	51.98%	23.88%	0.00%
経済学部	2.82%	4.31%	11.53%	26.36%	41.43%	13.54%	0.00%
理工学部	0.92%	3.57%	11.39%	31.84%	43.19%	9.09%	0.00%
農学部	0.72%	3.69%	11.55%	23.72%	44.90%	15.43%	0.00%
教養教育運営機構	1.27%	3.42%	7.32%	25.73%	45.06%	17.19%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	10.18%	2.07%	5.50%	20.21%	47.62%	14.42%	0.00%
経済学部	3.71%	5.00%	12.33%	26.44%	40.02%	12.49%	0.00%
理工学部	2.62%	3.52%	8.36%	30.95%	45.08%	9.48%	0.00%
農学部	6.47%	4.12%	11.16%	23.57%	43.08%	11.60%	0.00%
教養教育運営機構	8.25%	2.55%	5.46%	25.48%	44.66%	13.59%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	7.07%	1.63%	4.41%	19.15%	52.82%	14.91%	0.00%
経済学部	5.04%	3.91%	8.34%	28.09%	41.88%	12.74%	0.00%
理工学部	2.26%	2.90%	8.43%	32.16%	45.55%	8.69%	0.00%
農学部	7.43%	2.35%	9.63%	27.50%	42.74%	10.35%	0.00%
教養教育運営機構	8.94%	2.24%	4.79%	26.82%	44.39%	12.81%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	19.92%	2.37%	4.98%	31.50%	33.82%	7.42%	0.00%
経済学部	21.36%	3.02%	6.57%	35.47%	26.00%	7.58%	0.00%
理工学部	9.29%	2.47%	7.55%	39.53%	34.48%	6.68%	0.00%
農学部	24.87%	1.63%	6.56%	34.31%	25.97%	6.66%	0.00%
教養教育運営機構	17.01%	2.19%	5.02%	39.81%	28.33%	7.65%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	23.07%	0.84%	1.97%	28.03%	38.16%	7.94%	0.00%
経済学部	25.03%	1.33%	3.22%	32.29%	30.31%	7.82%	0.00%
理工学部	12.08%	1.31%	3.05%	32.07%	43.08%	8.41%	0.00%
農学部	28.17%	0.43%	1.87%	27.98%	34.12%	7.43%	0.00%
教養教育運営機構	19.02%	1.40%	2.28%	34.71%	33.92%	8.67%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
文化教育学部	2.19%	1.73%	4.78%	10.67%	60.86%	19.77%	0.00%
経済学部	3.06%	3.43%	9.43%	17.94%	49.13%	17.01%	0.00%
理工学部	1.55%	2.26%	6.21%	19.82%	58.08%	12.08%	0.00%
農学部	1.96%	2.16%	8.43%	17.49%	56.54%	13.42%	0.00%
教養教育運営機構	1.74%	1.84%	4.23%	17.29%	57.90%	16.99%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	2.98%	0.37%	2.44%	86.49%	6.90%	0.81%	0.00%
経済学部	4.59%	0.85%	3.79%	78.15%	11.49%	1.13%	0.00%
理工学部	2.67%	0.36%	2.24%	82.55%	10.47%	1.70%	0.00%
農学部	3.55%	0.05%	1.72%	82.32%	10.54%	1.82%	0.00%
教養教育運営機構	2.57%	0.72%	2.43%	85.71%	7.30%	1.28%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	3.52%	0.44%	3.20%	84.18%	7.42%	1.23%	0.00%
経済学部	5.12%	0.89%	4.35%	76.70%	11.53%	1.41%	0.00%
理工学部	2.97%	0.39%	2.24%	77.43%	13.99%	2.97%	0.00%
農学部	3.59%	0.00%	2.20%	78.20%	13.80%	2.20%	0.00%
教養教育運営機構	3.22%	0.86%	3.06%	84.08%	7.08%	1.71%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	2.79%	1.85%	4.68%	17.01%	54.77%	18.91%	0.00%
経済学部	5.76%	2.86%	8.79%	28.98%	42.24%	11.37%	0.00%
理工学部	2.39%	2.79%	6.81%	27.90%	50.80%	9.31%	0.00%
農学部	2.68%	2.59%	7.19%	25.30%	49.45%	12.79%	0.00%
教養教育運営機構	3.24%	2.47%	4.28%	24.76%	50.90%	14.34%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	4.54%	0.76%	2.24%	13.46%	52.85%	26.15%	0.00%
経済学部	17.05%	1.77%	3.91%	25.43%	38.69%	13.14%	0.00%
理工学部	5.01%	1.68%	3.59%	24.94%	51.78%	13.00%	0.00%
農学部	10.01%	1.29%	2.78%	19.31%	48.92%	17.68%	0.00%
教養教育運営機構	8.34%	1.73%	2.86%	23.48%	46.62%	16.97%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	0.49%	2.22%	4.41%	16.27%	51.07%	25.54%	0.00%
経済学部	3.95%	3.75%	8.83%	27.97%	42.44%	13.06%	0.00%
理工学部	1.53%	3.18%	8.19%	32.09%	46.39%	8.62%	0.00%
農学部	1.15%	3.07%	8.67%	26.93%	45.76%	14.42%	0.00%
教養教育運営機構	1.52%	3.02%	4.97%	24.99%	47.26%	18.23%	0.00%

文化教育学部 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育課程	0.26%	0.22%	1.06%	7.55%	90.81%	0.11%
国際文化課程	0.00%	0.07%	1.13%	8.61%	90.13%	0.07%
人間環境課程	0.10%	0.50%	1.29%	11.64%	86.37%	0.10%
美術・工芸課程	2.01%	1.34%	2.01%	13.38%	81.27%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	63.52%	26.30%	5.00%	1.20%	3.68%	0.29%
国際文化課程	50.90%	36.42%	9.54%	1.93%	1.00%	0.20%
人間環境課程	71.94%	20.80%	3.88%	0.80%	2.19%	0.40%
美術・工芸課程	75.25%	13.71%	2.34%	3.01%	5.35%	0.33%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	57.17%	33.75%	4.20%	1.02%	3.43%	0.44%
国際文化課程	49.63%	41.23%	7.54%	1.00%	0.47%	0.13%
人間環境課程	61.59%	29.85%	5.37%	1.00%	1.89%	0.30%
美術・工芸課程	69.23%	17.73%	3.01%	4.68%	5.02%	0.33%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	0.62%	0.88%	3.36%	22.95%	57.83%	13.79%	0.58%
国際文化課程	1.20%	2.20%	3.67%	21.21%	59.84%	11.61%	0.27%
人間環境課程	1.59%	2.89%	5.77%	24.18%	52.94%	11.94%	0.70%
美術・工芸課程	1.67%	0.67%	4.35%	13.71%	59.53%	19.40%	0.67%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	0.47%	0.80%	2.41%	20.98%	58.63%	15.98%	0.73%
国際文化課程	0.73%	1.00%	5.14%	18.55%	56.37%	17.68%	0.53%
人間環境課程	0.90%	2.79%	5.67%	21.39%	52.04%	16.42%	0.80%
美術・工芸課程	2.34%	0.33%	6.35%	19.06%	55.18%	16.05%	0.67%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.11%	0.58%	3.14%	13.35%	65.05%	17.55%	0.22%
国際文化課程	0.00%	0.67%	3.94%	16.01%	65.18%	14.01%	0.20%
人間環境課程	0.20%	2.89%	7.06%	19.60%	56.92%	13.33%	0.00%
美術・工芸課程	0.33%	0.00%	1.34%	6.02%	72.24%	20.07%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.15%	0.80%	4.30%	18.24%	52.65%	23.42%	0.44%
国際文化課程	0.07%	1.07%	4.34%	17.21%	54.37%	22.62%	0.33%
人間環境課程	0.30%	3.68%	8.86%	22.19%	47.76%	16.52%	0.70%
美術・工芸課程	0.33%	0.67%	1.00%	7.36%	55.85%	34.78%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	10.94%	1.61%	5.22%	24.01%	44.47%	13.24%	0.51%
国際文化課程	2.33%	1.40%	6.74%	25.95%	49.43%	13.61%	0.53%
人間環境課程	8.66%	3.28%	11.24%	28.36%	34.93%	10.65%	2.89%
美術・工芸課程	19.40%	1.67%	1.67%	16.72%	49.16%	10.03%	1.34%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	8.14%	0.77%	3.10%	21.56%	51.40%	14.81%	0.22%
国際文化課程	1.93%	0.80%	5.07%	25.35%	52.10%	14.34%	0.40%
人間環境課程	7.86%	2.29%	7.36%	29.55%	40.20%	10.85%	1.89%
美術・工芸課程	31.10%	0.33%	1.34%	18.39%	40.13%	8.70%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	23.97%	1.57%	3.79%	30.54%	30.68%	9.19%	0.26%
国際文化課程	14.61%	3.07%	5.87%	36.69%	31.55%	7.74%	0.47%
人間環境課程	20.90%	3.18%	5.77%	36.72%	27.56%	5.27%	0.60%
美術・工芸課程	43.14%	2.34%	3.01%	25.08%	22.41%	3.68%	0.33%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	26.63%	0.36%	1.42%	25.90%	34.80%	10.54%	0.33%
国際文化課程	19.88%	0.60%	1.13%	29.95%	38.76%	9.41%	0.27%
人間環境課程	24.18%	1.29%	3.68%	31.84%	31.04%	7.16%	0.80%
美術・工芸課程	46.15%	0.67%	0.00%	18.73%	27.76%	6.69%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	0.88%	0.36%	2.37%	12.77%	54.65%	28.49%	0.47%
国際文化課程	0.33%	0.33%	2.33%	9.74%	59.31%	27.48%	0.47%
人間環境課程	0.30%	2.39%	7.96%	16.82%	49.45%	22.49%	0.60%
美術・工芸課程	2.34%	0.67%	1.34%	10.03%	54.52%	30.77%	0.33%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	0.91%	0.11%	0.88%	90.84%	5.76%	0.73%	0.77%
国際文化課程	0.40%	0.07%	0.53%	80.85%	15.34%	2.27%	0.53%
人間環境課程	1.09%	0.40%	4.38%	83.68%	8.06%	1.49%	0.90%
美術・工芸課程	1.00%	0.00%	0.67%	84.62%	10.03%	1.67%	2.01%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	1.24%	0.07%	2.52%	88.03%	6.06%	1.20%	0.88%
国際文化課程	0.67%	0.20%	2.80%	79.72%	13.54%	1.93%	1.13%
人間環境課程	1.89%	0.70%	5.57%	79.10%	9.25%	1.89%	1.59%
美術・工芸課程	1.34%	0.00%	2.68%	82.61%	8.70%	2.01%	2.68%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育課程	1.02%	0.77%	3.43%	15.76%	58.92%	19.26%	0.84%
国際文化課程	0.53%	0.67%	3.67%	16.01%	58.64%	19.95%	0.53%
人間環境課程	0.80%	2.29%	7.86%	23.28%	51.74%	12.64%	1.39%
美術・工芸課程	0.33%	0.67%	0.67%	15.72%	64.88%	17.73%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育課程	3.98%	0.36%	2.12%	16.13%	53.37%	22.91%	1.13%
国際文化課程	3.94%	0.40%	1.00%	12.74%	56.04%	25.02%	0.87%
人間環境課程	3.88%	1.29%	4.38%	19.70%	49.65%	19.90%	1.19%
美術・工芸課程	1.34%	0.00%	0.33%	9.03%	55.85%	33.44%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育課程	0.33%	0.62%	2.99%	16.31%	51.37%	22.55%	5.84%
国際文化課程	0.27%	0.67%	2.94%	16.28%	52.17%	23.35%	4.34%
人間環境課程	0.10%	3.48%	7.06%	22.39%	43.78%	17.01%	6.17%
美術・工芸課程	0.00%	0.33%	1.00%	8.36%	49.83%	32.44%	8.03%

文化教育学部 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育課程	1.47%	0.31%	1.67%	10.31%	86.24%	0.00%
国際文化課程	2.27%	1.24%	1.96%	13.61%	80.93%	0.00%
人間環境課程	1.05%	0.23%	1.17%	13.33%	84.21%	0.00%
美術・工芸課程	0.93%	0.62%	4.98%	21.81%	71.65%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	57.67%	29.46%	6.65%	1.62%	4.60%	0.00%
国際文化課程	47.42%	40.82%	9.48%	0.52%	1.75%	0.00%
人間環境課程	66.55%	24.56%	4.80%	1.52%	2.57%	0.00%
美術・工芸課程	73.83%	14.02%	5.61%	3.43%	3.12%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	49.08%	36.94%	8.48%	1.99%	3.51%	0.00%
国際文化課程	48.35%	43.81%	6.19%	0.31%	1.34%	0.00%
人間環境課程	58.95%	33.22%	4.80%	1.75%	1.29%	0.00%
美術・工芸課程	66.04%	22.74%	8.10%	1.25%	1.87%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	1.20%	1.83%	4.40%	16.33%	60.39%	15.86%	0.00%
国際文化課程	1.65%	1.86%	5.98%	14.85%	57.42%	18.25%	0.00%
人間環境課程	1.52%	1.52%	6.55%	20.00%	56.96%	13.45%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.31%	2.49%	9.97%	70.40%	16.82%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	1.20%	1.57%	3.72%	14.60%	58.82%	20.09%	0.00%
国際文化課程	1.03%	1.75%	3.81%	13.61%	56.91%	22.89%	0.00%
人間環境課程	1.29%	1.64%	7.72%	18.48%	54.74%	16.14%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	2.18%	13.08%	67.60%	17.13%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.89%	2.20%	5.34%	13.03%	61.12%	17.43%	0.00%
国際文化課程	0.72%	1.86%	5.26%	14.95%	62.47%	14.74%	0.00%
人間環境課程	0.58%	1.87%	5.26%	17.89%	58.36%	16.02%	0.00%
美術・工芸課程	0.31%	0.31%	0.93%	8.41%	73.21%	16.82%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.31%	2.98%	4.60%	15.91%	51.60%	24.59%	0.00%
国際文化課程	0.72%	2.16%	5.77%	13.30%	53.51%	24.54%	0.00%
人間環境課程	0.58%	3.27%	6.20%	21.99%	50.41%	17.54%	0.00%
美術・工芸課程	0.31%	0.62%	1.25%	9.35%	53.89%	34.58%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	12.77%	2.35%	4.92%	18.94%	45.94%	15.07%	0.00%
国際文化課程	2.58%	1.96%	6.91%	20.31%	52.58%	15.67%	0.00%
人間環境課程	11.70%	2.22%	6.67%	23.98%	44.21%	11.23%	0.00%
美術・工芸課程	13.71%	0.31%	1.56%	17.45%	51.71%	15.26%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	7.74%	1.99%	3.77%	18.11%	52.96%	15.44%	0.00%
国際文化課程	2.68%	1.55%	5.88%	18.45%	55.36%	16.08%	0.00%
人間環境課程	8.77%	1.52%	5.26%	23.51%	48.42%	12.51%	0.00%
美術・工芸課程	11.84%	0.00%	1.56%	15.89%	56.07%	14.64%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	19.83%	1.88%	5.13%	30.61%	34.17%	8.37%	0.00%
国際文化課程	18.14%	3.71%	4.95%	30.52%	34.54%	8.14%	0.00%
人間環境課程	18.83%	2.69%	5.26%	34.39%	32.05%	6.78%	0.00%
美術・工芸課程	28.66%	0.31%	3.43%	32.09%	34.27%	1.25%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	22.71%	0.73%	1.47%	26.95%	39.30%	8.84%	0.00%
国際文化課程	22.27%	0.72%	1.75%	25.15%	40.82%	9.28%	0.00%
人間環境課程	21.75%	1.52%	3.63%	33.68%	32.75%	6.67%	0.00%
美術・工芸課程	31.15%	0.00%	1.25%	28.04%	37.69%	1.87%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	3.72%	2.09%	4.81%	10.78%	58.87%	19.73%	0.00%
国際文化課程	0.62%	2.37%	6.80%	9.38%	60.82%	20.00%	0.00%
人間環境課程	0.94%	0.82%	3.27%	12.63%	63.39%	18.95%	0.00%
美術・工芸課程	1.25%	0.00%	2.49%	8.72%	66.04%	21.50%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	4.92%	0.31%	1.73%	86.87%	5.81%	0.37%	0.00%
国際文化課程	1.13%	0.10%	2.89%	84.43%	10.21%	1.24%	0.00%
人間環境課程	1.64%	0.58%	3.39%	86.08%	6.78%	1.52%	0.00%
美術・工芸課程	0.62%	0.93%	2.80%	91.59%	3.74%	0.31%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	5.49%	0.31%	2.04%	83.25%	7.80%	1.10%	0.00%
国際文化課程	1.24%	0.10%	4.02%	85.57%	7.73%	1.34%	0.00%
人間環境課程	2.81%	0.94%	5.15%	82.57%	7.02%	1.52%	0.00%
美術・工芸課程	0.62%	0.93%	2.49%	89.72%	5.30%	0.93%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	4.24%	2.46%	4.55%	16.95%	52.49%	19.31%	0.00%
国際文化課程	0.93%	1.34%	4.64%	15.77%	56.49%	20.82%	0.00%
人間環境課程	2.11%	1.64%	6.20%	19.77%	55.09%	15.20%	0.00%
美術・工芸課程	1.56%	0.31%	1.56%	13.71%	62.31%	20.56%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	4.76%	1.15%	2.41%	14.39%	51.23%	26.06%	0.00%
国際文化課程	4.43%	0.31%	1.75%	12.99%	52.78%	27.73%	0.00%
人間環境課程	5.38%	0.47%	3.16%	12.75%	55.67%	22.57%	0.00%
美術・工芸課程	1.25%	0.62%	0.31%	11.21%	55.14%	31.46%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	0.42%	2.35%	4.87%	15.91%	50.81%	25.64%	0.00%
国際文化課程	0.72%	2.16%	4.12%	15.88%	50.00%	27.11%	0.00%
人間環境課程	0.35%	2.57%	5.26%	18.36%	52.75%	20.70%	0.00%
美術・工芸課程	0.62%	0.62%	0.31%	14.02%	51.40%	33.02%	0.00%

経済学部 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
国際経済社会コース	0.70%	1.04%	4.87%	15.48%	77.91%	0.00%
総合政策コース	0.30%	1.36%	2.72%	11.35%	84.11%	0.15%
企業経営コース	0.19%	0.56%	2.13%	11.12%	85.91%	0.09%
法務管理コース	0.00%	0.47%	3.62%	13.36%	82.23%	0.31%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	70.43%	22.26%	3.83%	0.70%	2.61%	0.17%
総合政策コース	83.06%	12.41%	2.42%	0.91%	1.06%	0.15%
企業経営コース	82.11%	13.81%	2.04%	0.56%	1.48%	0.00%
法務管理コース	71.70%	23.11%	3.14%	0.63%	0.94%	0.47%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	60.70%	29.39%	6.09%	0.52%	2.43%	0.87%
総合政策コース	75.19%	18.46%	4.84%	0.30%	1.06%	0.15%
企業経営コース	70.34%	25.02%	2.50%	0.74%	1.30%	0.09%
法務管理コース	62.42%	31.60%	4.09%	0.63%	0.94%	0.31%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	0.52%	3.83%	7.83%	25.74%	52.35%	8.70%	1.04%
総合政策コース	2.12%	4.54%	10.14%	31.92%	44.48%	6.35%	0.45%
企業経営コース	0.74%	3.61%	6.58%	25.58%	52.73%	10.38%	0.37%
法務管理コース	0.31%	2.52%	5.35%	25.63%	55.35%	10.22%	0.63%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	0.87%	2.43%	5.22%	22.43%	53.22%	14.26%	1.57%
総合政策コース	1.21%	2.72%	7.72%	26.02%	49.17%	12.71%	0.45%
企業経営コース	0.28%	1.95%	3.61%	16.87%	53.94%	22.80%	0.56%
法務管理コース	0.00%	2.04%	2.83%	18.24%	52.20%	24.06%	0.63%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	0.00%	2.26%	9.74%	22.26%	57.22%	8.35%	0.17%
総合政策コース	0.45%	2.12%	9.53%	23.00%	58.55%	6.20%	0.15%
企業経営コース	0.09%	1.11%	4.45%	15.38%	64.87%	13.90%	0.19%
法務管理コース	0.00%	1.57%	7.39%	19.65%	62.42%	8.49%	0.47%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	0.00%	3.48%	12.52%	23.83%	48.87%	10.96%	0.35%
総合政策コース	0.61%	2.87%	12.86%	30.86%	44.63%	7.87%	0.30%
企業経営コース	0.19%	2.97%	7.78%	20.57%	54.22%	14.18%	0.09%
法務管理コース	0.31%	2.99%	9.59%	19.18%	55.50%	11.79%	0.63%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	1.57%	1.57%	12.70%	27.13%	46.26%	10.09%	0.70%
総合政策コース	2.27%	4.39%	19.82%	36.76%	29.65%	6.81%	0.30%
企業経営コース	0.46%	2.59%	8.16%	21.78%	50.51%	15.76%	0.74%
法務管理コース	0.47%	2.36%	10.22%	31.29%	46.70%	8.65%	0.31%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	1.91%	1.91%	11.48%	25.22%	48.00%	10.96%	0.52%
総合政策コース	5.30%	2.87%	9.38%	39.64%	36.16%	5.75%	0.91%
企業経営コース	6.21%	1.39%	7.78%	24.75%	47.27%	12.42%	0.19%
法務管理コース	0.63%	1.89%	6.45%	27.04%	53.30%	10.22%	0.47%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	20.87%	2.43%	5.74%	33.04%	31.13%	6.09%	0.70%
総合政策コース	29.50%	2.57%	7.87%	32.53%	23.30%	3.78%	0.45%
企業経営コース	25.86%	2.69%	7.60%	28.36%	29.10%	6.02%	0.37%
法務管理コース	14.15%	2.52%	6.13%	38.68%	30.50%	6.60%	1.42%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	23.83%	0.35%	2.09%	28.17%	37.57%	7.48%	0.52%
総合政策コース	34.49%	0.91%	2.57%	29.80%	26.63%	4.99%	0.61%
企業経営コース	31.88%	0.93%	1.95%	23.35%	34.20%	7.32%	0.37%
法務管理コース	18.71%	0.94%	1.57%	27.83%	36.16%	13.36%	1.42%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	0.70%	0.87%	4.35%	13.57%	60.70%	19.30%	0.52%
総合政策コース	0.91%	2.27%	7.87%	20.88%	52.04%	15.43%	0.61%
企業経営コース	0.74%	0.83%	2.50%	9.82%	58.48%	27.25%	0.37%
法務管理コース	0.16%	0.94%	1.26%	9.91%	61.01%	26.26%	0.47%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	0.17%	0.17%	0.35%	82.61%	13.91%	1.91%	0.87%
総合政策コース	1.06%	0.30%	2.12%	76.10%	16.94%	2.27%	1.21%
企業経営コース	0.56%	0.28%	1.02%	82.95%	12.88%	1.48%	0.83%
法務管理コース	0.94%	0.00%	1.10%	81.13%	13.68%	2.20%	0.94%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	0.52%	0.17%	1.74%	82.26%	12.87%	1.91%	0.52%
総合政策コース	1.66%	0.45%	2.72%	77.31%	15.58%	0.91%	1.36%
企業経営コース	1.02%	0.37%	1.48%	82.02%	12.23%	1.48%	1.39%
法務管理コース	0.94%	0.00%	2.83%	81.13%	11.95%	1.73%	1.42%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	3.30%	2.09%	5.57%	25.22%	53.39%	9.91%	0.52%
総合政策コース	4.24%	2.72%	10.14%	33.59%	42.66%	6.05%	0.61%
企業経営コース	4.17%	1.39%	6.30%	17.24%	58.48%	11.96%	0.46%
法務管理コース	1.89%	1.42%	6.13%	19.03%	62.26%	8.49%	0.79%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	19.65%	0.87%	1.57%	21.74%	41.91%	12.70%	1.57%
総合政策コース	30.41%	0.61%	2.72%	26.48%	32.68%	6.51%	0.61%
企業経営コース	38.65%	0.74%	2.13%	17.05%	30.68%	9.82%	0.93%
法務管理コース	13.21%	0.31%	1.73%	18.08%	53.14%	12.42%	1.10%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	0.87%	2.61%	7.48%	22.78%	49.04%	12.52%	4.70%
総合政策コース	0.61%	1.51%	9.83%	29.80%	44.63%	6.51%	7.11%
企業経営コース	0.93%	2.41%	5.65%	19.46%	54.22%	13.72%	3.61%
法務管理コース	0.31%	1.73%	6.92%	18.71%	55.50%	11.95%	4.87%

経済学部 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
国際経済社会コース	9.13%	2.74%	6.16%	19.41%	62.56%	0.00%
総合政策コース	7.67%	3.58%	4.77%	19.59%	64.40%	0.00%
企業経営コース	6.46%	2.15%	6.20%	16.58%	68.61%	0.00%
法務管理コース	3.75%	1.80%	6.01%	19.37%	69.07%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	55.71%	32.88%	6.62%	1.60%	3.20%	0.00%
総合政策コース	66.27%	25.21%	4.94%	1.70%	1.87%	0.00%
企業経営コース	65.32%	27.59%	3.92%	1.14%	2.03%	0.00%
法務管理コース	61.41%	31.23%	4.50%	1.05%	1.80%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	48.86%	38.13%	8.45%	1.60%	2.97%	0.00%
総合政策コース	58.94%	31.52%	6.30%	1.02%	2.21%	0.00%
企業経営コース	53.29%	36.46%	6.96%	1.14%	2.15%	0.00%
法務管理コース	50.15%	39.94%	7.66%	0.75%	1.50%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	3.65%	5.02%	7.53%	21.00%	46.80%	15.98%	0.00%
総合政策コース	5.11%	4.77%	12.44%	23.85%	42.59%	11.24%	0.00%
企業経営コース	1.39%	3.42%	6.46%	22.03%	52.78%	13.92%	0.00%
法務管理コース	1.65%	5.11%	9.31%	23.42%	50.15%	10.36%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	1.83%	3.42%	5.71%	18.72%	52.05%	18.26%	0.00%
総合政策コース	3.92%	3.41%	8.18%	20.95%	47.36%	16.18%	0.00%
企業経営コース	1.27%	1.77%	4.30%	15.95%	53.42%	23.29%	0.00%
法務管理コース	1.50%	2.25%	5.71%	18.02%	54.95%	17.57%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	3.65%	4.11%	10.50%	24.43%	44.06%	13.24%	0.00%
総合政策コース	4.60%	3.41%	13.46%	26.24%	42.93%	9.37%	0.00%
企業経営コース	2.53%	3.54%	5.95%	23.80%	50.38%	13.80%	0.00%
法務管理コース	1.80%	4.80%	11.11%	25.53%	47.15%	9.61%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	3.88%	4.11%	12.10%	26.48%	36.76%	16.67%	0.00%
総合政策コース	3.92%	3.58%	15.33%	28.96%	37.31%	10.90%	0.00%
企業経営コース	2.41%	4.30%	8.99%	25.06%	45.57%	13.67%	0.00%
法務管理コース	1.65%	5.11%	10.81%	25.53%	43.24%	13.66%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	5.71%	3.88%	8.68%	24.43%	41.10%	16.21%	0.00%
総合政策コース	4.77%	5.45%	18.74%	26.24%	36.12%	8.69%	0.00%
企業経営コース	3.04%	5.44%	11.14%	25.95%	40.63%	13.80%	0.00%
法務管理コース	2.25%	4.80%	10.51%	28.53%	42.04%	11.86%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	7.08%	3.20%	9.82%	27.17%	38.13%	14.61%	0.00%
総合政策コース	4.94%	4.43%	11.75%	30.49%	39.35%	9.03%	0.00%
企業経営コース	5.82%	3.42%	6.08%	27.09%	43.29%	14.30%	0.00%
法務管理コース	2.85%	4.50%	7.06%	27.78%	44.89%	12.91%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	25.11%	2.28%	5.02%	30.37%	27.17%	10.05%	0.00%
総合政策コース	24.02%	2.39%	7.33%	33.22%	26.92%	6.13%	0.00%
企業経営コース	21.27%	3.16%	6.08%	35.95%	25.06%	8.48%	0.00%
法務管理コース	16.67%	3.90%	7.51%	40.24%	25.53%	6.16%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	27.17%	0.68%	1.60%	28.54%	30.14%	11.87%	0.00%
総合政策コース	27.09%	1.02%	3.92%	32.71%	28.62%	6.64%	0.00%
企業経営コース	25.95%	1.39%	2.66%	32.41%	29.62%	7.97%	0.00%
法務管理コース	20.72%	1.95%	4.35%	34.23%	32.73%	6.01%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	4.57%	2.97%	9.59%	19.86%	45.43%	17.58%	0.00%
総合政策コース	3.92%	6.47%	16.18%	20.78%	40.37%	12.27%	0.00%
企業経営コース	2.91%	2.78%	6.84%	17.59%	50.13%	19.75%	0.00%
法務管理コース	1.50%	1.80%	6.46%	14.56%	58.11%	17.57%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	6.39%	1.37%	3.42%	77.85%	10.05%	0.91%	0.00%
総合政策コース	6.30%	0.85%	5.79%	71.04%	14.99%	1.02%	0.00%
企業経営コース	4.43%	0.63%	3.67%	80.13%	10.13%	1.01%	0.00%
法務管理コース	2.10%	0.75%	2.40%	82.28%	10.96%	1.50%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	5.71%	1.37%	3.65%	75.80%	10.27%	3.20%	0.00%
総合政策コース	7.67%	0.51%	3.92%	76.32%	11.07%	0.51%	0.00%
企業経営コース	5.06%	0.89%	4.81%	76.08%	12.15%	1.01%	0.00%
法務管理コース	2.55%	0.90%	4.65%	78.38%	12.01%	1.50%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思ふ	なし
国際経済社会コース	8.68%	3.65%	5.71%	27.17%	41.78%	13.01%	0.00%
総合政策コース	6.98%	2.73%	12.78%	32.88%	36.46%	8.18%	0.00%
企業経営コース	5.82%	2.91%	8.23%	26.20%	43.42%	13.42%	0.00%
法務管理コース	2.70%	2.40%	7.96%	30.03%	46.25%	10.66%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思ふ	なし
国際経済社会コース	19.41%	1.83%	2.74%	23.97%	36.76%	15.30%	0.00%
総合政策コース	17.21%	2.39%	5.28%	29.98%	33.73%	11.41%	0.00%
企業経営コース	18.23%	1.90%	3.29%	22.78%	40.51%	13.29%	0.00%
法務管理コース	13.96%	1.05%	4.20%	25.53%	42.19%	13.06%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思ふ	なし
国際経済社会コース	6.16%	3.42%	8.45%	24.20%	43.38%	14.38%	0.00%
総合政策コース	5.62%	4.77%	11.07%	32.88%	36.29%	9.37%	0.00%
企業経営コース	3.29%	3.16%	7.47%	26.84%	44.94%	14.30%	0.00%
法務管理コース	1.80%	3.75%	8.71%	27.48%	44.29%	13.96%	0.00%

(A-1) 講義に対する出席の程度

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.37%	1.28%	8.65%	15.07%	74.46%	0.17%
講義科目	0.25%	1.03%	7.75%	15.87%	75.01%	0.08%
実習科目	0.29%	0.29%	4.35%	6.23%	88.74%	0.11%
PBL科目	1.16%	4.22%	20.18%	23.16%	50.54%	0.74%

(A-3) 復習や関連事項の自己学習の程度

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	1.30%	4.33%	34.32%	38.68%	21.13%	0.24%
講義科目	1.57%	5.03%	36.24%	37.19%	19.83%	0.14%
実習科目	0.29%	2.00%	26.42%	45.11%	25.96%	0.23%
PBL科目	1.16%	3.56%	34.41%	38.21%	21.84%	0.83%

(B-1) 講義内容の修得, 理解度

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.77%	3.63%	35.28%	41.82%	18.18%	0.31%
講義科目	0.81%	3.92%	36.45%	41.25%	17.40%	0.17%
実習科目	0.17%	1.72%	26.19%	47.74%	23.79%	0.40%
PBL科目	1.41%	4.71%	41.60%	36.64%	14.64%	0.99%

(B-2) 授業内容に対して抱いた興味の程度

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.37%	1.83%	20.51%	38.91%	38.13%	0.26%
講義科目	0.45%	1.73%	20.46%	39.42%	37.79%	0.14%
実習科目	0.17%	1.60%	18.98%	37.05%	41.85%	0.34%
PBL科目	0.17%	2.73%	22.99%	38.54%	34.74%	0.83%

(D-1) 授業に対する総合的満足度

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.48%	1.96%	19.80%	41.24%	36.31%	0.20%
講義科目	0.55%	1.77%	19.97%	41.09%	36.53%	0.10%
実習科目	0.34%	2.12%	16.35%	39.91%	41.05%	0.23%
PBL科目	0.25%	2.89%	23.82%	44.09%	28.21%	0.74%

教科科目の重要度の程度

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.29%	1.32%	14.18%	32.53%	51.48%	0.20%
講義科目	0.32%	1.25%	13.69%	33.00%	51.64%	0.10%
実習科目	0.34%	1.49%	14.98%	29.73%	53.23%	0.23%
PBL科目	0.00%	1.49%	15.88%	33.83%	48.06%	0.74%

講義の編成や内容における一貫性

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.48%	2.32%	26.04%	38.62%	32.22%	0.32%
講義科目	0.48%	2.18%	25.75%	39.01%	32.37%	0.21%
実習科目	0.23%	1.14%	23.38%	37.62%	37.28%	0.34%
PBL科目	0.83%	4.88%	31.60%	37.80%	23.99%	0.91%

講義の工夫／資料等の活用・有効性の程度／シナリオに対する興味の程度(PBLのみ)

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	0.63%	2.92%	26.03%	38.81%	31.29%	0.31%
講義科目	0.80%	3.09%	26.57%	37.93%	31.41%	0.20%
実習科目	0.23%	2.46%	22.07%	40.42%	34.42%	0.40%
PBL科目	0.25%	2.56%	28.62%	41.69%	26.05%	0.83%

授業に対する配分時間の妥当性

	低い	やや低い	中間	やや高い	高い	なし
全科目	1.09%	4.64%	31.48%	32.47%	29.98%	0.33%
講義科目	0.98%	4.24%	32.09%	32.82%	29.62%	0.25%
実習科目	1.37%	4.69%	28.64%	30.36%	34.65%	0.29%
PBL科目	1.32%	6.95%	32.01%	33.50%	25.39%	0.83%

理工学部 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学科	0.00%	0.00%	0.26%	5.97%	93.77%	0.00%
物理科学科	2.77%	2.18%	4.75%	9.11%	81.19%	0.00%
知能情報システム学科	0.20%	0.10%	0.29%	7.65%	91.66%	0.10%
機能物質化学科	0.11%	0.00%	0.05%	4.06%	95.78%	0.00%
機械システム工学科	0.10%	0.00%	0.51%	6.67%	92.57%	0.15%
電気電子工学科	0.11%	0.11%	0.74%	8.48%	90.44%	0.11%
都市工学科	1.21%	1.14%	2.41%	8.24%	86.87%	0.13%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	35.06%	41.82%	16.62%	4.42%	1.82%	0.26%
物理科学科	54.06%	40.40%	3.56%	0.59%	1.19%	0.20%
知能情報システム学科	44.06%	36.80%	12.56%	3.34%	2.94%	0.29%
機能物質化学科	36.32%	48.76%	10.28%	1.74%	2.85%	0.05%
機械システム工学科	51.97%	29.58%	10.26%	2.78%	5.31%	0.10%
電気電子工学科	48.36%	42.99%	5.94%	0.90%	1.70%	0.11%
都市工学科	57.54%	30.34%	5.83%	1.54%	4.42%	0.33%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	26.23%	43.64%	19.74%	6.23%	3.64%	0.52%
物理科学科	33.86%	50.50%	12.28%	1.58%	1.58%	0.20%
知能情報システム学科	23.36%	46.22%	18.65%	6.38%	4.61%	0.79%
機能物質化学科	22.88%	55.61%	15.02%	2.27%	3.90%	0.32%
機械システム工学科	37.46%	37.01%	14.96%	5.16%	5.11%	0.30%
電気電子工学科	30.83%	49.72%	10.58%	1.58%	6.96%	0.34%
都市工学科	41.13%	40.39%	10.18%	2.68%	5.29%	0.33%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	1.04%	3.12%	4.68%	28.05%	52.21%	10.91%	0.00%
物理科学科	0.40%	2.97%	3.76%	30.30%	51.88%	10.10%	0.59%
知能情報システム学科	0.29%	3.14%	6.48%	28.95%	53.09%	7.46%	0.59%
機能物質化学科	0.53%	2.32%	6.27%	31.37%	47.87%	6.69%	4.96%
機械システム工学科	0.40%	2.73%	5.51%	33.47%	47.07%	10.47%	0.35%
電気電子工学科	0.45%	2.38%	7.30%	32.69%	46.66%	10.01%	0.51%
都市工学科	1.14%	3.75%	8.10%	34.76%	44.41%	7.17%	0.67%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	1.04%	1.82%	3.38%	21.56%	52.73%	18.70%	0.78%
物理科学科	0.79%	1.98%	3.56%	24.75%	47.13%	21.39%	0.40%
知能情報システム学科	0.20%	1.96%	4.71%	22.77%	54.56%	15.21%	0.59%
機能物質化学科	0.21%	1.48%	3.53%	23.19%	54.82%	11.70%	5.06%
機械システム工学科	0.25%	1.97%	3.44%	26.79%	49.65%	17.29%	0.61%
電気電子工学科	0.40%	1.53%	4.52%	26.07%	52.55%	14.20%	0.74%
都市工学科	0.47%	3.08%	7.50%	30.68%	46.82%	10.65%	0.80%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.00%	3.64%	7.27%	28.83%	51.43%	8.31%	0.52%
物理科学科	0.40%	4.16%	11.29%	36.44%	41.19%	6.34%	0.20%
知能情報システム学科	0.00%	2.75%	11.87%	29.64%	49.17%	6.58%	0.00%
機能物質化学科	0.05%	3.06%	11.49%	27.25%	47.55%	5.59%	5.01%
機械システム工学科	0.25%	2.78%	8.04%	32.05%	48.84%	7.74%	0.30%
電気電子工学科	0.17%	2.26%	12.73%	32.52%	46.15%	5.94%	0.23%
都市工学科	0.27%	3.22%	12.06%	36.37%	42.20%	5.63%	0.27%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.00%	4.94%	6.75%	34.29%	41.56%	11.95%	0.52%
物理科学科	0.40%	3.56%	8.71%	35.45%	39.41%	12.28%	0.20%
知能情報システム学科	0.00%	4.32%	16.39%	35.82%	36.02%	7.26%	0.20%
機能物質化学科	0.11%	3.64%	12.28%	32.16%	38.80%	7.85%	5.17%
機械システム工学科	0.10%	3.64%	10.97%	39.59%	34.18%	11.22%	0.30%
電気電子工学科	0.11%	3.45%	12.33%	39.88%	37.50%	6.22%	0.51%
都市工学科	0.54%	5.76%	13.93%	36.03%	35.70%	7.70%	0.33%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.52%	2.86%	7.01%	37.14%	37.92%	13.77%	0.78%
物理科学科	1.19%	2.57%	9.70%	30.50%	43.37%	12.28%	0.40%
知能情報システム学科	2.55%	4.81%	10.01%	27.67%	44.46%	10.30%	0.20%
機能物質化学科	0.37%	4.48%	11.28%	27.94%	41.54%	9.49%	4.90%
機械システム工学科	1.21%	2.88%	9.15%	39.89%	37.77%	8.65%	0.46%
電気電子工学科	2.09%	2.88%	10.41%	40.33%	36.88%	7.07%	0.34%
都市工学科	1.88%	5.02%	10.58%	38.25%	37.04%	6.50%	0.74%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.78%	2.08%	10.13%	39.48%	35.84%	11.17%	0.52%
物理科学科	1.39%	3.56%	11.68%	38.61%	36.04%	8.51%	0.20%
知能情報システム学科	1.77%	3.93%	10.60%	31.80%	43.87%	7.85%	0.20%
機能物質化学科	1.37%	2.42%	9.70%	36.06%	38.69%	6.54%	5.22%
機械システム工学科	1.01%	2.73%	8.09%	39.84%	39.13%	8.80%	0.40%
電気電子工学科	1.02%	2.32%	11.26%	39.88%	38.63%	6.28%	0.62%
都市工学科	1.27%	3.88%	12.06%	40.72%	35.57%	5.89%	0.60%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	10.39%	3.64%	5.45%	48.05%	24.42%	7.53%	0.52%
物理科学科	14.85%	3.17%	6.73%	43.76%	25.94%	4.95%	0.59%
知能情報システム学科	11.97%	2.75%	9.62%	43.87%	28.16%	3.53%	0.10%
機能物質化学科	7.06%	2.64%	7.33%	42.54%	30.10%	5.54%	4.80%
機械システム工学科	7.18%	3.13%	8.09%	44.64%	28.77%	7.94%	0.25%
電気電子工学科	6.00%	2.88%	8.03%	48.76%	28.17%	5.60%	0.57%
都市工学科	11.65%	4.82%	8.57%	45.81%	23.71%	4.89%	0.54%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	15.32%	1.04%	1.56%	43.90%	30.13%	7.79%	0.26%
物理科学科	18.42%	0.99%	1.98%	35.84%	34.26%	7.92%	0.59%
知能情報システム学科	15.70%	0.69%	2.16%	34.74%	39.25%	6.87%	0.59%
機能物質化学科	9.38%	0.90%	3.85%	36.37%	37.37%	6.80%	5.32%
機械システム工学科	10.92%	0.91%	2.12%	36.86%	36.60%	12.18%	0.40%
電気電子工学科	9.05%	1.24%	3.45%	37.27%	39.59%	8.71%	0.68%
都市工学科	15.34%	1.00%	3.01%	40.99%	31.75%	7.03%	0.87%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.26%	2.34%	7.01%	24.42%	50.65%	15.06%	0.26%
物理科学科	1.19%	1.39%	6.73%	20.40%	51.49%	18.02%	0.79%
知能情報システム学科	1.47%	1.96%	3.34%	19.04%	55.94%	17.66%	0.59%
機能物質化学科	0.16%	2.00%	6.75%	18.71%	50.66%	16.50%	5.22%
機械システム工学科	0.30%	2.43%	6.98%	25.53%	46.21%	18.00%	0.56%
電気電子工学科	0.68%	1.30%	6.56%	22.79%	54.81%	13.24%	0.62%
都市工学科	0.87%	2.34%	6.36%	28.53%	50.10%	11.12%	0.67%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	0.00%	0.52%	0.78%	74.03%	19.74%	4.16%	0.78%
物理科学科	1.39%	0.20%	2.38%	78.42%	15.05%	2.38%	0.20%
知能情報システム学科	2.36%	0.39%	2.36%	81.45%	11.78%	1.18%	0.49%
機能物質化学科	0.79%	0.11%	1.37%	76.38%	13.34%	2.16%	5.85%
機械システム工学科	0.61%	0.51%	1.67%	82.91%	11.12%	2.33%	0.86%
電気電子工学科	1.41%	0.40%	2.26%	81.28%	12.16%	1.41%	1.07%
都市工学科	1.41%	0.60%	1.74%	81.18%	12.32%	1.81%	0.94%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	0.00%	0.26%	1.30%	73.25%	21.56%	3.12%	0.52%
物理科学科	1.58%	0.20%	1.39%	76.04%	17.43%	2.77%	0.59%
知能情報システム学科	1.86%	0.59%	1.57%	78.90%	14.72%	1.67%	0.69%
機能物質化学科	1.16%	0.21%	2.21%	69.74%	17.03%	3.90%	5.75%
機械システム工学科	1.06%	0.35%	1.37%	78.72%	13.85%	3.64%	1.01%
電気電子工学科	1.81%	0.40%	2.32%	74.32%	16.91%	3.05%	1.19%
都市工学科	2.41%	0.74%	1.81%	71.80%	18.42%	3.62%	1.21%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	1.56%	1.82%	6.49%	27.27%	50.65%	11.95%	0.26%
物理科学科	0.59%	2.38%	4.95%	29.90%	49.90%	11.68%	0.59%
知能情報システム学科	2.26%	3.14%	7.16%	27.87%	50.25%	8.73%	0.59%
機能物質化学科	0.37%	2.95%	8.28%	26.94%	47.39%	8.54%	5.54%
機械システム工学科	0.81%	3.29%	6.62%	32.76%	46.46%	9.00%	1.06%
電気電子工学科	1.24%	2.43%	6.79%	33.43%	47.85%	7.41%	0.85%
都市工学科	1.00%	4.02%	9.04%	35.57%	43.94%	5.49%	0.94%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	2.08%	2.60%	4.16%	23.90%	49.87%	16.88%	0.52%
物理科学科	3.17%	0.79%	3.56%	25.54%	49.90%	16.63%	0.40%
知能情報システム学科	8.64%	1.57%	3.34%	29.24%	45.24%	10.99%	0.98%
機能物質化学科	3.74%	1.27%	3.27%	27.10%	47.92%	11.12%	5.59%
機械システム工学科	2.83%	1.31%	3.29%	32.86%	45.85%	12.74%	1.11%
電気電子工学科	5.88%	0.57%	3.34%	30.03%	47.68%	11.43%	1.07%
都市工学科	5.49%	2.01%	4.09%	34.09%	44.14%	9.18%	1.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.00%	3.90%	4.16%	30.13%	47.79%	12.21%	1.82%
物理科学科	0.79%	3.76%	6.53%	33.07%	39.80%	11.29%	4.75%
知能情報システム学科	0.10%	3.34%	8.54%	34.25%	39.94%	8.24%	5.59%
機能物質化学科	0.26%	2.95%	8.91%	30.57%	41.12%	8.65%	7.54%
機械システム工学科	0.46%	3.03%	7.53%	36.20%	38.68%	9.05%	5.06%
電気電子工学科	0.17%	2.55%	6.90%	37.05%	40.78%	7.01%	5.54%
都市工学科	0.87%	4.49%	7.84%	35.97%	35.70%	8.44%	6.70%

理工学部 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学科	0.77%	0.52%	1.29%	13.14%	84.28%	0.00%
物理科学科	5.24%	2.86%	4.29%	5.71%	81.90%	0.00%
知能情報システム学科	1.24%	1.56%	3.01%	10.89%	83.30%	0.00%
機能物質化学科	0.55%	0.00%	0.33%	4.20%	94.92%	0.00%
機械システム工学科	0.28%	0.28%	0.14%	3.91%	95.40%	0.00%
電気電子工学科	0.85%	0.39%	0.39%	9.74%	88.64%	0.00%
都市工学科	5.52%	1.49%	3.10%	11.84%	78.05%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	24.48%	43.04%	21.91%	3.35%	7.22%	0.00%
物理科学科	44.76%	44.76%	8.10%	0.48%	1.90%	0.00%
知能情報システム学科	37.66%	39.94%	14.63%	5.08%	2.70%	0.00%
機能物質化学科	29.50%	46.85%	19.34%	3.20%	1.10%	0.00%
機械システム工学科	33.47%	49.23%	11.44%	4.60%	1.26%	0.00%
電気電子工学科	36.48%	47.76%	11.51%	2.63%	1.62%	0.00%
都市工学科	54.25%	31.84%	8.28%	1.15%	4.48%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	22.94%	45.10%	17.53%	6.44%	7.99%	0.00%
物理科学科	23.33%	51.90%	18.10%	1.90%	4.76%	0.00%
知能情報システム学科	22.93%	43.26%	23.03%	6.43%	4.36%	0.00%
機能物質化学科	18.78%	54.70%	19.34%	4.31%	2.87%	0.00%
機械システム工学科	24.69%	55.37%	13.67%	4.18%	2.09%	0.00%
電気電子工学科	27.59%	53.09%	13.21%	3.48%	2.63%	0.00%
都市工学科	41.38%	38.05%	13.56%	2.30%	4.71%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	1.55%	1.03%	4.12%	28.61%	53.87%	10.82%	0.00%
物理科学科	1.43%	2.38%	8.10%	18.57%	57.62%	11.90%	0.00%
知能情報システム学科	0.52%	1.87%	11.41%	28.11%	51.45%	6.64%	0.00%
機能物質化学科	0.00%	0.99%	8.29%	22.76%	60.22%	7.73%	0.00%
機械システム工学科	0.98%	1.95%	5.44%	29.57%	51.32%	10.74%	0.00%
電気電子工学科	0.31%	1.39%	8.50%	25.35%	53.79%	10.66%	0.00%
都市工学科	3.56%	4.37%	11.38%	23.56%	47.24%	9.89%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	1.55%	0.77%	2.84%	23.45%	53.35%	18.04%	0.00%
物理科学科	0.95%	1.90%	6.67%	11.90%	54.76%	23.81%	0.00%
知能情報システム学科	0.31%	1.45%	7.78%	21.68%	52.90%	15.87%	0.00%
機能物質化学科	0.22%	0.77%	4.86%	15.03%	64.20%	14.92%	0.00%
機械システム工学科	1.26%	1.39%	3.63%	19.80%	53.70%	20.22%	0.00%
電気電子工学科	0.23%	0.93%	6.65%	21.02%	54.71%	16.46%	0.00%
都市工学科	2.64%	2.99%	8.97%	20.80%	48.16%	16.44%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.52%	3.61%	9.28%	30.41%	45.36%	10.82%	0.00%
物理科学科	1.90%	2.38%	10.95%	29.52%	49.05%	6.19%	0.00%
知能情報システム学科	0.41%	4.15%	13.07%	32.78%	44.09%	5.50%	0.00%
機能物質化学科	0.55%	3.09%	9.83%	28.84%	49.83%	7.85%	0.00%
機械システム工学科	0.56%	2.51%	7.81%	29.99%	52.30%	6.83%	0.00%
電気電子工学科	0.54%	3.40%	10.66%	28.36%	50.00%	7.03%	0.00%
都市工学科	2.87%	4.83%	12.99%	28.28%	42.87%	8.16%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.52%	3.87%	8.25%	34.54%	40.21%	12.63%	0.00%
物理科学科	0.48%	1.43%	9.52%	26.19%	49.52%	12.86%	0.00%
知能情報システム学科	0.41%	3.73%	13.17%	34.54%	41.70%	6.43%	0.00%
機能物質化学科	0.66%	3.09%	9.94%	31.27%	46.74%	8.29%	0.00%
機械システム工学科	0.42%	2.93%	9.07%	31.24%	46.72%	9.62%	0.00%
電気電子工学科	0.62%	3.01%	10.66%	31.53%	43.89%	10.28%	0.00%
都市工学科	2.87%	5.63%	15.75%	30.57%	37.01%	8.16%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	1.55%	4.38%	4.90%	35.57%	41.75%	11.86%	0.00%
物理科学科	1.90%	3.33%	10.00%	25.71%	47.14%	11.90%	0.00%
知能情報システム学科	3.53%	2.39%	6.02%	30.29%	47.51%	10.27%	0.00%
機能物質化学科	0.88%	4.31%	9.39%	29.72%	46.63%	9.06%	0.00%
機械システム工学科	1.53%	2.79%	8.37%	32.36%	46.03%	8.93%	0.00%
電気電子工学科	3.09%	3.79%	9.04%	31.76%	43.89%	8.42%	0.00%
都市工学科	4.25%	3.79%	10.00%	29.77%	42.76%	9.43%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.77%	4.12%	5.67%	42.53%	36.34%	10.57%	0.00%
物理科学科	5.24%	1.90%	8.10%	25.24%	48.57%	10.95%	0.00%
知能情報システム学科	2.49%	3.63%	8.51%	30.50%	47.72%	7.16%	0.00%
機能物質化学科	1.10%	1.99%	6.63%	32.04%	50.06%	8.18%	0.00%
機械システム工学科	0.70%	3.21%	6.00%	33.19%	48.68%	8.23%	0.00%
電気電子工学科	2.32%	2.40%	9.97%	31.92%	44.59%	8.81%	0.00%
都市工学科	4.37%	3.22%	11.26%	30.69%	40.69%	9.77%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	13.92%	2.32%	4.90%	48.20%	22.68%	7.99%	0.00%
物理科学科	13.81%	3.81%	7.14%	40.95%	30.48%	3.81%	0.00%
知能情報システム学科	14.83%	2.59%	8.61%	42.12%	29.25%	2.59%	0.00%
機能物質化学科	5.30%	1.66%	5.08%	36.35%	43.09%	8.51%	0.00%
機械システム工学科	3.63%	2.93%	7.11%	35.15%	42.40%	8.79%	0.00%
電気電子工学科	7.34%	1.78%	7.26%	39.57%	37.25%	6.80%	0.00%
都市工学科	11.72%	3.56%	11.03%	39.31%	26.90%	7.47%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	17.01%	1.03%	1.80%	44.85%	27.58%	7.73%	0.00%
物理科学科	19.52%	0.48%	3.33%	32.86%	38.10%	5.71%	0.00%
知能情報システム学科	18.98%	1.45%	1.76%	34.65%	37.86%	5.29%	0.00%
機能物質化学科	6.85%	0.99%	3.31%	27.40%	52.82%	8.62%	0.00%
機械システム工学科	6.56%	1.26%	1.39%	28.87%	48.54%	13.39%	0.00%
電気電子工学科	8.58%	1.08%	4.25%	30.45%	46.75%	8.89%	0.00%
都市工学科	15.63%	2.18%	4.25%	33.22%	36.90%	7.82%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.52%	3.87%	5.93%	25.77%	50.52%	13.40%	0.00%
物理科学科	0.48%	0.95%	4.29%	15.24%	57.14%	21.90%	0.00%
知能情報システム学科	0.93%	2.80%	6.85%	19.09%	59.23%	11.10%	0.00%
機能物質化学科	0.33%	1.88%	6.96%	19.12%	60.33%	11.38%	0.00%
機械システム工学科	0.56%	2.23%	4.88%	20.50%	58.02%	13.81%	0.00%
電気電子工学科	2.01%	1.39%	5.10%	17.47%	62.52%	11.51%	0.00%
都市工学科	4.37%	2.99%	8.05%	22.76%	51.49%	10.34%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	2.06%	0.52%	1.55%	77.84%	14.95%	3.09%	0.00%
物理科学科	0.95%	0.48%	4.29%	87.14%	6.67%	0.48%	0.00%
知能情報システム学科	2.39%	0.52%	2.07%	84.65%	9.96%	0.41%	0.00%
機能物質化学科	1.88%	0.11%	1.33%	79.67%	15.25%	1.77%	0.00%
機械システム工学科	0.98%	0.14%	2.23%	88.70%	7.67%	0.28%	0.00%
電気電子工学科	2.40%	0.31%	1.93%	83.23%	9.89%	2.24%	0.00%
都市工学科	6.32%	0.57%	3.68%	78.16%	8.16%	3.10%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	1.80%	0.52%	2.58%	78.61%	12.37%	4.12%	0.00%
物理科学科	1.90%	0.95%	2.38%	78.10%	16.67%	0.00%	0.00%
知能情報システム学科	2.80%	0.73%	1.45%	77.39%	15.46%	2.18%	0.00%
機能物質化学科	1.99%	0.00%	2.10%	73.26%	18.90%	3.76%	0.00%
機械システム工学科	1.67%	0.14%	1.95%	84.80%	9.48%	1.95%	0.00%
電気電子工学科	2.63%	0.46%	1.93%	77.51%	14.45%	3.01%	0.00%
都市工学科	6.55%	0.34%	3.79%	74.94%	10.34%	4.02%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	2.32%	3.61%	6.19%	31.96%	40.21%	15.72%	0.00%
物理科学科	0.48%	2.86%	6.19%	20.48%	53.81%	16.19%	0.00%
知能情報システム学科	2.39%	3.11%	6.22%	25.83%	54.56%	7.88%	0.00%
機能物質化学科	0.88%	2.54%	6.85%	26.63%	53.04%	10.06%	0.00%
機械システム工学科	0.28%	2.37%	6.14%	27.75%	54.67%	8.79%	0.00%
電気電子工学科	2.63%	2.32%	6.41%	28.98%	51.78%	7.88%	0.00%
都市工学科	5.86%	3.33%	8.97%	30.00%	43.68%	8.16%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	2.58%	1.80%	4.38%	27.06%	46.65%	17.53%	0.00%
物理科学科	4.76%	0.95%	1.43%	20.48%	52.86%	19.52%	0.00%
知能情報システム学科	4.88%	2.39%	4.36%	25.62%	49.69%	13.07%	0.00%
機能物質化学科	3.20%	1.77%	2.98%	21.99%	57.02%	13.04%	0.00%
機械システム工学科	2.37%	1.39%	3.35%	23.43%	58.02%	11.44%	0.00%
電気電子工学科	7.11%	0.70%	2.63%	24.81%	51.24%	13.52%	0.00%
都市工学科	7.24%	2.64%	5.17%	28.85%	46.32%	9.77%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.52%	3.09%	5.93%	31.44%	44.07%	14.95%	0.00%
物理科学科	1.90%	2.38%	7.14%	29.05%	48.57%	10.95%	0.00%
知能情報システム学科	1.14%	3.01%	9.85%	35.58%	44.40%	6.02%	0.00%
機能物質化学科	0.88%	3.09%	6.30%	30.50%	51.38%	7.85%	0.00%
機械システム工学科	0.56%	3.77%	5.72%	32.08%	49.93%	7.95%	0.00%
電気電子工学科	1.00%	2.16%	8.35%	29.91%	49.23%	9.35%	0.00%
都市工学科	4.60%	4.71%	11.38%	34.14%	36.78%	8.39%	0.00%

農学部 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
応用生物課学科	0.30%	0.20%	0.50%	3.73%	95.06%	0.20%
生物環境保全学コース	0.00%	0.00%	0.35%	4.34%	95.31%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	0.00%	0.29%	4.61%	95.10%	0.00%
地域社会開発学コース	0.00%	0.00%	0.51%	9.74%	89.74%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	0.00%	0.00%	3.91%	96.09%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物課学科	68.42%	21.59%	5.55%	2.22%	2.02%	0.20%
生物環境保全学コース	70.49%	21.18%	5.03%	0.52%	2.78%	0.00%
資源循環生産学コース	78.82%	16.43%	2.74%	0.58%	1.44%	0.00%
地域社会開発学コース	76.92%	12.31%	5.13%	3.59%	2.05%	0.00%
生命機能科学科	57.83%	36.09%	3.77%	1.01%	1.01%	0.29%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物課学科	50.45%	39.15%	7.47%	1.41%	1.41%	0.10%
生物環境保全学コース	54.34%	33.68%	7.99%	1.91%	1.56%	0.52%
資源循環生産学コース	60.52%	34.73%	2.59%	0.14%	2.02%	0.00%
地域社会開発学コース	58.97%	34.36%	4.62%	1.03%	1.03%	0.00%
生命機能科学科	38.41%	48.99%	8.99%	1.59%	1.88%	0.14%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物課学科	1.31%	2.83%	6.96%	30.17%	49.85%	8.48%	0.40%
生物環境保全学コース	0.69%	2.78%	6.94%	29.17%	51.39%	8.33%	0.69%
資源循環生産学コース	1.15%	3.31%	4.47%	30.55%	48.85%	11.10%	0.58%
地域社会開発学コース	0.51%	3.08%	3.59%	29.74%	55.90%	7.18%	0.00%
生命機能科学科	1.30%	2.03%	5.65%	26.23%	58.84%	4.93%	1.01%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物課学科	0.81%	1.92%	6.16%	22.70%	50.96%	16.85%	0.61%
生物環境保全学コース	0.35%	2.26%	5.38%	30.38%	51.74%	9.55%	0.35%
資源循環生産学コース	0.58%	2.45%	4.18%	24.78%	53.17%	14.12%	0.72%
地域社会開発学コース	1.03%	3.08%	0.51%	24.10%	57.44%	13.33%	0.51%
生命機能科学科	0.72%	1.45%	6.09%	22.32%	61.30%	7.54%	0.58%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物課学科	0.30%	0.71%	5.25%	24.52%	62.36%	6.66%	0.20%
生物環境保全学コース	0.00%	2.78%	14.58%	28.47%	47.74%	6.42%	0.00%
資源循環生産学コース	0.43%	1.15%	7.06%	20.61%	59.08%	11.38%	0.29%
地域社会開発学コース	0.00%	1.03%	5.64%	17.95%	66.15%	9.23%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	3.33%	11.01%	28.99%	53.04%	3.19%	0.43%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	0.30%	2.42%	7.87%	26.14%	51.26%	11.71%	0.30%
生物環境保全学コース	0.00%	3.47%	16.67%	35.59%	36.98%	6.94%	0.35%
資源循環生産学コース	0.29%	1.59%	6.20%	24.35%	52.45%	14.84%	0.29%
地域社会開発学コース	0.00%	1.54%	5.13%	27.69%	52.82%	12.82%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	3.33%	8.99%	23.91%	53.91%	9.42%	0.43%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	5.15%	3.13%	12.21%	29.47%	43.79%	6.05%	0.20%
生物環境保全学コース	2.26%	4.51%	16.15%	36.63%	33.68%	6.60%	0.17%
資源循環生産学コース	8.07%	2.31%	7.35%	24.35%	47.55%	9.51%	0.86%
地域社会開発学コース	0.00%	1.03%	4.10%	22.56%	60.51%	10.26%	1.54%
生命機能科学科	0.29%	2.46%	7.97%	25.80%	51.45%	11.59%	0.43%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	4.84%	1.21%	9.08%	35.92%	42.79%	6.05%	0.10%
生物環境保全学コース	3.13%	3.65%	15.45%	39.76%	31.94%	5.90%	0.17%
資源循環生産学コース	8.79%	1.15%	5.33%	29.25%	45.10%	9.94%	0.43%
地域社会開発学コース	6.15%	1.54%	5.13%	29.74%	45.13%	11.79%	0.51%
生命機能科学科	0.29%	4.64%	11.30%	32.75%	41.74%	8.70%	0.58%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	20.69%	3.13%	7.16%	38.14%	27.14%	3.33%	0.40%
生物環境保全学コース	20.49%	3.99%	7.12%	42.71%	20.66%	4.69%	0.35%
資源循環生産学コース	27.67%	1.73%	6.34%	34.15%	23.05%	6.63%	0.43%
地域社会開発学コース	28.21%	1.03%	7.18%	35.90%	20.51%	6.67%	0.51%
生命機能科学科	18.12%	3.04%	7.97%	42.03%	25.36%	3.04%	0.43%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	26.34%	0.50%	2.22%	30.47%	34.91%	5.25%	0.30%
生物環境保全学コース	25.69%	1.39%	2.08%	38.02%	27.43%	5.21%	0.17%
資源循環生産学コース	32.42%	0.58%	2.31%	30.55%	26.66%	6.92%	0.58%
地域社会開発学コース	32.82%	1.03%	2.05%	34.36%	22.56%	7.18%	0.00%
生命機能科学科	22.75%	1.16%	2.61%	31.74%	35.22%	5.36%	1.16%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	1.31%	2.02%	6.36%	19.68%	56.31%	14.03%	0.30%
生物環境保全学コース	1.04%	2.78%	6.77%	22.57%	54.86%	11.81%	0.17%
資源循環生産学コース	1.01%	0.58%	2.74%	16.43%	59.94%	18.59%	0.72%
地域社会開発学コース	0.51%	1.03%	4.10%	16.41%	57.95%	18.46%	1.54%
生命機能科学科	0.58%	1.74%	4.64%	18.84%	58.55%	14.35%	1.30%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物課学科	1.51%	0.10%	1.41%	86.68%	8.58%	1.31%	0.40%
生物環境保全学コース	0.87%	0.52%	1.91%	85.24%	10.07%	0.87%	0.52%
資源循環生産学コース	1.15%	0.29%	1.01%	85.88%	9.94%	1.01%	0.72%
地域社会開発学コース	2.05%	0.00%	2.56%	87.18%	6.15%	0.51%	1.54%
生命機能科学科	0.43%	0.29%	2.32%	82.75%	11.88%	1.45%	0.87%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物課学科	2.52%	0.10%	2.32%	79.01%	12.61%	2.83%	0.61%
生物環境保全学コース	1.91%	0.52%	4.69%	72.92%	17.71%	1.56%	0.69%
資源循環生産学コース	0.72%	0.29%	1.44%	83.86%	11.24%	1.44%	1.01%
地域社会開発学コース	2.05%	0.00%	4.62%	83.59%	7.69%	1.03%	1.03%
生命機能科学科	0.43%	0.58%	2.46%	73.04%	18.99%	3.19%	1.30%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物課学科	2.02%	1.72%	6.66%	28.25%	53.18%	7.77%	0.40%
生物環境保全学コース	1.04%	2.95%	10.42%	32.64%	47.05%	5.73%	0.17%
資源循環生産学コース	1.01%	1.44%	2.59%	22.48%	59.37%	12.68%	0.43%
地域社会開発学コース	0.51%	0.00%	5.64%	20.00%	64.10%	9.23%	0.51%
生命機能科学科	0.87%	2.17%	4.49%	25.80%	55.36%	10.43%	0.87%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物課学科	13.12%	0.50%	3.43%	25.53%	45.21%	11.71%	0.50%
生物環境保全学コース	6.77%	2.08%	3.47%	23.61%	52.43%	11.11%	0.52%
資源循環生産学コース	6.34%	0.72%	1.73%	21.47%	50.72%	18.59%	0.43%
地域社会開発学コース	3.08%	0.51%	1.54%	23.08%	55.38%	15.38%	1.03%
生命機能科学科	5.36%	1.45%	2.17%	23.19%	53.04%	13.33%	1.45%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物課学科	0.81%	2.22%	7.67%	27.04%	48.84%	9.38%	4.04%
生物環境保全学コース	0.69%	3.99%	8.51%	34.55%	40.63%	6.42%	5.21%
資源循環生産学コース	0.14%	1.59%	2.59%	22.48%	53.03%	15.27%	4.90%
地域社会開発学コース	0.00%	1.54%	3.59%	21.54%	52.82%	12.31%	8.21%
生命機能科学科	0.43%	2.90%	6.67%	25.94%	48.70%	10.29%	5.07%

農学部 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
応用生物課学科	1.31%	0.65%	2.75%	7.84%	87.45%	0.00%
生物環境保全学コース	0.78%	0.00%	0.39%	6.64%	92.19%	0.00%
資源循環生産学コース	0.69%	0.00%	1.03%	6.19%	92.10%	0.00%
地域社会開発学コース	0.34%	0.34%	2.36%	11.45%	85.52%	0.00%
生命機能科学科	0.84%	1.26%	1.67%	4.60%	91.63%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物課学科	63.14%	25.49%	6.41%	0.52%	4.44%	0.00%
生物環境保全学コース	69.53%	18.36%	10.16%	0.78%	1.17%	0.00%
資源循環生産学コース	74.23%	11.68%	5.50%	2.75%	5.84%	0.00%
地域社会開発学コース	74.07%	17.17%	5.72%	0.34%	2.69%	0.00%
生命機能科学科	42.47%	37.03%	13.39%	3.97%	3.14%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物課学科	47.06%	40.00%	8.24%	1.18%	3.53%	0.00%
生物環境保全学コース	57.42%	28.52%	11.33%	1.17%	1.56%	0.00%
資源循環生産学コース	62.54%	26.46%	4.47%	2.06%	4.47%	0.00%
地域社会開発学コース	54.21%	36.70%	7.07%	0.34%	1.68%	0.00%
生命機能科学科	27.82%	47.28%	13.39%	5.65%	5.86%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物課学科	2.22%	4.05%	12.55%	26.27%	44.44%	10.46%	0.00%
生物環境保全学コース	2.34%	2.34%	7.81%	14.06%	58.59%	14.84%	0.00%
資源循環生産学コース	1.03%	2.75%	7.56%	17.18%	55.33%	16.15%	0.00%
地域社会開発学コース	1.35%	3.70%	10.44%	22.56%	47.81%	14.14%	0.00%
生命機能科学科	1.26%	2.09%	8.58%	20.29%	57.32%	10.46%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物課学科	1.57%	2.22%	9.67%	21.05%	49.15%	16.34%	0.00%
生物環境保全学コース	1.56%	1.17%	7.42%	10.16%	57.03%	22.66%	0.00%
資源循環生産学コース	0.69%	2.06%	7.56%	14.78%	50.86%	24.05%	0.00%
地域社会開発学コース	0.34%	2.02%	5.39%	17.85%	48.82%	25.59%	0.00%
生命機能科学科	1.05%	1.46%	9.83%	19.67%	54.18%	13.81%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物課学科	1.05%	4.97%	12.55%	27.45%	46.14%	7.84%	0.00%
生物環境保全学コース	0.39%	2.34%	9.38%	25.00%	53.52%	9.38%	0.00%
資源循環生産学コース	0.69%	1.37%	6.19%	17.87%	58.08%	15.81%	0.00%
地域社会開発学コース	0.34%	4.38%	15.49%	20.20%	45.45%	14.14%	0.00%
生命機能科学科	0.63%	3.97%	14.44%	21.55%	50.84%	8.58%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	0.78%	4.84%	12.55%	26.54%	41.70%	13.59%	0.00%
生物環境保全学コース	0.78%	1.95%	9.77%	29.30%	44.53%	13.67%	0.00%
資源循環生産学コース	0.69%	0.69%	6.53%	18.21%	51.89%	21.99%	0.00%
地域社会開発学コース	1.01%	5.39%	18.18%	21.21%	35.69%	18.52%	0.00%
生命機能科学科	0.42%	3.56%	9.83%	21.13%	51.67%	13.39%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	6.93%	4.71%	13.07%	26.41%	37.78%	11.11%	0.00%
生物環境保全学コース	4.69%	2.73%	8.98%	26.95%	49.61%	7.03%	0.00%
資源循環生産学コース	12.37%	0.69%	4.81%	18.90%	47.08%	16.15%	0.00%
地域社会開発学コース	6.06%	9.43%	16.84%	20.54%	34.34%	12.79%	0.00%
生命機能科学科	3.35%	2.72%	9.62%	21.97%	51.05%	11.30%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	7.97%	2.88%	11.24%	29.02%	39.48%	9.41%	0.00%
生物環境保全学コース	5.86%	0.39%	9.38%	32.42%	46.09%	5.86%	0.00%
資源循環生産学コース	10.31%	0.34%	3.09%	23.71%	49.14%	13.40%	0.00%
地域社会開発学コース	11.45%	4.04%	10.10%	24.58%	37.37%	12.46%	0.00%
生命機能科学科	3.14%	2.72%	10.88%	26.57%	45.61%	11.09%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	23.14%	1.44%	7.19%	41.05%	22.61%	4.58%	0.00%
生物環境保全学コース	28.13%	3.13%	7.03%	29.69%	28.13%	3.91%	0.00%
資源循環生産学コース	35.05%	1.37%	3.09%	25.77%	25.09%	9.62%	0.00%
地域社会開発学コース	33.33%	1.35%	7.41%	26.60%	22.56%	8.75%	0.00%
生命機能科学科	14.44%	1.46%	6.90%	35.98%	32.85%	8.37%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	26.93%	0.52%	1.57%	34.51%	31.24%	5.23%	0.00%
生物環境保全学コース	31.64%	0.39%	3.13%	21.88%	36.72%	6.25%	0.00%
資源循環生産学コース	35.40%	0.34%	0.69%	22.34%	31.27%	9.97%	0.00%
地域社会開発学コース	37.71%	0.67%	1.35%	22.22%	29.63%	8.42%	0.00%
生命機能科学科	17.99%	0.21%	2.72%	27.82%	41.84%	9.41%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	2.48%	2.22%	9.41%	19.48%	55.56%	10.85%	0.00%
生物環境保全学コース	1.95%	1.95%	7.03%	16.02%	59.38%	13.67%	0.00%
資源循環生産学コース	1.37%	0.34%	3.09%	12.71%	63.57%	18.90%	0.00%
地域社会開発学コース	1.35%	4.71%	15.49%	20.88%	40.40%	17.17%	0.00%
生命機能科学科	1.88%	1.67%	6.49%	15.90%	62.34%	11.72%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物課学科	3.79%	0.00%	1.31%	80.39%	12.68%	1.83%	0.00%
生物環境保全学コース	3.52%	0.00%	3.13%	85.16%	7.81%	0.39%	0.00%
資源循環生産学コース	3.44%	0.00%	0.69%	84.19%	7.90%	3.78%	0.00%
地域社会開発学コース	4.04%	0.34%	3.70%	79.46%	11.11%	1.35%	0.00%
生命機能科学科	2.93%	0.00%	1.05%	84.52%	9.83%	1.67%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物課学科	4.58%	0.00%	1.31%	74.51%	16.99%	2.61%	0.00%
生物環境保全学コース	3.13%	0.00%	4.30%	82.81%	9.38%	0.39%	0.00%
資源循環生産学コース	3.78%	0.00%	2.06%	79.73%	10.65%	3.78%	0.00%
地域社会開発学コース	3.70%	0.00%	4.04%	79.80%	10.77%	1.68%	0.00%
生命機能科学科	2.13%	0.00%	1.49%	79.74%	14.93%	1.71%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	3.14%	3.14%	7.19%	29.54%	46.93%	10.07%	0.00%
生物環境保全学コース	3.52%	1.56%	6.64%	26.56%	51.56%	10.16%	0.00%
資源循環生産学コース	1.72%	0.34%	1.72%	16.49%	62.20%	17.53%	0.00%
地域社会開発学コース	3.37%	5.05%	12.46%	24.92%	37.71%	16.50%	0.00%
生命機能科学科	1.67%	2.09%	7.53%	23.43%	51.88%	13.39%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	12.29%	1.57%	3.01%	25.23%	44.71%	13.20%	0.00%
生物環境保全学コース	9.38%	1.17%	2.34%	17.19%	56.64%	13.28%	0.00%
資源循環生産学コース	7.56%	0.00%	2.75%	12.37%	51.55%	25.77%	0.00%
地域社会開発学コース	12.12%	1.35%	3.03%	15.49%	45.45%	22.56%	0.00%
生命機能科学科	6.90%	1.67%	2.51%	17.57%	52.09%	19.25%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物課学科	1.83%	3.27%	9.15%	30.72%	43.66%	11.37%	0.00%
生物環境保全学コース	0.78%	1.56%	8.20%	28.91%	49.61%	10.94%	0.00%
資源循環生産学コース	1.37%	0.69%	5.15%	17.87%	52.92%	21.99%	0.00%
地域社会開発学コース	0.34%	5.72%	14.48%	23.23%	39.73%	16.50%	0.00%
生命機能科学科	0.63%	3.35%	6.69%	27.62%	46.44%	15.27%	0.00%

教養教育運営機構 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
第1分野「文化と芸術」	0.17%	0.33%	0.83%	14.50%	84.00%	0.17%
第2分野「思想と歴史」	0.11%	0.23%	1.14%	12.26%	86.15%	0.11%
第3分野「現代社会の構造」	0.00%	0.27%	1.43%	10.53%	87.60%	0.18%
第4分野「人間環境と健康」	0.26%	0.26%	1.66%	12.90%	84.83%	0.09%
第5分野「数理と自然」	0.46%	1.11%	1.67%	11.61%	85.05%	0.09%
第6分野「科学技術と生産」	0.36%	0.00%	1.45%	9.96%	88.22%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	0.00%	4.05%	9.83%	86.13%	0.00%
外国語科目	0.14%	0.05%	1.21%	7.92%	90.66%	0.02%
健康・スポーツ科目	0.07%	0.20%	0.65%	4.16%	94.93%	0.00%
情報処理科目	0.25%	0.00%	0.49%	2.45%	96.81%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	75.17%	19.17%	4.00%	0.67%	0.83%	0.17%
第2分野「思想と歴史」	77.19%	20.20%	1.59%	0.23%	0.68%	0.11%
第3分野「現代社会の構造」	83.85%	13.20%	1.16%	0.62%	0.80%	0.36%
第4分野「人間環境と健康」	88.14%	9.07%	1.39%	0.44%	0.78%	0.17%
第5分野「数理と自然」	73.35%	21.17%	2.88%	0.93%	1.58%	0.09%
第6分野「科学技術と生産」	79.71%	16.49%	2.72%	0.72%	0.18%	0.18%
第1分野「地域と文明」	82.66%	13.29%	2.31%	0.58%	1.16%	0.00%
外国語科目	32.22%	48.17%	14.14%	3.21%	2.20%	0.07%
健康・スポーツ科目	83.42%	5.33%	1.76%	0.39%	3.06%	6.05%
情報処理科目	75.16%	20.10%	2.37%	1.06%	0.98%	0.33%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	74.50%	21.17%	2.33%	1.33%	0.33%	0.33%
第2分野「思想と歴史」	67.99%	28.38%	2.61%	0.23%	0.57%	0.23%
第3分野「現代社会の構造」	66.55%	28.90%	2.68%	0.54%	0.54%	0.80%
第4分野「人間環境と健康」	78.99%	18.31%	1.22%	0.52%	0.78%	0.17%
第5分野「数理と自然」	58.31%	34.08%	5.20%	0.84%	1.49%	0.09%
第6分野「科学技術と生産」	70.83%	23.37%	3.80%	0.91%	0.54%	0.54%
第1分野「地域と文明」	70.52%	24.86%	3.47%	0.58%	0.58%	0.00%
外国語科目	41.31%	50.07%	6.18%	0.99%	1.25%	0.19%
健康・スポーツ科目	79.39%	8.91%	1.69%	0.52%	3.45%	6.05%
情報処理科目	63.07%	27.45%	6.13%	1.39%	1.80%	0.16%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がな い	全く把握して いない	把握してい ない	どちらともい えない	少しは把握 している	完全に把握 している	なし
第1分野「文化と芸術」	1.83%	3.50%	8.00%	27.83%	49.00%	9.50%	0.33%
第2分野「思想と歴史」	1.59%	4.77%	10.67%	32.35%	44.95%	5.11%	0.57%
第3分野「現代社会の構造」	0.98%	4.37%	11.06%	31.49%	46.57%	5.17%	0.36%
第4分野「人間環境と健康」	0.70%	4.97%	5.32%	32.08%	49.43%	7.06%	0.44%
第5分野「数理と自然」	0.74%	4.09%	7.80%	32.59%	44.94%	9.01%	0.84%
第6分野「科学技術と生産」	1.09%	2.90%	7.61%	32.79%	47.64%	6.88%	1.09%
第1分野「地域と文明」	0.00%	3.47%	7.51%	31.21%	46.82%	10.98%	0.00%
外国語科目	1.04%	2.15%	5.96%	29.83%	49.93%	10.76%	0.34%
健康・スポーツ科目	0.78%	2.80%	5.59%	26.92%	44.34%	18.79%	0.78%
情報処理科目	1.39%	4.33%	8.74%	33.17%	44.61%	7.60%	0.16%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	1.50%	3.33%	7.67%	23.83%	51.83%	11.00%	0.83%
第2分野「思想と歴史」	0.57%	3.06%	6.02%	24.63%	52.10%	12.94%	0.68%
第3分野「現代社会の構造」	0.89%	2.68%	6.87%	24.71%	51.74%	12.58%	0.54%
第4分野「人間環境と健康」	0.61%	4.10%	5.06%	24.76%	52.40%	12.38%	0.70%
第5分野「数理と自然」	0.37%	2.04%	5.57%	24.33%	50.51%	16.16%	1.02%
第6分野「科学技術と生産」	0.36%	2.17%	5.80%	22.28%	53.62%	14.86%	0.91%
第1分野「地域と文明」	0.58%	3.47%	5.78%	20.23%	56.07%	13.87%	0.00%
外国語科目	0.65%	2.15%	5.60%	23.58%	51.11%	16.39%	0.53%
健康・スポーツ科目	0.20%	2.21%	5.07%	22.04%	47.53%	22.24%	0.72%
情報処理科目	0.65%	4.08%	9.97%	32.60%	44.04%	7.92%	0.74%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかならない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	0.33%	0.50%	3.00%	20.33%	61.67%	13.83%	0.33%
第2分野「思想と歴史」	0.23%	3.75%	7.26%	24.74%	56.64%	7.04%	0.34%
第3分野「現代社会の構造」	0.27%	1.07%	6.33%	26.14%	55.22%	10.62%	0.36%
第4分野「人間環境と健康」	0.00%	1.05%	4.27%	21.36%	61.46%	11.77%	0.09%
第5分野「数理と自然」	0.46%	3.99%	11.88%	28.04%	45.87%	9.47%	0.28%
第6分野「科学技術と生産」	0.36%	1.45%	6.34%	24.64%	55.98%	11.23%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.58%	0.58%	2.89%	13.87%	66.47%	15.61%	0.00%
外国語科目	0.14%	1.67%	6.01%	20.51%	57.34%	14.14%	0.19%
健康・スポーツ科目	0.91%	0.91%	2.21%	12.42%	58.13%	25.36%	0.07%
情報処理科目	0.00%	3.51%	8.17%	26.63%	52.37%	9.23%	0.08%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わかならない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	0.00%	1.00%	4.83%	18.33%	51.83%	23.50%	0.50%
第2分野「思想と歴史」	0.34%	5.11%	11.46%	25.65%	46.20%	10.56%	0.68%
第3分野「現代社会の構造」	0.18%	2.68%	9.46%	26.76%	46.39%	13.65%	0.89%
第4分野「人間環境と健康」	0.09%	2.01%	4.88%	23.98%	52.66%	16.30%	0.09%
第5分野「数理と自然」	0.19%	4.18%	9.01%	28.13%	47.17%	10.77%	0.56%
第6分野「科学技術と生産」	0.00%	1.45%	6.16%	23.55%	52.72%	15.58%	0.54%
第1分野「地域と文明」	0.00%	1.16%	5.78%	20.81%	50.87%	20.81%	0.58%
外国語科目	0.14%	2.99%	9.48%	28.52%	44.45%	14.19%	0.22%
健康・スポーツ科目	0.72%	1.63%	3.45%	20.55%	47.20%	26.01%	0.46%
情報処理科目	0.33%	4.41%	9.40%	31.78%	43.38%	10.38%	0.33%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わかならない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	1.00%	1.00%	5.17%	25.67%	48.67%	17.83%	0.67%
第2分野「思想と歴史」	0.45%	4.65%	11.12%	31.33%	44.38%	7.60%	0.45%
第3分野「現代社会の構造」	0.45%	2.94%	13.02%	33.90%	40.50%	8.56%	0.62%
第4分野「人間環境と健康」	0.35%	1.74%	6.71%	28.42%	51.70%	10.90%	0.17%
第5分野「数理と自然」	0.56%	1.02%	5.20%	26.93%	51.44%	14.21%	0.65%
第6分野「科学技術と生産」	1.09%	1.27%	5.98%	21.92%	53.08%	16.12%	0.54%
第1分野「地域と文明」	2.31%	0.58%	5.20%	25.43%	49.71%	16.18%	0.58%
外国語科目	2.73%	2.24%	7.79%	32.09%	42.88%	11.82%	0.43%
健康・スポーツ科目	25.94%	1.24%	2.93%	21.00%	23.99%	9.10%	15.80%
情報処理科目	2.12%	3.27%	9.80%	33.25%	40.69%	10.38%	0.49%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	5.33%	0.83%	3.67%	26.00%	49.17%	14.33%	0.67%
第2分野「思想と歴史」	2.95%	3.41%	11.01%	32.01%	42.45%	7.49%	0.68%
第3分野「現代社会の構造」	4.64%	2.32%	8.74%	33.45%	42.11%	8.21%	0.54%
第4分野「人間環境と健康」	4.62%	1.39%	5.14%	33.39%	46.82%	8.11%	0.52%
第5分野「数理と自然」	7.24%	1.21%	6.59%	33.61%	39.93%	10.58%	0.84%
第6分野「科学技術と生産」	3.62%	1.63%	5.98%	30.07%	45.83%	11.78%	1.09%
第1分野「地域と文明」	4.62%	1.16%	4.05%	25.43%	52.02%	12.14%	0.58%
外国語科目	0.87%	2.12%	6.30%	28.14%	47.85%	14.43%	0.29%
健康・スポーツ科目	26.72%	1.17%	3.71%	24.58%	21.72%	7.67%	14.43%
情報処理科目	5.64%	2.94%	7.60%	35.95%	40.20%	7.19%	0.49%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	19.83%	3.83%	7.17%	42.83%	20.67%	5.00%	0.67%
第2分野「思想と歴史」	16.35%	3.97%	10.90%	43.02%	22.36%	2.84%	0.57%
第3分野「現代社会の構造」	16.15%	4.73%	11.78%	42.46%	20.52%	4.01%	0.36%
第4分野「人間環境と健康」	16.39%	2.88%	6.54%	41.59%	27.46%	4.71%	0.44%
第5分野「数理と自然」	14.67%	3.25%	7.24%	43.08%	25.07%	6.31%	0.37%
第6分野「科学技術と生産」	17.21%	2.17%	9.78%	42.75%	23.01%	4.17%	0.91%
第1分野「地域と文明」	10.98%	1.73%	6.36%	50.29%	24.28%	6.36%	0.00%
外国語科目	14.24%	3.98%	8.93%	41.19%	24.01%	7.46%	0.19%
健康・スポーツ科目	22.56%	3.71%	6.50%	40.64%	14.17%	7.28%	5.14%
情報処理科目	14.22%	5.15%	11.52%	47.14%	18.22%	2.94%	0.82%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	25.50%	0.50%	2.50%	35.67%	29.67%	5.67%	0.50%
第2分野「思想と歴史」	21.91%	2.04%	2.38%	34.51%	33.26%	5.22%	0.68%
第3分野「現代社会の構造」	22.93%	0.62%	2.59%	35.68%	31.40%	5.89%	0.89%
第4分野「人間環境と健康」	20.58%	0.52%	2.62%	34.87%	34.00%	6.97%	0.44%
第5分野「数理と自然」	19.03%	1.02%	2.04%	33.24%	35.19%	9.10%	0.37%
第6分野「科学技術と生産」	22.83%	0.91%	2.54%	31.88%	33.88%	7.25%	0.72%
第1分野「地域と文明」	13.87%	0.58%	1.73%	31.79%	40.46%	10.98%	0.58%
外国語科目	20.25%	1.11%	2.24%	36.03%	31.35%	8.54%	0.48%
健康・スポーツ科目	26.79%	1.50%	1.76%	34.72%	20.94%	8.71%	5.59%
情報処理科目	20.34%	1.72%	3.76%	39.22%	29.33%	5.07%	0.57%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	0.33%	0.00%	2.33%	15.17%	58.00%	23.67%	0.50%
第2分野「思想と歴史」	0.11%	2.04%	8.17%	19.52%	55.39%	13.85%	0.91%
第3分野「現代社会の構造」	0.27%	0.45%	2.59%	15.08%	58.07%	22.66%	0.89%
第4分野「人間環境と健康」	0.35%	0.96%	4.71%	20.58%	57.54%	15.52%	0.35%
第5分野「数理と自然」	0.56%	1.95%	5.94%	19.41%	52.09%	19.59%	0.46%
第6分野「科学技術と生産」	0.36%	0.91%	3.62%	14.13%	59.60%	21.01%	0.36%
第1分野「地域と文明」	0.00%	1.16%	1.73%	10.40%	63.58%	22.54%	0.58%
外国語科目	0.24%	1.54%	4.08%	14.21%	52.75%	26.79%	0.39%
健康・スポーツ科目	0.91%	1.24%	3.19%	13.39%	44.73%	35.89%	0.65%
情報処理科目	0.57%	1.14%	5.23%	22.14%	53.35%	17.32%	0.25%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	0.67%	0.33%	3.17%	86.83%	6.33%	1.83%	0.83%
第2分野「思想と歴史」	0.45%	0.57%	1.59%	85.93%	9.42%	1.36%	0.68%
第3分野「現代社会の構造」	0.45%	0.27%	1.16%	85.01%	10.88%	1.25%	0.98%
第4分野「人間環境と健康」	0.87%	0.17%	1.13%	89.01%	6.89%	1.22%	0.70%
第5分野「数理と自然」	0.93%	0.19%	1.86%	82.45%	11.51%	1.95%	1.11%
第6分野「科学技術と生産」	0.54%	0.18%	1.09%	91.85%	4.71%	1.27%	0.36%
第1分野「地域と文明」	1.16%	0.58%	3.47%	87.86%	4.62%	1.16%	1.16%
外国語科目	0.75%	0.27%	1.76%	81.66%	12.64%	2.29%	0.63%
健康・スポーツ科目	0.91%	1.89%	4.55%	82.96%	5.01%	3.64%	1.04%
情報処理科目	1.06%	0.57%	3.27%	79.98%	11.52%	2.78%	0.82%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	0.83%	0.50%	6.00%	85.00%	5.50%	1.17%	1.00%
第2分野「思想と歴史」	1.48%	0.79%	1.48%	82.07%	11.35%	1.93%	0.91%
第3分野「現代社会の構造」	1.52%	0.36%	3.30%	83.59%	8.92%	0.98%	1.34%
第4分野「人間環境と健康」	1.13%	0.00%	1.66%	86.75%	7.85%	1.48%	1.13%
第5分野「数理と自然」	1.76%	0.37%	2.32%	78.55%	12.63%	3.25%	1.11%
第6分野「科学技術と生産」	1.27%	0.36%	1.99%	87.50%	7.25%	1.09%	0.54%
第1分野「地域と文明」	1.16%	1.16%	3.47%	89.02%	4.05%	0.58%	0.58%
外国語科目	1.06%	0.48%	3.16%	78.84%	13.18%	2.44%	0.84%
健康・スポーツ科目	2.08%	1.63%	5.66%	81.60%	4.75%	3.19%	1.11%
情報処理科目	1.63%	0.33%	4.00%	72.30%	16.26%	4.74%	0.74%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	1.17%	1.17%	3.67%	23.83%	54.50%	14.33%	1.33%
第2分野「思想と歴史」	1.36%	3.63%	8.74%	29.40%	49.04%	6.92%	0.91%
第3分野「現代社会の構造」	1.43%	1.78%	5.89%	28.90%	52.90%	8.30%	0.80%
第4分野「人間環境と健康」	1.48%	1.39%	4.10%	27.46%	57.45%	7.93%	0.17%
第5分野「数理と自然」	1.21%	1.39%	4.74%	24.51%	56.64%	10.77%	0.74%
第6分野「科学技術と生産」	1.09%	1.63%	4.53%	23.01%	56.88%	12.32%	0.54%
第1分野「地域と文明」	0.58%	1.16%	4.62%	17.92%	59.54%	15.03%	1.16%
外国語科目	0.84%	1.86%	5.36%	23.33%	53.23%	14.67%	0.70%
健康・スポーツ科目	2.28%	1.24%	3.71%	22.37%	52.08%	17.49%	0.85%
情報処理科目	1.47%	2.45%	8.17%	29.41%	50.57%	7.60%	0.33%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	12.17%	1.33%	2.17%	26.00%	43.00%	13.83%	1.50%
第2分野「思想と歴史」	10.90%	2.16%	3.06%	26.79%	44.95%	11.24%	0.91%
第3分野「現代社会の構造」	21.14%	0.80%	2.41%	35.33%	33.10%	6.33%	0.89%
第4分野「人間環境と健康」	11.94%	0.52%	2.01%	29.99%	45.07%	9.94%	0.52%
第5分野「数理と自然」	10.40%	1.02%	2.14%	27.48%	43.27%	14.67%	1.02%
第6分野「科学技術と生産」	14.13%	1.27%	3.08%	27.17%	40.76%	12.68%	0.91%
第1分野「地域と文明」	4.05%	1.73%	1.16%	9.25%	58.38%	24.86%	0.58%
外国語科目	5.33%	0.97%	2.46%	20.42%	50.48%	19.47%	0.87%
健康・スポーツ科目	7.67%	0.78%	1.82%	22.89%	45.38%	19.83%	1.63%
情報処理科目	3.76%	1.55%	4.00%	22.47%	49.84%	18.14%	0.25%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	0.33%	1.50%	4.00%	19.83%	47.33%	21.50%	5.50%
第2分野「思想と歴史」	0.57%	4.43%	7.60%	27.47%	46.20%	8.85%	4.88%
第3分野「現代社会の構造」	0.71%	2.32%	6.51%	28.55%	44.87%	11.95%	5.08%
第4分野「人間環境と健康」	0.35%	2.09%	3.75%	22.58%	52.05%	14.21%	4.97%
第5分野「数理と自然」	0.46%	2.69%	5.48%	24.23%	50.42%	12.26%	4.46%
第6分野「科学技術と生産」	0.36%	1.99%	5.62%	24.64%	49.09%	14.13%	4.17%
第1分野「地域と文明」	0.58%	1.16%	2.89%	9.83%	57.23%	23.70%	4.62%
外国語科目	0.34%	2.68%	6.06%	23.21%	45.51%	16.87%	5.33%
健康・スポーツ科目	0.26%	1.56%	3.12%	15.86%	45.97%	27.76%	5.46%
情報処理科目	0.65%	3.35%	6.21%	30.72%	46.24%	9.15%	3.68%

教養教育運営機構 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
第1分野「文化と芸術」	2.46%	1.30%	3.33%	17.10%	75.80%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.83%	2.55%	3.83%	16.33%	73.47%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.43%	2.56%	6.75%	16.19%	72.06%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	3.47%	1.18%	3.47%	17.29%	74.58%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.99%	0.83%	2.49%	14.62%	79.07%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.56%	1.78%	2.31%	11.74%	80.60%	0.00%
第1分野「地域と文明」	1.44%	0.00%	1.44%	8.63%	88.49%	0.00%
外国語科目	1.49%	0.51%	0.94%	7.66%	89.39%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.22%	0.33%	0.73%	5.94%	91.78%	0.00%
情報処理科目	3.54%	2.08%	4.79%	15.83%	73.75%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	71.45%	22.17%	3.33%	2.03%	1.01%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	71.68%	22.96%	2.81%	1.28%	1.28%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	73.95%	19.03%	3.64%	1.48%	1.89%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	79.08%	16.78%	2.14%	0.89%	1.11%	0.00%
第5分野「数理と自然」	69.27%	24.58%	3.82%	1.16%	1.16%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	73.31%	19.93%	3.56%	1.07%	2.14%	0.00%
第1分野「地域と文明」	69.06%	26.62%	1.44%	2.16%	0.72%	0.00%
外国語科目	25.15%	48.61%	18.51%	4.28%	3.46%	0.00%
健康・スポーツ科目	87.95%	8.71%	1.71%	0.73%	0.90%	0.00%
情報処理科目	63.33%	28.96%	5.21%	0.83%	1.67%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	63.62%	29.42%	4.20%	1.74%	1.01%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	59.95%	33.42%	3.83%	0.77%	2.04%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	66.40%	26.45%	3.64%	1.75%	1.75%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	70.51%	24.91%	2.73%	0.81%	1.03%	0.00%
第5分野「数理と自然」	60.30%	31.73%	5.32%	1.33%	1.33%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	62.63%	28.29%	5.16%	1.78%	2.14%	0.00%
第1分野「地域と文明」	61.87%	33.81%	2.88%	1.44%	0.00%	0.00%
外国語科目	38.51%	49.23%	9.12%	1.41%	1.73%	0.00%
健康・スポーツ科目	86.16%	10.59%	1.63%	0.73%	0.90%	0.00%
情報処理科目	60.21%	32.71%	5.00%	0.63%	1.46%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	1.16%	3.04%	7.83%	25.80%	51.01%	11.16%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.55%	5.36%	7.91%	21.17%	52.04%	10.97%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.75%	4.05%	7.69%	27.53%	44.67%	14.30%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.48%	2.22%	6.50%	24.02%	55.43%	10.35%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.16%	3.32%	8.14%	28.07%	47.18%	12.13%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.67%	2.31%	4.80%	25.62%	52.14%	12.46%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.72%	2.88%	7.91%	23.74%	46.04%	18.71%	0.00%
外国語科目	1.30%	2.32%	5.62%	20.63%	55.52%	14.62%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.22%	1.71%	6.35%	22.72%	50.81%	17.18%	0.00%
情報処理科目	4.17%	3.75%	7.29%	28.33%	50.42%	6.04%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	1.74%	2.17%	6.38%	23.04%	51.88%	14.78%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.55%	5.10%	9.44%	16.84%	50.26%	15.82%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.21%	3.10%	7.83%	26.18%	45.75%	15.92%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.03%	2.22%	5.76%	20.40%	53.22%	17.37%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.00%	2.33%	4.65%	20.27%	51.83%	19.93%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.14%	1.60%	3.56%	21.00%	49.64%	22.06%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.72%	1.44%	6.47%	25.90%	44.60%	20.86%	0.00%
外国語科目	0.86%	2.12%	3.93%	17.33%	55.21%	20.55%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.06%	1.38%	5.62%	19.87%	51.22%	20.85%	0.00%
情報処理科目	3.54%	3.96%	7.50%	28.54%	47.29%	9.17%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかならない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	1.59%	2.61%	6.38%	24.49%	51.74%	13.19%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.28%	7.65%	7.65%	23.47%	48.72%	11.22%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.08%	4.05%	6.21%	26.32%	48.85%	13.50%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.11%	2.00%	3.25%	21.73%	58.02%	13.90%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.16%	8.14%	13.95%	27.08%	38.04%	11.63%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.67%	5.16%	10.68%	27.40%	43.95%	10.14%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.72%	1.44%	2.88%	19.42%	55.40%	20.14%	0.00%
外国語科目	0.63%	2.59%	4.87%	20.75%	57.05%	14.11%	0.00%
健康・スポーツ科目	3.58%	0.73%	1.95%	18.32%	52.12%	23.29%	0.00%
情報処理科目	2.92%	5.00%	12.08%	30.63%	43.13%	6.25%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わかならない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	1.30%	3.48%	6.52%	25.80%	43.91%	18.99%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.53%	6.12%	10.71%	25.51%	41.84%	14.29%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.08%	4.72%	7.02%	27.53%	41.03%	18.62%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.11%	1.63%	4.73%	20.03%	52.92%	19.59%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.16%	3.82%	10.30%	26.91%	43.02%	14.78%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.85%	4.80%	12.46%	24.91%	41.99%	12.99%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.72%	2.16%	5.76%	20.86%	48.20%	22.30%	0.00%
外国語科目	0.55%	3.73%	7.39%	27.54%	45.34%	15.44%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.79%	1.47%	3.58%	24.02%	45.60%	23.53%	0.00%
情報処理科目	2.71%	5.83%	13.33%	34.79%	35.83%	7.50%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わかならない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	5.07%	1.74%	5.94%	24.20%	47.83%	15.22%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.57%	4.85%	9.95%	25.51%	42.60%	13.52%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.16%	4.59%	4.99%	27.40%	46.29%	14.57%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.40%	1.40%	4.21%	23.28%	53.73%	15.96%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.16%	1.66%	5.65%	21.43%	50.17%	19.93%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	4.63%	2.14%	5.52%	24.56%	50.36%	12.81%	0.00%
第1分野「地域と文明」	10.07%	1.44%	2.16%	21.58%	47.48%	17.27%	0.00%
外国語科目	4.24%	3.30%	6.13%	28.57%	45.07%	12.69%	0.00%
健康・スポーツ科目	37.21%	0.90%	2.93%	24.19%	25.90%	8.88%	0.00%
情報処理科目	5.00%	4.17%	8.96%	24.79%	45.21%	11.88%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	7.97%	2.03%	5.36%	26.81%	44.49%	13.33%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	4.85%	3.83%	9.18%	24.74%	42.09%	15.31%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.43%	3.10%	5.67%	27.80%	47.64%	13.36%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	3.77%	0.89%	3.40%	25.13%	51.59%	15.23%	0.00%
第5分野「数理と自然」	8.31%	1.16%	4.98%	30.23%	42.19%	13.12%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	8.19%	3.56%	6.41%	28.47%	43.24%	10.14%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.47%	1.44%	2.88%	26.62%	44.60%	17.99%	0.00%
外国語科目	1.77%	2.87%	4.75%	26.01%	50.49%	14.11%	0.00%
健康・スポーツ科目	36.07%	0.73%	2.44%	25.90%	26.22%	8.63%	0.00%
情報処理科目	9.38%	4.38%	7.50%	32.29%	38.96%	7.50%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	17.68%	3.04%	5.51%	37.39%	29.13%	7.25%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	19.13%	3.06%	6.12%	35.71%	28.32%	7.65%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	17.68%	3.64%	5.13%	40.89%	25.51%	7.15%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	15.08%	0.96%	5.25%	40.35%	30.52%	7.83%	0.00%
第5分野「数理と自然」	13.79%	1.99%	4.98%	38.54%	31.40%	9.30%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	17.26%	2.49%	4.80%	35.59%	32.74%	7.12%	0.00%
第1分野「地域と文明」	10.07%	1.44%	2.88%	37.41%	36.69%	11.51%	0.00%
外国語科目	15.83%	2.32%	5.15%	40.35%	28.61%	7.74%	0.00%
健康・スポーツ科目	22.48%	1.47%	3.91%	41.94%	22.96%	7.25%	0.00%
情報処理科目	16.67%	2.71%	5.63%	42.29%	26.25%	6.46%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	19.86%	1.59%	2.90%	31.45%	35.51%	8.70%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	20.41%	2.30%	2.81%	29.34%	36.73%	8.42%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	20.11%	2.43%	1.48%	39.00%	29.01%	7.96%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	17.96%	0.67%	2.59%	34.74%	36.14%	7.91%	0.00%
第5分野「数理と自然」	15.95%	1.00%	1.66%	33.06%	36.88%	11.46%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	18.68%	1.07%	1.60%	31.32%	38.61%	8.72%	0.00%
第1分野「地域と文明」	9.35%	0.72%	1.44%	31.65%	38.85%	17.99%	0.00%
外国語科目	18.00%	1.85%	2.75%	34.22%	34.62%	8.57%	0.00%
健康・スポーツ科目	23.94%	0.57%	1.71%	38.52%	27.04%	8.22%	0.00%
情報処理科目	17.92%	1.67%	2.08%	36.88%	33.96%	7.50%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	2.90%	1.01%	3.62%	17.97%	58.84%	15.65%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.79%	3.32%	6.63%	17.09%	57.91%	13.27%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.89%	2.56%	2.29%	21.05%	57.76%	14.44%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.33%	0.89%	3.99%	16.19%	63.56%	14.04%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.66%	1.33%	4.49%	20.43%	51.99%	20.10%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	4.45%	1.07%	4.63%	19.22%	56.76%	13.88%	0.00%
第1分野「地域と文明」	2.88%	0.72%	2.16%	20.86%	53.24%	20.14%	0.00%
外国語科目	0.75%	2.48%	4.64%	14.85%	58.90%	18.39%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.71%	1.47%	3.58%	16.21%	53.75%	23.29%	0.00%
情報処理科目	2.92%	2.92%	6.04%	22.29%	56.25%	9.58%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	4.20%	0.29%	2.03%	84.49%	8.55%	0.43%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.81%	0.77%	3.06%	84.44%	7.91%	1.02%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.83%	0.94%	2.29%	85.70%	6.48%	1.75%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.07%	0.44%	1.92%	89.95%	4.80%	0.81%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.99%	0.33%	1.50%	86.71%	8.31%	1.16%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	4.45%	0.53%	2.14%	85.41%	6.23%	1.25%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.60%	0.72%	4.32%	91.37%	0.00%	0.00%	0.00%
外国語科目	1.41%	0.83%	2.63%	82.99%	10.26%	1.89%	0.00%
健康・スポーツ科目	3.01%	1.30%	2.93%	88.27%	3.58%	0.90%	0.00%
情報処理科目	4.17%	0.42%	2.71%	81.88%	9.17%	1.67%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	4.64%	0.43%	3.19%	83.77%	7.25%	0.72%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.32%	0.77%	2.30%	82.91%	8.67%	2.04%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	3.78%	0.81%	2.83%	84.89%	5.80%	1.89%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.29%	0.37%	2.37%	89.06%	4.73%	1.18%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.16%	0.33%	1.99%	84.55%	8.97%	1.99%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	4.80%	0.53%	1.96%	82.03%	8.54%	2.14%	0.00%
第1分野「地域と文明」	4.32%	0.72%	3.60%	91.37%	0.00%	0.00%	0.00%
外国語科目	1.57%	1.10%	3.50%	82.36%	9.23%	2.24%	0.00%
健康・スポーツ科目	6.03%	1.63%	3.91%	84.20%	3.26%	0.98%	0.00%
情報処理科目	3.54%	0.83%	3.75%	78.75%	10.42%	2.71%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	4.35%	2.03%	5.51%	25.65%	48.55%	13.91%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.04%	5.10%	7.14%	26.53%	46.43%	12.76%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	3.10%	2.97%	4.59%	26.32%	50.47%	12.55%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.77%	1.03%	3.33%	24.69%	54.62%	14.56%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.49%	1.66%	3.65%	24.42%	52.33%	15.45%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	5.16%	3.02%	3.02%	25.44%	52.67%	10.68%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.47%	2.16%	0.72%	24.46%	46.76%	19.42%	0.00%
外国語科目	1.26%	3.10%	4.79%	22.51%	51.91%	16.42%	0.00%
健康・スポーツ科目	7.98%	0.98%	2.20%	24.84%	49.51%	14.50%	0.00%
情報処理科目	3.13%	5.21%	8.33%	31.25%	43.75%	8.33%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
第1分野「文化と芸術」	14.93%	1.16%	3.33%	26.38%	40.43%	13.77%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	8.42%	3.57%	3.32%	26.28%	44.64%	13.78%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	8.64%	2.56%	2.83%	28.48%	45.07%	12.42%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	9.39%	0.74%	2.07%	27.12%	47.89%	12.79%	0.00%
第5分野「数理と自然」	6.81%	0.83%	2.33%	25.42%	43.85%	20.76%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	14.77%	1.25%	3.38%	24.91%	42.70%	12.99%	0.00%
第1分野「地域と文明」	16.55%	1.44%	0.72%	25.18%	35.25%	20.86%	0.00%
外国語科目	3.93%	2.36%	3.58%	17.84%	50.26%	22.04%	0.00%
健康・スポーツ科目	9.85%	0.90%	1.55%	24.02%	46.50%	17.18%	0.00%
情報処理科目	6.88%	3.13%	4.38%	22.92%	48.33%	14.38%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	2.32%	2.46%	4.93%	26.67%	46.67%	16.96%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	0.77%	5.10%	7.91%	31.38%	40.05%	14.80%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.16%	3.78%	6.34%	26.32%	44.67%	16.73%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.33%	1.33%	3.62%	22.69%	53.88%	17.15%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.16%	2.16%	3.65%	25.42%	46.51%	20.10%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.74%	3.02%	6.58%	27.76%	45.73%	13.17%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.72%	2.16%	0.72%	23.02%	48.20%	25.18%	0.00%
外国語科目	0.86%	3.69%	5.15%	24.32%	47.19%	18.78%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.73%	1.47%	2.77%	21.58%	47.64%	25.81%	0.00%
情報処理科目	2.92%	7.50%	10.00%	30.83%	41.25%	7.50%	0.00%

教育学研究科 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	10.89%	89.11%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	1.17%	0.00%	11.70%	87.13%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	29.70%	35.64%	13.86%	14.85%	5.94%	0.00%
教科教育専攻	23.98%	35.09%	17.54%	10.53%	12.28%	0.58%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	27.72%	56.44%	10.89%	3.96%	0.99%	0.00%
教科教育専攻	25.73%	46.20%	15.20%	2.92%	9.94%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.96%	77.23%	18.81%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.58%	7.60%	52.63%	39.18%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	8.91%	68.32%	21.78%	0.99%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	2.92%	14.04%	50.88%	32.16%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.99%	65.35%	33.66%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.58%	4.68%	62.57%	32.16%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.98%	54.46%	43.56%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	4.09%	55.56%	39.77%	0.58%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	3.96%	0.00%	0.99%	14.85%	54.46%	25.74%	0.00%
教科教育専攻	14.62%	0.00%	2.92%	10.53%	42.69%	26.90%	2.34%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	2.97%	8.91%	55.45%	32.67%	0.00%
教科教育専攻	5.85%	0.00%	3.51%	11.70%	47.95%	29.82%	1.17%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	17.82%	0.00%	1.98%	20.79%	44.55%	13.86%	0.99%
教科教育専攻	16.96%	0.00%	1.17%	15.20%	38.60%	28.07%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	20.79%	0.00%	0.99%	13.86%	47.52%	15.84%	0.99%
教科教育専攻	17.54%	0.00%	0.00%	15.79%	38.01%	28.65%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	56.44%	43.56%	0.00%
教科教育専攻	1.75%	0.00%	0.58%	5.26%	51.46%	40.94%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	98.02%	1.98%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	1.75%	0.00%	0.58%	91.23%	4.09%	1.75%	0.58%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.99%	96.04%	1.98%	0.99%	0.00%
教科教育専攻	4.09%	0.58%	0.58%	88.89%	3.51%	1.75%	0.58%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.99%	65.35%	33.66%	0.00%
教科教育専攻	0.58%	0.58%	0.58%	7.60%	56.14%	33.33%	1.17%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.98%	52.48%	44.55%	0.99%
教科教育専攻	0.58%	0.00%	0.58%	1.75%	52.63%	42.69%	1.75%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.99%	0.00%	49.50%	43.56%	5.94%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	1.17%	2.34%	49.71%	42.11%	4.68%

教育学研究科 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育専攻	3.03%	0.00%	3.03%	3.03%	90.91%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.79%	2.38%	7.94%	88.89%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	27.27%	33.33%	15.15%	15.15%	9.09%	0.00%
教科教育専攻	20.63%	24.60%	16.67%	9.52%	28.57%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	21.21%	51.52%	12.12%	6.06%	9.09%	0.00%
教科教育専攻	19.84%	31.75%	15.87%	9.52%	23.02%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	3.03%	3.03%	51.52%	42.42%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.79%	2.38%	38.89%	57.94%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.03%	48.48%	48.48%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	1.59%	5.56%	45.24%	47.62%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	63.64%	36.36%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.59%	41.27%	57.14%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	45.45%	54.55%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.79%	30.95%	68.25%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	3.03%	0.00%	3.03%	15.15%	54.55%	24.24%	0.00%
教科教育専攻	14.29%	0.00%	0.00%	13.49%	30.95%	41.27%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	6.06%	0.00%	3.03%	9.09%	60.61%	21.21%	0.00%
教科教育専攻	8.73%	0.00%	0.00%	4.76%	37.30%	49.21%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	18.18%	0.00%	0.00%	3.03%	51.52%	27.27%	0.00%
教科教育専攻	19.84%	0.00%	0.00%	2.38%	32.54%	45.24%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	15.15%	0.00%	0.00%	3.03%	57.58%	24.24%	0.00%
教科教育専攻	19.05%	0.00%	0.00%	2.38%	30.95%	47.62%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	6.06%	54.55%	39.39%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.59%	35.71%	62.70%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	96.97%	3.03%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	99.21%	0.79%	0.00%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	3.03%	93.94%	3.03%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	1.59%	97.62%	0.79%	0.00%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.03%	54.55%	42.42%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.79%	1.59%	34.92%	62.70%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	6.06%	48.48%	45.45%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.59%	33.33%	65.08%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	3.03%	0.00%	54.55%	42.42%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.59%	30.16%	68.25%	0.00%

経済学研究科 前・後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
金融・経済政策専攻	14.29%	0.00%	0.00%	42.86%	42.86%	0.00%
企業経営専攻	3.23%	29.03%	22.58%	32.26%	12.90%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	28.57%	0.00%	42.86%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	6.45%	35.48%	35.48%	19.35%	3.23%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	28.57%	71.43%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	3.23%	0.00%	6.45%	32.26%	58.06%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	0.00%	85.71%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	3.23%	6.45%	45.16%	45.16%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	0.00%	85.71%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	41.94%	58.06%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	85.71%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	6.45%	29.03%	64.52%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	14.29%	0.00%	0.00%	14.29%	0.00%	71.43%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	6.45%	32.26%	61.29%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	14.29%	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	71.43%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	25.81%	70.97%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	14.29%	0.00%	0.00%	14.29%	0.00%	71.43%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	19.35%	22.58%	58.06%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	28.57%	71.43%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.13%	35.48%	48.39%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	16.13%	80.65%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	71.43%	0.00%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	96.77%	0.00%	3.23%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	71.43%	0.00%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	3.23%	90.32%	3.23%	3.23%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	85.71%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	25.81%	70.97%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	22.58%	77.42%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	85.71%	0.00%
企業経営専攻	0.00%	0.00%	0.00%	6.45%	16.13%	77.42%	0.00%

工学系研究科 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	6.67%	93.33%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	0.00%	20.34%	77.97%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.61%	1.82%	1.82%	95.76%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	2.56%	97.44%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.57%	98.43%	0.00%
電気電子工学専攻	0.82%	0.41%	2.45%	2.86%	93.47%	0.00%
都市工学専攻	0.60%	0.00%	0.00%	7.78%	91.62%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	1.08%	1.81%	96.75%	0.36%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学専攻	40.00%	31.67%	18.33%	6.67%	3.33%	0.00%
物理科学専攻	55.93%	33.90%	5.08%	1.69%	3.39%	0.00%
知能情報システム学専攻	29.70%	31.52%	13.94%	5.45%	18.79%	0.61%
循環物質化学専攻	23.08%	46.15%	17.95%	7.69%	5.13%	0.00%
機械システム工学専攻	47.65%	31.66%	12.23%	4.39%	4.08%	0.00%
電気電子工学専攻	39.18%	36.33%	12.65%	1.22%	10.61%	0.00%
都市工学専攻	35.93%	34.13%	11.98%	4.79%	12.57%	0.60%
先端融合工学専攻	42.60%	35.74%	10.83%	4.69%	5.78%	0.36%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学専攻	23.33%	35.00%	35.00%	1.67%	5.00%	0.00%
物理科学専攻	30.51%	54.24%	10.17%	3.39%	1.69%	0.00%
知能情報システム学専攻	8.48%	38.18%	23.64%	13.94%	14.55%	1.21%
循環物質化学専攻	15.38%	58.97%	12.82%	7.69%	5.13%	0.00%
機械システム工学専攻	40.44%	38.56%	12.85%	3.13%	5.02%	0.00%
電気電子工学専攻	48.16%	25.31%	15.10%	2.86%	8.57%	0.00%
都市工学専攻	34.13%	38.32%	15.57%	2.40%	8.98%	0.60%
先端融合工学専攻	36.10%	45.13%	11.55%	3.61%	3.25%	0.36%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学専攻	1.67%	1.67%	1.67%	23.33%	60.00%	10.00%	1.67%
物理科学専攻	1.69%	1.69%	0.00%	20.34%	61.02%	15.25%	0.00%
知能情報システム学専攻	1.21%	1.21%	4.24%	17.58%	55.76%	18.79%	1.21%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	23.08%	56.41%	20.51%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	5.64%	5.64%	25.39%	52.35%	10.66%	0.31%
電気電子工学専攻	1.63%	2.04%	3.67%	24.90%	52.24%	15.10%	0.41%
都市工学専攻	0.00%	1.20%	1.20%	11.38%	53.29%	31.74%	1.20%
先端融合工学専攻	0.00%	0.36%	2.17%	26.35%	57.40%	10.11%	3.61%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学専攻	1.67%	1.67%	3.33%	20.00%	53.33%	18.33%	1.67%
物理科学専攻	1.69%	1.69%	6.78%	11.86%	52.54%	25.42%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.61%	1.82%	3.03%	16.97%	53.33%	23.03%	1.21%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	23.08%	53.85%	23.08%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	4.39%	5.96%	26.02%	45.45%	17.87%	0.31%
電気電子工学専攻	1.63%	2.04%	2.86%	20.82%	51.43%	20.41%	0.82%
都市工学専攻	0.00%	1.80%	1.20%	6.59%	59.28%	29.94%	1.20%
先端融合工学専攻	0.36%	0.00%	2.17%	22.74%	61.01%	10.11%	3.61%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	5.00%	3.33%	50.00%	41.67%	0.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	5.08%	10.17%	76.27%	5.08%	1.69%
知能情報システム学専攻	1.82%	0.61%	4.85%	18.79%	61.82%	11.52%	0.61%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	5.13%	15.38%	56.41%	23.08%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	5.02%	10.34%	34.80%	46.08%	3.76%	0.00%
電気電子工学専攻	5.71%	2.04%	10.20%	31.02%	44.08%	6.94%	0.00%
都市工学専攻	0.60%	0.00%	1.20%	11.38%	72.46%	14.37%	0.00%
先端融合工学専攻	1.08%	0.72%	5.78%	21.66%	62.45%	4.33%	3.97%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	1.67%	6.67%	38.33%	50.00%	3.33%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	1.69%	11.86%	64.41%	20.34%	0.00%
知能情報システム学専攻	1.21%	4.24%	5.45%	20.00%	53.33%	15.76%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	5.13%	28.21%	48.72%	17.95%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	3.13%	14.42%	33.86%	42.32%	5.33%	0.94%
電気電子工学専攻	5.71%	0.41%	8.98%	32.65%	42.04%	9.80%	0.41%
都市工学専攻	0.60%	0.00%	3.59%	16.17%	53.29%	26.35%	0.00%
先端融合工学専攻	1.08%	1.81%	3.61%	21.30%	54.87%	13.36%	3.97%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	1.67%	3.33%	26.67%	56.67%	11.67%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	5.08%	10.17%	55.93%	25.42%	1.69%
知能情報システム学専攻	6.67%	0.61%	3.03%	25.45%	52.73%	11.52%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	2.56%	23.08%	58.97%	12.82%	2.56%
機械システム工学専攻	0.94%	3.76%	10.97%	43.26%	36.99%	3.76%	0.31%
電気電子工学専攻	12.65%	2.04%	4.49%	35.92%	36.33%	8.16%	0.41%
都市工学専攻	7.19%	0.00%	2.99%	17.96%	45.51%	26.35%	0.00%
先端融合工学専攻	3.25%	1.44%	3.25%	20.94%	57.76%	9.75%	3.61%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	23.33%	0.00%	1.67%	40.00%	30.00%	3.33%	1.67%
物理科学専攻	6.78%	1.69%	0.00%	23.73%	54.24%	10.17%	3.39%
知能情報システム学専攻	9.70%	1.21%	4.85%	32.12%	44.85%	7.27%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	25.64%	53.85%	20.51%	0.00%
機械システム工学専攻	0.94%	2.51%	11.91%	47.02%	34.17%	3.45%	0.00%
電気電子工学専攻	15.92%	1.63%	12.65%	34.29%	29.39%	5.71%	0.41%
都市工学専攻	6.59%	0.60%	2.99%	22.16%	45.51%	22.16%	0.00%
先端融合工学専攻	5.05%	2.17%	4.69%	26.71%	51.99%	5.05%	4.33%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	26.67%	0.00%	6.67%	50.00%	16.67%	0.00%	0.00%
物理科学専攻	25.42%	6.78%	3.39%	18.64%	38.98%	6.78%	0.00%
知能情報システム学専攻	17.58%	0.61%	1.21%	38.18%	34.55%	7.88%	0.00%
循環物質化学専攻	5.13%	0.00%	5.13%	23.08%	56.41%	10.26%	0.00%
機械システム工学専攻	5.33%	9.72%	11.29%	41.69%	28.21%	3.76%	0.00%
電気電子工学専攻	19.59%	2.45%	6.53%	35.51%	28.57%	7.35%	0.00%
都市工学専攻	15.57%	1.20%	2.99%	24.55%	37.72%	17.37%	0.60%
先端融合工学専攻	13.36%	1.81%	4.33%	32.13%	42.24%	2.17%	3.97%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	28.33%	0.00%	3.33%	33.33%	33.33%	1.67%	0.00%
物理科学専攻	28.81%	1.69%	0.00%	20.34%	42.37%	6.78%	0.00%
知能情報システム学専攻	15.76%	0.00%	0.61%	18.79%	46.06%	18.79%	0.00%
循環物質化学専攻	2.56%	0.00%	0.00%	23.08%	64.10%	10.26%	0.00%
機械システム工学専攻	11.29%	1.57%	4.70%	37.62%	39.18%	5.64%	0.00%
電気電子工学専攻	22.04%	1.22%	3.27%	30.20%	32.65%	10.61%	0.00%
都市工学専攻	17.37%	0.60%	1.20%	17.96%	44.31%	17.37%	1.20%
先端融合工学専攻	14.08%	0.72%	1.44%	25.63%	48.38%	6.14%	3.61%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	1.67%	0.00%	1.67%	16.67%	53.33%	26.67%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	0.00%	5.08%	61.02%	32.20%	0.00%
知能情報システム学専攻	7.88%	0.61%	1.82%	16.36%	57.58%	15.76%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	12.82%	66.67%	20.51%	0.00%
機械システム工学専攻	0.31%	2.51%	5.96%	29.15%	51.41%	10.34%	0.31%
電気電子工学専攻	8.98%	1.22%	1.63%	21.22%	54.29%	12.24%	0.41%
都市工学専攻	1.80%	0.60%	1.20%	9.58%	52.69%	32.93%	1.20%
先端融合工学専攻	1.44%	0.72%	2.17%	7.22%	68.23%	16.61%	3.61%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	1.67%	0.00%	0.00%	85.00%	13.33%	0.00%	0.00%
物理科学専攻	3.39%	0.00%	0.00%	79.66%	15.25%	1.69%	0.00%
知能情報システム学専攻	4.24%	0.00%	0.61%	86.06%	7.27%	0.00%	1.82%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	82.05%	12.82%	2.56%	2.56%
機械システム工学専攻	2.19%	0.00%	1.57%	82.76%	11.60%	1.57%	0.31%
電気電子工学専攻	11.43%	0.41%	0.00%	80.82%	6.12%	0.41%	0.82%
都市工学専攻	2.40%	0.00%	0.00%	87.43%	7.78%	0.60%	1.80%
先端融合工学専攻	2.89%	0.36%	0.72%	82.31%	6.86%	2.17%	4.69%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	1.67%	0.00%	1.67%	85.00%	11.67%	0.00%	0.00%
物理科学専攻	1.69%	1.69%	5.08%	76.27%	15.25%	0.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	3.64%	0.00%	1.21%	85.45%	6.67%	1.21%	1.82%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	76.92%	17.95%	2.56%	2.56%
機械システム工学専攻	2.51%	0.00%	0.94%	76.80%	15.05%	4.39%	0.31%
電気電子工学専攻	12.24%	0.00%	0.41%	77.14%	7.35%	2.04%	0.82%
都市工学専攻	2.99%	0.00%	1.80%	83.83%	8.38%	0.60%	2.40%
先端融合工学専攻	2.89%	0.36%	0.00%	82.67%	7.22%	1.44%	5.42%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	5.00%	23.33%	61.67%	10.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	0.00%	13.56%	66.10%	18.64%	0.00%
知能情報システム学専攻	7.27%	0.00%	4.24%	24.24%	51.52%	12.73%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	12.82%	69.23%	15.38%	2.56%
機械システム工学専攻	0.63%	3.13%	10.66%	37.30%	43.57%	4.08%	0.63%
電気電子工学専攻	10.61%	1.22%	6.12%	33.47%	42.04%	6.53%	0.00%
都市工学専攻	1.20%	0.00%	1.80%	15.57%	56.89%	24.55%	0.00%
先端融合工学専攻	1.08%	2.53%	3.25%	19.49%	61.01%	7.94%	4.69%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	10.00%	0.00%	0.00%	28.33%	55.00%	6.67%	0.00%
物理科学専攻	3.39%	0.00%	0.00%	15.25%	52.54%	27.12%	1.69%
知能情報システム学専攻	7.27%	0.00%	3.03%	16.97%	51.52%	21.21%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	10.26%	66.67%	20.51%	2.56%
機械システム工学専攻	3.76%	2.19%	5.02%	35.11%	46.71%	6.90%	0.31%
電気電子工学専攻	8.98%	0.41%	4.08%	24.49%	51.43%	10.61%	0.00%
都市工学専攻	4.19%	0.00%	0.60%	10.78%	54.49%	29.94%	0.00%
先端融合工学専攻	3.25%	2.17%	0.36%	15.16%	63.90%	10.11%	5.05%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	3.33%	26.67%	51.67%	10.00%	8.33%
物理科学専攻	0.00%	1.69%	0.00%	8.47%	52.54%	25.42%	11.86%
知能情報システム学専攻	1.82%	4.24%	8.48%	15.15%	50.91%	16.36%	3.03%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	23.08%	46.15%	23.08%	7.69%
機械システム工学専攻	0.63%	4.39%	9.40%	33.54%	43.26%	4.70%	4.08%
電気電子工学専攻	3.67%	1.22%	6.53%	29.80%	42.86%	10.20%	5.71%
都市工学専攻	1.20%	0.00%	0.60%	8.38%	53.89%	22.75%	13.17%
先端融合工学専攻	0.72%	2.17%	3.25%	18.41%	57.76%	10.83%	6.86%

工学系研究科 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	9.09%	15.15%	75.76%	0.00%
物理科学専攻	4.17%	0.00%	4.17%	8.33%	83.33%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	1.18%	2.35%	96.47%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	3.64%	1.82%	94.55%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	4.65%	95.35%	0.00%
電気電子工学専攻	0.72%	0.00%	0.00%	5.80%	93.48%	0.00%
都市工学専攻	1.12%	0.00%	0.00%	7.87%	91.01%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.69%	92.31%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学専攻	18.18%	24.24%	18.18%	3.03%	36.36%	0.00%
物理科学専攻	29.17%	45.83%	16.67%	0.00%	8.33%	0.00%
知能情報システム学専攻	34.12%	35.29%	12.94%	2.35%	15.29%	0.00%
循環物質化学専攻	23.64%	41.82%	16.36%	9.09%	9.09%	0.00%
機械システム工学専攻	30.23%	30.23%	25.58%	6.98%	6.98%	0.00%
電気電子工学専攻	49.28%	30.43%	10.14%	2.90%	7.25%	0.00%
都市工学専攻	22.47%	25.84%	15.73%	8.99%	26.97%	0.00%
先端融合工学専攻	16.92%	35.38%	21.54%	7.69%	18.46%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学専攻	9.09%	27.27%	27.27%	0.00%	36.36%	0.00%
物理科学専攻	41.67%	45.83%	4.17%	4.17%	4.17%	0.00%
知能情報システム学専攻	12.94%	38.82%	27.06%	8.24%	12.94%	0.00%
循環物質化学専攻	21.82%	41.82%	18.18%	7.27%	10.91%	0.00%
機械システム工学専攻	34.88%	37.21%	11.63%	9.30%	6.98%	0.00%
電気電子工学専攻	29.71%	37.68%	23.19%	2.90%	6.52%	0.00%
都市工学専攻	25.84%	30.34%	17.98%	6.74%	19.10%	0.00%
先端融合工学専攻	10.77%	46.15%	20.00%	9.23%	13.85%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	6.06%	18.18%	42.42%	33.33%	0.00%
物理科学専攻	4.17%	0.00%	8.33%	4.17%	66.67%	16.67%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	18.82%	62.35%	18.82%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	7.27%	12.73%	41.82%	38.18%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	6.98%	2.33%	23.26%	55.81%	11.63%	0.00%
電気電子工学専攻	2.17%	0.00%	2.90%	14.49%	52.17%	28.26%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	1.12%	6.74%	42.70%	49.44%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	3.08%	0.00%	16.92%	56.92%	23.08%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	6.06%	15.15%	39.39%	39.39%	0.00%
物理科学専攻	4.17%	4.17%	12.50%	8.33%	62.50%	8.33%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	12.94%	63.53%	23.53%	0.00%
循環物質化学専攻	1.82%	1.82%	1.82%	5.45%	47.27%	41.82%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	2.33%	13.95%	46.51%	37.21%	0.00%
電気電子工学専攻	2.90%	0.72%	2.17%	11.59%	50.72%	31.88%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	4.49%	5.62%	39.33%	50.56%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	1.54%	1.54%	15.38%	61.54%	20.00%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	0.00%	3.03%	9.09%	18.18%	42.42%	27.27%	0.00%
物理学専攻	0.00%	0.00%	16.67%	20.83%	58.33%	4.17%	0.00%
知能情報システム学専攻	2.35%	0.00%	1.18%	11.76%	62.35%	22.35%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	3.64%	10.91%	65.45%	20.00%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	11.63%	30.23%	51.16%	6.98%	0.00%
電気電子工学専攻	7.97%	0.72%	2.90%	18.84%	55.07%	14.49%	0.00%
都市工学専攻	2.25%	0.00%	1.12%	5.62%	51.69%	39.33%	0.00%
先端融合工学専攻	3.08%	0.00%	7.69%	13.85%	61.54%	13.85%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	0.00%	3.03%	9.09%	21.21%	33.33%	33.33%	0.00%
物理学専攻	0.00%	0.00%	12.50%	8.33%	58.33%	20.83%	0.00%
知能情報システム学専攻	1.18%	0.00%	1.18%	14.12%	62.35%	21.18%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	1.82%	9.09%	65.45%	23.64%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	11.63%	37.21%	46.51%	4.65%	0.00%
電気電子工学専攻	7.97%	2.17%	2.17%	17.39%	52.17%	18.12%	0.00%
都市工学専攻	3.37%	0.00%	0.00%	7.87%	49.44%	39.33%	0.00%
先端融合工学専攻	3.08%	0.00%	4.62%	13.85%	50.77%	27.69%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	3.03%	3.03%	9.09%	12.12%	39.39%	33.33%	0.00%
物理学専攻	12.50%	0.00%	8.33%	16.67%	41.67%	20.83%	0.00%
知能情報システム学専攻	4.71%	0.00%	0.00%	15.29%	62.35%	17.65%	0.00%
循環物質化学専攻	1.82%	1.82%	1.82%	12.73%	56.36%	25.45%	0.00%
機械システム工学専攻	2.33%	0.00%	2.33%	37.21%	48.84%	9.30%	0.00%
電気電子工学専攻	13.77%	0.00%	0.00%	18.12%	47.83%	20.29%	0.00%
都市工学専攻	8.99%	0.00%	1.12%	7.87%	43.82%	38.20%	0.00%
先端融合工学専攻	7.69%	0.00%	3.08%	18.46%	47.69%	23.08%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	12.12%	3.03%	6.06%	27.27%	24.24%	27.27%	0.00%
物理学専攻	16.67%	0.00%	8.33%	20.83%	45.83%	8.33%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.88%	0.00%	1.18%	15.29%	58.82%	18.82%	0.00%
循環物質化学専攻	7.27%	0.00%	5.45%	16.36%	45.45%	25.45%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	9.30%	37.21%	37.21%	16.28%	0.00%
電気電子工学専攻	15.22%	0.00%	1.45%	18.84%	46.38%	18.12%	0.00%
都市工学専攻	10.11%	0.00%	1.12%	15.73%	35.96%	37.08%	0.00%
先端融合工学専攻	6.15%	0.00%	6.15%	16.92%	50.77%	20.00%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	6.06%	6.06%	6.06%	39.39%	12.12%	30.30%	0.00%
物理科学専攻	41.67%	4.17%	4.17%	16.67%	29.17%	4.17%	0.00%
知能情報システム学専攻	8.24%	0.00%	1.18%	27.06%	47.06%	16.47%	0.00%
循環物質化学専攻	10.91%	1.82%	1.82%	21.82%	41.82%	21.82%	0.00%
機械システム工学専攻	9.30%	6.98%	6.98%	41.86%	25.58%	9.30%	0.00%
電気電子工学専攻	16.67%	0.72%	5.07%	26.09%	32.61%	18.84%	0.00%
都市工学専攻	16.85%	0.00%	4.49%	13.48%	31.46%	33.71%	0.00%
先端融合工学専攻	16.92%	0.00%	4.62%	29.23%	38.46%	10.77%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	9.09%	0.00%	3.03%	36.36%	21.21%	30.30%	0.00%
物理科学専攻	37.50%	0.00%	0.00%	16.67%	41.67%	4.17%	0.00%
知能情報システム学専攻	9.41%	0.00%	0.00%	11.76%	55.29%	23.53%	0.00%
循環物質化学専攻	10.91%	0.00%	1.82%	16.36%	40.00%	30.91%	0.00%
機械システム工学専攻	18.60%	0.00%	0.00%	27.91%	41.86%	11.63%	0.00%
電気電子工学専攻	16.67%	0.00%	4.35%	21.01%	33.33%	24.64%	0.00%
都市工学専攻	15.73%	0.00%	1.12%	12.36%	37.08%	33.71%	0.00%
先端融合工学専攻	18.46%	1.54%	3.08%	15.38%	47.69%	13.85%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	3.03%	15.15%	45.45%	36.36%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	4.17%	4.17%	62.50%	29.17%	0.00%
知能情報システム学専攻	3.53%	0.00%	2.35%	4.71%	69.41%	20.00%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	9.09%	58.18%	32.73%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	2.33%	13.95%	62.79%	20.93%	0.00%
電気電子工学専攻	13.04%	0.00%	1.45%	15.94%	50.72%	18.84%	0.00%
都市工学専攻	7.87%	0.00%	0.00%	3.37%	51.69%	37.08%	0.00%
先端融合工学専攻	6.15%	0.00%	0.00%	7.69%	53.85%	32.31%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	63.64%	12.12%	24.24%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	83.33%	16.67%	0.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	4.71%	0.00%	1.18%	88.24%	5.88%	0.00%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	96.36%	1.82%	1.82%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	86.05%	11.63%	2.33%	0.00%
電気電子工学専攻	17.39%	0.00%	0.72%	78.99%	2.90%	0.00%	0.00%
都市工学専攻	12.36%	0.00%	1.12%	84.27%	1.12%	1.12%	0.00%
先端融合工学専攻	9.23%	0.00%	1.54%	80.00%	7.69%	1.54%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	3.03%	0.00%	3.03%	63.64%	6.06%	24.24%	0.00%
物理科学専攻	4.17%	4.17%	0.00%	79.17%	8.33%	4.17%	0.00%
知能情報システム学専攻	4.71%	0.00%	7.06%	81.18%	7.06%	0.00%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	96.36%	1.82%	1.82%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	2.33%	88.37%	6.98%	2.33%	0.00%
電気電子工学専攻	13.77%	0.72%	0.72%	80.43%	3.62%	0.72%	0.00%
都市工学専攻	12.36%	0.00%	1.12%	76.40%	10.11%	0.00%	0.00%
先端融合工学専攻	9.23%	0.00%	0.00%	84.62%	3.08%	3.08%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	3.03%	0.00%	3.03%	21.21%	36.36%	36.36%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	12.50%	12.50%	54.17%	20.83%	0.00%
知能情報システム学専攻	3.53%	0.00%	2.35%	3.53%	68.24%	22.35%	0.00%
循環物質化学専攻	3.64%	0.00%	0.00%	12.73%	58.18%	25.45%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	2.33%	20.93%	69.77%	6.98%	0.00%
電気電子工学専攻	16.67%	0.72%	3.62%	18.84%	46.38%	13.77%	0.00%
都市工学専攻	5.62%	0.00%	0.00%	4.49%	51.69%	38.20%	0.00%
先端融合工学専攻	6.15%	0.00%	1.54%	12.31%	58.46%	21.54%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	3.03%	0.00%	24.24%	33.33%	39.39%	0.00%
物理科学専攻	4.17%	0.00%	0.00%	4.17%	54.17%	37.50%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.88%	0.00%	2.35%	4.71%	63.53%	23.53%	0.00%
循環物質化学専攻	3.64%	0.00%	0.00%	16.36%	56.36%	23.64%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	2.33%	13.95%	65.12%	18.60%	0.00%
電気電子工学専攻	18.84%	0.00%	1.45%	18.12%	45.65%	15.94%	0.00%
都市工学専攻	5.62%	0.00%	0.00%	2.25%	46.07%	46.07%	0.00%
先端融合工学専攻	1.54%	0.00%	0.00%	6.15%	61.54%	30.77%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	3.03%	6.06%	21.21%	33.33%	36.36%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	8.33%	70.83%	20.83%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	1.18%	3.53%	67.06%	28.24%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	5.45%	10.91%	58.18%	25.45%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	2.33%	30.23%	53.49%	13.95%	0.00%
電気電子工学専攻	3.62%	2.17%	4.35%	14.49%	60.87%	14.49%	0.00%
都市工学専攻	1.12%	0.00%	0.00%	3.37%	52.81%	42.70%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	3.08%	16.92%	47.69%	32.31%	0.00%

農学研究科 前学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
応用生物科学	0.00%	0.00%	0.91%	6.36%	92.73%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	1.47%	2.94%	95.59%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	96.77%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	2.78%	97.22%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学	50.00%	38.18%	4.55%	1.82%	4.55%	0.91%
生物環境保全学	73.53%	17.65%	4.41%	2.94%	1.47%	0.00%
資源循環生産学	51.52%	24.24%	12.12%	12.12%	0.00%	0.00%
地域社会開発学	25.81%	32.26%	29.03%	6.45%	6.45%	0.00%
生命機能科学	62.50%	23.61%	9.72%	0.00%	4.17%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学	23.64%	62.73%	8.18%	0.00%	5.45%	0.00%
生物環境保全学	58.82%	30.88%	5.88%	2.94%	1.47%	0.00%
資源循環生産学	42.42%	36.36%	12.12%	6.06%	3.03%	0.00%
地域社会開発学	22.58%	38.71%	25.81%	3.23%	3.23%	6.45%
生命機能科学	61.11%	31.94%	2.78%	1.39%	2.78%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学	0.00%	1.82%	4.55%	12.73%	60.00%	20.91%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	1.47%	8.82%	72.06%	17.65%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	6.06%	57.58%	36.36%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	3.23%	25.81%	61.29%	9.68%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	1.39%	6.94%	69.44%	22.22%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学	0.00%	0.00%	1.82%	7.27%	65.45%	24.55%	0.91%
生物環境保全学	1.47%	0.00%	5.88%	5.88%	57.35%	29.41%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	6.06%	9.09%	48.48%	33.33%	3.03%
地域社会開発学	0.00%	3.23%	3.23%	29.03%	54.84%	9.68%	0.00%
生命機能科学	4.17%	0.00%	2.78%	9.72%	61.11%	22.22%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学	0.91%	0.00%	0.91%	16.36%	62.73%	19.09%	0.00%
生物環境保全学	1.47%	0.00%	0.00%	19.12%	66.18%	13.24%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	9.09%	66.67%	21.21%	3.03%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	16.13%	64.52%	19.35%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	4.17%	70.83%	25.00%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	0.00%	0.00%	0.91%	16.36%	56.36%	26.36%	0.00%
生物環境保全学	1.47%	0.00%	0.00%	22.06%	58.82%	17.65%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	6.06%	51.52%	42.42%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	9.68%	58.06%	32.26%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	68.06%	31.94%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	1.82%	0.00%	0.00%	10.91%	60.91%	26.36%	0.00%
生物環境保全学	2.94%	0.00%	5.88%	19.12%	54.41%	17.65%	0.00%
資源循環生産学	3.03%	0.00%	3.03%	3.03%	42.42%	48.48%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	12.90%	58.06%	29.03%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	4.17%	65.28%	30.56%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	0.91%	0.91%	1.82%	9.09%	64.55%	22.73%	0.00%
生物環境保全学	11.76%	0.00%	0.00%	14.71%	55.88%	17.65%	0.00%
資源循環生産学	6.06%	0.00%	3.03%	6.06%	51.52%	33.33%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	3.23%	25.81%	48.39%	22.58%	0.00%
生命機能科学	4.17%	0.00%	0.00%	1.39%	65.28%	29.17%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	12.73%	1.82%	5.45%	22.73%	44.55%	12.73%	0.00%
生物環境保全学	35.29%	0.00%	2.94%	19.12%	30.88%	11.76%	0.00%
資源循環生産学	9.09%	0.00%	6.06%	6.06%	60.61%	18.18%	0.00%
地域社会開発学	9.68%	0.00%	3.23%	35.48%	35.48%	16.13%	0.00%
生命機能科学	30.56%	1.39%	0.00%	11.11%	37.50%	19.44%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	12.73%	0.91%	0.00%	21.82%	50.91%	13.64%	0.00%
生物環境保全学	32.35%	0.00%	0.00%	16.18%	38.24%	13.24%	0.00%
資源循環生産学	9.09%	0.00%	6.06%	9.09%	54.55%	21.21%	0.00%
地域社会開発学	3.23%	0.00%	6.45%	32.26%	45.16%	12.90%	0.00%
生命機能科学	31.94%	0.00%	0.00%	6.94%	40.28%	20.83%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	0.00%	0.00%	0.00%	8.18%	62.73%	29.09%	0.00%
生物環境保全学	1.47%	0.00%	4.41%	10.29%	57.35%	23.53%	2.94%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	6.06%	42.42%	51.52%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	9.68%	58.06%	32.26%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	2.78%	55.56%	41.67%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学	0.00%	0.00%	0.00%	93.64%	5.45%	0.91%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	0.00%	86.76%	7.35%	2.94%	2.94%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	87.88%	3.03%	6.06%	3.03%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	90.32%	6.45%	3.23%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	1.39%	94.44%	2.78%	0.00%	1.39%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学	0.91%	0.00%	0.00%	91.82%	6.36%	0.91%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	0.00%	83.82%	10.29%	2.94%	2.94%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	81.82%	12.12%	3.03%	3.03%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	87.10%	9.68%	3.23%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	1.39%	98.61%	0.00%	0.00%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学	0.91%	0.00%	0.00%	9.09%	68.18%	21.82%	0.00%
生物環境保全学	1.47%	0.00%	1.47%	14.71%	66.18%	14.71%	1.47%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	54.55%	45.45%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	6.45%	67.74%	25.81%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	65.28%	34.72%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学	8.18%	0.00%	0.00%	11.82%	58.18%	20.91%	0.91%
生物環境保全学	8.82%	0.00%	0.00%	17.65%	54.41%	17.65%	1.47%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	3.03%	42.42%	54.55%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	12.90%	64.52%	22.58%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	2.78%	61.11%	36.11%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学	0.00%	0.91%	0.00%	14.55%	58.18%	25.45%	0.91%
生物環境保全学	2.94%	0.00%	0.00%	13.24%	54.41%	16.18%	13.24%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	3.03%	6.06%	39.39%	45.45%	6.06%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	9.68%	67.74%	22.58%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	4.17%	55.56%	40.28%	0.00%

農学研究科 後学期

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
応用生物科学	0.00%	0.00%	0.00%	5.66%	94.34%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	6.25%	6.25%	87.50%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	6.45%	93.55%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学	26.42%	60.38%	7.55%	0.00%	5.66%	0.00%
生物環境保全学	56.25%	25.00%	6.25%	0.00%	12.50%	0.00%
資源循環生産学	48.39%	38.71%	0.00%	0.00%	12.90%	0.00%
地域社会開発学	60.00%	20.00%	0.00%	0.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	22.22%	33.33%	11.11%	0.00%	33.33%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学	20.75%	64.15%	7.55%	1.89%	5.66%	0.00%
生物環境保全学	50.00%	31.25%	6.25%	0.00%	12.50%	0.00%
資源循環生産学	25.81%	48.39%	12.90%	0.00%	12.90%	0.00%
地域社会開発学	60.00%	0.00%	20.00%	0.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	22.22%	22.22%	22.22%	0.00%	33.33%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	3.77%	50.94%	43.40%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	12.50%	6.25%	18.75%	62.50%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	19.35%	77.42%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	40.00%	20.00%	40.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	22.22%	66.67%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	3.77%	43.40%	50.94%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	12.50%	18.75%	6.25%	62.50%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	25.81%	74.19%	0.00%
地域社会開発学	20.00%	0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	11.11%	0.00%	66.67%	22.22%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わかからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	1.89%	52.83%	43.40%	0.00%
生物環境保全学	18.75%	0.00%	25.00%	6.25%	18.75%	31.25%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	38.71%	58.06%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	20.00%	20.00%	20.00%	40.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	44.44%	44.44%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	3.77%	0.00%	47.17%	47.17%	0.00%
生物環境保全学	6.25%	0.00%	6.25%	6.25%	25.00%	56.25%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	25.81%	70.97%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	20.00%	20.00%	20.00%	40.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	66.67%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	3.77%	0.00%	0.00%	3.77%	52.83%	39.62%	0.00%
生物環境保全学	25.00%	0.00%	25.00%	0.00%	18.75%	31.25%	0.00%
資源循環生産学	25.81%	0.00%	0.00%	9.68%	19.35%	45.16%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	20.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	33.33%	55.56%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	7.55%	0.00%	1.89%	7.55%	50.94%	32.08%	0.00%
生物環境保全学	25.00%	0.00%	25.00%	6.25%	12.50%	31.25%	0.00%
資源循環生産学	12.90%	0.00%	0.00%	3.23%	35.48%	48.39%	0.00%
地域社会開発学	20.00%	0.00%	0.00%	40.00%	20.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	22.22%	33.33%	44.44%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	15.09%	47.17%	35.85%	0.00%
生物環境保全学	43.75%	0.00%	6.25%	18.75%	0.00%	31.25%	0.00%
資源循環生産学	19.35%	0.00%	0.00%	12.90%	35.48%	32.26%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	20.00%	20.00%	40.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	11.11%	0.00%	0.00%	11.11%	44.44%	33.33%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	15.09%	49.06%	33.96%	0.00%
生物環境保全学	43.75%	0.00%	6.25%	6.25%	12.50%	31.25%	0.00%
資源循環生産学	16.13%	0.00%	3.23%	3.23%	35.48%	41.94%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	20.00%	20.00%	40.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	11.11%	0.00%	0.00%	0.00%	55.56%	33.33%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わかならい	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学	3.77%	0.00%	0.00%	0.00%	56.60%	39.62%	0.00%
生物環境保全学	12.50%	0.00%	6.25%	6.25%	31.25%	43.75%	0.00%
資源循環生産学	3.23%	0.00%	0.00%	3.23%	29.03%	64.52%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	60.00%	20.00%	0.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	66.67%	33.33%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	96.23%	1.89%	0.00%	0.00%
生物環境保全学	12.50%	0.00%	6.25%	81.25%	0.00%	0.00%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	40.00%	60.00%	0.00%	0.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	98.11%	0.00%	0.00%	0.00%
生物環境保全学	12.50%	0.00%	18.75%	56.25%	12.50%	0.00%	0.00%
資源循環生産学	9.68%	0.00%	0.00%	90.32%	0.00%	0.00%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	20.00%	20.00%	60.00%	0.00%	0.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	1.89%	58.49%	37.74%	0.00%
生物環境保全学	12.50%	0.00%	6.25%	6.25%	37.50%	37.50%	0.00%
資源循環生産学	9.68%	0.00%	0.00%	6.45%	25.81%	58.06%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	60.00%	20.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	44.44%	44.44%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	0.00%	60.38%	37.74%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	6.25%	6.25%	25.00%	62.50%	0.00%
資源循環生産学	6.45%	0.00%	0.00%	0.00%	45.16%	48.39%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	60.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	66.67%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学	1.89%	0.00%	0.00%	3.77%	56.60%	37.74%	0.00%
生物環境保全学	0.00%	0.00%	6.25%	6.25%	31.25%	56.25%	0.00%
資源循環生産学	0.00%	0.00%	0.00%	3.23%	29.03%	67.74%	0.00%
地域社会開発学	0.00%	0.00%	20.00%	20.00%	40.00%	20.00%	0.00%
生命機能科学	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	55.56%	44.44%	0.00%